

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

埼玉県ふじみ野市

# 市内遺跡群 20

2018年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

埼玉県ふじみ野市

# 市内遺跡群 20

2018年3月

ふじみ野市教育委員会



## はじめに

ふじみ野市は平成 17 年 10 月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成 27 年に 10 周年を迎え、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から 30km 圏内という立地条件にあるため、昭和 30 年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2 万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会  
教 育 長 朝 倉 孝

## 例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2014（平成26）年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2014（平成26）年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費11,003,024円に対し国庫補助金（5,500,000円）、県費（2,000,000円）の補助金の交付を受け、2014（平成26）年4月1日から2015（平成27）年3月31日まで実施したものである。
3. 調査組織
 

	社会教育課副課長兼文化財保護係長（2016.4.1から兼務）
調査主体者	ふじみ野市教育委員会
担当者	高崎 直成（2013.4.1～）
担当課	社会教育課文化財保護係
	文化財保護係調査担当者
	（平成25・26年度は生涯学習課上福岡歴史民俗資料館文化財保護係）
	高崎 直成（2005.4.1～）
	鍋島 直久（2005.4.1～2017.3.31）
教育長	朝倉 孝（2014.4.1～）
部長	西郷 雅美（2014.4.1～2015.3.31）
	中野 則之（2015.4.1～2017.3.31）
	土屋 浩（2017.4.1～）
課長	小林 清（2015.4.1～2016.3.31）
	佐藤 龍司（2016.4.1～）
生涯学習課主幹兼上福岡歴史民俗資料館長	臨時の任用職員
	坪田 幹男（2013.4.1～2015.3.31）
副課長	佐藤 龍司（2015.4.1～2016.3.31）
	岡崎 裕子（2015.4.1～）
	庶務担当 岡 健二（2013.4.1～2015.3.31）
	柳澤 健司（2011.4.1～2015.3.31）
	橋本祐可子（2015.4.1～）
	発掘調査員補 越村 篤（2005.4.1～2015.9.30）
	鎌田 翔（2015.11.2～）
	高橋 京子（2005.4.1～）
4. 本書作成にあたっての作業分担は事実報告及び遺構・遺物の執筆を鍋島・岡崎・鎌田、遺物の観察表作成を岡崎・鎌田が担当し、整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田翔。土器実測・拓本：明石千とせ、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、大久保明子、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、松平静。遺構写真：鍋島直久、越村篤。レイアウト・遺物写真：大久保明子。遺構図版作成の一部を株式会社中野技術に、石器実測の一部を株式会社東京航業研究所に委託した。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）  
天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、大屋道則、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、國見徹、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文雄、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、水村孝行、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。（敬称略）  
青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、壹岐久子、石垣ゆき子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小池恵美子、小林登喜江、坂本民子、佐竹里佳、重田恵子、鈴木勝弘、鈴木千恵子、諏訪文香、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、當山りえ、中川圭子、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、藤沢瞳、増澤勝美、松平静、松野愛理、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代


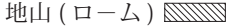



## 凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2:3、銭 1:1 である。

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

攪乱  地山(ローム)  焼土  地紋縄文  羽口の還元面  赤彩   
土器 ● 石器 ★ 黒曜石 ▲ チャート □ 礫 ○ 炭 ■

(4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

4. 第 6 表 縄文時代中期時期細分対比表の参考文献は、以下のとおりである。

- |              |  |
|--------------|--|
| ②安孫子 昭二      | 1988 「勝坂式土器様式」『縄文土器大観』第 2 巻 中期 I               |
| ②鈴木 保彦・山本 暉久 | 1988 「加曾利 E 式土器様式」『縄文土器大観』第 2 巻 中期 I           |
| ③植木 弘        | 1994 「行司免遺跡出土の中期土器群の変遷」『埼玉県北西部地域(比企郡市)考古資料集成①』 |
| ④黒尾 和久       | 1995 「縄文中期集落遺跡の基礎的検討(Ⅰ)」『論集 宇津木台』宇津木台地区考古学研究会  |
| ⑤谷井 彪 他      | 1982 「縄文中期土器群の再編」『研究紀要』埼玉県埋蔵文化財調査事業団           |
| ⑥小林達雄 他      | 1981 『シンポジウム 北関東を中心とする縄文中期の諸問題』考古学協会           |

埼玉県ふじみ野市  
市内遺跡群 20 目次

はじめに	i		
例言	ii		
凡例	iii		
目次	iv		
挿図目次	v		
表目次	vi		
写真図版目次	vi		
第1章 遺跡と調査の概要	1	第13章 神明後遺跡の調査	60
I 調査に至る経過	1	I 遺跡の立地と環境	60
II 立地と環境	3	II 神明後遺跡第52地点	60
III 市内の遺跡	4	III 神明後遺跡第53地点	60
第2章 北野遺跡の調査	8	第14章 小田久保遺跡の調査	63
I 遺跡の立地と環境	8	I 遺跡の立地と環境	63
II 北野遺跡第27地点	8	II 小田久保遺跡第10地点	63
III 北野遺跡第28地点	9	第15章 大井氏館跡遺跡の調査	65
IV 北野遺跡第29地点	11	I 遺跡の立地と環境	65
V 北野遺跡第30地点	11	II 大井氏館跡遺跡第24地点	65
第3章 川崎遺跡の調査	12	III 大井氏館跡遺跡第25地点	68
I 遺跡の立地と環境	12	第16章 本村遺跡の調査	70
II 川崎遺跡第41地点	14	I 遺跡の立地と環境	70
第4章 ハケ遺跡の調査	15	II 本村遺跡第128地点	72
I 遺跡の立地と環境	15	第17章 西台遺跡の調査	75
II ハケ遺跡第15地点	15	I 遺跡の立地と環境	75
III ハケ遺跡第17地点	16	II 西台遺跡第9地点	75
IV ハケ遺跡第16・18・19地点	17	第18章 東台遺跡の調査	76
第5章 滝遺跡の調査	22	I 遺跡の立地と環境	76
I 遺跡の立地と環境	22	II 東台遺跡第58地点	80
II 滝遺跡第24地点	22	III 東台遺跡第59地点	80
第6章 長宮遺跡の調査	27	第19章 まとめ	87
I 遺跡の立地と環境	27	写真図版	89
II 長宮遺跡第48地点	27	抄録	112
III 長宮遺跡第49地点	28		
IV 長宮遺跡第50地点	30		
第7章 亀居遺跡の調査	33		
I 遺跡の立地と環境	33		
II 亀居遺跡第73地点	33		
III 亀居遺跡第74地点	33		
第8章 鶴ヶ舞遺跡の調査	37		
I 遺跡の立地と環境	37		
II 鶴ヶ舞遺跡第22地点	37		
第9章 松山遺跡の調査	39		
I 遺跡の立地と環境	39		
II 松山遺跡第78地点	39		
III 松山遺跡第79地点	40		
IV 松山遺跡第80地点	42		
V 松山遺跡第81地点	42		
第10章 江川東遺跡の調査	44		
I 遺跡の立地と環境	44		
II 江川東遺跡第22地点	45		
III 江川東遺跡第23地点	45		
第11章 東中学校西遺跡の調査	46		
I 遺跡の立地と環境	46		
II 東中学校西遺跡第35地点	46		
第12章 西ノ原遺跡の調査	48		
I 遺跡の立地と環境	48		
II 西ノ原遺跡第160地点	48		
III 西ノ原遺跡第161地点	53		
IV 西ノ原遺跡第162地点	57		
V 西ノ原遺跡第163地点	59		

## 挿図目次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4	第42図	神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000)	60
第2図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	6	第43図	神明後遺跡第52地点遺構配置図・第53地点調査区域図(1/300)、第52地点土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	62
第3図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)	8	第44図	小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)	63
第4図	北野遺跡第27・28地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・1/60)、第28地点集石土坑・遺物出土状況(1/30)、出土遺物(1/4)	10	第45図	小田久保遺跡第10地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	64
第5図	北野遺跡第29・30地点遺構配置図(1/300)、第29地点土坑(1/60)、第30地点溝(1/60)	11	第46図	大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	65
第6図	川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)	12	第47図	大井氏館跡遺跡第24・25地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)	66
第7図	川崎遺跡第41地点調査区域図(1/300)	14	第48図	大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物①(1/4)	67
第8図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)	15	第49図	大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物②(1/4・1/1)	68
第9図	ハケ遺跡遺構分布図(1/2,000)	17	第50図	本村遺跡の地形と調査区(1/5,000)	70
第10図	ハケ遺跡第15・17地点遺構配置図(1/300)、第15地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)、第17地点溝・ゴミ穴(1/60)	18	第51図	本村遺跡遺構分布図(1/3,000)	73
第11図	ハケ遺跡第17地点出土遺物①(1/4)	20	第52図	本村遺跡第128地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸・ピット・溝(1/60)	74
第12図	ハケ遺跡第17地点出土遺物②(1/4)	21	第53図	西台遺跡の地形と調査区(1/4,000)	75
第13図	滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)	22	第54図	西台遺跡第9地点調査区域図(1/300)	75
第14図	滝遺跡遺構分布図(1/2,000)	24	第55図	東台遺跡の地形と調査区(1/5,000)	76
第15図	滝遺跡第24地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット	25	第56図	東台遺跡遺構分布図(1/2,000)	78
第16図	滝遺跡第24地点出土遺物(1/4)	26	第57図	東台遺跡第59地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	80
第17図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)	27	第58図	東台遺跡第58地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、194号住居跡遺物出土状況・土坑(1/60)	81
第18図	長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)	29	第59図	東台遺跡第58地点出土遺物①(1/4)	82
第19図	長宮遺跡第48地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸(1/60)・30		第60図	東台遺跡第58地点出土遺物②(1/4)	83
第20図	長宮遺跡第48地点溝(1/60)、第49地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、		第61図	東台遺跡第58地点出土遺物③(1/4)	84
第21図	長宮遺跡第49地点炉穴②(1/30)、第50地点調査区域図(1/300)、土層				
第22図	亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)	33			
第23図	亀居遺跡遺構分布図(1/1,500)	35			
第24図	亀居遺跡第73・74地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第74地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	36			
第25図	鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区(1/4,000)	37			
第26図	鶴ヶ舞遺跡第22地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	37			
第27図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	39			
第28図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)	41			
第29図	松山遺跡第78・79地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	42			
第30図	松山遺跡第80地点調査区域図・第81地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、				
第31図	江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44			
第32図	江川東遺跡第22・23地点調査区域図(1/300)、第23地点土層(1/150)、				
第33図	東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	46			
第34図	東中学校西遺跡第35地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	47			
第35図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	48			
第36図	西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)	52			
第37図	西ノ原遺跡第160・161地点遺構配置図(1/300)、第160地点土坑(1/60)、				
第38図	西ノ原遺跡第161地点50号住居跡(1/60)、炉(1/30)	55			
第39図	西ノ原遺跡第161地点211号住居跡(1/60)、炉・掘方(1/30)	56			
第40図	西ノ原遺跡第161地点出土遺物(1/4)	57			
第41図	西ノ原遺跡第162地点遺構配置図(1/400)、第163地点調査区域図(1/300)、				
	土層(1/150)、溝(1/60)、出土遺物(1/4)	58			



## 表 目 次

第 1 表	過去 3 年間の調査件数と面積一覧表	1	第 20 表	東中学校西遺跡調査一覧表	47
第 2 表	2014（平成 26）年度埋蔵文化財調査一覧表	2	第 21 表	西ノ原遺跡調査一覧表	49
第 3 表	2014（平成 26）年度立会い調査一覧表 1（埋蔵文化財包蔵地内）	3	第 22 表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	50
第 4 表	2014（平成 26）年度立会い調査一覧表 2（埋蔵文化財包蔵地外）	3	第 23 表	西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡ピット一覧表	55
第 5 表	ふじみ野市遺跡一覧表	7	第 24 表	神明後遺跡調査一覧表	61
第 6 表	縄文時代中期時期細対比表	7	第 25 表	小田久保遺跡調査一覧表	64
第 7 表	北野遺跡調査一覧表	9	第 26 表	大井氏館跡遺跡調査一覧表	65
第 8 表	北野遺跡第 28 地点集石土坑出土礫観察表	10	第 27 表	大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物観察表	69
第 9 表	川崎遺跡調査一覧表	13	第 28 表	本村遺跡調査一覧表	71
第 10 表	ハケ遺跡調査一覧表	16	第 29 表	本村遺跡第 128 地点ピット一覧表	72
第 11 表	ハケ遺跡第 17 地点出土遺物観察表	19	第 30 表	西台遺跡調査一覧表	75
第 12 表	滝遺跡調査一覧表	23	第 31 表	東台遺跡調査一覧表	77
第 13 表	滝遺跡第 24 地点出土遺物観察表	26	第 32 表	東台遺跡住居跡一覧表	79
第 14 表	長宮遺跡調査一覧表	28	第 33 表	東台遺跡第 58 地点出土遺物観察表	85
第 15 表	長宮遺跡第 50 地点出土遺物観察表	30			
第 16 表	亀居遺跡調査一覧表	34			
第 17 表	鶴ヶ舞遺跡調査一覧表	38			
第 18 表	松山遺跡調査一覧表	40			
第 19 表	江川東遺跡調査一覧表	44			

## 写真図版目次

写真図版 1	北野遺跡第 27・28 地点	89	写真図版 13	西ノ原遺跡第 160 地点・161 地点 (1)	101
写真図版 2	北野遺跡第 29・30 地点	90	写真図版 14	西ノ原遺跡第 161 地点 (2)	102
写真図版 3	川崎遺跡第 41 地点、ハケ遺跡第 15 地点・17 地点 (1)	91	写真図版 15	西ノ原遺跡第 162 地点・163 地点 (1)	103
写真図版 4	ハケ遺跡第 17 地点 (2)	92	写真図版 16	西ノ原遺跡第 163 地点 (2)、神明後遺跡第 52・53 地点	104
写真図版 5	滝遺跡第 24 地点 (1)	93	写真図版 17	小田久保遺跡第 10 地点、大井氏館跡遺跡第 24 地点 (1)	105
写真図版 6	滝遺跡第 24 地点 (2)、長宮遺跡第 48 地点 (1)	94	写真図版 18	大井氏館跡遺跡第 24 地点 (2)・25 地点	106
写真図版 7	長宮遺跡第 48 地点 (2)・49 地点	95	写真図版 19	本村遺跡第 128 地点	107
写真図版 8	長宮遺跡第 50 地点、亀居遺跡第 73 地点 (1)	96	写真図版 20	西台遺跡第 9 地点、東台遺跡第 58 地点 (1)	108
写真図版 9	亀居遺跡第 73 地点 (2)・74 地点	97	写真図版 21	東台遺跡第 58 地点 (2)	109
写真図版 10	鶴ヶ舞遺跡第 22 地点、松山遺跡第 78・79 地点	98	写真図版 22	東台遺跡第 58 地点 (3)	110
写真図版 11	松山遺跡第 80・81 地点	99	写真図版 23	東台遺跡第 58 地点 (4)・59 地点	111
写真図版 12	江川東遺跡第 22・23 地点、東中学校西遺跡第 35 地点	100			

## 第1章 遺跡と調査の概要

### I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10 月 1 日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.64k m<sup>2</sup>、人口は 2017(平成 29)年 3 月現在 113,420 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。またその個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2014 年度の試掘及び発掘調査は第 2 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査 1 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 6 件、公共事業に伴う本調査 0 件、民間開発に伴う本調査 7 件を行った。開発面積は 27,152.08 m<sup>2</sup>で、そのうち実質調査面積は試掘 6,765.75(本調査面積 1,418.86) m<sup>2</sup>である。過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表にあげてみる。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳		調査原因の内訳	
	試掘件数 開発面積m <sup>2</sup>	個人住宅 本調査件数 開発面積m <sup>2</sup>	原因者負担 本調査件数 開発面積m <sup>2</sup>	
2012(平成24)年度	58 件	11 件	7 件	個人住宅 37、共同住宅 4、分譲住宅 8、宅地造成 1、道路 2、店舗 1、清掃センター 1、自治会館 1、駐車場 1、コンテナ設置 1、物置 1
	58,375	3,222	5,471	
2013(平成25)年度	54 件	3 件	6 件	個人住宅 20、共同住宅 5、分譲住宅 13、宅地造成等 4、道路 4、店舗 4、高齢者デイサービスセンター等 2、神社社務所 1、苗間薬師堂 1
	86,664	769	63,501	
2014(平成26)年度	46 件	6 件	7 件	個人住宅 20、分譲住宅 12、共同住宅 5、事務所 1、葬祭場 1、宅地造成 3、病院増築 1、駐車場 1、店舗 1、道路 1
	27,152	129	1,419	

第2表 2014(平成26)年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積	個人住宅		原因	試掘期間		調査措置
					本調査面積	民間開発 本調査面積		本調査期間		
1	北野遺跡第27地点	北野1-3119-1	481.00	50.25			共同住宅	5/7	試掘調査	
2	北野遺跡第28地点	北野2-2110-8	101.35	14	3.5		個人住宅	5/27~28 5/28	試掘調査・本調査	
3	北野遺跡第28地点	北野2-2110-9	100.55	17.25			分譲住宅	5/27・28	試掘調査	
4	北野遺跡第29地点	北野2-1830-8	83.69	16.5			分譲住宅	10/14・15	試掘調査	
5	北野遺跡第30地点	北野2-2067-8	75.90	12.8			分譲住宅	10/30、11/5	試掘調査	
6	川崎遺跡第41地点	川崎字山向10-4の一部	120.30	20			個人住宅	9/8	試掘調査	
7	ハケ遺跡第15地点	福岡3-1228-19	184.09	64.7			分譲住宅	4/8~9	試掘調査	
8	ハケ遺跡第16地点	福岡3-1254-17・7・14	68.00	26.25	19.36		分譲住宅	8/11~9/2 9/3~9	試掘調査・本調査	
9	ハケ遺跡第17地点	福岡3-1219-1・2	98.58	50.4			分譲住宅	9/26~30	試掘調査	
10	ハケ遺跡第18地点	福岡3-1182、2066-5	510.67	107.85	64		分譲住宅	12/4~10 1/6~16	試掘調査・本調査	
11	ハケ遺跡第19地点	福岡3-1222-1、1223~1225、 1255	2296.00	572.60			宅地造成	3/17~3/30	H27年度繰越調査中 試掘調査	
12	権現山遺跡第25地点	福岡2-1-1	3588.00	996.75	86		事務所	6/2~7/18 7/22~9/2	試掘調査・本調査	
13	滝遺跡第24地点	滝1-1-8の一部	222.80	85			分譲住宅	7/16~18	試掘調査	
14	滝遺跡第25地点	滝1-2-4・32	2804.00	1115.8	362		宅地造成	7/18~8/26 9/8~10/31	試掘調査・本調査	
15	長宮遺跡第48地点	上ノ原3-6-1	555.00	188.4			分譲住宅	4/2~8	試掘調査	
16	長宮遺跡第49地点	中丸2-2-4	293.09	61.8			共同住宅	10/23~30	試掘調査	
17	長宮遺跡第50地点	中丸1-2-17	228.00	26			分譲住宅	3/16	試掘調査	
18	亀居遺跡第73地点	亀久保2-17-14	326.14	92.75			宅地造成	7/8	試掘調査	
19	亀居遺跡第74地点	亀久保2-975-1・34	557.00	155.3			分譲住宅	11/27~12/4	試掘調査、12/12立会	
20	鶴ヶ舞遺跡第22地点	鶴ヶ舞1-69-35・56	171.00	38.2			個人住宅	12/4	試掘調査	
21	松山遺跡第75地点	仲2-2-2	120.00	75地点全体 の214㎡	12		個人住宅	調査済(H26/1/14~20) 8/5~11	試掘調査・本調査	
22	松山遺跡第76地点	仲2-2-48	120.00	131(76地点 全体のうち)	19.4		個人住宅	調査済(H26/1/22~28) 9/26~10/2	試掘調査・本調査	
23	松山遺跡第76地点	仲2-2-37	120.00	131の一部	7		個人住宅	調査済(H26/1/22~28) 11/12~17	試掘調査・本調査	
24	松山遺跡第78地点	松山2-5-5	242.00	35.25			個人住宅	5/22	試掘調査	
25	松山遺跡第79地点	本新田395-1の一部	153.00	36			個人住宅	8/5	試掘調査	
26	松山遺跡第80地点	池上372	1183.40	90			個人住宅	3/12	試掘調査	
27	松山遺跡第81地点	築地1-1-12	247.49	74.25			分譲住宅	3/23	試掘調査	
28	江川東遺跡第22地点	東久保1-160-30	72.44	11			個人住宅	9/30・10/1	試掘調査	
29	江川東遺跡第23地点	東久保1-180-11	180.00	29.4			個人住宅	10/10	試掘調査	
30	東中学校西遺跡第35地点	ふじみ野3-9-1の一部	661.42	211.5			病院増築	3/10	試掘調査	
31	西ノ原遺跡第159地点	旭1-15-8	869.00	335	600(H26/455)		共同住宅	調査済(H25)1/30~2/10 3/4~25、4/2~5/9	試掘調査・本調査	
32	西ノ原遺跡第160地点	旭1-14-2	309.00	106.9			駐車場	4/15・16	試掘調査	
33	西ノ原遺跡第161地点	苗間1-15-18	442.00	114.75	62.75		個人住宅	6/17 6/18~23	試掘調査・本調査	
34	西ノ原遺跡第162地点	苗間1-13-2・3・4・5・11	2526.76	382.5			葬祭場	8/29~9/4	試掘調査	
35	西ノ原遺跡第163地点	旭1-7-10	148.98	42.75			個人住宅	2/2~3	試掘調査	
36	神明後遺跡第51地点	苗間字神明後295-1、298-1、 297-1・2の各一部、299-1	487.33	116	42.5		共同住宅	11/5~13 11/20~25	試掘調査・本調査	
37	神明後遺跡第52地点	苗間字神明後231-1	379.00	44.4			個人住宅	1/28	試掘調査	
38	神明後遺跡第53地点	苗間字神明後298-1	495.00	14.5			個人住宅	3/19	試掘調査	
39	苗間東久保遺跡第32地点	苗間字神明後334-1、335-1、 336-1、337-1	2989.00	966	390		共同住宅	調査済(H25)3/6~27 4/25~5/19	試掘調査・本調査	
40	小田久保遺跡第10地点	大井字西原1023-3	317.00	94.4			個人住宅	10/7	試掘調査	
41	大井氏館跡遺跡第24地点	大井字西原959・960	115.72	15.75	24		個人住宅	6/23 6/24・25	試掘調査・本調査	
42	大井氏館跡遺跡第25地点	大井2-14-13の一部	414.00	18.4			個人住宅	12/15	試掘調査、(隣接地)	
43	本村遺跡第128地点	大井2-18-1	327.00	103.5			分譲住宅	11/17~27	試掘調査	
44	西台遺跡第9地点	西台856-4	46.00	7			道路	10/10	試掘調査	
45	東台遺跡第58地点	大井字東台625-1	1175.47	399			店舗	7/1~8/4	試掘調査	
46	東台遺跡第59地点	大井字東台633-6	145.91	32.5			個人住宅	7/15	試掘調査	

第3表 2014(平成26)年度立会い調査一覧表1 (埋蔵文化財包蔵地内)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積 (㎡)	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡外	亀久保1724-1付近	2.00	小柱新設	調査不可	掘削面積調査不可、工事立会
2	北野	大原2-5693-10	70.39	個人住宅	立会済	掘削面積調査不可、工事立会
3	北野	北野1-3065-11	98.00	個人住宅	5/22立会	一部試掘、遺構確認なし、念のため工事立会
4	北野	大原2-2080-3・22	416.00	分譲住宅	10/31立会	遺構の可能性低く工事立会
5	川崎	川崎240、242-252-4、228先		ガス管新設工事	7/10・14立会	掘削面積狭く調査不可、工事立会
6	川崎	川崎173-2	248.96	個人住宅	12/26立会	一部試掘遺構遺物なし、念のため工事立会
7	川崎35	川崎2-6-40一部	100.00	個人住宅	調査済 3/9立会	H23.9.27～10.6、11.8～24試掘調査済、縄文住居跡・奈良平安住居跡検出、保護層有工事立会
8	上福岡貝塚	福岡2-1500-23	2481.00	建物解体撤去	4/28立会	基礎撤去時立会、遺構遺物なし、慎重工事
9	滝	滝3-4-10	33.00	道路	立会済	南側は遺構の可能性なし北側は調査不可、工事立会
10	滝	滝1-1-38	114.52	個人住宅	4/18立会	隣接地は遺構検出有、保護層有工事立会
11	滝	滝1-1-24	142.17	個人住宅	9/12立会	基礎撤去時立会遺構検出なし、90cm盛土有、工事立会
12	西原	西原1-2-13	169.54	個人住宅	12/10立会	深さ80cmまで掘削、遺構の可能性薄く、工事立会
13	亀居	亀久保2-7-9	70.10	建売住宅	8/11立会	H26.8.11既存建物撤去解体時立会、遺構遺物なし。慎重工事(事前協議なし)
14	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡1-101-1・4	214.00	個人住宅		着工済みで立会いできず
15	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡1-100-18	130.78	個人住宅	4/12立会	周辺の状況により遺構の可能性低く、工事立会
16	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡1-74-15	73.00	個人住宅	6/23立会	遺構遺物なし、慎重工事
17	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡1-103-6・10	150.38	個人住宅	12/25立会	遺構の可能性低く、念のため工事立会
18	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡1-69-73	100.33	個人住宅		遺構遺物の可能性低く、工事立会
19	松山75	仲2-2-2	2.00	電柱新設工事	4/30立会	H26.1.22～28試掘済、遺構遺物なし、慎重工事
20	松山76	仲2-2-2、2-40の一部	120.00	個人住宅	2014/1調査済	26.1.22～28試掘済、遺構遺物なし慎重工事
21	松山	仲1-4-1	507.00	個人住宅	6/20立会	遺構の可能性低く、工事立会
22	松山	築地2-4-16	121.76		10/3立会	着工済みで立会いできず
23	松山	本新田4-8	2.00	電柱移設工事	6/17立会	掘削面積狭く調査不可、工事立会、工事日連絡待ち
24	松山	築地3-5-6の一部	499.00	個人住宅	12/11立会	既存建物解体時一部試掘、遺構確認面まで深さ60cm、13cm盛り土遺構遺物なし、試掘部分狭小なため工事立会
25	松山	仲2-1-5・26の各一部	200.17	個人住宅	11/7立会い、調査済	H13.5月試掘済、地表面下60cmで近代以降陶磁器確認、保護層あり工事立会
26	川袋	福岡1付近	1.00	電柱移設工事	調査不可 1/9立会	掘削面積狭く調査不可、工事立会
27	江川南	ふじみ野2-1-10・11	861.00		7/15調査済	北半分は本調査済(14地点)今回道路部分のみ慎重工事。発掘届けは1棟ずつ後日提出
28	江川東	東久保1-158-5・7・9	146.74	個人住宅	5/20立会	基礎の深さ35cm、地山70cm以上、北へ向かった斜面地で盛土されている。遺構の可能性低く工事立会
29	東久保	ふじみ野2-3-2・3	121.50	個人住宅	7/7立会	地表面下70cmでローム、遺構なし、念のため工事立会
30	東久保	ふじみ野2-3-4	99.05	共同住宅	7/10立会	地表面下70cmでローム、遺構なし、念のため工事立会。発掘届けは№84でまとめて提出
31	東久保西	ふじみ野2-10-2	158.09	個人住宅	9/8立会	周辺の調査で遺構なし、工事立会
32	駒林31	駒林元町1-5-5	115.51	個人住宅	7/25立会	中世以降大溝確認、保護層有工事立会
33	駒林31	駒林元町1-5-5、5-6の一部	115.00	個人住宅	7/8根切立会	北側部分で中世以降大溝確認、保護層有、工事立会
34	駒林31	駒林元町1丁目5-5、5-6の一部	115.00	個人住宅	7/8基礎立会	北側部分で中世以降大溝確認、保護層有、工事立会
35	駒林31	駒林元町1-5-17	115.00	個人住宅	10/30立会	保護層有工事立会
36	駒林	駒林元町2-1-17	132.00	個人住宅	5/29立会	近隣の調査状況から遺構の可能性低く、工事立会とする
37	駒林	新駒林3-702-14の一部	100.00	個人住宅	7/8立会	周辺の調査結果から遺構の可能性低く、工事立会
38	駒林	駒林元町1-237の一部	110.99	倉庫	3/17立会	遺構遺物なし慎重工事
39	西ノ原159	旭1-15-8	869.00	共同住宅	1/30～2/10	地表面下30～40cmで縄文中期住居跡9・炉穴確認、本調査
40	苗間東久保32	苗間字神明後334-1、335-1、336-1、337-1	2989.00	集合住宅	3/6～27	地表面下60cmで縄文早期炉穴13・土坑12・溝3・ピット多数確認、地盤改良を行うため本調査
41	苗間東久保	苗間字東久保648-15	89.94	個人住宅	4/30立会	第2地点の隣接地で、遺構の可能性薄いため工事立会
42	浄禅寺跡	苗間字神明前511-11・20	122.40	個人住宅	10/8立会	1号盛り土あり、工事立会
43	浄禅寺跡	苗間字神明前511-3	122.34	個人住宅	10/8立会	1号盛り土あり、工事立会
44	浄禅寺跡	苗間578-1	1.00	支線新設工事	調査済	掘削面積狭く調査不可、工事立会
45	本村	市沢2-6-4・5・20	275.13	集合住宅	12/15立会済み	保護層有、工事立会
46	西台	大井字西台894-180の一部、-30の一部	68.16	個人住宅	7/29立会	地表面下5mで地山ローム確認、遺構遺物なし慎重工事
47	西台	大井896-1	3.00	支線新設工事	調査不可	H6.2月～4月試掘済、遺構遺物なし、慎重工事
48	大井戸上	大井字東台702-2	1465.00	個人住宅	8/28基礎撤去・9/立会	基礎撤去時確認調査、遺構なし、念のため工事立会
49	大井氏館跡	大井1丁目7-14・17	135.25	個人住宅	7/10立会	盛り土あり、工事立会
50	石塔畑	大井字東台760-1	335.00	個人住宅	4/11基礎立会	基礎撤去時一部試掘、遺構遺物なし、念のため工事立会

第4表 2014(平成26)年度立会い調査一覧表2 (埋蔵文化財包蔵地外)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積 (㎡)	原因	試掘期間	備考
1		中福岡字宮田122、123、124、133、134、135-1、135-3の一部	6150.97	学校給食センター	4/18立会	
2		上福岡2-1579-1・2・3・10・13、1582-5・10、1585-9	1614.86	有料老人ホーム	11/20立会	
3		亀久保字亀屋1249-1	1982.00	宅地造成	12/25立会	工事日程連絡待ち(駐車場の砂利取)
4	北野隣接	北野1-3135-5、19、20	55.01	個人住宅	5/17立会	遺構遺物なし
5	北野隣接	北野2-1801-40、1801-41の一部、1802-2の一部	303.74	個人住宅	6/24根切立会	6月解体予定、連絡待ち
6		大井武蔵野1384-1、1385-4、1386	9883.00	多目的グラウンド		
7		上ノ原2-4-1・11	1088.00	長屋住宅・宅地分譲	11/6立会	
8	松山隣接	新田2-428-1～5	362.88	分譲住宅	10/17立会	遺構遺物なし
9		駒林元町3-5-1・2・3	2299.00	診療所	12/12立会	
10		福岡字百目木149-1、花の木2-1-5	1078.61	宅地造成	12/15立会	
11	大井宿隣接	大井字西原1081-21、1081-22	205.00	個人住宅	1/8立会	基礎工事日程連絡待ち
12	城山隣接	福岡字天神廻135-1	947.11	個人住宅	2/5基礎撤去立会	深さあり、試掘なし

II 立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15～20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が

流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発生しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京

都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

### Ⅲ 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

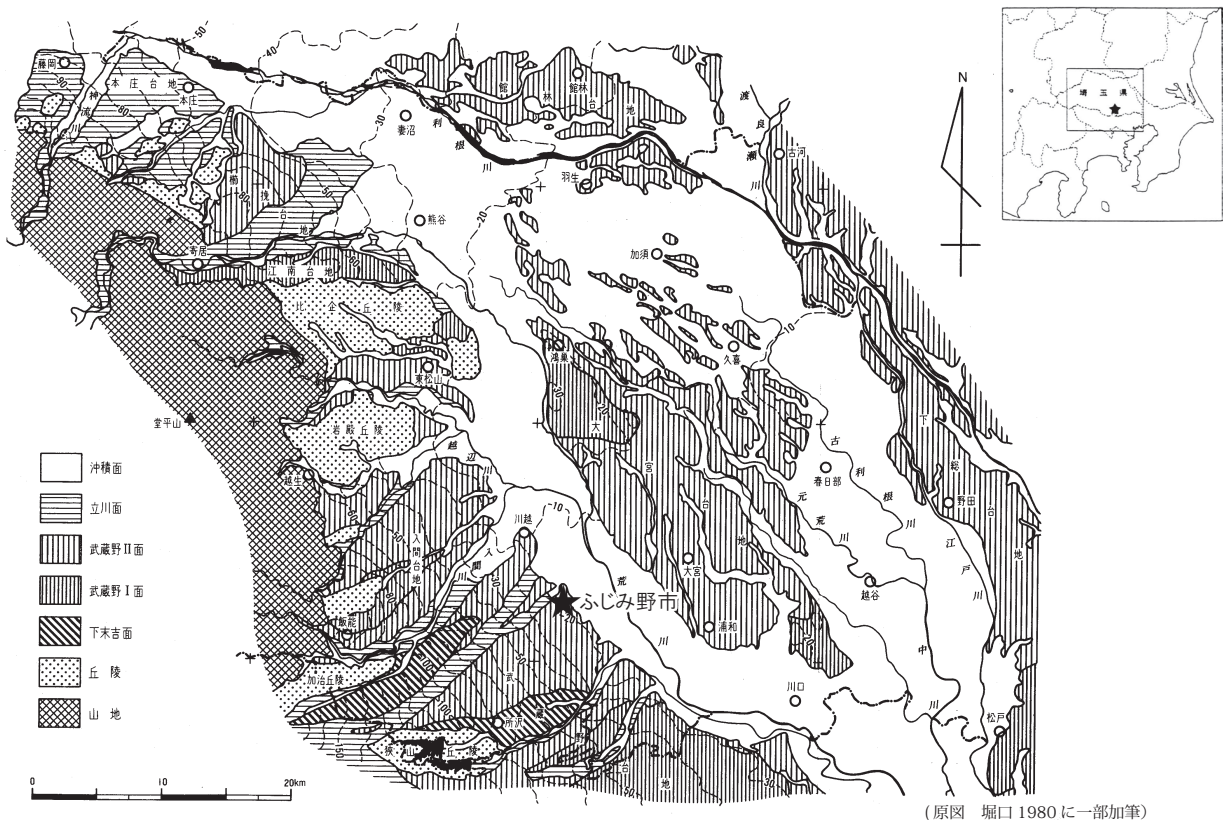
【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡(川越市)が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期

のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手(北側)を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1 km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代立川ローム第Ⅳ層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900 m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3 km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺



(原図 堀口 1980 に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡(富士見市)で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるAT降灰前(立川ローム第Ⅶ層)の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群(埼玉県指定史跡権現山古墳群)は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳(2号墳)1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群(通称権現山北古墳群)3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査(2014)で、古墳の周溝から、6世紀後半頃とみられる複数の人物埴輪と、円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査(2015)では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世

紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚子金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地藏院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷺森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所(通称造兵廠「火工廠」)の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枡などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



ふじみ野市全図

第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台墓(古墳群)	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 2017 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 1994 ③	黒尾和久 1995 ④	谷井 他 1982 ⑤	考古学協会 1981 ⑥	
貉沢・阿玉台Ⅰb古	貉沢・阿玉台Ⅰb古	貉沢・阿玉台Ⅰb	1a中	阿玉台Ⅰb前Ⅳb	Ⅱ期阿玉台出現期	
勝坂Ⅰ古・新道古・阿玉台Ⅰb新	勝坂第Ⅰ様式	勝坂Ⅰ様式	1a新	阿玉台Ⅰb前Ⅴa	Ⅲ期	
勝坂Ⅰ新・新道新・阿玉台Ⅱ古	Ⅱ様式	Ⅱ様式	1b	Ⅴb	(勝坂最古段階)	
勝坂Ⅱ古・藤内古・阿玉台Ⅱ新	Ⅲ様式	Ⅲ様式	2a古	Ⅵ	Ⅳ期	
勝坂Ⅱ新・藤内新	Ⅳ様式	Ⅳ様式	2a新	Ⅶ	(勝坂盛時段階)	
勝坂Ⅲ古・井戸尻・阿玉台Ⅲ古	Ⅴ様式	Ⅴ様式	2b	勝坂式	Ⅴ期	
勝坂Ⅲ新・阿玉台Ⅲ新	Ⅵ様式	Ⅵ様式	3a		Ⅷ	(勝坂終末)
加曾利EⅠ古	加曾利EⅠ様式	加曾利EⅠ直前	3b古 3b新		加曾利E式	加曾利EⅠ古
加曾利EⅠ新	加曾利EⅡ様式	加曾利EⅠ式	1a	Ⅸa Ⅸb Ⅹ		加曾利EⅠ新
			1b			
			1c			
加曾利EⅡ	加曾利EⅢ様式	加曾利EⅡ式	2a	ⅩⅠ ⅩⅡa ⅩⅡb	加曾利EⅡ	
			2a古			
			2c新			
加曾利EⅢ	加曾利EⅣ様式	加曾利EⅢ式	3a	ⅩⅢ	加曾利EⅢ	
			3b 3c			
加曾利EⅣ			E4	ⅩⅣ	加曾利EⅣ	



## 第2章 北野遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以來2017年3月末現在、41ヶ所で調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、集石土坑群、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。

### II 北野遺跡第27地点

#### (1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より



第3図 北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)

2014 年 3 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は、遺跡範囲の北西部の崖面に近い台地上に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 5 月 7 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30 ～ 40 cm であった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構は確認されなかった。第 4 図 1 は表土層出土の縄文土器である。胎土に金雲母を含み、角押文を施す。縄文時代中期中葉の阿玉台式。

Ⅲ 北野遺跡第 28 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設と分譲住宅建設に伴うもので、各々の原因者より 2014 年 5 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出され

た。

調査区は隣接しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認する試掘調査を同時に行う事とした。申請地は、遺跡範囲の北東部に位置する。

試掘調査は 2014 年 5 月 27 日・28 日に実施した。幅約 1 ～ 1.5 m のトレンチ 4 本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。分譲住宅建設予定地内では近世以降とみられる溝の続きを確認したが、それ以外に遺構と遺物は確認されなかった。個人住宅建設予定地内で縄文時代とみられる集石土坑 1 基が確認されたため、本調査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 cm であった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺構は集石土坑 1 基を検出した。遺物は 3 点が出土し、2 点を掲載した。

【集石土坑】集石土坑は調査区の東端に位置し、溝に切られるため全容は不明である。集石土坑の詳細につ

第 7 表 北野遺跡調査一覧表

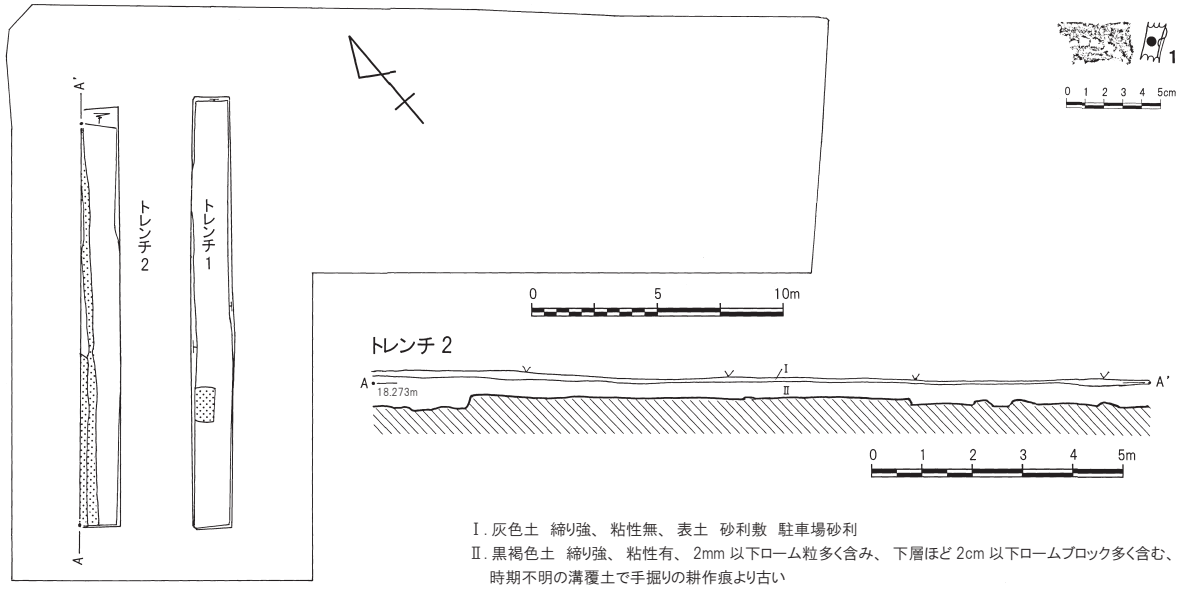
地点	所在地	調査期間( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野2-2110-1の一部、2112-1	(2006.4.7)	408(44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市3
2	北野1-3119-11	(2006.8.4)	131	個人住宅	遺構遺物なし	18教要、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)	148	個人住宅	保護層有、遺構遺物なし	市3
4	北野2-8-3	(2006.8.24)	58	個人住宅	遺構遺物なし	18教要
92-1	大原2-2079-1	(1992.6.19～22)	617	駐車場	溝2、縄文時代中期土器片、土師器片	埋15
92-2	北野2-1809-1	(1992.8.6)	138	個人住宅	遺構遺物なし	埋15
99-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)	157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
99-2	北野2-1787-1	(1999.8.9～12)	179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
02	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2002.11.28～29)	100	公園歩道	遺構遺物なし	埋25
03-1	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2003.7.1～11)	1.484	公園	遺構遺物なし	埋26
03-2	大原2-2081-6	(2003.8.8～11)	350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	埋26
04	北野2-1827-1～3	(2004.4.16・19)	435	共同住宅	遺構遺物なし	埋27
05	北野1-3129-3・20	(2005.12.2)	101	個人住宅	遺構遺物なし	17教要
16	大原1-2070-1、2071-1	(2009.4.8～10)	296(1.888)	宅地造成	ビット3、中期初頭土器・石器	市8
17	大原1-2079-1・6	(2009.10.13～17)	122.5(412)	共同住宅	土坑2、阿玉台IV土器	市8
18	北野2-1828-2・12、1829-1・2	(2009.3.9～18)	178(507.9)	分譲住宅	縄文住居跡1(J1住)、奈良平安住居跡(H1住)、土坑3、ビット8	市8
19	北野2-1821-1・2、1820-4	(2010.12.1～2)	476.3	共同住宅	ビット2、遺物なし	市10
20	北野2-1835-11	(2011.8.11)	61.3(4)	個人住宅	遺構遺物なし	市14
21	北野1-3117-3,3118-1	(2011.12.8～20)	830	分譲住宅	堀跡1、縄文土器片、焙烙	市14
22	北野2-1788-8の一部	(2012.2.6～8)	48(207.1)	分譲住宅	遺構なし、須恵器片	市14
23	北野1-3111-4(1-4-9)	(2012.8.28)	140.8	個人住宅	遺構遺物なし	市15
24	北野1-3063-1	(2012.9.13・14)	335	分譲住宅	土坑1、根きり溝1、縄文土器片	市15
25	北野2-1833-3(2-6-6)	(2012.12.10)	142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)	117	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
27	北野1-3119-11	(2014.5.7)	481	共同住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-9	(2014.5.27・28)	100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-8	(2014.5.27)5.28	101.4	個人住宅	縄文時代集石土坑1、土器片	市20
29	北野2-1830-8	(2014.10.14・15)	83.7	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市20
30	北野2-2067-8	(2014.10.30・11.5)	75.9	分譲住宅	溝1、遺物なし	市20
31	北野2-2130-4・9	(2015.8.18)	179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
32	北野2-1841-7他	(2015.8.27)	209	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
33	北野2-1801-3・4・42・43	(2015.12.1～8)12.15～21	627.69	分譲住宅	集石土坑5、縄文土器片	市19
34	大原-2073-1	(2015.12.7・8)	276.13	共同住宅	ビット1、遺物なし	未報告
35	北野2-2116-4	(2015.12.8)	53	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
36	大原1-2058-10・11の各一部	(2016.2.16)	212	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
37	北野1-3127-23・25	(2016.3.25)	70.25	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
38	北野2-1807-6・7・8、1808-3・5	(2016.7.29)	106.9	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
39	北野1-3129-27・28	(2016.12.5)	119	建売住宅	遺構遺物なし	未報告
40	北野2-5-27	(2017.1.31)	65	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
41	北野2-1794-2の一部	(2017.2.20)	157.49	専用住宅	遺構遺物なし	未報告

\* 埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市・ふじみ野市教育要覧、市：ふじみ野市市内遺跡群報告書

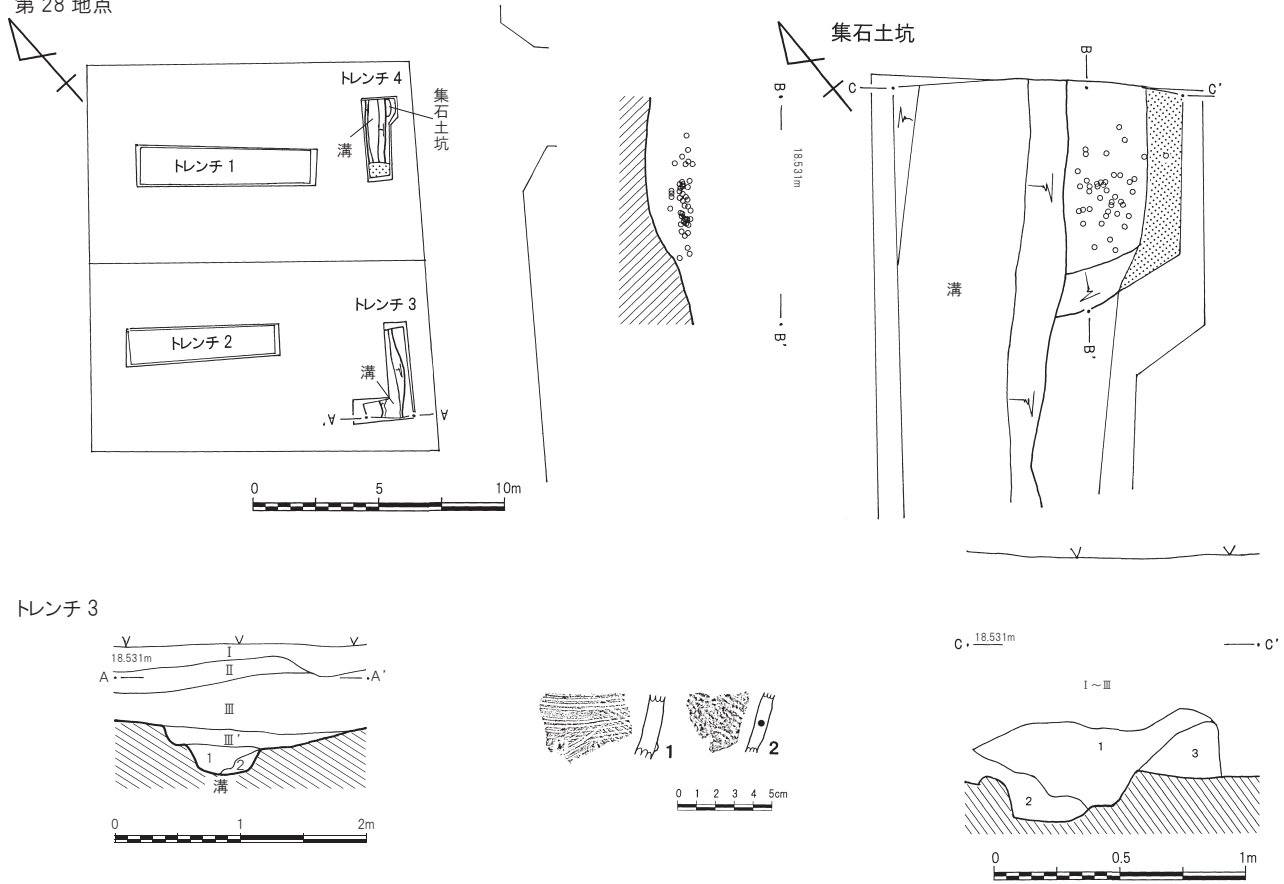
第8表 北野遺跡第28地点集石土坑・出土礫観察表 (単位 cm・g)

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数	備考
1	不明	(89)×46	(75)×32	19.2	78	2,301.82	29.51	22(71.79%)	56(28.21%)	54(69.23%)	24(30.77%)	65(83.33%)	13(16.679%)	

第27地点



第28地点



- I. 暗褐色土 締り弱、粘性有、盛土表土(ローム質)  
 II. 灰色土 締り強、粘性有、盛土の灰色土砂利質  
 III. 暗褐色土 締り弱、粘性有、耕作土、10cm以下ロームブロック多く含む  
 III'. 暗褐色土 締り弱、粘性有、III層に1cm以下ロームを多く含む耕作土  
 A-A'  
 1. 黒色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム少し含む  
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、2cm以下シミ状ロームを多く含む

- C-C'  
 1. 黒色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む  
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ローム粒多く含む  
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有

第4図 北野遺跡第27・28地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・1/60)、第28地点集石土坑・遺物出土状況(1/30)、出土遺物(1/4)

いては第 8 表を参照。

【遺物】(第 4 図 1・2) 1 は半截竹管による集合沈線、貼付文に半截竹管先端による刺突を施す、諸磯 c 式。2 は胎土に微細な金雲母を含む。器面が荒れているのではっきりしないが撚糸文を施文か。縄文時代。

#### IV 北野遺跡第 29 地点

##### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 6 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は、遺跡範囲の北部の崖面に近い台地上に位置する。西側の隣接地第 18 地点では縄文時代中期と奈良平安時代の住居跡等が確認されているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 10 月 14・15 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1～1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 cm であった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。土坑は平面形態は長方形を呈するが全容は不明である。検出部の規模は確認面径 (70) × 61 cm、底径 (57) × 52 cm、深さ 21.8 cm である。遺物が出土しておらず、遺構ではない可能性もある。

#### V 北野遺跡第 30 地点

##### (1) 調査の概要

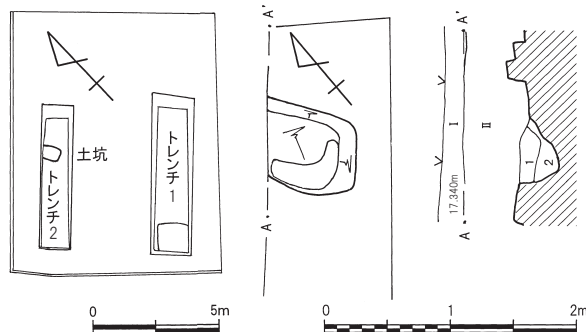
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 16 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は、遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2014 年 10 月 30 日～11 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.3～1.4 m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30～40 cm であった。トレンチ 2 で近世以降の溝を確認し、一部を検出した。溝の規模は上幅 45～65 cm、下幅 12～20 cm、深さ 40 cm である。遺物は出土していない。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。

第 29 地点



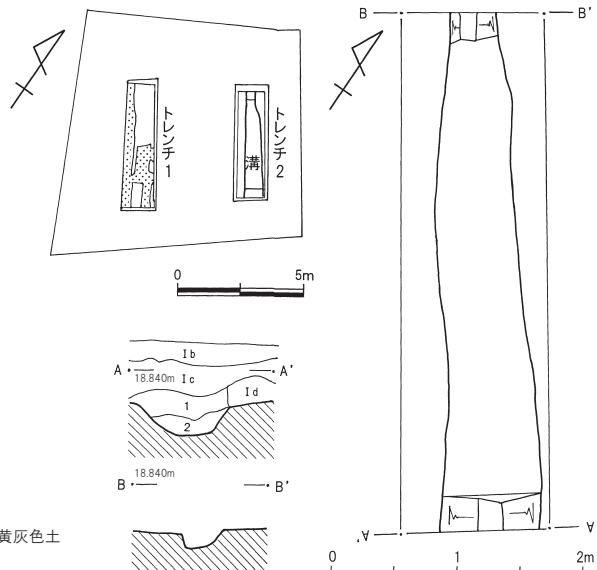
北野 29

- I. 黒褐色土 締り弱、粘性有、表土、2cm～10cm 大礫、ガラ含む表土
- II. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、旧耕作土、1cm 以下ロームブロック多く含む
- 1. 黒色土 締り弱、粘性有、1cm 以下シミ状暗褐色土極少し含む
- 2. 褐色土 締り弱、粘性有、ロームが主体で、1cm 以下黒色土ブロック少し含む

北野 30

- I b. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体の整地層、調査区の南部分のみ
- I c. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土少し含む
- I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、10cm 以下ロームブロックやや多く含む、上部は色調明めの暗黄灰色土
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 未満ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、上層より黒色味が有る、5～10mm ソフト質ロームブロック少し含む

第 30 地点



第 5 図 北野遺跡第 29・30 地点遺構配置図 (1/300)、第 29 地点土坑 (1/60)、第 30 地点溝 (1/60)

### 第 3 章 川崎遺跡の調査

#### I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出した武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は 400 ～ 500 m、台地の基部から先端へ 1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で 18 m、最北部では 8 m を測る。遺跡の範囲は南北 600 m、東西 500 m 以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正 6) 年頃、台地の先端部で貝層が確認され 1928(昭和 3) 年の調査では川崎貝塚として報告された。1967 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980 年以來 2017 年 3 月末現在 46 ケ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第 6 図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第9表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25~4.4)	84	事前調査	炬穴3、土坑2、ビット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162~176	1974.7.20~9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文時代前期3、古墳時代前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30~5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰輪陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8~29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137~174	1975.9.4~12.5	3,055	事前調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡6、奈良平安時代住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1~12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡2(7・8)、奈良平安時代住居跡6(1・2・4~6・9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15~25	170	宅地造成	土坑3、ビット	埋(Ⅰ)
宅地添3次(c地区)	川崎230	1978.5.23~31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	埋(Ⅰ)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19~5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26~10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(Ⅱ)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12~19)	260	宅地造成	溝1	埋(Ⅱ)
6次	川崎102-5	1979.12.3~8	30	プレハブ家屋	縄文時代前期住居跡2、平安時代住居跡2、縄文土器片	埋(Ⅱ)
7次	川崎124-3	1981.11.27~30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17~26	400	住宅建設	溝1	埋(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25~10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡1、平安時代住居跡1	埋(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口172-1・2	1986.9.11~20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安時代土器散布	埋(Ⅷ)
10次	川崎224-1	1987.11.24~30	603	個人住宅	溝1	埋(Ⅹ)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10~17	289	住宅建設	遺構遺物なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19~21)	60	下水道設置	住居跡1	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10~18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3~6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4・5	1990.4.20~27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1~17	480	住宅建設	奈良時代住居跡1	埋(13)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18~23)	530	範囲確認	遺構遺物なし	埋(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1~31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡1、貝塚、平安時代住居跡1	埋(13)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23~11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18・19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10・11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10~13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17~24)	230	機材置場敷設	遺構遺物なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2・3	(1995.10.13~16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	埋(18)
16次	川崎字宮脇150-2・3	1995.12.11~1996.3.8	828	駐車場及び資材置場	縄文時代前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安時代住居跡4・孤立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15~23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18~25	198	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地添199-1・2・5	(1998.2.12~16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27~11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前宮脇地内	2000.2.21~25	496	道路	縄文時代前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19~22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12~25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18~10.4	289	個人住宅	平安時代初頭住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29・30)	825	宅地造成	遺構遺物なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28・29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線	遺構遺物なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6・7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8・19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16~18	88		古墳時代初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14・15)	421	個人住宅	平安時代住居のカマドの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1~4)	881	宅地造成	遺構遺物なし	埋(27)
20次	川崎字宮脇153-5	(2005.11.22~27) 2005.11.28~12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14~20	298	個人住宅	奈良時代住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16~23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構遺物なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、 203-3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15~17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21) 2008.4.22~5.17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、土坑、ビット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15~21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4~9) 2008.7.10~8.8	434	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、土坑、ビット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9~11) 2008.7.14~8.22	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17) 2008.7.18~9.5	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、 161-6	(2009.10.28) 2009.10.28~11.27	304	個人住宅	縄文時代中期~後期住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ビット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24・25) 2011.3.2~25	396	個人住宅	奈良平安時代住居跡3、土坑2、建物部分本調査	市内10
34	川崎2-5-4	(2011.7.25・26)	118	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
35	川崎2-6-4~7・9	(2011.9.27~11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1、奈良平安時代住居跡1他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15~26) 2012.1.10~2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6他	市内14
37	川崎宅地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内15
38	川崎字宮後165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	個人住宅	縄文焼土跡2・中世以降ビット5	市内15
39	川崎宅地添227-1	2013.3.4・5	1,121	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内15
40	川崎1-1-7	(2013.10.11~17)	447	共同住宅	遺構なし、陶器	市内18
41	川崎字山向10-4の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
42	川崎宅地添233-3	(2015.6.26~7.2)	200	川崎集会所	平安時代住居跡1、須恵器、土師器	未報告
43	川崎字宮後165-5・8・9	(2015.6.26)	175	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
44	川崎字宅地添202-1・8	(2015.11.24~12.10) 016.1.5~20	274	分譲住宅	縄文時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1、貝塚1、地下式坑1、土坑3、 ビット7、溝1、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器	市内19
45	川崎字山向8-4、7-7・8	(2017.2.24)	255	個人住宅	溝1(近世以降か)、焙烙、石器(尖頭器あり)	未報告
46	川崎字宮前101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	性格不明遺構1、土師器、須恵器	未報告

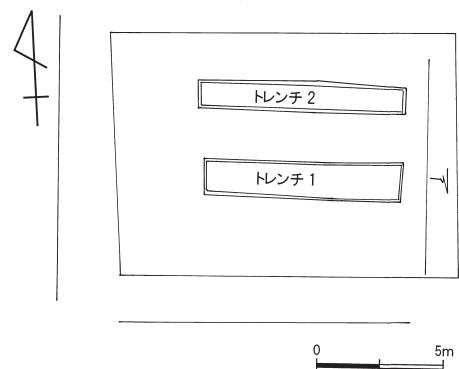
※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

## II 川崎遺跡第41地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年8月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年9月8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1~1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは10~20cmである。遺構、遺物はなし。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第7図 川崎遺跡第41地点調査区域図(1/300)

## 第4章 ハケ遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2017年3月末現在22ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に

走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

### II ハケ遺跡第15地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年3月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年4月8・9日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.2mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは20～30cmである。調査区北西隅で楕円形のプランを確認したため検出を行った。確認面の規模は東西(480)×南北(242)cm、底径(360)×(190)cm、深さ27.7cmである。土層の観察から古代以降とみられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていな



第8図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)



い。

## (2) 遺構と遺物

土坑から出土した遺物1点を掲載する。(第10図1)。胎土に繊維を含み、コンパス文に組紐施文で関山式。

## Ⅲ ハケ遺跡第17地点

### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年9月26日～30日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは30～40cmである。

近世以降の溝2本と近現代以降の陶磁器やガラス製品を廃棄したゴミ穴1基を確認し、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構と遺物

【溝】調査区の西端で溝2本を検出した。溝1は上幅50～90cm、下幅20～35cm、深さ37.5cm、溝2は上幅60～70cm、下幅20～30cm、深さ43.1cmである。覆土の観察からいずれも近世以降とみられる。

【ゴミ穴】調査区の東端で土坑1基を確認し、一部を検出した。検出部は半円形を呈し上端直径(122)cm、半截して深さ約60cmまで掘り下げたが、さらに深くまで遺物が堆積していたため調査を終了した。

遺物の一部をサンプルとして持ち帰った。近現代のゴミ穴で、陶磁器、ガラス製品等の所謂危険物を廃棄したものと考えられる。

【遺物】出土遺物は溝と遺構外出土を掲載した。(第12図63～65)。65は須恵器甕の破片で灰色。63は縄文土器片で外面に縄文を施文する。64も縄文土器で地文RL縄文に沈線間を磨消す加曾利EⅢ式。1～62はゴミ穴出土遺物である。近現代のゴミ穴である土坑から出土した遺物は、コンテナ4箱分になるため大部分を割愛した。火工廠に関連するとみられる遺物と文字や印刻などがみられるものについて掲載した。詳細については第11表参照。

第10表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴状遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480	1977.8.2～27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)
C-2次	福岡3-2068-1・2	1987.4.16～5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、掘立1	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6 H3.1月末～継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、築治屋建物跡、(礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3	2年度教育要覧 市史資料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	142	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122	個人住宅	時期不明溝1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21～22)	158	分譲住宅	縄文時代屋外埋戻し、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2～3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8～9)	184	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254-7・14・17	(2014.8.11～9.2)9.3～9	68	分譲住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	未報告
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26～30)	99	個人住宅	現代のゴミ穴1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4～10) 2015.1.6～16	511	分譲住宅	縄文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222-1、1223～1225、1255	(2015.3.17～5/11・10/13) 6/2～9/19	2,297	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土師器、埴輪	未報告
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29～30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡1、土坑1、土師器、火工廠境界杭	未報告
21	福岡3-1193-4・15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26～2017.1.19) 2017.1.25～2.8	249	はげ自治会集会所施設	古代住居跡1(H18)、土坑13、ピット13、縄文土器、土師器	未報告

Ⅳ ハケ遺跡第 16・18・19 地点

ハケ遺跡第 16・18・19 地点の調査は、平成 26(2014) 年度に行った。ハケ遺跡第 18 地点についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 17 集『市内遺跡群 16』(2016.3) ですでに試掘調査の報告と本調査の報告を行っているため、本書では割愛した。

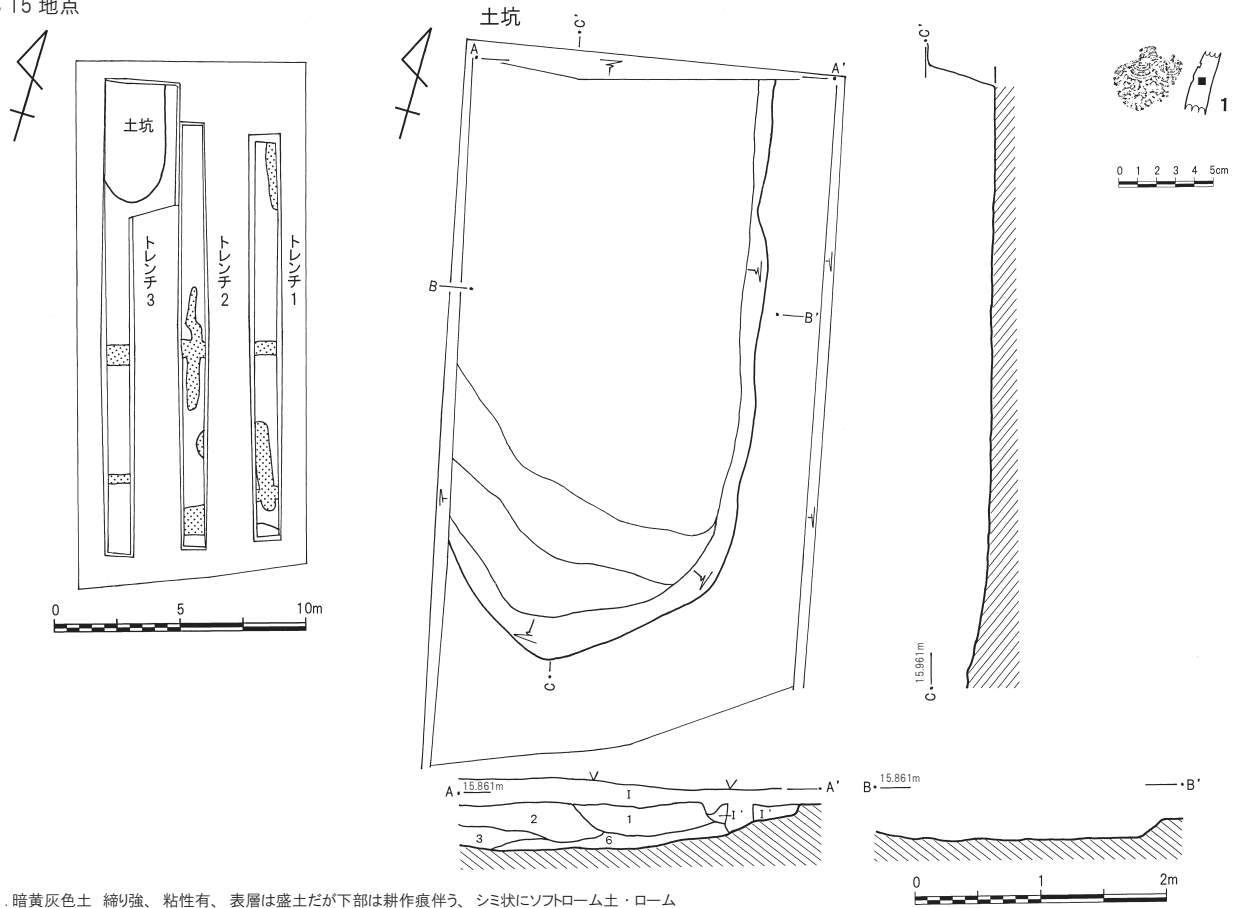
また第 16・19 地点については個人住宅建設と民間

の宅地造成に伴う本調査を実施した。特に両地点では 6 世紀代の古墳 4 基をはじめとする多数の遺構と人物埴輪等の遺物が出土した。本報告にあたっては両地点の関連性が強いと見られ、合わせて報告する事が遺跡の内容をより正確にまた詳しく報告できるため、改めて今年度に報告書の刊行を予定しており本書では割愛した。



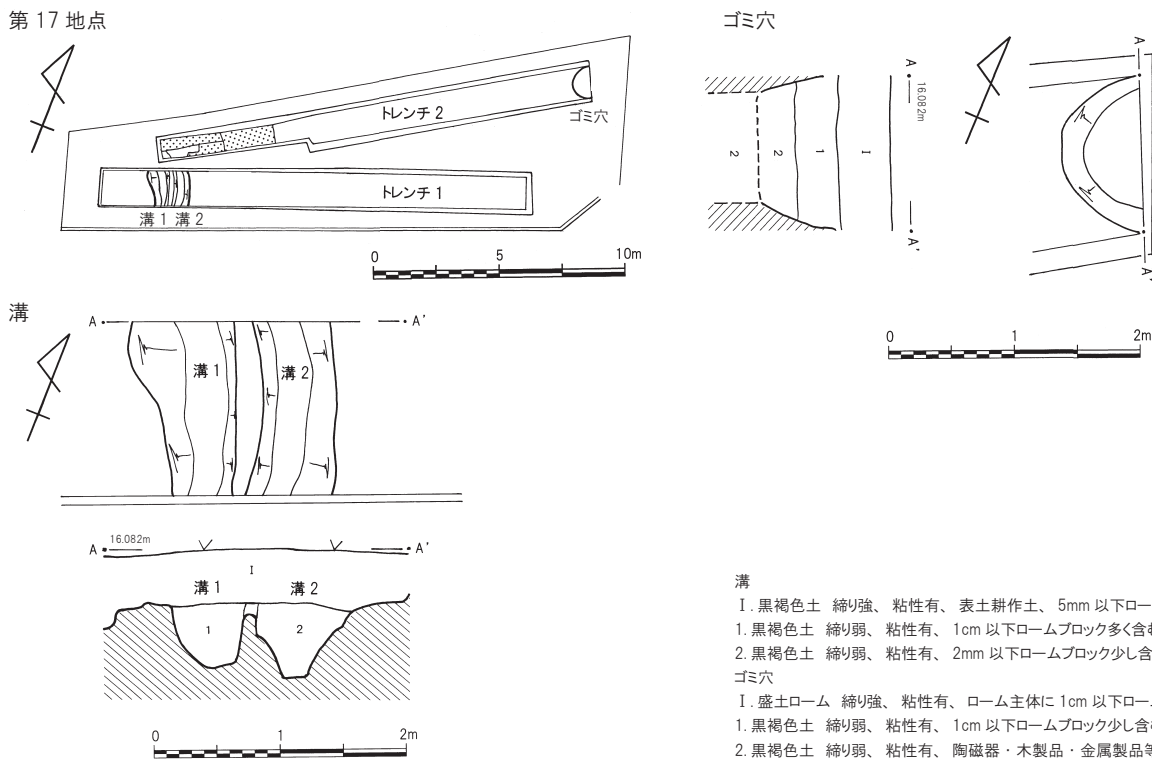
第 9 図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第15地点



- I. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、表層は盛土だが下部は耕作痕伴う、シミ状にソフトローム土・ローム粒・黒褐色土・灰色土少し含む
- I'. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に灰色土を多く含む、耕作土
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、2mm以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調は1層に似るが、3mm以下ローム粒やや多く含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調2層より明るく、黄灰色味が有る、3mm以下ローム粒多く含む
- 6. 黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土と暗黄灰色土を主体にシミ状のロームブロックを多く、5mm以下ローム粒少し含む

第17地点



- 溝
- I. 黒褐色土 締り強、粘性有、表土耕作土、5mm以下ロームブロック多く含む
- 1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm以下ロームブロック多く含む
- 2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、2mm以下ロームブロック少し含む
- ゴミ穴
- I. 盛土ローム 締り強、粘性有、ローム主体に1cm以下ロームブロック少し含む
- 1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm以下ロームブロック少し含む
- 2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、陶磁器・木製品・金属製品等多量に含む

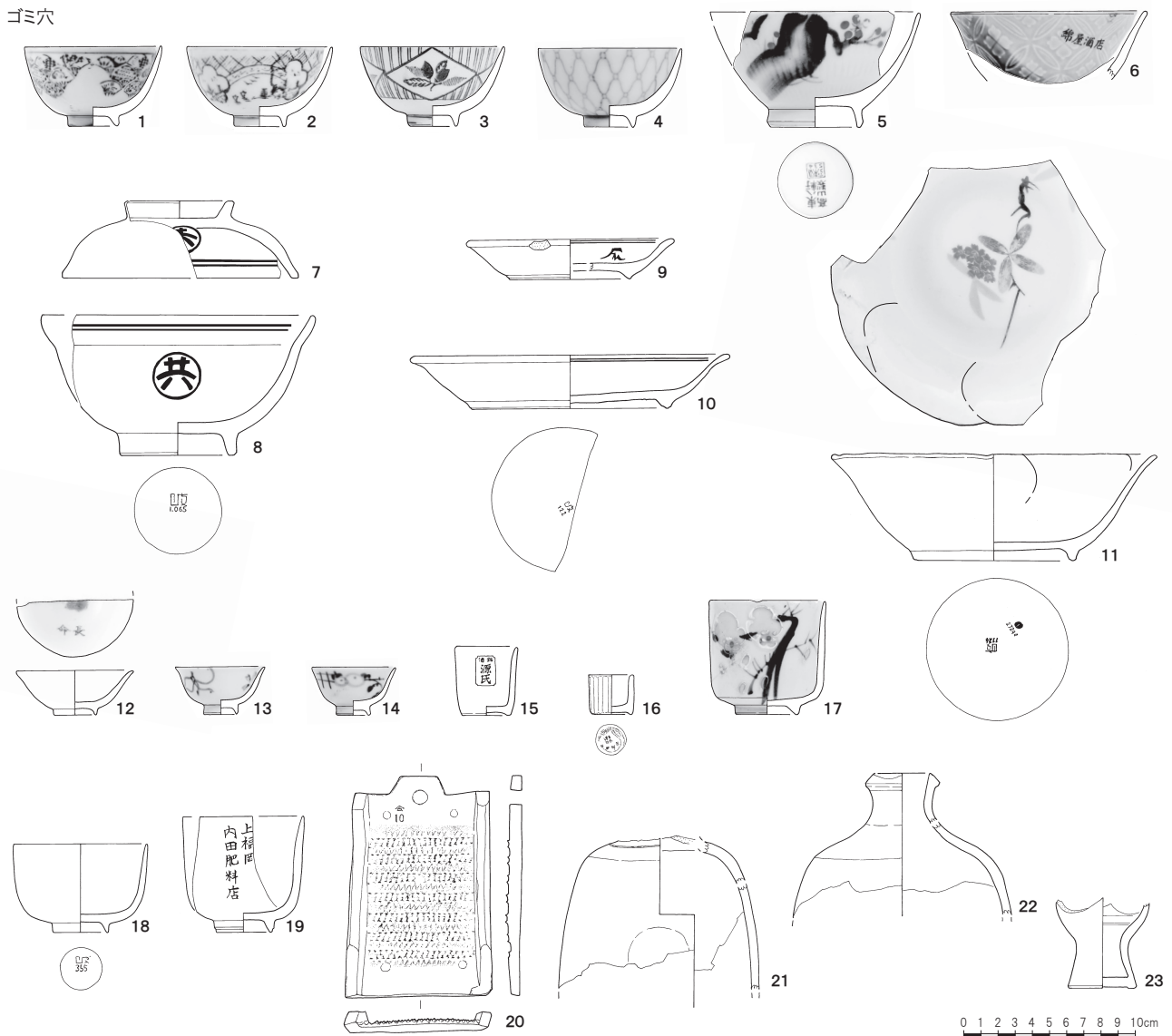
第10図 ハケ遺跡第15・17地点遺構配置図(1/300)、第15地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)、第17地点溝・ゴミ穴(1/60)

第11表 ハケ遺跡第17地点出土遺物観察表(単位 cm)

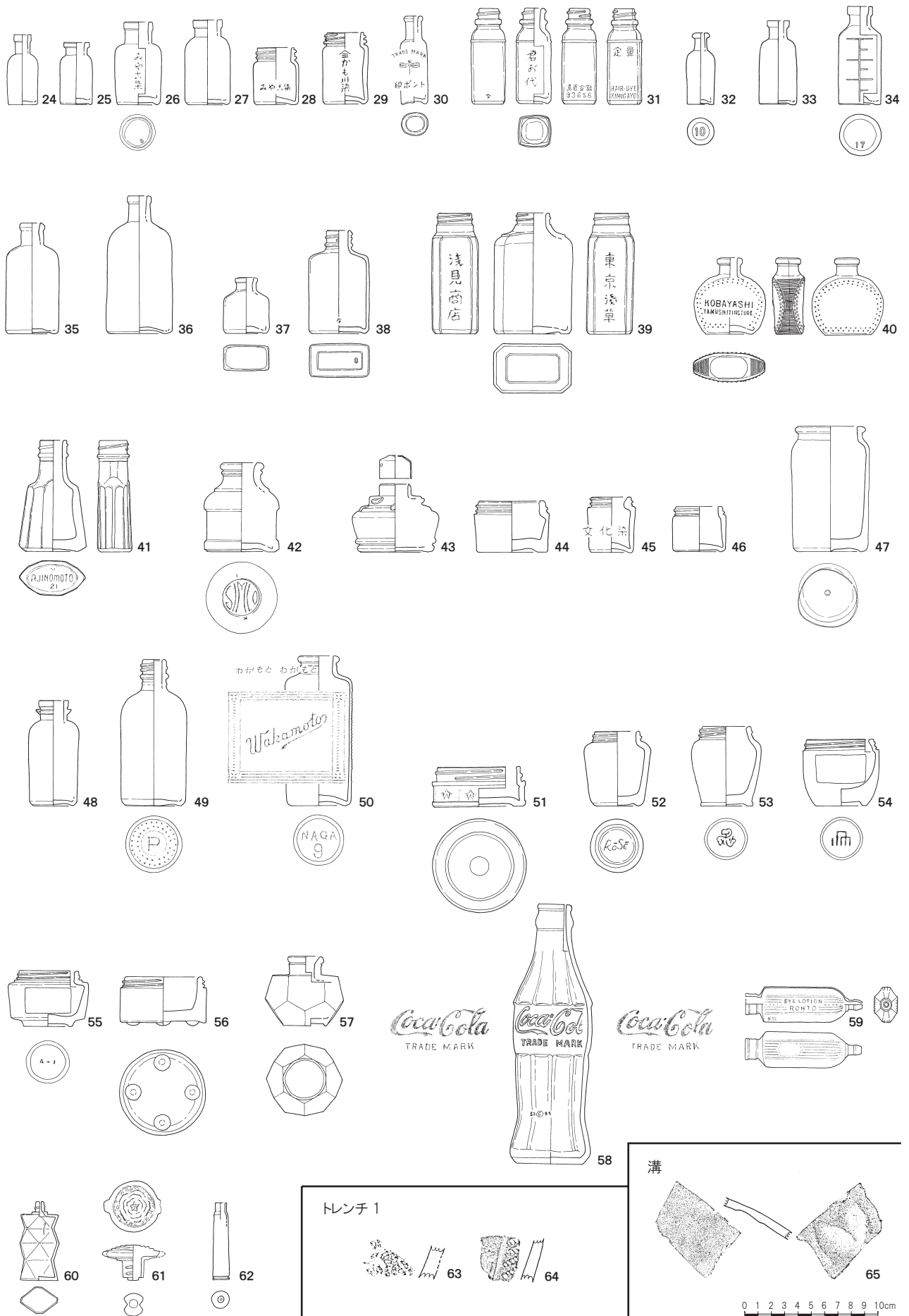
図 No	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	ゴミ穴	磁器/丸碗	8.0	3.0	4.6	轆轤成形/ゴム版絵付け/扇	瀬戸・美濃	1920年代~
2	ゴミ穴	磁器/丸碗	8.5	3.0	4.7	轆轤成形/ゴム版絵付け/梅、帆掛け舟	瀬戸・美濃	1920年代~
3	ゴミ穴	磁器/丸碗	8.5	3.1	4.7	轆轤成形/ゴム版絵付け/縦線、菱形枠内どんぐり	肥前	1920年代~
4	ゴミ穴	磁器/丸碗	8.4	3.0	4.6	轆轤成形/ゴム版絵付け/網文	瀬戸・美濃	1920年代~
5	ゴミ穴	磁器/碗	12.2	5.1	6.7	轆轤成形/外面に3列の籟文/釉下色絵、外面クロム青磁/梅樹文/高台内統制番号「東八軒高山製」534	瀬戸・美濃	1930~1940年代
6	ゴミ穴	磁器/碗	11.4	-	-	轆轤成形、外面陽刻七宝文/鉄釉・灰釉掛け/外面にゴム印「綿屋酒店」	瀬戸・美濃	20c前半
7	ゴミ穴	磁器/碗蓋	13.8	6.4	4.5	轆轤成形/酸化クロム(緑)圏線、ゴム印、円の中に「共」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
8	ゴミ穴	磁器/碗	15.9	6.8	8.2	轆轤成形/酸化クロム(緑)圏線、ゴム印/高台内に統制番号「岐1.065」、円の中に「共」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
9	ゴミ穴	磁器/皿	12.1	7.0	2.3	轆轤成形/酸化クロム(緑)圏線、ゴム印「FM」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
10	ゴミ穴	磁器/皿	18.7	11.7	3.2	轆轤成形/酸化クロム(緑)圏線、ゴム印/高台内に統制番号「岐122」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
11	ゴミ穴	磁器/輪花鉢	19.0	9.5	6.2	轆轤、型打ち成形/上絵付け、桜/高台内に統制番号印刻「岐1124」、ゴム印「○2724a」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
12	ゴミ穴	磁器/小杯	6.8	2.4	2.6	轆轤成形/見込みにも赤と銀の上絵付けで天狗、「長命」	瀬戸・美濃	20c前半
13	ゴミ穴	磁器/小杯	5.2	2.0	2.8	轆轤成形/釉下色絵/ひょうたん、桜	瀬戸・美濃	20c前半
14	ゴミ穴	磁器/小杯	4.9	2.0	2.8	轆轤成形/コバルト染付/草木文	瀬戸・美濃	20c前半
15	ゴミ穴	磁器/小杯	3.7	2.7	3.0	轆轤成形/ゴム印「銘酒 源氏」	瀬戸・美濃	20c前半
16	ゴミ穴	磁器/絵の具容器	2.6	2.5	2.3	型打ち成形/内外面に透明釉/底面にすずらん、統制番号「岐180」陽刻/東京スズランエノグ株式会社	瀬戸・美濃	1930~1940年代
17	ゴミ穴	磁器/湯飲み	6.8	3.7	6.7	轆轤成形/外面クロム青磁/釉下色絵、イッチンで梅樹文、ゴム印「福岡村 土屋米穀店」	肥前?	20c前半
18	ゴミ穴	磁器/湯飲み	7.8	3.1	5.2	轆轤成形/内外面クロム青磁/盃付に銘線/高台内統制番号「岐355」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
19	ゴミ穴	磁器/湯飲み	7.2	3.2	6.7	轆轤成形/酸化クロム染付/上絵付け「上福岡 内田肥料店」	瀬戸・美濃	20c前半
20	ゴミ穴	陶器/おろし器	12.9	8.7	0.7	板作り/表面に透明釉、統制番号「八二 10」印刻/裏面に布目跡	瀬戸・美濃	1930~1940年代
21	ゴミ穴	陶器/べこかん徳利	-	(11.8)	(8.7)	轆轤成形/鉄釉	瀬戸・美濃	1830~1860年代
22	ゴミ穴	陶器/徳利	4.3	(12.7)	(8.2)	轆轤成形/灰釉/被熱	瀬戸・美濃	1830~1860年代
23	ゴミ穴	陶器/花瓶	-	3.8	(5.1)	轆轤成形	瀬戸・美濃	20c前半
24	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.3	2.2	5.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	-	近代
25	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.0	2.7	4.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	-	近代
26	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.2	3.2	6.2	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「みや古染」陽刻	-	近代
27	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.2	3.3	6.4	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	-	近代
28	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.8	3.3	4.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「みや古染」陽刻	-	近代
29	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.8	3.4	5.4	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「かも川染」陽刻	-	近代
30	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(研磨剤)	1.4	2.0	6.6	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「TRADE MARK」、トンボ、「印ボント」陽刻	-	近代
31	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	1.5	2.6	7.2	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「君が代」、「意匠登録93658」、「定量」、「HAIR-DYE KIMIGAYO」陽刻	-	近代
32	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.3	2.0	5.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/底面に「10」陽刻	-	近代
33	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.6	2.8	6.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
34	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	3.2	6.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/目盛り、底面に「17」陽刻	-	近代
35	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	4.0	8.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
36	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.8	4.9	10.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
37	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.7	3.4	4.2	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	-	近代
38	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	4.5	7.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「ハト」、底面に「0」陽刻	-	近代
39	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.5	5.8	9.1	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「東京浅草」、「浅見商店」陽刻	-	近代
40	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(薬品)	1.9	3.6	5.8	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「KOBAYASHI TAMUSHITINCTURE」陽刻	-	近代
41	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(食品)	2.0	3.8	8.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/底面に「AJINOMOTO」、「21」陽刻	-	1909~1930年代
42	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(インク)	3.3	5.0	6.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/底面に「SIMICO」陽刻/篠崎インキ製造会社	-	近代
43	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(ランプ油)	2.4	5.0	5.1	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/銅製の蓋付き	-	近代
44	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	5.0	5.1	3.9	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
45	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	3.0	3.0	4.2	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/「文化染」陽刻	-	近代
46	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	3.6	3.6	3.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
47	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	5.2	4.8	9.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	-	近代
48	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.3	3.0	7.9	型吹き成形(割り型)/褐色・透明、気泡有	-	近代
49	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.8	4.0	11.0	型吹き成形(割り型)/褐色・透明、気泡有/底面に「P」陽刻	-	近代

図No.	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
50	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (薬品)	3.1	3.8	11.2	型吹き成形 (割り型) / 無色・透明、気泡有 / 口縁部に「わかもと」、胴部に「WAKAMOTO」、底面に「NAGA 9」陽刻	-	昭和初期
51	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶	6.2	6.5	3.0	型吹き成形 (割り型) / 無色・透明 / ☆とWを組み合わせた印を陽刻	-	近代
52	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (化粧品)	3.4	3.1	5.6	型吹き成形 (割り型) / 紺色・透明 / 底に「KOSE」陽刻	-	近代
53	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (化粧品)	3.7	3.8	6.0	型吹き成形 (割り型) / 白色・半透明 / 底に三つ葉?陽刻	-	近代
54	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (化粧品)	5.1	3.7	5.0	型吹き成形 (割り型) / 白色・半透明 / 底面に花散里マーク陽刻 / 株式会社柳屋ポマード	-	1920年代~
55	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (化粧品)	4.5	3.6	4.2	型吹き成形 (割り型) / 白色・半透明 / 底に「A-1」陽刻	-	近代
56	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (化粧品)	5.8	6.4	3.7	型吹き成形 (割り型) / 白色・半透明 / 足付き	-	近代
57	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶	2.7	3.2	5.2	型吹き成形 (割り型) / 青色・透明、気泡有	-	近代
58	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (飲料)	2.6	4.7	19.5	型吹き成形 (割り型) / 無色・透明 / 「CocaCola TRADEMARK」2ヶ所、「53©45」陽刻	-	近代
59	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶 (目薬)	0.5	1.6	8.7	型吹き成形 (割り型) / 青色・透明、気泡有 / 「EYE LOTION ROHTO」陽刻	-	昭和初期
60	ゴミ穴	ガラス製品 / 瓶	0.6	2.8	5.9	型吹き成形 (割り型) / 無色・透明	-	近代
61	ゴミ穴	ガラス製品 / 蓋	4.7	1.4	2.7	型吹き成形 (割り型) / 無色・透明、気泡有 / 上面にバラと星の陽刻	-	近代
62	ゴミ穴	金属製品 / 葉莢	0.8	1.2	5.7		-	1930~1940年代
63	トレンチ1	縄文土器 / 深鉢	-	-	1.0	胴部 / 横位の無節縄文か	-	縄文時代中期
64	トレンチ1	縄文土器 / 深鉢	-	-	0.9	胴部 / 縦位 RL 縄文、沈線間磨りけし / 加曾利 E III	-	縄文時代中期後半
65	溝	陶器 / 甕類	-	-	0.6	硬質の還元炎焼成 / 内面に指頭痕	-	中~近世

ゴミ穴



第11図 ハケ遺跡第17地点出土遺物① (1/4)



第12図 ハケ遺跡第17地点出土遺物②(1/4)

## 第5章 滝遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12 m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250 m、東西500 m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を

検出して以来2017年3月末現在、31ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。

### II 滝遺跡第24地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年6月17日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年7月16日～18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5 mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現



第13図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

地表面から遺構確認面の黒褐色土層までの深さは約60 cm、地山ローム層まで80～100 cmである。

トレンチ1とトレンチ3で遺構らしきプランを確認した。遺構の性格を確認するため一部検出を行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【土坑1】土坑1は調査区東端に位置する。

平面形態は不整形を呈する。規模は確認面径187×162 cm、底径162×160 cm、深さ30.8 cmである。

覆土層から須恵器の坏がまとまって出土した。須恵器坏の時期は8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【土坑2】土坑2は調査区の北端隅に位置する。

平面形態は円形を呈し底部が二つに分かれる。規模は確認面径117×100 cm、底径30×24 cm、深さ84.8 cmである。

覆土層から須恵器と土師器壺の口縁部が出土した。遺物の時期は7世紀後半から8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【ピット1・2】ピットはトレンチ3で2基検出した。ピット1とピット2は接する。土層の観察から古代以降とみられる。

ピット1の平面形態は不整形であるが底部は長方形である。規模は確認面径60×45 cm、底径20×10 cm、深さ61.4 cmである。

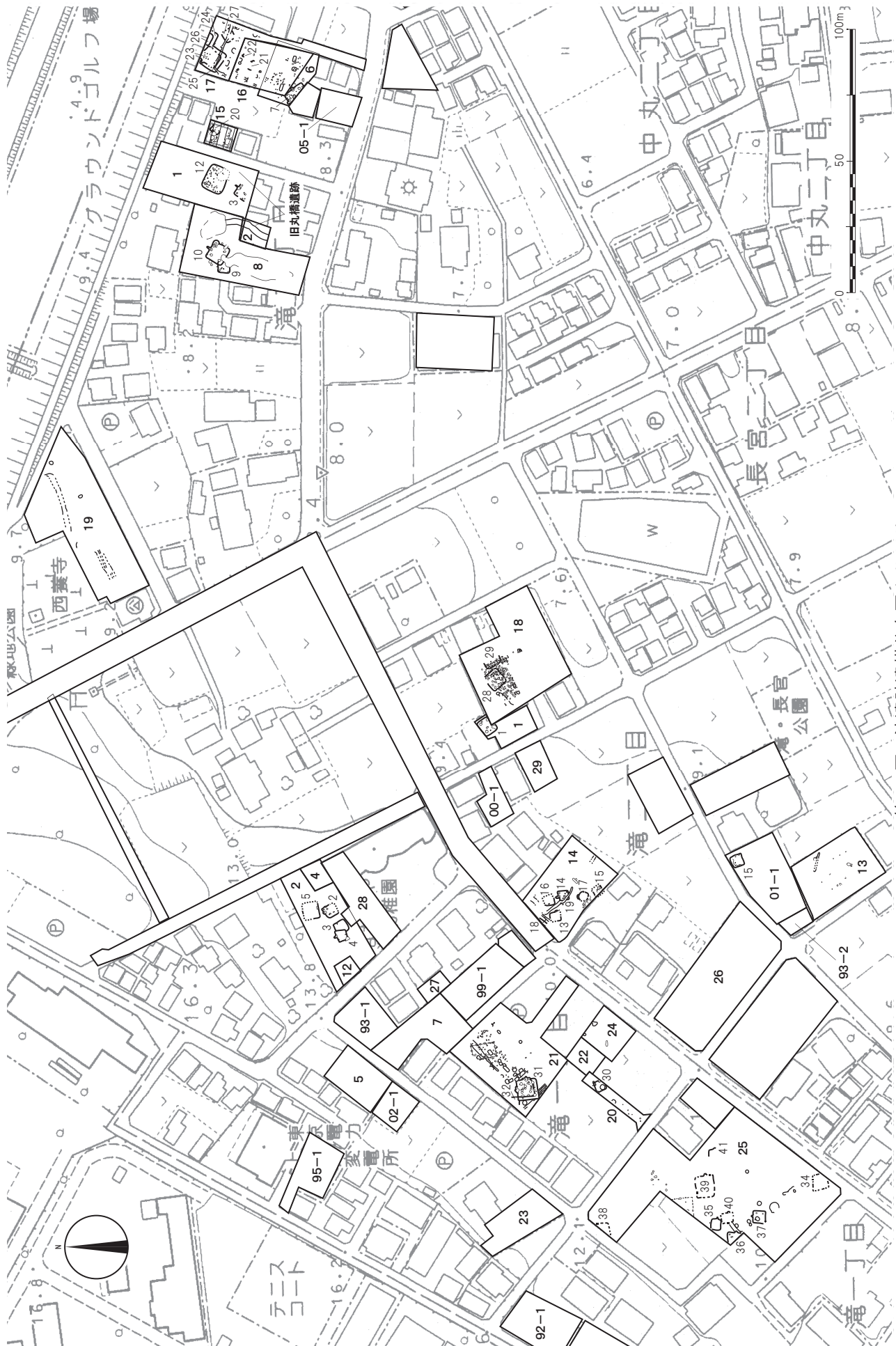
ピット2の平面形態は不整形である。規模は確認面

第12表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋1次	滝3-3-77~81	(1976.6.26~27) 1976.7.24~8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26~8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2~13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
2次	滝1-4-2	1979.4.15~5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、周溝、土坑、長襲、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27~7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.7~12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
5次	滝1-3-21	1980.7.20~31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20~12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30・31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14~26	990	住宅建設	古墳住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28~30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22~24	94	住宅建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6~8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ5)	
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23~28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ6)	
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ6)	
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27~30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅰ8)	
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21~26)	511.09	宅地造成(土地分譲)	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ2)	
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23・24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ3)	
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17~20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ4)	
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29・30)	165	個人住宅	権現山遺跡17地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅱ5)	
05試(1)	滝3-3-5・143	(2005.6.24~27)	350	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群1	
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし		
12	滝2-5-3・4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群3	
13	滝2-2-6	2007.10.24~11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2、ピット8	市内遺跡群4	
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8~19) 2007.11.20~12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器	市内遺跡群4	
15	滝3-3-84	(2009.9.2~14) 2009.10.23~11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群7	
16	滝3-145	(2009.12.2~14)	434	宅地造成	ピット3	市内遺跡群8	
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6~6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石	市内遺跡群10	
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6~13) 2011.6.14~7.14	1164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等	市内遺跡群14	
19	滝3-4-2	(2011.10.17~24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、陶磁器等	市内遺跡群14	
20	滝1-8・9	(2012.5.9~11)	124.45	道路築造	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ピット	市内遺跡群12	
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11~21) 2012.7.17~8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶付住居跡1(H31)・奈良平安時代住居跡2(H32・H33)、 独立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	市内遺跡群12	
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16~18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ピット2	市内遺跡群20	
25	滝1-2-4・32	(2014.7.18~8.26) 2014.9.8~10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34~H41)、 掘立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、須恵器、土器	市内遺跡群16	
26	滝2-5-6・8	(2015.10.19~27) (2016.8.24~9.9) 2015.11.9・10	1,231	個人住宅及び貸家住宅	縄文時代落とし穴1、 古代住居跡2(H42・H44)、 時代不明井戸5、土坑7、 ピット46、縄文土器、石器、土師器	未報告	
27	滝1-1-25	(2015.11.27~12.1)	155	分譲住宅	古代住居跡1(H43)、 ピット、土師器、硯	未報告	
28	滝1-4-4・26・27	(2016.9.3~6)	2,492	幼稚園舎建設	住居跡1、土師器、支脚	未報告	
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器	未報告	
30	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器	未報告	
31	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	109	個人住宅	遺構遺物なし	未報告	

\*理：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教委：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



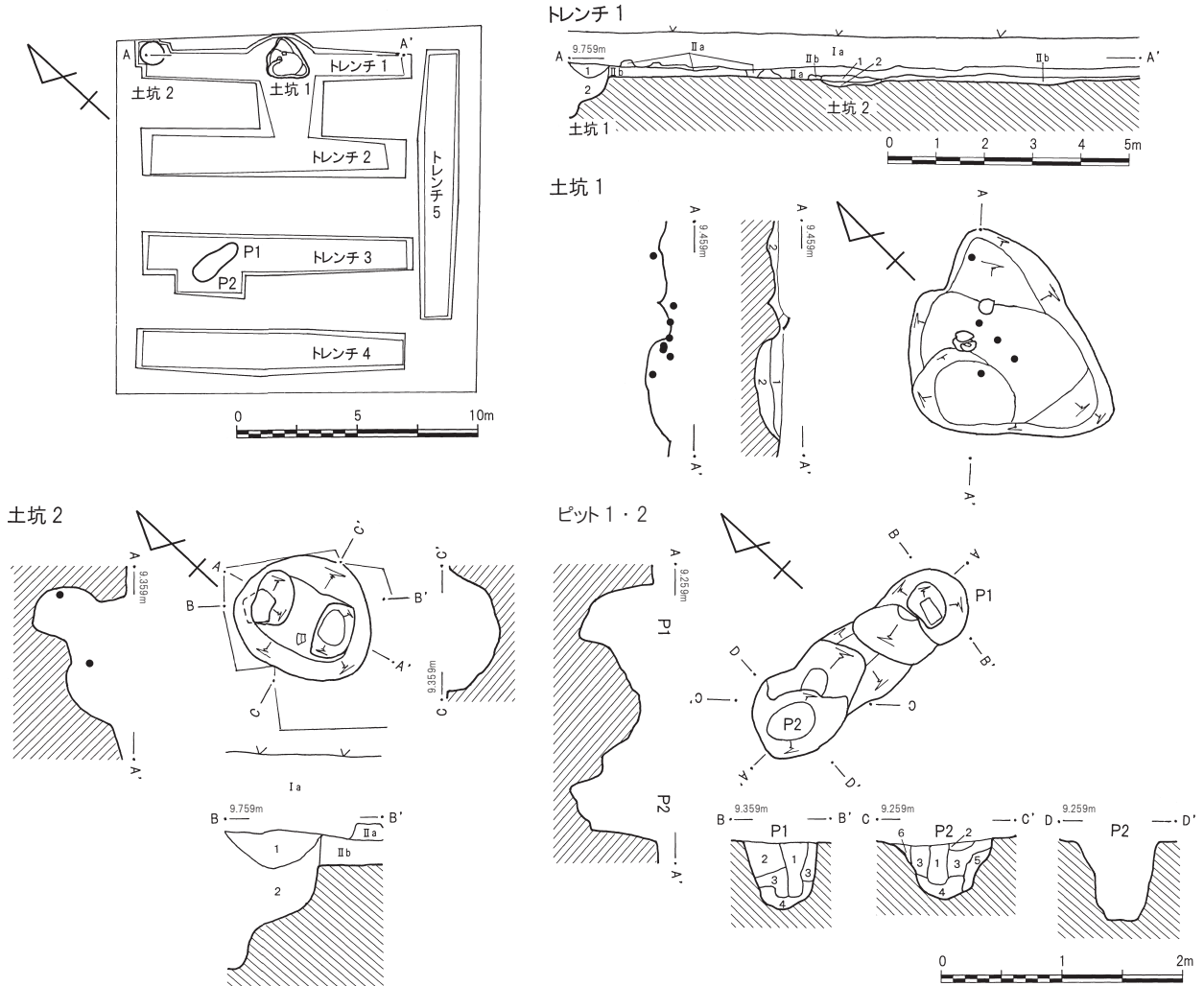


第14図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

径60×45cm、底径42×28cm、深さ73.6cmである。  
**【出土遺物】**第24地点出土遺物は、土坑1・2と遺構外出土のものを16点掲載した。各遺物の詳細は第13表のとおりである。

1～9は土坑1出土である。1～4は須恵器の坏で胎土に海綿状骨針を含む。底部は回転糸切後に回転篋削りを行う。5は大型の底部で1～4同様である。6、

7は土師器の坏である。6は続比企型坏。8、9は羽口の先端部である。本地点の北側約25mに位置する第21地点H31B号住居跡には鍛冶炉が確認されている。また羽口、鉄滓、炭化物等の鍛冶関連遺物が出土しており、今回出土した羽口との関連も考慮する必要がある。10～13は土坑2、14～16は遺構外出土である。土坑1出土遺物は8世紀前半である。



表土

I a. 暗黄灰色土 締り弱～強、粘性有、耕作土、上部は締り弱い自然堆積

II a. 黒褐色土 締り強、粘性有、混入物は少ない、シミ状にII b層土少し含む

II b. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、漸移層、混入物は少ない

土坑1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、II aより黒色味強い、シミ状にII b層土・2mm以下ローム粒少し含む、壁際はやや酸化が目立つ

2. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土主体にシミ状のロームブロック・黒褐色土(9cm以下)多く、斑状に含む

P1

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、やや色調明るめ、5mm以下ロームブロック・シミ状に1cm以下暗黄灰色土ブロック少し含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より黒色味強い、5～10mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む

4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土・暗黄灰色土・黒褐色土が混ざる

P2

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む、P1の1層に似る

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、5mm以下ローム粒多く含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に4cm以下暗褐色土ブロック多く、5mm以下ローム粒少し含む

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、4cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む、ベースの色は黒色味強い

5. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む

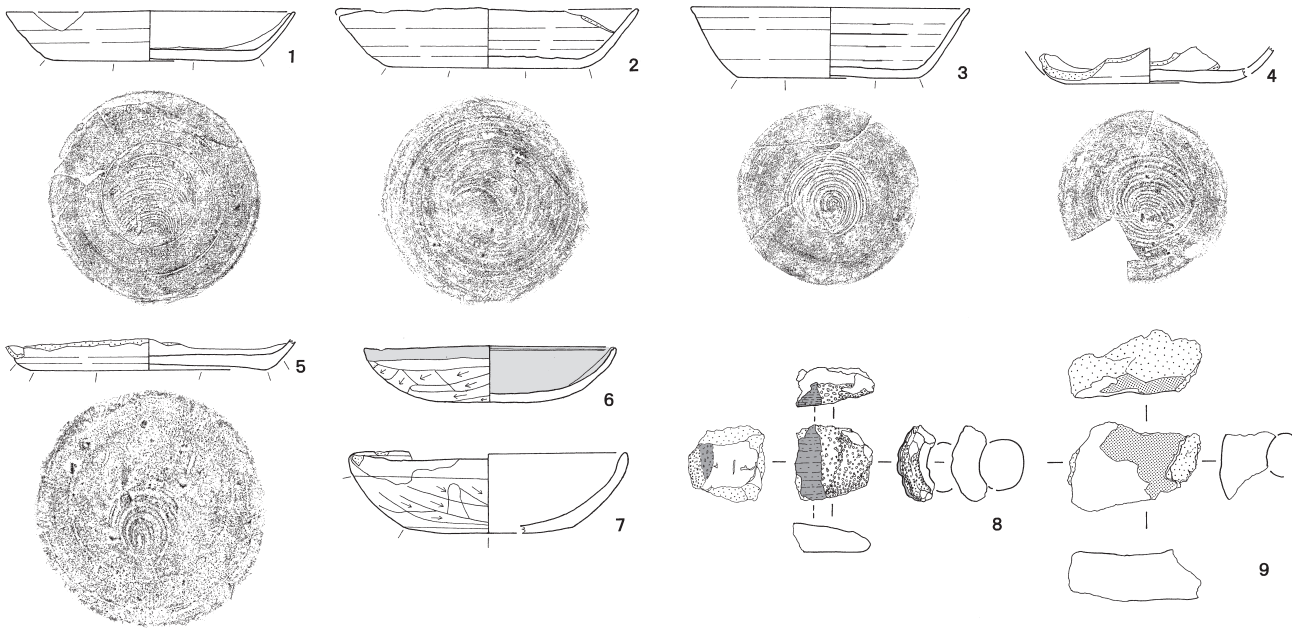
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、3mm以下ローム粒少し含む

第15図 滝遺跡第24地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)

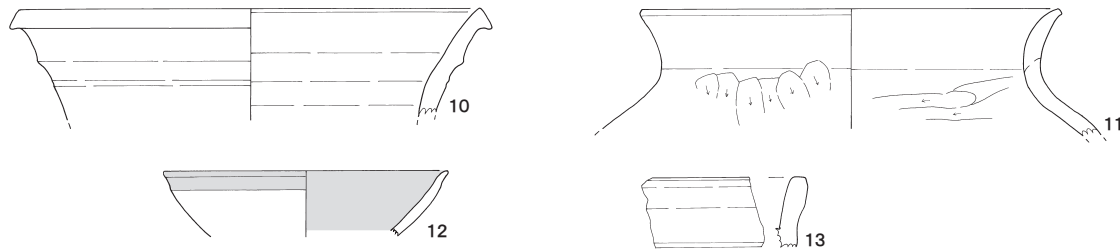
第13表 滝遺跡第24地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図No.	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑1	須恵器・坏	15.3	11.3	2.6	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む、口縁部にスス附着	南比企産	8世紀前半
2	土坑1	須恵器・坏	15.8	10.7	3.1	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半
3	土坑1	須恵器・坏	14.6	9.5	3.8	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半～中葉
4	土坑1	須恵器・坏	(13.1)	9.0	(2.0)	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半
5	土坑1	須恵器・坏	(15.3)	12.5	(1.6)	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む・底部内面に剥離痕	南比企産	8世紀前半
6	土坑1	土師器・坏	13.4	8.4	3.0	外面へら削り、内面と外面口縁部に赤彩	-	8世紀前半
7	土坑1	土師器・坏	14.8	8.8	4.2	外面へら削り	-	8世紀前半
8	土坑1	羽口	(4.1)	(4.1)	(1.4)	鍛冶用羽口先端部・外面と外面先端発泡・内外面灰色に被熱・外面ケズリ調整	-	-
9	土坑1	羽口	(7.0)	(4.6)	2.4	鍛冶用羽口体部・外面一部が灰色に被熱・胎土に炭状繊維含む	-	-
10	土坑2	須恵器・甕	(24.4)	-	(5.7)	口縁部内外面ナデ・胎土に海綿骨針含む	南比企産	7世紀末～8世紀前半
11	土坑2	土師器・甕	(22.0)	-	(6.7)	口縁部ナデ・外面体部へら削り・内面体部ナデ・還元	-	8世紀前半～中葉
12	土坑2	土師器・坏	(15.0)	-	(4.5)	内面と外面口縁部に赤彩あり	-	8世紀前半
13	土坑2	須恵器・甕	(6.6)	(3.0)	(1.0)	口縁部のみ残存	-	-
14	遺構外	縄文土器・深鉢	(4.4)	(7.6)	(1.8)	縦位LR・隆帯懸垂文	-	中期・加曾利E
15	遺構外	縄文土器・深鉢	(3.2)	(3.1)	(1.0)	縦位櫛歯状工具文	-	中期・曾利系
16	遺構外	須恵器・甕	(4.5)	(9.4)	(1.0)	外面平行タキ後回転ナデ調整・内面回転ナデ調整・外面に自然軸・胎土に海綿骨針含む	南比企産	-

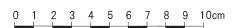
土坑1



土坑2



遺構外



第16図 滝遺跡第24地点出土遺物(1/4)

## 第6章 長宮遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅 100 m ほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500 m 南側には福岡江川が流れ、標高 9 ~ 10 m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 300 m、東西 500 m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977 年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構

群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより 2017 年 3 月末現在 53 ケ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

長宮遺跡第 44 地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 14 集『市内遺跡群 13』（2015.3）で報告済みのため、本書では割愛した。

### II 長宮遺跡第 48 地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 3 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は 2014 年 4 月 2 日～8 日まで行った。幅約 1.5 ~ 1.8 m のトレンチ合わせて 6 本を設定し、重



第 17 図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、井戸1基と溝1本を確認した。遺構確認面までの深さは約55～70cmであり、一部を拡張して調査を行った。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構

【井戸】調査区の北側トレンチ2に位置する。平面形態はほぼ円形を呈する。規模は確認面径172×163cm、底径75×75cm、深さ181.4cmである。出土遺物は無く時期は不明である。

【溝】溝はトレンチ1・4で確認され、同一の遺構と考えられる。調査区の南東隅で「く」の字状に屈曲するとみられ、断面は「V」字形に広く開くが全容は不明である。規模は上幅150cm以上でトレンチ4で確認された。下幅は約30cm、深さは地表面から140cm以上である。

## Ⅲ 長宮遺跡第49地点

### (1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡

範囲の北東端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年10月23日～30日まで行った。幅約1～1.5mのトレンチ合わせて5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、炉穴5ヶ所を確認した。遺構確認面までの深さは約80～100cmであり、30cm以上の保護層が確保されるため、一部の調査を行った。出土遺物はない。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構

【炉穴1】トレンチ4に位置する。平面形態は不整楕円形を呈する。規模は確認面径55×39cm、底径12×8cm、深さ13.4cmである。焼土範囲は確認面径に同じで、全体に焼土が広がる。

【炉穴2】トレンチ4に位置する。削平とトレンチ外に延びるため全容は不明である。焼土範囲の規模は(36×8)cm、厚さ4cmである。

【炉穴3】トレンチ4に位置する。トレンチの断面でのみ確認されたため全容は不明である。焼土範囲の規模は幅31cm、厚さ13cmである。

【炉穴4】トレンチ5に位置する。平面形態は楕円形を呈する。規模は確認面径48×37cm、底径12×9cm、

第14表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
25	中丸1-4-8	(2007.2.15・16)	1,161	個人住宅	ビット3、縄文土器・石器他	市内3
26	西原2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮2-1-4	(2007.5.30・31)	175	個人住宅	溝。保存措置	市内4
28	長宮2-1-8	(2007.5.31～6.5) 2007.6.6～22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ビット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内4
工事立会	西原2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.11.20～12.3) 12.4・5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ビット10、縄文土器、中近世土器他	市内4
30	長宮2-4-6	(2009.9.28～11.2) 11.4～12.8	1,362.10	高齢者福祉施設	中近世土坑、井戸、ビット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内7、8
31	欠番					
32	長宮2-1-18	(2010.1.15～25) 2.4～26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ビット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内7、8
33	中丸1-3-2	(2011.5.19～31)	534	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、土坑4、ビット13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内14
34	中丸2-2-2、46	(2011.6.27～7.16) 11.2～12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	市内11
35	上ノ原3-1-4	(2011.9.9～26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代炉穴1、土器、石鏃	市内14
36	長宮2-4-3	(2011.10.4～17) 10.21～11.14	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、溝16、ビット20、板碑他	市内11
37	上ノ原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14
38	長宮1-4-27	(2011.11.24・25)	101	分譲住宅	なし	市内14
39	長宮2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14
40	西原2-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内15
41	福岡字丸橋988-1～3、989-2～5990-3	(2012.4.17～25) 6.11～7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代炉穴10、縄文時代前期住居跡6、落とし穴2、土坑27、ビット190、溝4、縄文前期土器片、石器、近世陶磁器	市内12
42	仲丸1-2-2-4	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15
43	長宮2-1-72	(2013.2.27～3.1)	231	個人住宅	中世～近世溝2・土坑3・ビット17、土器、磁器	市内15
44	中丸1-3-3、1-4-5	(2013.5.14～6.24) 6.25～7.30	2,128	分譲住宅	縄文前期住居跡1、炉穴6、落とし穴1、土坑15、井戸5、溝9、ビット4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以降の陶磁器や板碑	市内13
45	中丸1-3-17・18、3-5	(2013.8.7～10)	119	道路築造	溝2、土師器、石器、板碑	市内18
46	中丸2-22・13	(2013.9.6～10)	488	高齢者デイサービスセンター	遺構なし、磁器	市内18
47	上ノ原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内18
48	上ノ原3-6-1	(2014.4.2～8)	555	分譲住宅	井戸1、溝1、遺物なし	市内20
49	中丸2-2-4	(2014.10.23～30)	293	共同住宅	焼土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内20
50	中丸1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内20
51	中丸2-3-45・46	(2012.4.5)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内15
52	中丸1-3-24	(2016.3.11～18)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ビット6、溝2、遺物なし	未報告
53	上ノ原3-6-3	(2016.7.11)	223	共同住宅	遺構なし、土器、陶磁器	未報告



第18図 長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)

深さ4cmである。焼土範囲は楕円形で36×31cmに広がる。

【炉穴5】トレンチ5に位置する。攪乱により全容は不明である。検出部の平面形態は弧状を呈する。規模は確認面径50×26cm、深さ32cmである。焼土範囲は楕円形で94×26cmで掘り込みの外側にも広がる。

IV 長宮遺跡第50地点

(1) 調査の概要

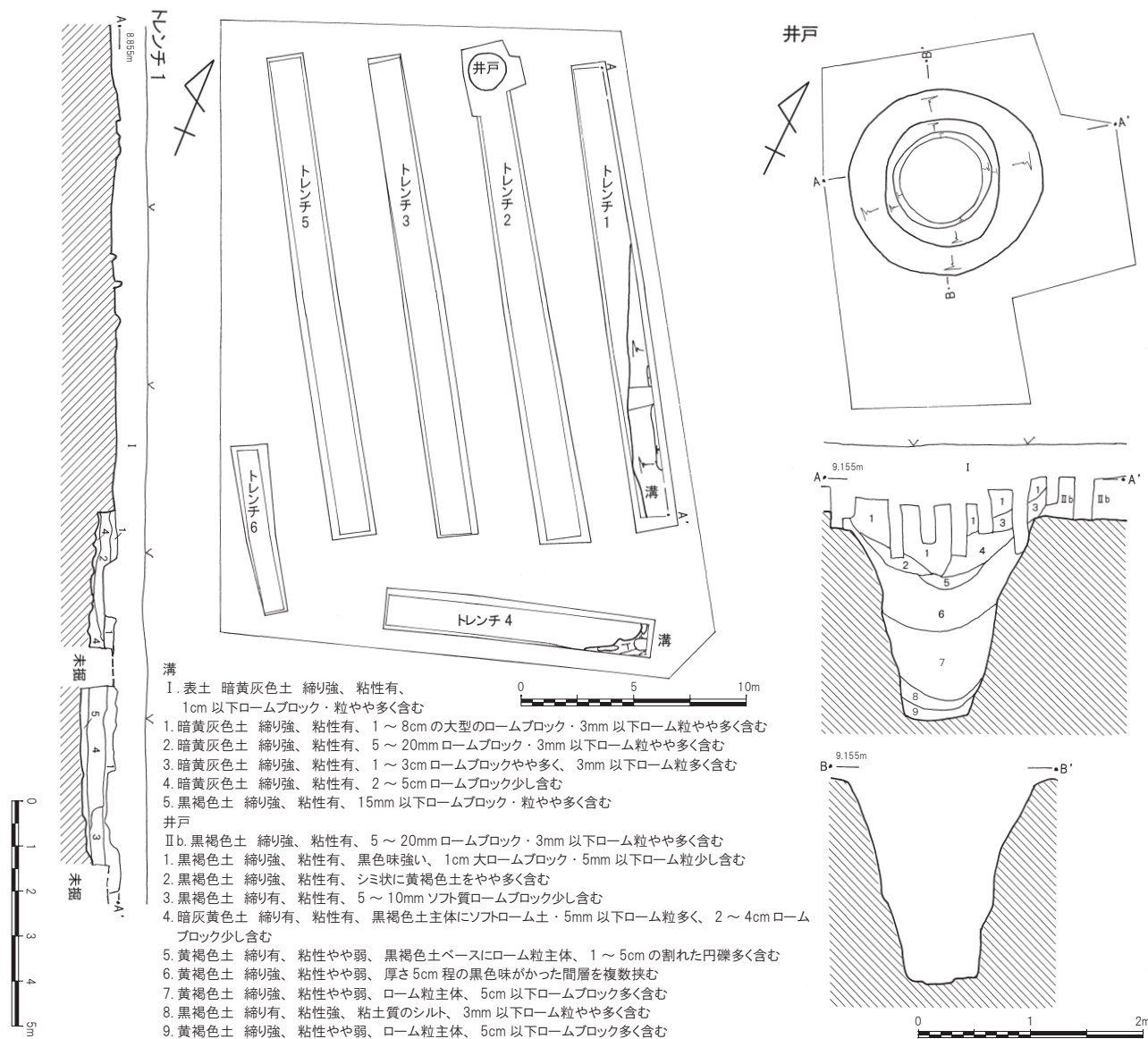
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年2月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2015年3月16日に行った。幅約1mのトレンチ4本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行った結果、遺構として扱っていないが近世以降とみられる溝2本を確認した。地山ローム層までの深さは約60～80cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。第21図1～6の遺物は全て表土層出土で詳細は第15表参照。

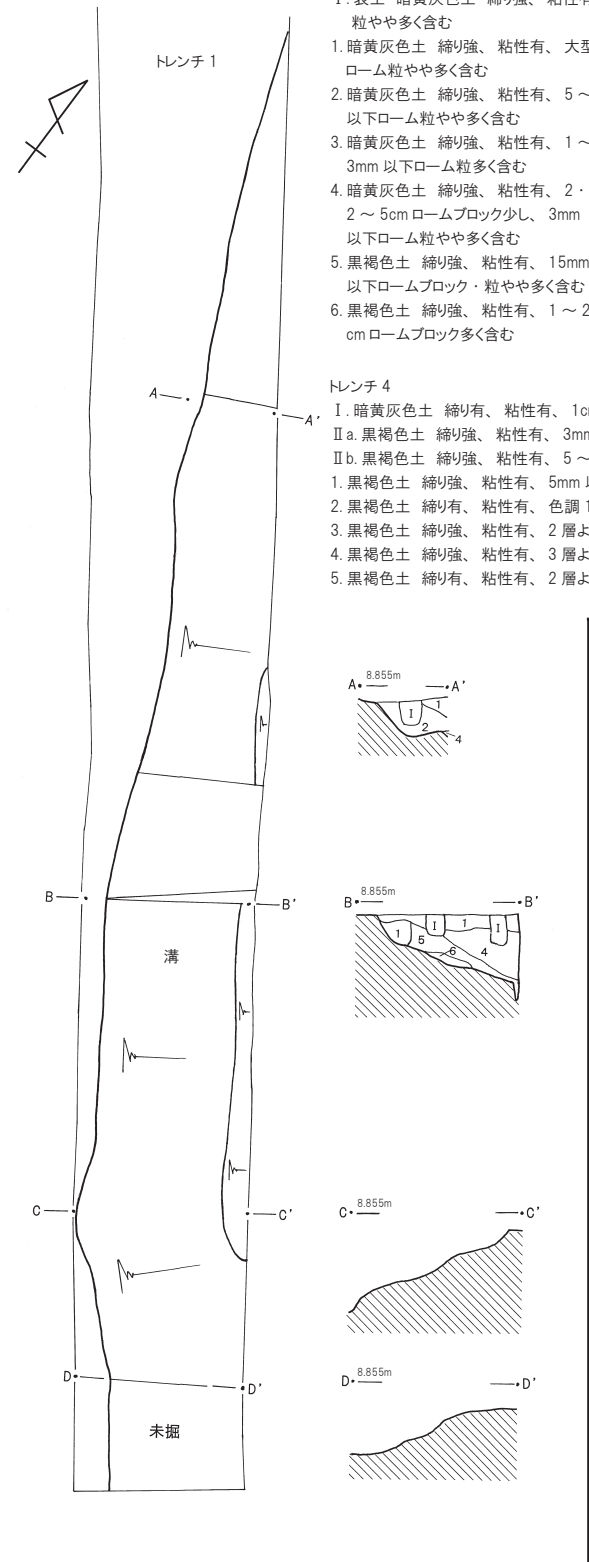
第15表 長宮遺跡第50地点出土遺物観察表(単位cm)

図No	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	遺構外	磁器/丸碗	—	—	—	轆轤成形/染付、唐草文/呉須発色悪い	肥前	18c～19c
2	遺構外	陶器/土瓶蓋	7.5	3.0	1.9	轆轤成形、つまみ貼り付け/上面灰釉、緑釉で文様、下面無釉、糸切り底	瀬戸・美濃	19c
3	遺構外	陶器/徳利	—	9.9	—	轆轤成形、削り出し高台/外面灰釉	瀬戸・美濃	19c
4	遺構外	陶器/鉢類	—	9.8	—	轆轤成形/内外面灰釉、高台無釉/内面に目跡	瀬戸・美濃	1800～1860
5	遺構外	土器/不明	—	—	—	輪積み成形、ナデ/胎土に小レキ・雲母を含む	—	—
6	遺構外	鉄製品/不明	(4.4)	1.4	0.6	鉄芯を銅板で巻く/片面に印刷有	—	近代



第19図 長宮遺跡第48地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸(1/60)

第 48 地点

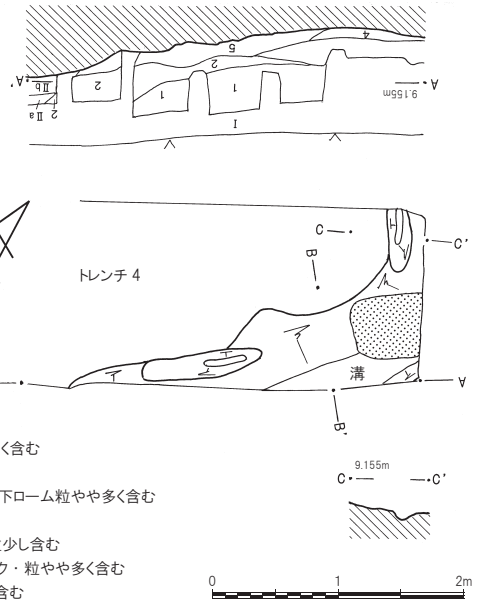


トレンチ 1

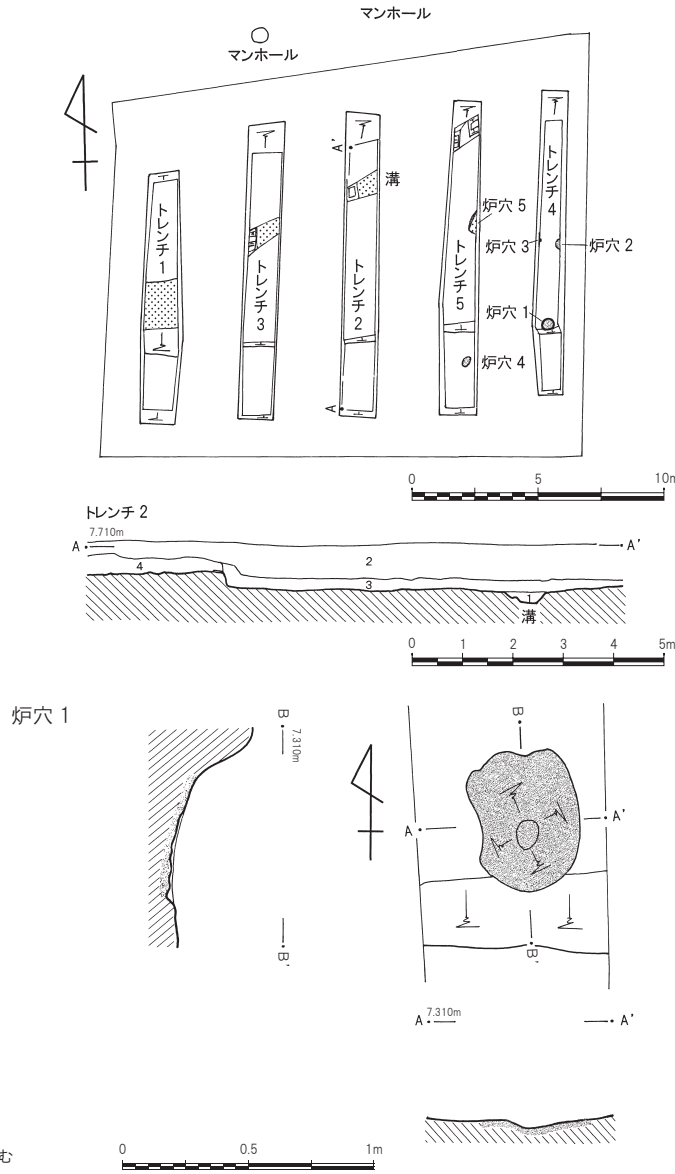
- I. 表土 暗黄灰色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
- 1. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、大型のロームブロック・3mm 以下ローム粒やや多く含む
- 2. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、5 ~ 20mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒やや多く含む
- 3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、1 ~ 3cm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒多く含む
- 4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2・3 層に似るが締り強め、2 ~ 5cm ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒やや多く含む
- 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、15mm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
- 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 2 cm ロームブロック多く含む

トレンチ 4

- I. 暗黄灰色土 締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
- II a. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
- II b. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 20mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒やや多く含む
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、色調 1 層より暗く、5mm 以下ローム粒少し含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2 層より明るく、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3 層より暗く、5mm 以下ローム粒少し含む
- 5. 黒褐色土 締り有、粘性有、2 層より暗く、5 ~ 60mm ロームブロックやや多く含む



第 49 地点

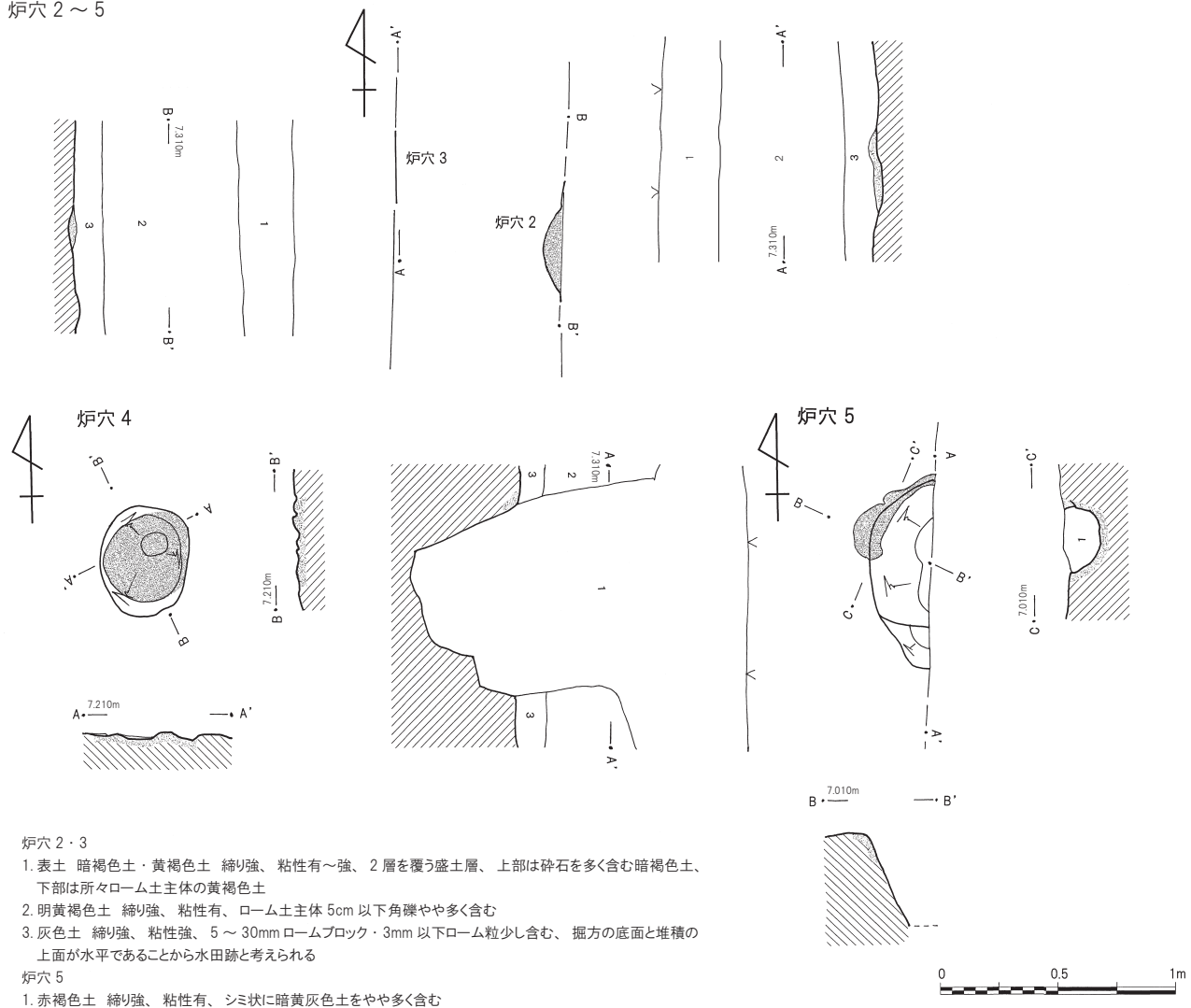


- 1. 溝 (攪乱) 水のしみ出しが認められる、ピニールを伴う
- 2. 明黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体 5cm 以下角礫やや多く含む
- 3. 灰色土 締り強、粘性強、5 ~ 30mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む、掘方の底面と堆積の上面が水平であることから水田跡と考えられる
- 4. 灰色土 締り強、粘性有、5 ~ 100mm ロームブロック・5mm 未満ローム粒やや多く含む

第 20 図 長宮遺跡第 48 地点溝 (1/60)、第 49 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、炉穴① (1/30)



炉穴 2 ~ 5



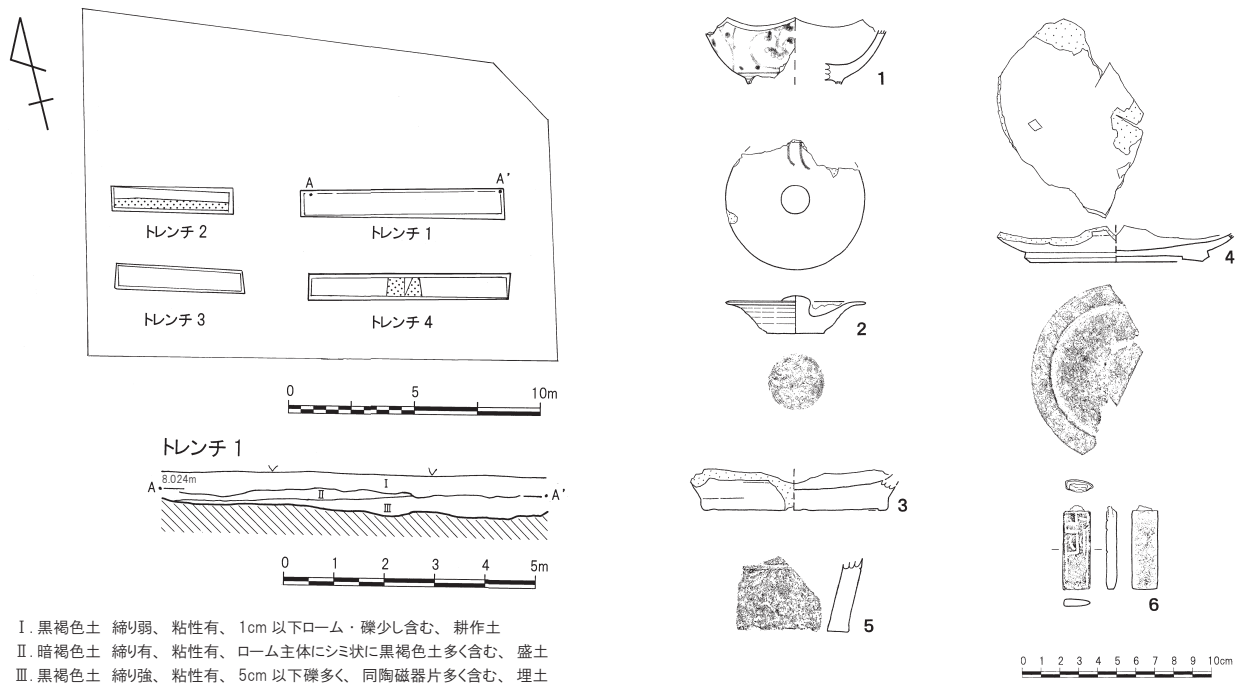
炉穴 2・3

1. 表土 暗褐色土・黄褐色土 締り強、粘性有～強、2層を覆う盛土層、上部は碎石を多く含む暗褐色土、下部は所々ローム土主体の黄褐色土
2. 明黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体 5cm 以下角礫やや多く含む
3. 灰色土 締り強、粘性強、5 ~ 30mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む、掘方の底面と堆積の上面が水平であることから水田跡と考えられる

炉穴 5

1. 赤褐色土 締り強、粘性有、シミ状に暗黄灰色土をやや多く含む

第50地点



- I. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm 以下ローム・礫少し含む、耕作土
- II. 暗褐色土 締り有、粘性有、ローム主体にシミ状に黒褐色土多く含む、盛土
- III. 黒褐色土 締り強、粘性有、5cm 以下礫多く、同陶磁器片多く含む、埋土

第21図 長宮遺跡第49地点炉穴② (1/30)、第50地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)

## 第7章 亀居遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25～26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2017年3月末現在77地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋甕2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

### II 亀居遺跡第73地点

#### (1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2014年

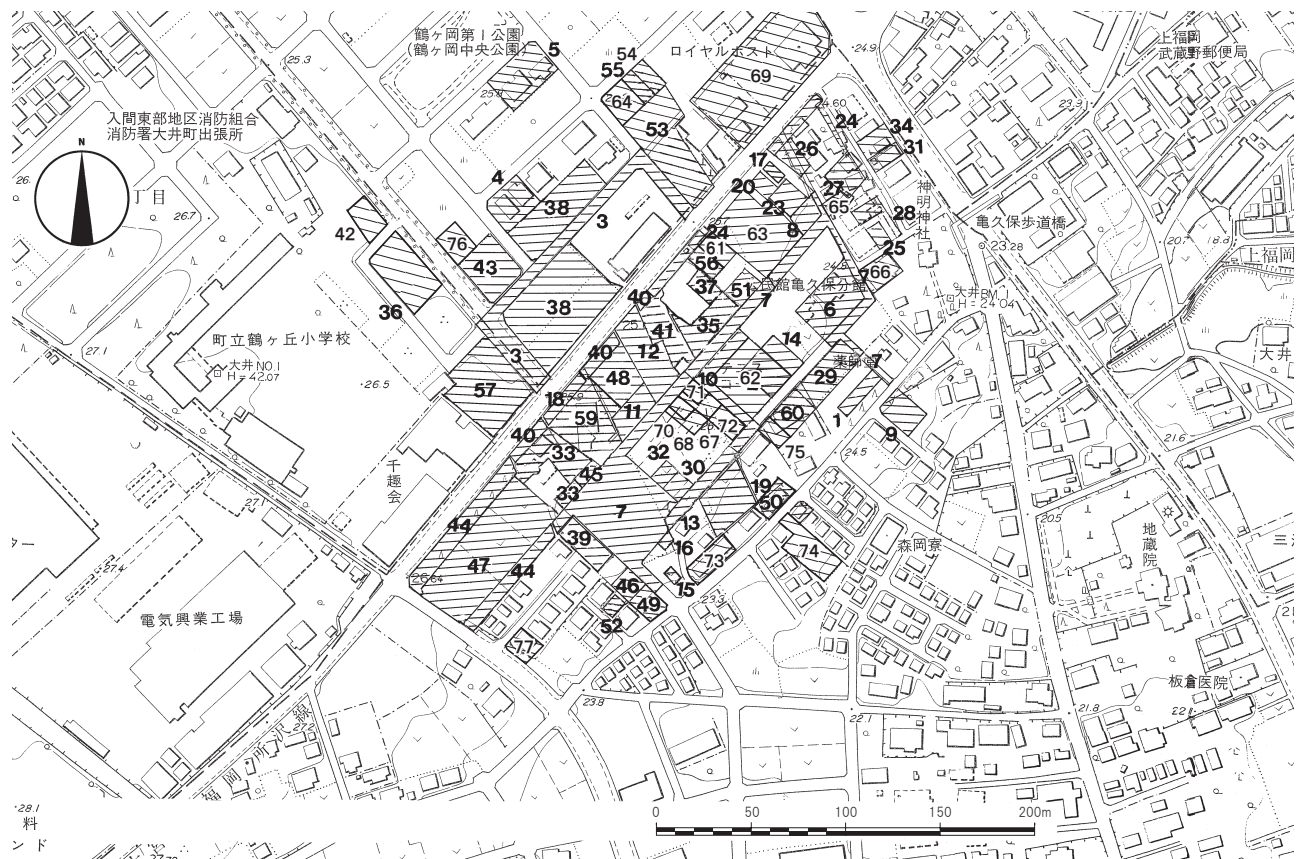
6月26日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年7月8日に行った。幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～40cmであった。遺構は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。第24図1の縄文土器は表土層採取である。胎土に金雲母を含み無文の阿玉台式である。

### III 亀居遺跡第74地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅に伴うもので、原因者より2014年11月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。試掘調査は2014年



第22図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

11月27日～12月4日まで行った。幅約1.5mのトレンチ4本を設定し重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmであった。トレンチ4で遺構らしきプランを確認したので検出を行った。写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。30cm以上の保護層が確保されるため、工事立会の措置とした。

### (2) 遺構と遺物

【土坑】調査区東側のトレンチ4で土坑1基を検出した。平面形態は円形を呈する。規模は確認面径110×

110cm、底径91×87cm、深さ34.3cmである。出土遺物はないが土層の観察から縄文時代とみられる。

【出土遺物】(第24図1～7)土器片は全てトレンチの表土層出土である。1は波状口縁部で沈線文を施す。2も波状口縁部で連続爪形押圧文(キャタピラ文)の区画内に三角押文を施す。3は隆帯の脇に角押文と切り出しナイフ状工具の押引文を施す。一部隆帯上には連続刺突を施す。4は大きな連続爪形文を施す。5は押引文を施す。6は無文、7は沈線文を施す。1～5は中期阿玉台式、6・7は中期である。

第16表 亀居遺跡調査一覧表

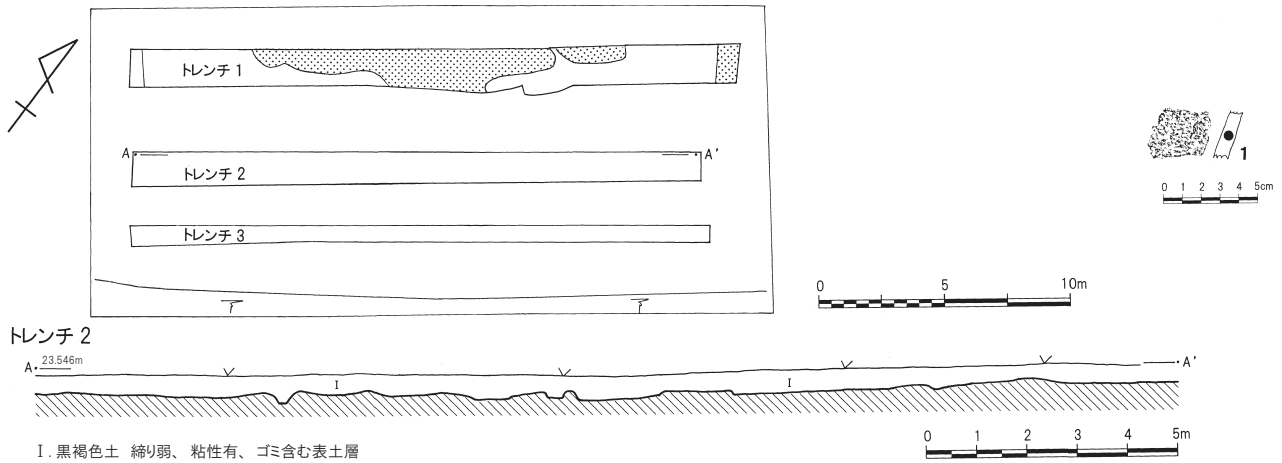
地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	遺構と遺物					所収報告書
					住居	集石土坑	土坑	ピット	屋外埋蔵	
1	亀久保1001	1972	155	農地転用	遺構なし					町史資料編1、調査会報告8集
2	亀久保1005	1973	350	農地転用	遺構なし					
3	鶴ヶ岡161-1	1979.11～12	750	区画整理	2	1	6		1	東部遺跡群I、調査会報告8集
4	鶴ヶ岡2-2	(1984)試掘		区画整理	遺構なし					
5	鶴ヶ岡2-4-3	(1984)試掘		区画整理				1		
6	亀久保1000	1985	914	区画整理		7	4	30		東部遺跡群VI
7	亀久保999	1986.8	2,740	区画整理	2	7	84	138		調査会報告8集
8	亀久保1001	1986.8	181	個人住宅		2	3	11		東部遺跡群VII
9	亀久保989-1	(1986.9)試掘		住宅建設	遺構なし					
10	亀久保1010-1	1986.10	650	区画整理	1		20	17		調査会報告8集
11	亀久保1011-3	1987.10.13～11.13	389	個人住宅		2		73		東部遺跡群VIII
12	亀久保1011-1	1987.11.16～12.16	387	個人住宅		1		48	1	東部遺跡群VIII
13	亀久保1007-3	1988.8	242	区画整理	2					調査会報告8集
14	亀久保999-4	(1988.7.22～8.3)	165	個人住宅	遺構なし					東部遺跡群IX
15	亀久保1007	(1989.2)試掘		個人住宅	遺構なし					東部遺跡群IX
16	亀久保1007	(1989.2)	45	個人住宅	遺構なし					東部遺跡群IX
17	亀居995-3	1989.9.14～9.18	112	個人住宅			3	8		東部遺跡群X
18	県道拡幅	1990.3	210	区画整理	遺構なし					東部遺跡群X
19	亀居1007	1990.3.12～3.26	613	個人住宅	遺構なし					東部遺跡群X
20	亀久保1001-3	1990.5.21～5.25	118	個人住宅			1			東部遺跡群XI
23	亀久保1001-14-15	1990.9.3～9.10	160	個人住宅				10		東部遺跡群XI
24	亀久保995-4	1990.12	1,324	区画整理		1	3			調査会報告8集
25	亀久保995-7	1991.3.12～3.16	162	個人住宅	遺構なし					町内遺跡群I
26	亀久保1001-14	1991.2.14～3.15	259	個人住宅		2		60		町内遺跡群I
27	亀久保995-2	1991.5	249	個人住宅				5		町内遺跡群I
28	亀久保995-6	1991.1.24～2.1	475	個人住宅		6				東部遺跡群XI
29	亀久保992-2	1991.7	925	集合住宅	1	2		36		調査会報告3集
30	亀久保1007-3.1008-3	1991.7	116	個人住宅	遺構なし					町内遺跡群I
31	亀久保995-2-7	1991.9	197	個人住宅	遺構なし					町内遺跡群I
32	亀久保1008-1	1991.12.3～12.9	115	個人住宅				6		町内遺跡群I
33	亀久保1011-7	1991.12～1992.4	998	個人住宅	1	3		42		町内遺跡群II
34	亀久保995-2	(1992.2.13)	634	個人住宅	遺構なし					町内遺跡群I
35	亀久保1012-7	1993.9.28～11.5	470	個人住宅	1	2	7	56		町内遺跡群III
36	鶴ヶ岡1-2-2	(1994.2.17～2.18)	798	礼拝所建設			1		落し穴1	町内遺跡群III
37	亀久保1003-2・6他	1994.2.18～2.25	566	店舗併用住宅			1	13		町内遺跡群III
38	鶴ヶ岡2-1-12-2-1	(1994.8.22～8.30)1994.9	3,162	店舗		37	21	29	落し穴2	調査会報告8集
39	亀久保1008-5	(1994.8.26～8.29)	342	駐車場造成			1	5	落し穴4	町内遺跡群IV

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	遺構と遺物					所収報告書
					住居	集石土坑	土坑	ピット	屋外埋蔵	
40	亀久保1012-5 他	1995.5	380	道路築造	遺構なし					調査会報告8集
41	亀久保995-23・24他	1995.5.31～8.4	530	道路築造	1			66		調査会報告8集
42	鶴ヶ岡1-3-14	(1995.7.11～7.18)	196	歯科医院建設	遺構なし					町内遺跡群V
43	鶴ヶ岡2-3-1	(1995.8.9～8.30)	818	店舗兼用共同住宅		4	2			町内遺跡群V
44	亀久保1013-1	1995.10.22～12.4	1,030	道路築造	落し穴3、 集石土坑1		7	29		調査会報告8集
45	亀久保1008-5.1011-5	(1996.5.15～5.17)	619	共同住宅				5	落し穴1	町内遺跡群VI
46	亀久保1007-17	(1996.6.24～6.25)	192	分譲住宅	遺構なし					町内遺跡群VI
47	亀久保1013-1 他	(1996.9.11～9.17)1996.10.1～12.11	2,741	共同住宅	1	14	4	174	落し穴1	調査会報告8集 町内遺跡群VI
48	亀久保995-19	(1997.1.20～1.29)	858	プレハブ事務所			1		落し穴1	町内遺跡群VI
49	亀久保1007-14	(1997.11.6～11.10)	214	店舗併用住宅						町内遺跡群VII
50	亀久保1007-5	(1998.2.9～2.20)1998.2.6	197	個人住宅	1		1			町内遺跡群VII
51	亀久保3街区4画地	1999.6.15～7.9	222	個人住宅		6	4	11		町内遺跡群IX
52	亀久保7街区14画地	(2000.2.1～2.2)	121	個人住宅						町内遺跡群IX
53	鶴ヶ岡2-28-1	(2000.10.30～2001.1.18)	1,422	店舗		7				町内遺跡群X
54	鶴ヶ岡2-28-17	(2001.4.24～4.27)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
55	鶴ヶ岡2-28-16	(2001.11.14～11.16)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
56	亀久保2-13-14	2002.11.5～11.21	172	個人住宅				38		町内遺跡群XI
57	鶴ヶ岡1-1-1	2003.4.24～4.28	1,356	店舗						町内遺跡群XI
58	亀久保2-975-19-24	(2005.4.18)	79	個人住宅						市内遺跡群2
59	亀久保2-10-5	(2005.8.3～8.31)2005.9.1～9.16	1,073	共同住宅	2	1	1			調査会報告18集
60	亀久保2-17-7	(2005.9.16)	293	個人住宅						市内遺跡群2
61	亀久保2-13-4の一部	(2006.10.4)2006.10.10～10.13	88	個人住宅	1	2	1	5		市内遺跡群3
62	亀久保2-12-3	(2007.11.12～26)2008.1.7～18	1,284	共同住宅			28	28		市内遺跡群4
63	亀久保2-13-5	2008.9.17～10.15	998	モデルルーム	1					市内遺跡群6
64	鶴ヶ岡2-28-19	2008.9.1、2	907	分譲住宅建設	遺構なし					市内遺跡群6
65	亀久保2-14-9の一部、13	(2011.4.25～26)	179	公民館分館	遺構なし					市内遺跡群14
66	亀久保2-16-1	(2011.7.15～19)	409	神社社務所新築	遺構なし					市内遺跡群14
67	亀久保2-12-11・12	(2011.8.1～8)	137	個人住宅			1			市内遺跡群14
68	亀久保2-12-2の一部	(2011.9.1)	136	個人住宅	遺構なし					市内遺跡群14
69	鶴ヶ岡2-159-1、160-10、28-4・11～13	(2011.12.6～9)	2,426	店舗						市内遺跡群14
70	亀久保2-12-13	(2012.3.21)2012.3.22	111	個人住宅		1				市内遺跡群14
71	亀久保2-12-2	(2012.8.27)	112	個人住宅	遺構なし					市内遺跡群15
72	亀久保2-12-16、12-15	(2012.10.11)	248	個人住宅				1		市内遺跡群15
73	亀久保2-17-14	(2014.7.8)	326	宅地造成	遺構なし					市内遺跡群20
74	亀久保2-975-1・34	(2014.11.27～12.4)	557	分譲住宅			1			市内遺跡群20
75	亀久保2-17-10の一部	(2015.6.5～8)	67	個人住宅	遺構なし					未報告
76	鶴ヶ岡2-3-2	(2015.7.31)	263	分譲住宅	遺構なし					未報告
77	亀久保2-9-24	(2016.3.18)	168	個人住宅	遺構なし					未報告

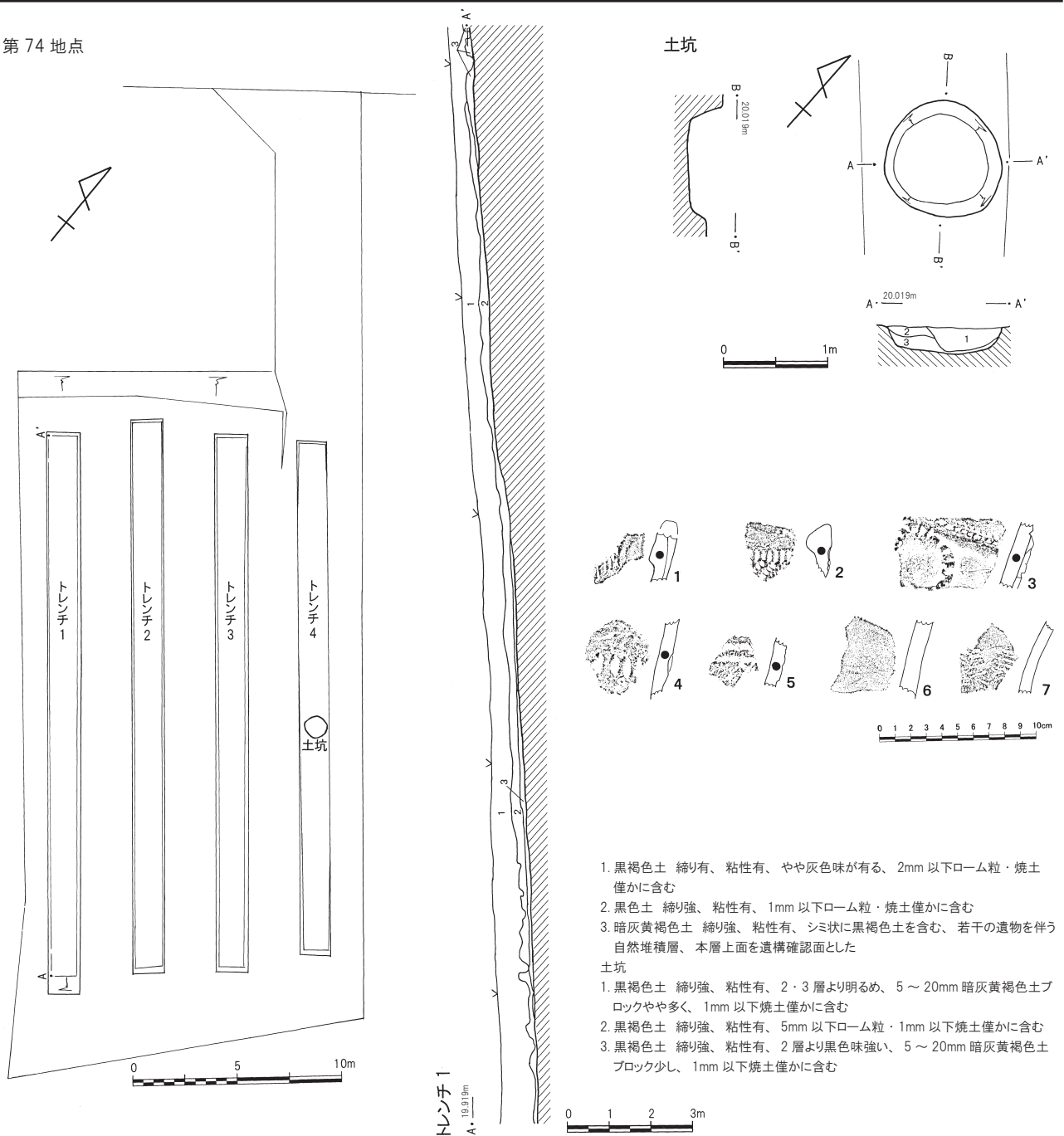


第23図 亀居遺跡遺構分布図 (1/1,500)

第73地点



第74地点



第24図 亀居遺跡第73・74地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第74地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)

## 第 8 章 鶴ヶ舞遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

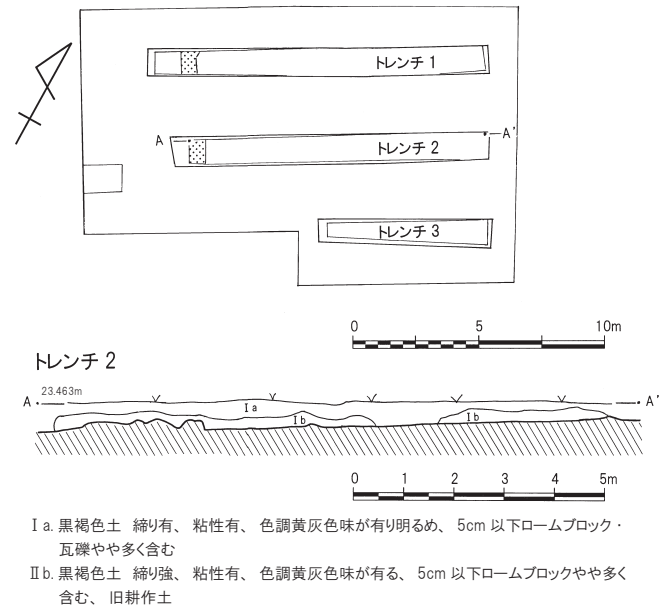
鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約 500～900 m 程下った左岸に位置している。標高 21～23 m で現谷底との比高差は 5 m を測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約 200 m 西に亀居遺跡、約 150 m 南に江川南遺跡、約 200 m 南東に東久保遺跡がある。

1987 年の最初の調査から 2017 年 3 月末現在、26 地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40～50 cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

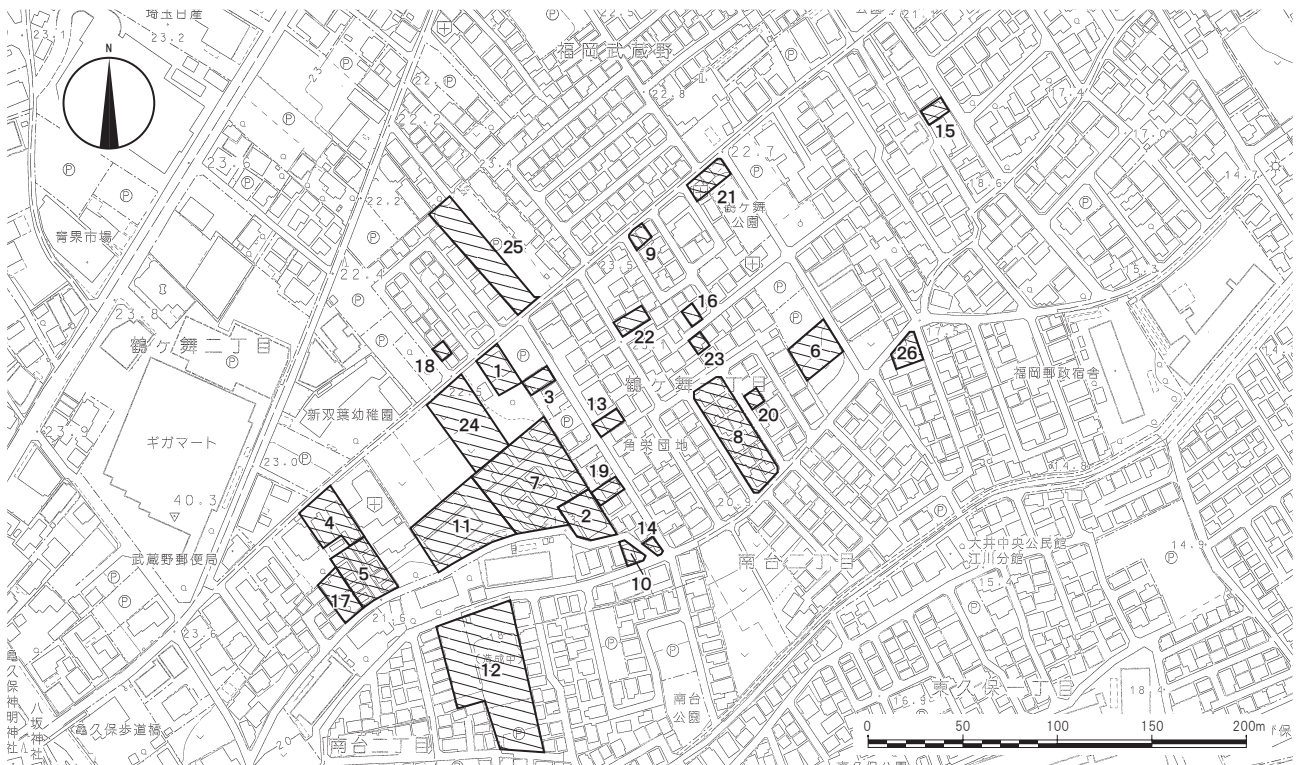


第 26 図 鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

### II 鶴ヶ舞遺跡第 22 地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 20 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 12 月 4 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約 1 m のトレンチ 3



第 25 図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第17表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞67-3	(1986.1.28・29)	499	個人住宅	土坑1、縄文中期土器片	東部遺跡群VI
2	鶴ヶ舞1-65-6	(1987.4.16~30)	495	個人住宅	炉穴3、土坑2、平安時代溝1、旧石器、土器片、須恵器	東部遺跡群VIII
3	鶴ヶ舞1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし	町内遺跡群IV
4	鶴ヶ舞1-60-6・10	(1997.8.26~29)	318	共同住宅	近代溝6、井戸1	町内遺跡群VII
5	鶴ヶ舞1-61-3	(1997.11.4~6)	266	分譲住宅	近世溝2	町内遺跡群VII
6	鶴ヶ舞1-84	(2002.9.10~13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群XII
7	鶴ヶ舞1-65-1	(2003.5.29~6.14) 2003.6.23~7.3	2,030	分譲住宅	旧石器礫群、縄文土坑1	町内遺跡群XII
8	鶴ヶ舞1-69-46~51・61~66	(2005.7.11~8.11) 2005.8.24	1,087	分譲住宅	炉穴6、ピット3	調査会報告18集
9	鶴ヶ舞1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ピット3、遺物なし	市内遺跡群2
10	鶴ヶ舞1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	根きり溝1、旧石器時代礫群1	市内遺跡群3
11	鶴ヶ舞1-65-2・6	(2006.9.21~10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内遺跡群3
12	鶴ヶ舞1-58-4	(2011.7.19~21)	98	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
13	鶴ヶ舞1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし、土器片	市内遺跡群14
14	鶴ヶ舞1-79-7	(2011.9.22)	56	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
15	南台798-33	(2011.11.22)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
16	鶴ヶ舞1-73-10	(2012.9.7)	63	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
17	鶴ヶ舞1-58-2	(2012.11.16) 2012.11.16	324	個人住宅	溝1、土器片、近世陶磁器	市内遺跡群15
18	福岡武蔵野1408-4 (9-6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
19	鶴ヶ舞1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
20	鶴ヶ舞1-69-70	(2013.5.13)	68.6	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
21	鶴ヶ舞1-73-27・51・52・54	(2013.10.23)	135.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
22	鶴ヶ舞1-69-35・36	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
23	鶴ヶ舞1-73-19	(2015.6.29)	72	建売住宅	遺構遺物なし	未報告
24	鶴ヶ舞1-67-3・4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
25	福岡武蔵野1406-7・8・10・11	(2013.5.2)	1,125	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
26	鶴ヶ舞1-99-10~12	(2016.12.5)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
27	鶴ヶ舞1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

## 第9章 松山遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷲森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2017年3月末現在89ヶ所で調査が行われている。

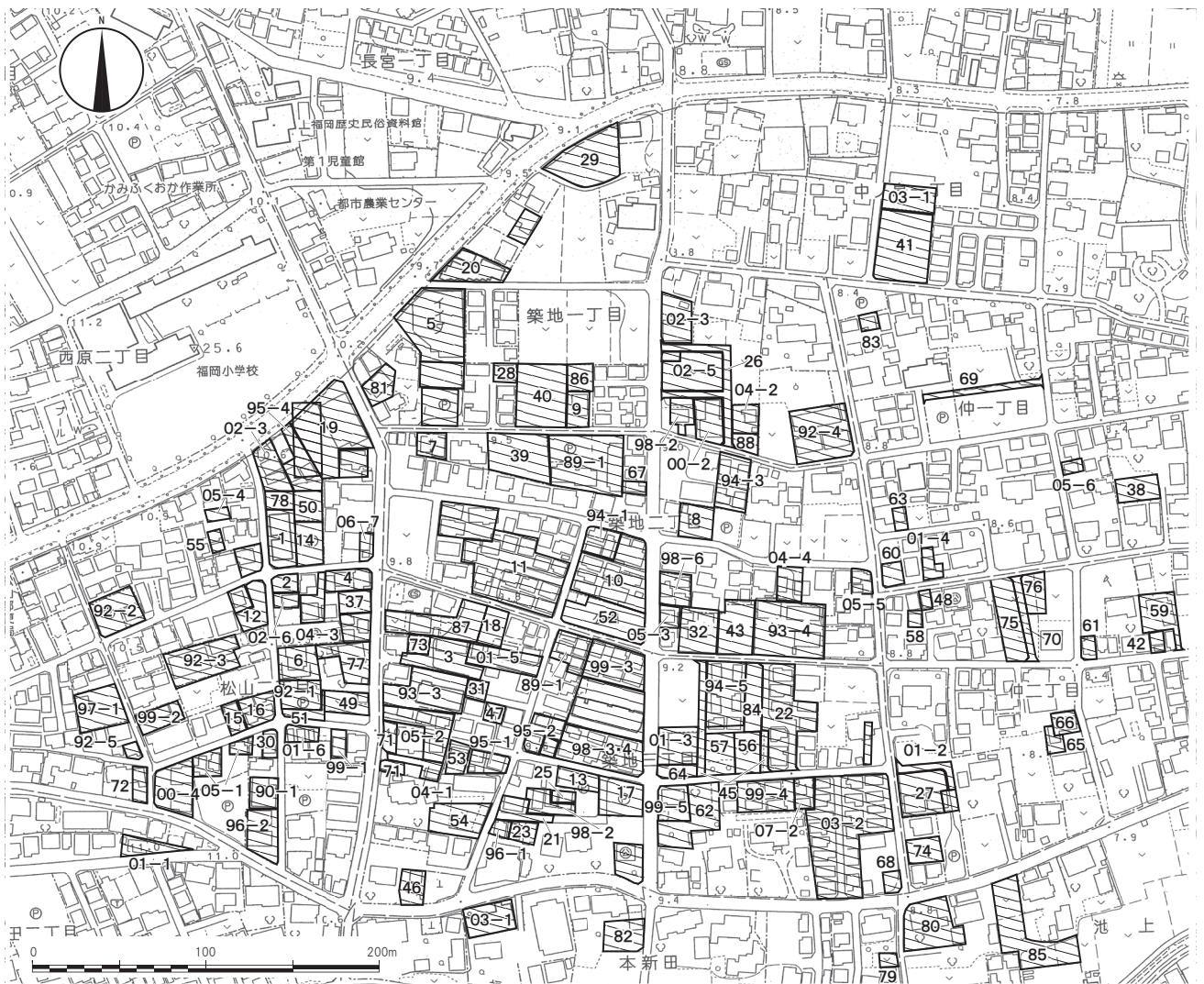
主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

### II 松山遺跡第78地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年5月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年5月22日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、



第27図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約1mである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

### Ⅲ 松山遺跡第79地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年7月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が

ふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年8月5日に試掘調査を行った。試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約1mである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

第18表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05試(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(2)	築地3-1-32・34・43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(3)	築地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	築地3-1-69	2005.6.14～23(2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
05試(8)	築地2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	築地2-5-3の一部	(2005.8.30～9.7)9.8～13	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
05試(5)	築地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(4)	松山2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
37	松山2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	仲1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	築地2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	築地1-1-5	(2007.2.2～8)2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	(2007.2.7～9)2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	築地2-5-2	(2007.4.11～24)	668	分譲住宅	堀跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	築地3-2-10・14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	築地3-4-7の一部外	(2008.9.4～30)10.1～23	390	道路	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡2、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ピット	市内6
46	築地3-1-33・35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	築地3-1-52	(2009.5.11・12)	121	個人住宅	ピット	市内8
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1・14・22の一部	(2009.10.17～22)10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ピット1	市内7
50	松山2-5-3・17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ピット7	市内8
51	松山2-6-22・23・28の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	築地2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	市内10
53	築地3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アナグラ1、慎重工事	市内10
54	築地3-1-6・76～83	(2010.9.21～10.1)10.4～11.5	540	宅地造成	奈良平安時代住居跡3確認、西側1の住居は盛土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17)1.18～3.1	226	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、掘立柱建物跡1、本調査	市内10
56	築地3-4-7・8の一部	(2011.4.4～14)4.11～15	483	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	市内11
57	築地3-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する45地点から続くH34号住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	仲2-2-31	(2011.6.6～8)6.14	115	個人住宅	井戸1、溝1、ピット1、本調査	市内14
59	仲2-3-6・9	(2011.8.8～9)8.10・11	560	個人住宅	土坑2、溝3、縄文土器、須恵器、本調査	市内14
60	仲1-1-15	(2012.3.26～27)	165	個人住宅	堀跡1、溝1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内14
61	仲2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶磁器	市内15
62	築地3-5-11・14・19	(2012.6.11～21)7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝6、縄文土器、銭貨、他	市内12
63	仲1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	築地3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝4、近世の土坑、陶磁器	市内15
65	仲2-1-25・36	(2013.2.13～18)2.19～3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡3、土坑6、溝6、須恵器、旧石器	市内15
66	仲2-1-53・54	(2013.2.19)	179	個人住宅		市内15
67	築地3-3-13	(2013.2.19)	92	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	築地3-5-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ピット4、須恵器、土師器等	市内15
69	仲1-51・53・55	(2013.9.10～11)9.12～17	298	道路	縄文時代集石土坑1、溝1	市内18
70	仲2-2-39・41	(2013.4.11～16)4.17～23	220	道路	奈良平安時代住居跡1、中世以降井戸1、集石土坑1、溝2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内18
71	築地3-1-16・32・34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ピット1、古銭、陶器片1	市内18
72	松山1-4-1	(2013.5.24)	199	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	築地3-1-56	(2013.8.19)8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡1、須恵器	市内18
74	仲2-1-37	(2013.12.24～26)	280	分譲住宅	井戸1、集石土坑1、溝2、土坑1、陶磁器	市内18
75	仲2-2-2・4	(2014.1.14～20)8.5～11	606	個人住宅	平安時代住居跡1、溝3、須恵器、土師器	市内18
	仲2-2-48	(2014.1.22～28)9.26～10.2	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土器	市内18
76	仲2-2-37(6区画)	(2014.1.22～28)11.12～17	120	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、土師器	市内18
	仲2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、井戸2、溝2、土坑3、土師器、須恵器、中世陶器	市内18
77	松山2-6-2・3・12の各一部	(2014.3.3～12)3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土師器、須恵器	市内18
78	松山2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本新田395-1の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	池上372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内20
81	築地1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本新田411の一部	(2015.7.30・31)	194	個人住宅	溝1、遺物なし	未報告
83	仲1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝1、遺物なし	未報告
84	築地3-4-13	(2015.9.15・16)	455	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、土師器	未報告
85	池上362-1の一部、364・365・366の一部	(2015.10.1～19)10.20～26	1,244	分譲住宅	奈良平安時代住居跡2、屋外の焼土跡1、中近世以降の溝5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内19
86	築地1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
87	築地3-1-21・22の一部、39・40・41・84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	築地1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ピット2、溝1、遺物なし	未報告
89	築地2-1-11・16	(2017.3.3～6)	287	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

※理：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



第28図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

IV 松山遺跡第80地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年2月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年3月12日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30cmである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 出土遺物(第30図1~3)

遺物はすべてトレンチの表土層から出土したものである。1は土器(瓦質)の焙烙。2は磁器の小杯で型紙絵付の鶴丸文、1880年代以降。3は桐一銭青銅銭貨「大日本 大正十一年 一銭」(1922年)。

V 松山遺跡第81地点

(1) 調査の概要

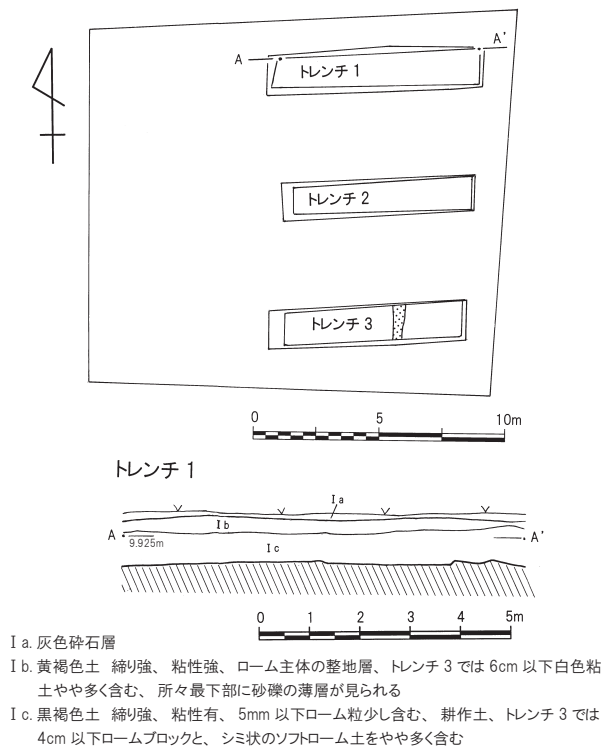
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年3月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年3月23日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50cmである。調査区の西側で道路に平行に延びる溝を1本確認した。

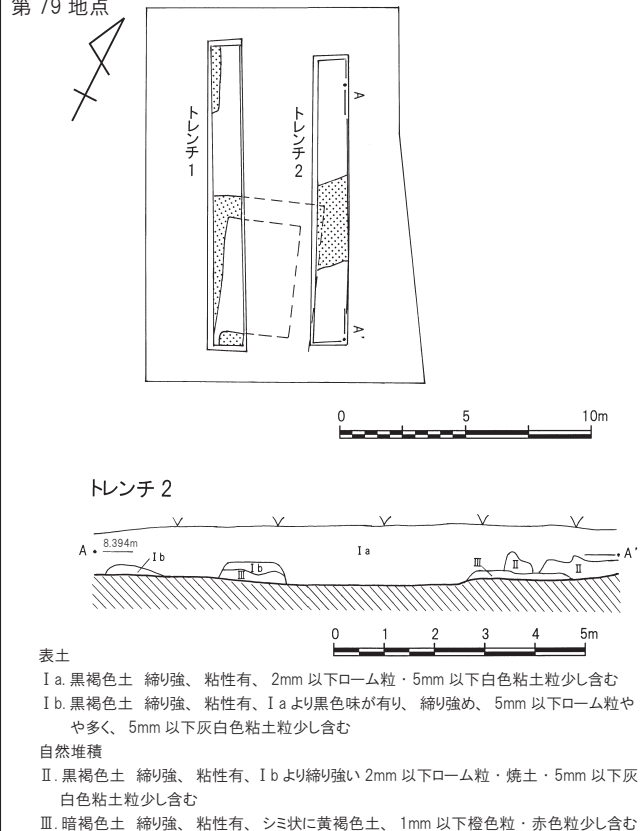
(2) 遺構

調査区の西側の道路は長宮氷川神社の参道に通じる道であるため、溝の一部を検出した。溝の断面形態は浅く広い逆台形で、規模は上幅31~105cm、下幅23~70cm、深さ24.1cmである。遺物はないため時期は不明である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

第78地点

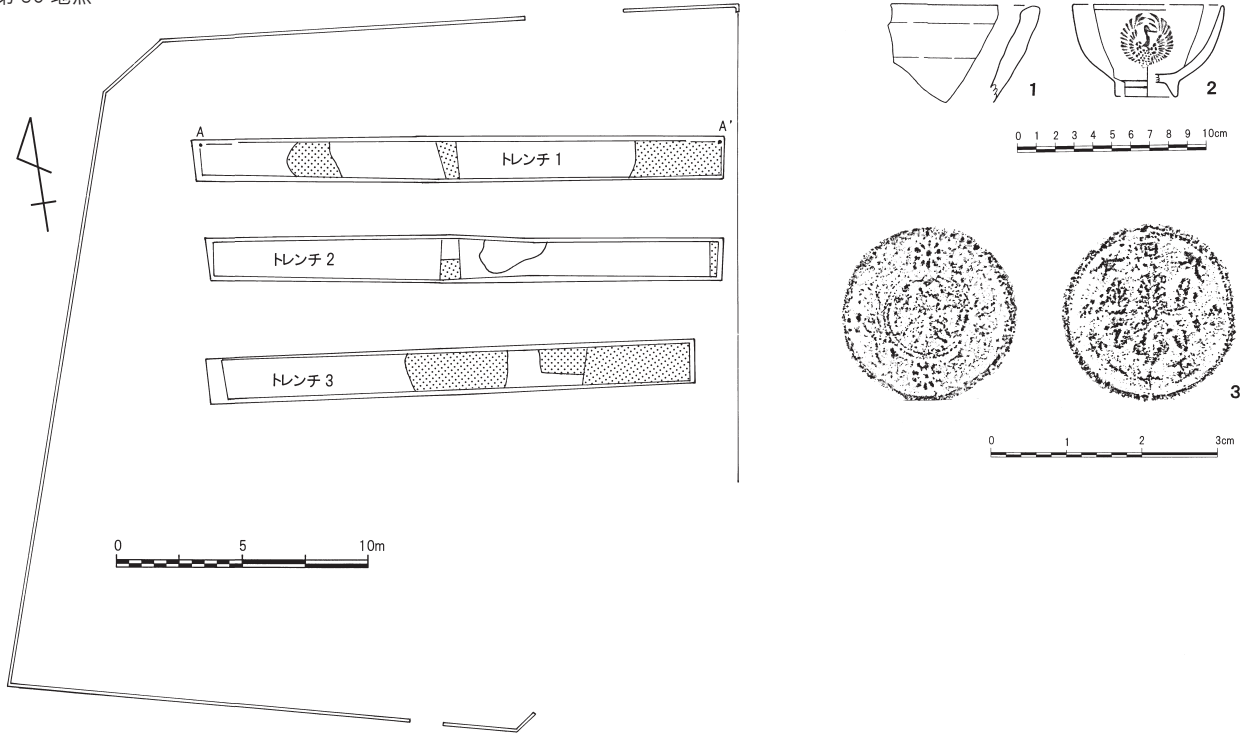


第79地点

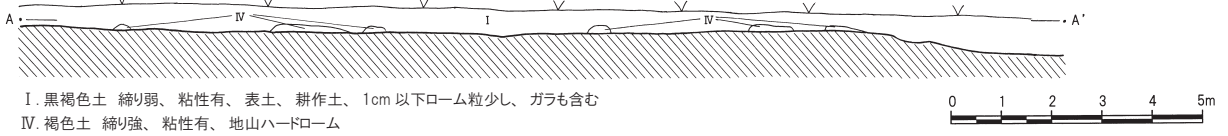


第29図 松山遺跡第78・79地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

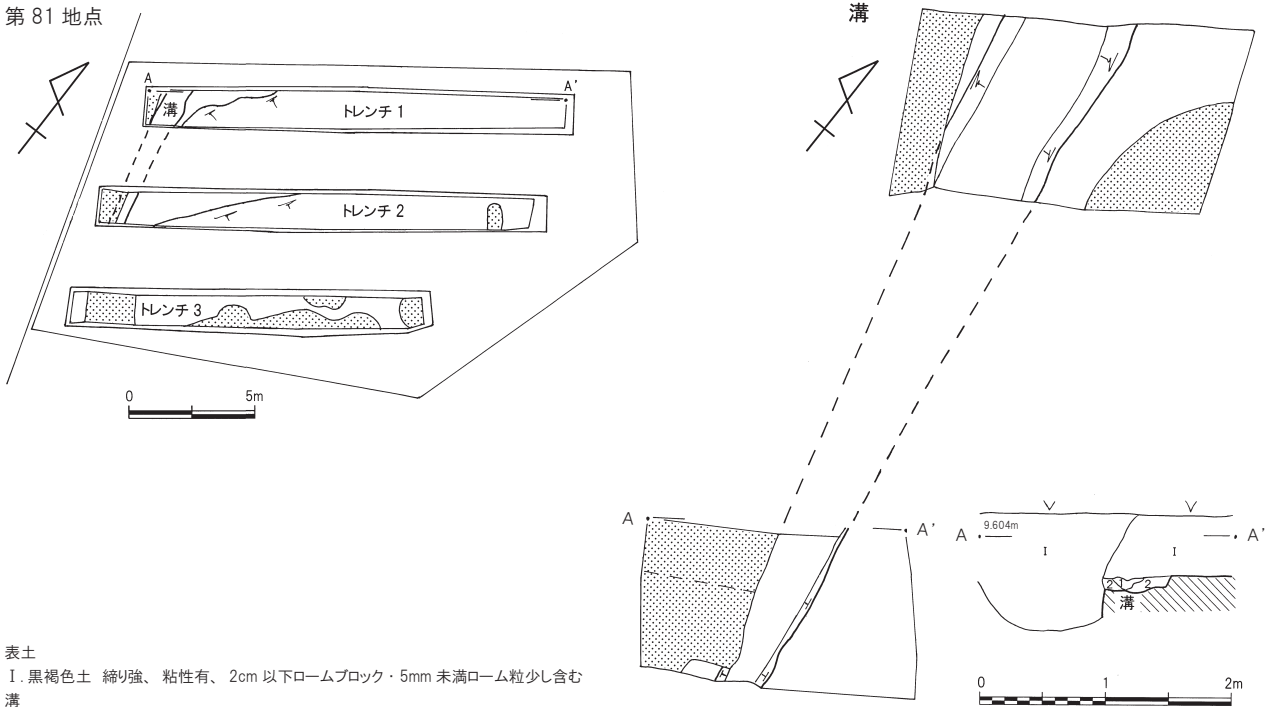
第80地点



トレンチ1



第81地点



表土

- I. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック・5mm未満ローム粒少し含む
- 溝
- 1. 黒色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1~3cmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む

トレンチ1



第30図 松山遺跡第80地点調査区域図・第81地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第80地点出土遺物(1/4・1/1)、第81地点溝(1/60)

## 第10章 江川東遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

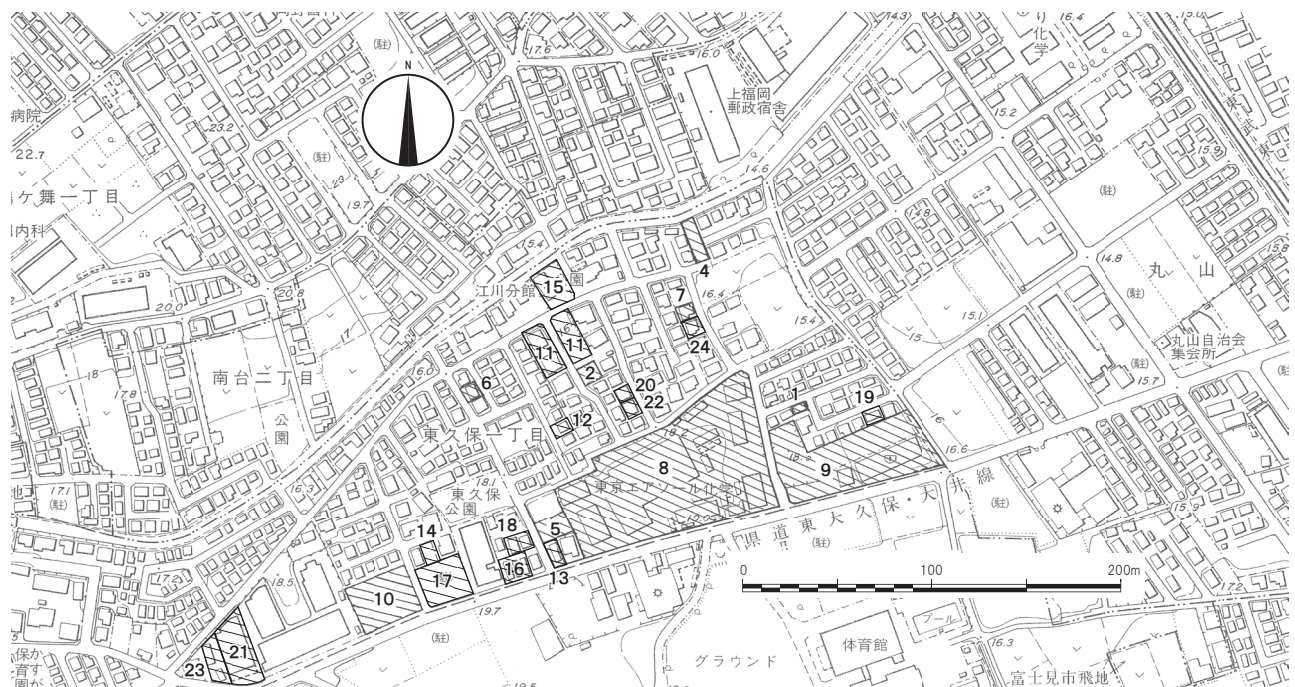
周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。

2017年3月末現在24地点で試掘及び発掘調査を行っている。

第19表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査 ( )は発掘調査	面積(m <sup>2</sup> ) ( )は開発面積	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24・25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、縄文土器・須恵器	町内遺跡群Ⅲ
2	大字東久保1-162-34	1995.1.20～2.6	191	個人住宅建設	土坑17、ピット18、ブレイク・須恵器	町内遺跡群Ⅳ
4	東久保138-4他	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ピット3、溝2	町内遺跡群Ⅴ
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～9)	164	土地分譲	ピット12	町内遺跡群Ⅶ
6	東久保1-168-7	(2001.7.17)	15(71)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群ⅩⅠ
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群ⅩⅡ
8	東久保1-150他	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝、風倒木痕1	町内遺跡群ⅩⅡ
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10) 2004.5.11～24	464	保育園	ピット40、溝2、縄文土器	町内遺跡群ⅩⅡ、 調査報告第14集
10	東久保1-174-1・36	(2005.10.13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1・14	(2006.11.9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(344)	公民館分館	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14・15) 2009.9.16～18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(74.2)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21・22)	30.5(570.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30・10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告



第31図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 江川東遺跡第 22 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 9 月 26 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 9 月 30 日と 10 月 1 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 30 ~ 50 cm である。遺構遺物なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

III 江川東遺跡第 23 地点

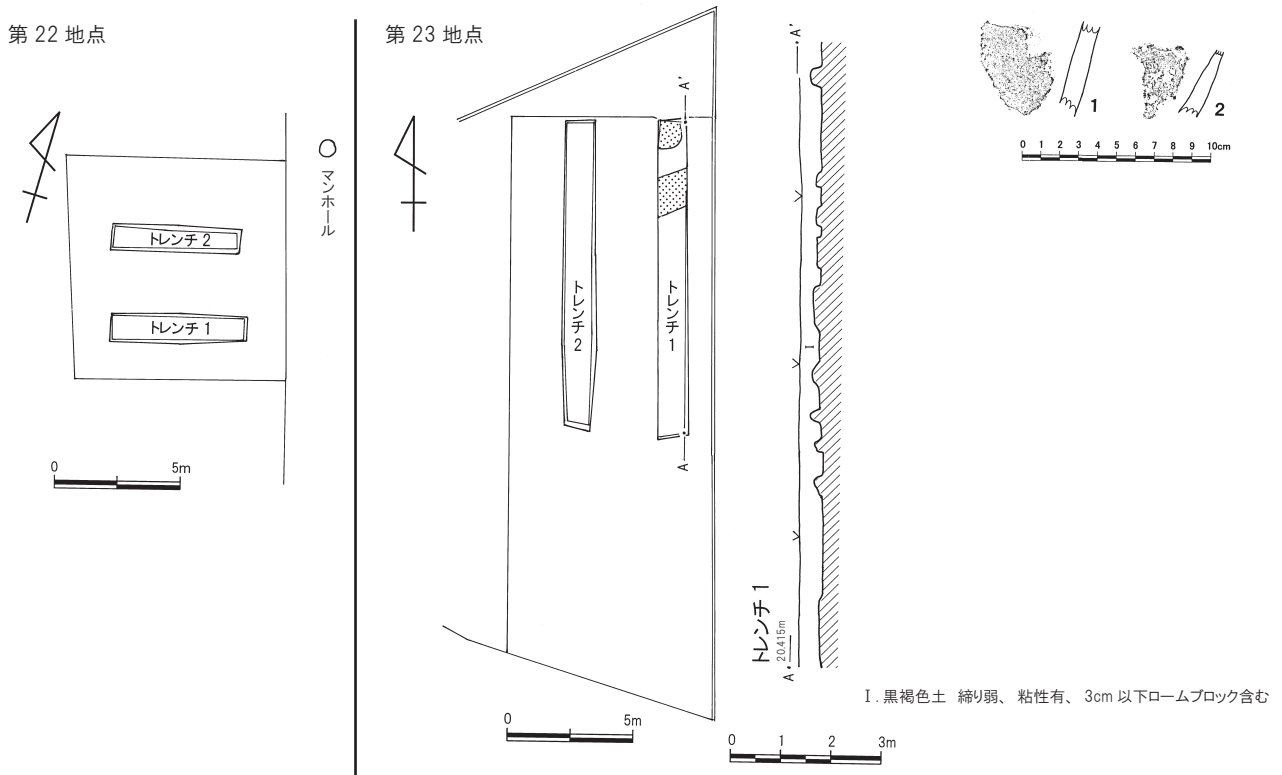
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 3 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 10 月 10 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.2 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 30 ~ 40 cm である。遺構なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 出土遺物 (第 32 図 1・2)

遺物は全てトレンチの表土層から出土したものである。1・2 は無文の縄文土器片である。焼成良好で縄文時代中期とみられる。



第 32 図 江川東遺跡第 22・23 地点調査区域図 (1/300)、第 23 地点土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)

## 第 11 章 東中学校西遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間、標高 20.0 ～ 21.0 m の低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川（現在用水路）が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約 50 m に東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

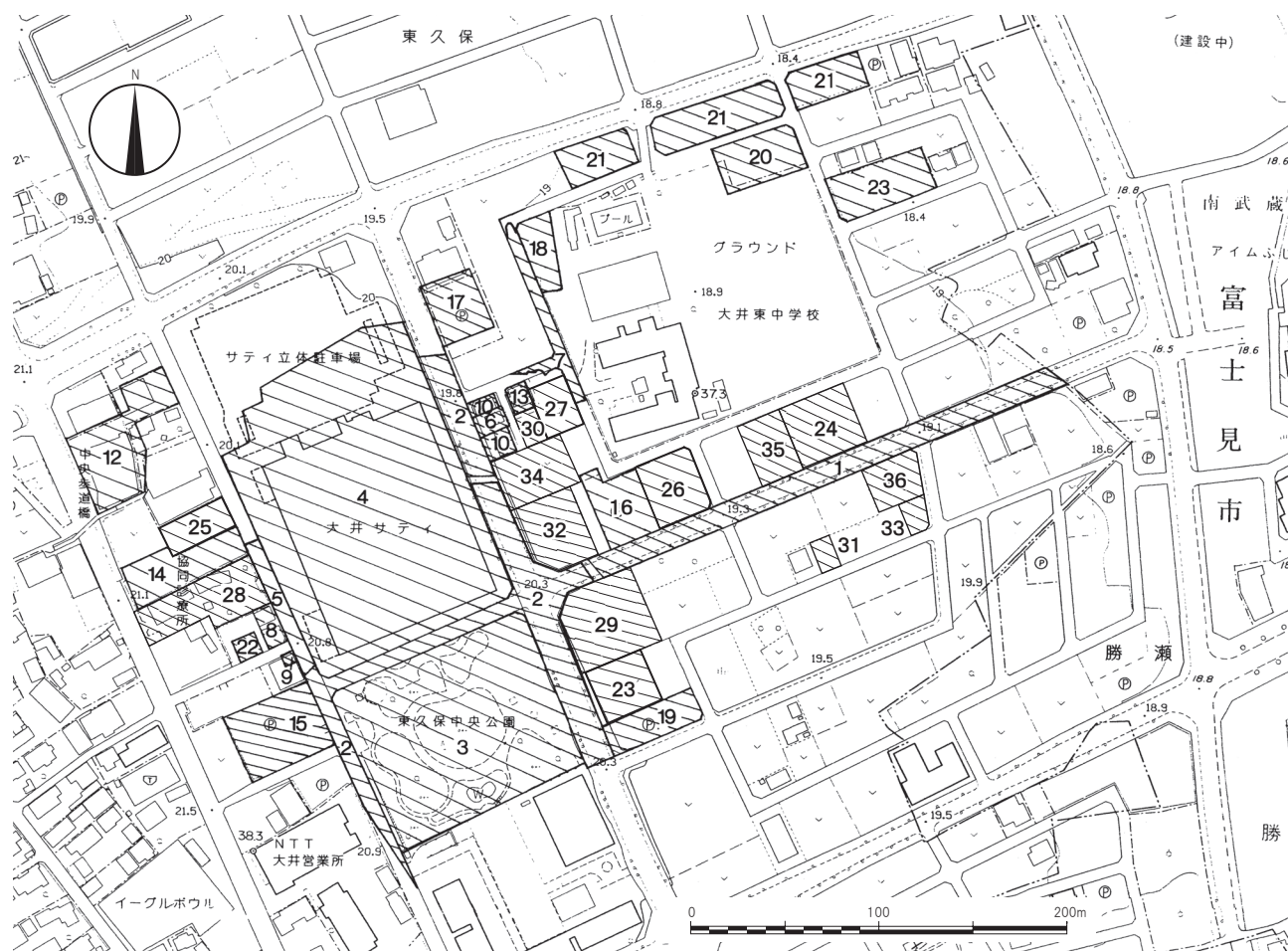
遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓墳・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は 1995 年以來、2017 年 3 月末現在 36 ケ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

### II 東中学校西遺跡第 35 地点

#### (1) 調査の概要

調査は病院増築に伴うもので、原因者より 2014 年 12 月 4 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置するため試掘調査を実施した。

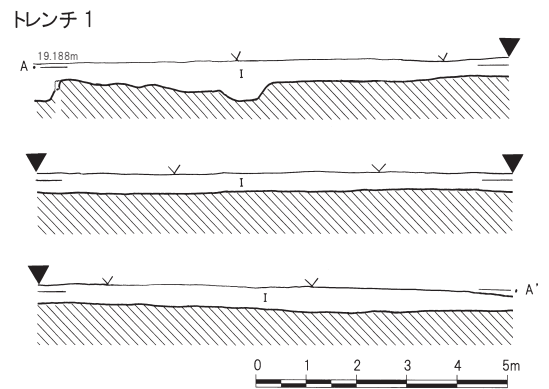
試掘調査は 2015 年 3 月 10 日に行った。幅約 1 ～ 1.5 m のトレンチ 6 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 30 ～ 40 cm である。近世以降の溝状のプランを確認した。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 33 図 東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 20 表 東中学校西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保 5511、526、531 他	1994.10.6 ~ 11.9	3,168	区画整理道路	縄文:土坑1、ピット8	遺跡調査会報告第14集
2	東久保 466-1 他	<A区>1996.10.7 ~ 11.15	3,308	区画整理道路	縄文早期:炉穴26、集石土坑1、落とし穴4、土坑2、ピット26、中近世の溝5	遺跡調査会報告第14集
		<B区>1996.12.12 ~ 17	1,168			
		<C区>1997.3.5 ~ 19	880			
3	東久保 465、500 他	(1996.8.29 ~ 9.13) 1996.10.7 ~ 21	10,200	区画整理公園	縄文:落とし穴1、溝1、土坑6、ピット4、石蔵1	町内遺跡群VI・ 遺跡調査会報告第14集
4	東久保 326 他	(1997.2.6 ~ 10.29) 1997.6.12 ~ 8.8	24,681	店舗	縄文:落とし穴3、集石土坑2、屋外埋裏1、近世:土壇1、溝9、欄列1、ピット多数	町内遺跡群VI・VII・ 遺跡調査会報告第14集
5	東久保 487-1、474-4 他	1997.6.12 ~ 7.24	688	区画整理道路	縄文早期:炉穴6、落とし穴1、溝2、ピット2	遺跡調査会報告第14集
6	東久保 325-1・7・8・9	(1997.6.26 ~ 27)	136	事務所	遺構遺物なし	町内遺跡群VII
7	東久保 402-1 他	1997.7.21 ~ 31	636	区画整理道路	欄列1、ピット5	遺跡調査会報告第14集
8	東久保 44 街区 13・14 画地	1997.8.5 ~ 9	252	個人住宅	縄文:落とし穴1、溝1、ピット9、(落とし穴は第5地点で報告)	町内遺跡群VII
9	東久保 45 街区 2・3 画地	(1997.8.19 ~ 9.1)	325	個人住宅	溝2、ピット9	町内遺跡群VII
10	東久保 42 街区 1 画地	(1997.12.10 ~ 20)	135	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群VII
12	東久保 44 街区 3・23・24 画地	(1998.1.6 ~ 24)	1,879	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群VII
13	東久保 2 街区 12 画地	(1998.6.9 ~ 11)	218	専用住宅	ピット1	町内遺跡群VII
14	東久保 44 街区 11・20・26 画地	(1998.6.23 ~ 26)	1,231	共同住宅	ピット2、風倒木痕	町内遺跡群VII
15	東久保 45 街区 1・4・6 画地	(1998.8.17 ~ 24)	2,649	店舗専用駐車場	中世以降:ピット2	町内遺跡群VII
16	ふじみ野市 1-9-5・6・7	(2013.2.18 ~ 22)	1,834	集合住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 15
17	東久保 42 街区 6 画地	(1998.8.17 ~ 31)	1,347	店舗専用駐車場	ピット2	町内遺跡群VII
18	東久保 38 街区 7・8 画地	(1998.8.19 ~ 24)	1,131	店舗専用駐車場	縄文:石蔵1	町内遺跡群VII
19	東久保 319-1	(1999.2.8 ~ 24)	850	テニスコート	ピット5、欄列1	町内遺跡群VII
20	東久保 52 街区 8 画地	(1999.3.17)	944	アスファルト駐車場	遺構なし、陶器2	町内遺跡群VII
21	東久保 39 街区 1 画地	(1999.6.16 ~ 7.19)	900	区画整理調整池	溝1、ピット26	町内遺跡群IX
22	東久保 37 街区 1 ~ 3 画地	(1999.11.18 ~ 12.9)	1,311	店舗	縄文:土坑1、溝3、ピット23	町内遺跡群IX
23	東久保 44 街区 15 画地	(2000.3.7 ~ 9)	150	個人住宅	中世以降:溝1、ピット5	町内遺跡群IX
24	東久保 33 街区 6 画地	(2003.8.5 ~ 13)	1,233	共同住宅	焼土跡1、ピット1	町内遺跡群X II
25	ふじみ野 4-1-6 の一部	(2005.5.24 ~ 30)	926	店舗	土坑1	市内遺跡群 2
26	ふじみ野 3-9-5	(2005.6.20 ~ 7.7)	1,425	店舗	縄文時代早期:炉穴5	市内遺跡群 2
27	ふじみ野 1-1-9・10	(2005.6.28 ~ 7.2)	604	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 2
28	ふじみ野 3-10-8 ~ 11	(2006.1.5 ~ 10)	1,060	店舗	遺構遺物なし	市内遺跡群 2
29	ふじみ野 3-10-3 の一部-4	(2006.1.11)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 2
30	ふじみ野 1 丁目 1-13・14・15・32・23	(2006.4.24 ~ 5.10)	1,568	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 3
31	ふじみ野 4・4・1	(2006.5.15 ~ 19.7.28 ~ 8.1)	2,004	店舗	縄文:土坑検出	市内遺跡群 3
32	ふじみ野 3-10-13	(2006.7.3)	634	保育所	遺構遺物なし	市内遺跡群 3
33	ふじみ野 4-3-14	(2008.2.14)	165	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 4
34	ふじみ野 3-10-12	(2008.6.13 ~ 25)	1,231	分譲及び店舗	遺構遺物なし	市内遺跡群 6
35	ふじみ野 4-3-8 の一部	(2008.10.3)	215	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 6
36	ふじみ野 3-10-6	(2011.2.2 ~ 4)	1,032	宅地造成	遺構遺物なし	市内遺跡群 10
37	ふじみ野 3-9-地 1 の一部	(2015.3.10)	661	病院増築	遺構遺物なし	市内遺跡群 20
38	ふじみ野 4-3-6・7	(2015.8.11)	724	駐車場	遺構遺物なし	未報告



I. 黒褐色土 締り弱、粘性有、畑耕土、10cm 以下ロームブロック少し含む

第 34 図 東中学校西遺跡第 35 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)



### 第12章 西ノ原遺跡の調査

#### I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971年以来2017年4月現在で172地点

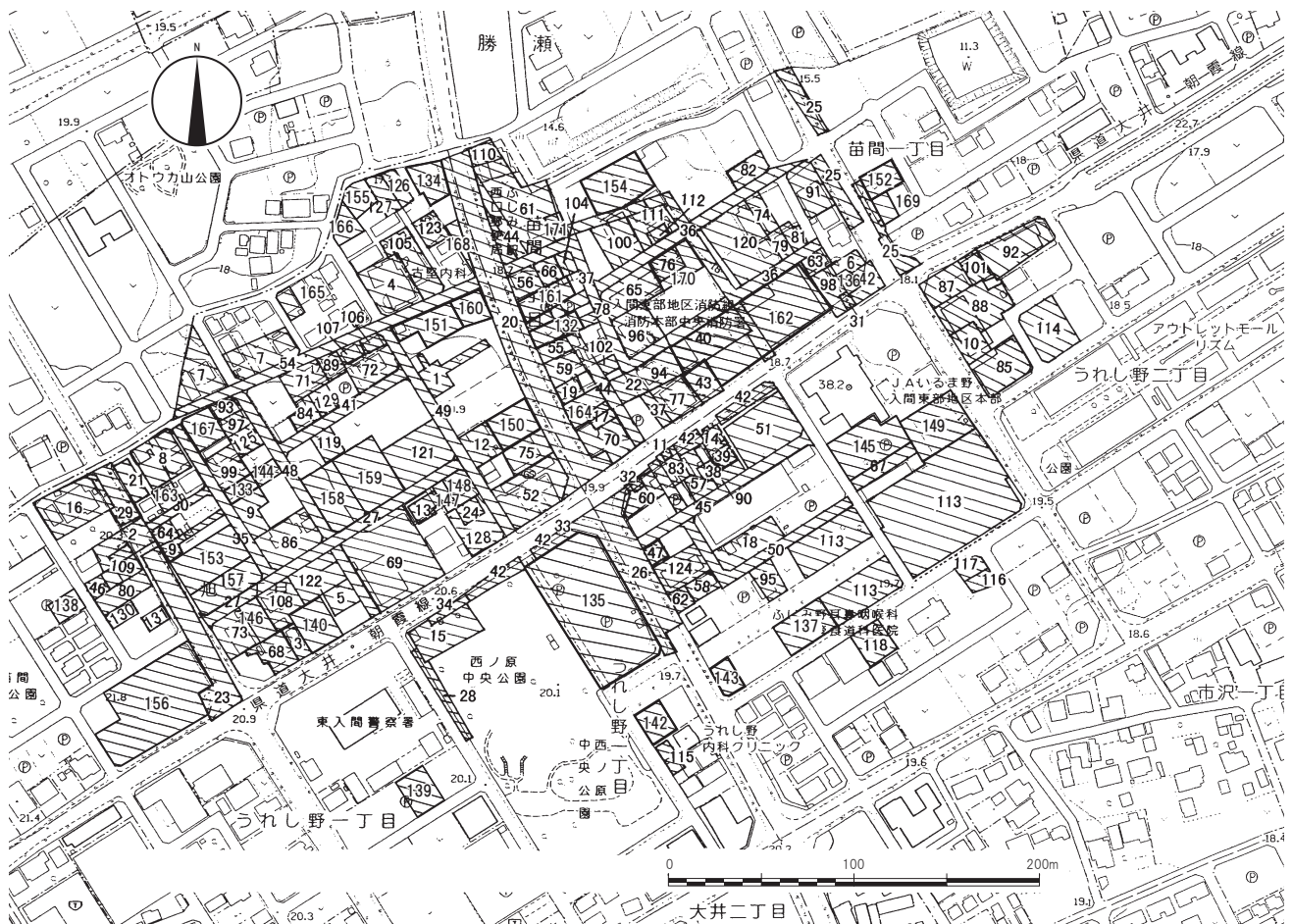
に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通じた良好な大規模集落跡であったことがわかる。

#### II 西ノ原遺跡第160地点

##### (1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、2014年4月15日に現地では表土層の削平工事が行われているのを確認したため、原因者と連絡をとった。

現地は西ノ原遺跡の範囲内にあるため、「埋蔵文化財事前協議書」と文化財保護法第93条第1項、同第5条第2項の「埋蔵文化財発掘の届出について」の提出と併せて試掘調査について協議した。工事に際し緊急を要するため、同年4月15・16日に試掘調査を実施した。その後、原因者より同年4月24日付けて、「埋蔵文化財事前協議書」と「埋蔵文化財発掘の届出



第35図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 21 表 西ノ原遺跡調査一覽表

地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書	地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡1、土坑3、集石土坑1	町資 1	65	西ノ原145-1	1993.6.7~6.11	615	共同住宅	縄文中期土坑3、平安時代住居跡1、土師器、須恵器	町Ⅲ
2	西ノ原83	1978.12.6~12.26	270	宅地造成	住居跡1、溝2、旧石器、縄文土器1979「西ノ原遺跡」	西ノ原遺跡	66	西ノ原133-2	1993.6.30~7.19	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町Ⅲ
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土		67	西ノ原159-2	1994.1.20~21	308	倉庫	縄文中期土坑、ピット、近代溝	町Ⅲ
4	西ノ原125-1	1979.7.2~7.9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東 I	68	西ノ原91-2・6	1994.3.22~3.25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町Ⅲ
5		1979.8.1~8.14		町史編纂事業	住居跡1、土坑1、早期炉穴2、縄文中期土器「大井町史料7集」	町史料 7	69	苗間106	(1994.4.8~4.27) 1994.5.16~10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡28、土坑6、ピット11、溝1	調査13
6	西ノ原170-2	1980.6.19~6.27	450	宅地造成	土坑2、柱穴2、堀之内Ⅱ式土器他	東Ⅱ	70	苗間136	1994.5	551	店舗	屋外埋藏4、土坑14	調査6
7	西ノ原96-1	1080.10.1~10.29	563	宅地造成	旧石器礫群2、縄文土坑1	東Ⅱ	71	苗間112	1994.6~7	309	個人住宅	落とし穴1	
8	西ノ原95-2・3	1980.10.30~11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑2、土坑1、溝2、縄文中期土器	東Ⅱ	72	苗間112-109	1994.11.2~11.28	321	個人住宅	縄文中期住居跡3、土坑2、溝2	町Ⅳ
9	西ノ原93-1、98-1	1981.6.1~6.23	600		柱穴6、溝2、石器、土器	東Ⅲ	73	苗間92-1	1994.3.27~3.29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅳ
10	西ノ原180-2	1981.11.4~11.13	400	個人住宅	柱穴11	東Ⅲ	74	苗間163	(1994.4.21~5.13)	169	事務所	ピット6	町Ⅴ
11	西ノ原143-4	1983.5.23~5.27	198	宅地造成	縄文土坑1、縄文中期土器	東Ⅴ	75	苗間122	(1995.5.16~5.23) 1995.6.2~9.23	379	事務所	縄文中期住居跡17、集石土坑1、土坑4、集石2、ピット9、溝1	調査13
12	西ノ原123-3	1983.7.6~8.11	330		縄文中期住居跡2、縄文土坑39	東Ⅴ	76	苗間151-2他	(1995.4.20~4.27)	468	倉庫	ピット1、溝1	町Ⅴ
13	西ノ原114-6	1983.9.13~10.18	350		縄文中期住居跡1、縄文土坑56、集石1、溝1	東Ⅴ	77	苗間143-2	(1995.5.24~25) 1995.6.1~7.28	347	店舗	縄文中期住居跡1、土坑18、溝4、ピット58	調査13
14	西ノ原143	1983.10.24~11.7	240		縄文中期住居跡2、縄文土坑3、集石1、溝1	東Ⅴ	78	苗間22-3-2	(1995.6.28~8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡3	町Ⅴ
15				共同住宅	縄文土坑2、ピット6		79	苗間162-2他	(1995.6.29~7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅴ
16					遺構なし		80	苗間83-2	(1995.7.19~7.25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町Ⅴ
17	西ノ原135-3	1985.5.13~5.22	165	宅地造成	縄文土坑2、溝1	東Ⅵ	81	苗間169	(1995.8.2~8.7)	223	店舗付住宅	溝1、遺物なし	町Ⅴ
18	西ノ原141-2	1985.7.26~8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、ピット群	東Ⅵ	82	苗間168	(1995.8.1~8.5)	249	事務所	遺構遺物なし	町Ⅴ
19	西ノ原135-1	1986.7.8~7.21	230	住宅建設	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、屋外埋藏2	東Ⅶ	83	苗間136-2	1995.8.23~10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石土坑2、土坑2、ピット22	町Ⅴ
20	西ノ原135-1	1986.11~1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴4、中期住居跡12、竪穴状遺構、屋外埋藏2、落とし穴5、土坑40	調査6	84	苗間108、109	(1995.11.30~12.9)	135	個人住宅	土坑1、ピット5	町Ⅴ
21	西ノ原95-1	1986.12.11~1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構1	東Ⅶ	85	苗間181-3	(1996.1.9~1.26)	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町Ⅴ
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡2、縄文土坑11、ピット2	東Ⅷ	86	苗間113-2、93-1	(1996.4.19) 1996.4.22~5.15	698	個人住宅	土坑6、ピット26、溝2	町Ⅵ
23		1987.7~8	1,024	区画道路	土坑2	調査6	87	苗間182-1	(1996.6.14~6.17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町Ⅵ
24		1987			縄文中期住居跡2確認、未検出		88	苗間西ノ原182-3、189-2、202-1	(1996.7.16~7.22) 1996.8.1~8.8	745	共同住宅	土坑3、ピット29、欄列1、落とし穴1、銭	調査13
25		1988.1~2	781	区画道路	遺構なし	調査6	89	苗間西ノ原112	(1996.7.17・18)	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町Ⅵ
26		1988.3~4	1,649	区画道路	旧石器礫群、縄文中期住居跡3、土坑9、ピット、屋外埋藏1	調査6	90	苗間西ノ原142-2	(1996.7.3) 1996.8.7~8.30	177	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴2、土坑1、ピット9	町Ⅵ
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡5、縄文土坑2、炉穴1、集石土坑1	調査6	91	苗間169	(1996.8.1~8.5)	477	店舗	遺構遺物なし	町Ⅵ
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査6	92	苗間192-2	(1996.10.23~10.28)	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
29		1988.12		区画道路		調査6	93	苗間315	(1996.10.22・23)	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
30		1989.2~3		区画道路	土坑1	調査6	94	苗間145-2	(1996.11.11・12)	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
31	西ノ原115-1	1989.11.4~11.11	21	下水管理設	遺構なし	東Ⅸ	95	苗間154	(1996.11.14~11.19)	283	商業ビル	炉1	町Ⅵ
32	西ノ原122	1989.1.10~1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1、屋外埋藏3	東Ⅹ	96	苗間441	(1996.12.17~12.20) 1997.1.9~1.14	333	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴2、土坑1、ピット3	町Ⅵ
33	西ノ原153-2	1989.1.10~1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東Ⅹ	97	苗間97-2	(1996.12.19・20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
34	西ノ原171	1989.1.24~1.31	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東Ⅹ	98	苗間171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町Ⅵ
35		1989.2~3	4,000	区画道路	縄文中期住居跡1、土坑1	調査6	99	苗間97-1	(1997.1.20~1.24)	396	個人住宅	土坑1、落とし穴1、ピット12、溝1	町Ⅶ
36		1989.3~4		区画道路	縄文中期住居跡4、縄文土坑5、落とし穴2、井戸1	調査6	100	苗間150-2	(1997.4.5~4.12)	447	共同住宅	土坑2、ピット3	町Ⅶ
37		1989.5~8	200	区画道路		調査6	101	苗間183-1・3	(1997.7.22~7.25)	187	モテルハウス	遺構遺物なし	町Ⅶ
38	西ノ原142-2	1989.8.29~9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑3	東Ⅹ	102	大井苗間22街区5画地	(1997.10.9~10.20)	179	個人住宅	ピット2、溝2	町Ⅶ
39	西ノ原142-2	1989.8.29~9.12	94	個人住宅	土坑2、溝2	東Ⅹ	103						
40	1989.9.18~10.16、1989.10.19~11.4	980	消防訓練場	縄文中期住居跡4、土坑4、集石土坑1、ピット28	東Ⅹ	104	苗間22街区2画地	(1997.10.6~10.8)	223	個人住宅	焼土、溝2	町Ⅶ	
41	1989.9~10	476	区画道路	縄文中期住居跡4、土坑1	調査6	105	苗間125-2、126-2	(1998.1.13~2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1、溝9	町Ⅶ	
42	1991.12~1992.7		区画道路	屋外埋藏2、土坑19	調査6	106	苗間112	(1998.1.28~2.4)	135	個人住宅	ピット1	町Ⅶ	
43	苗間153-3	1990.6.26~7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡4、土坑3	東Ⅹ I	107	苗間112	(1998.2.9~2.13)	135	個人住宅	ピット4、溝1	町Ⅶ
44		1990.6~8	3,224	区画道路	屋外埋藏、炉穴3、落とし穴2、土坑16、集石土坑1	調査6	108	苗間91-1、92-1、99-1	(1998.3.3) 1998.3.4~3.17	413	個人住宅	縄文住居跡1、土坑1、近世溝3	町Ⅶ
45		1991.2		区画道路			109	苗間83-4、429	(1998.3.11~3.18)	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅶ
46	苗間83-2	1991.4.9・10	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅰ	110	苗間146-2	(1998.4.20~5.28)	385	郵便局	落とし穴1、集石1、礫群1	町Ⅶ
47	苗間136-2	1991.7.15~7.26	141	個人住宅	遺構なし、石蔵、土器片のみ	町Ⅰ	111	大井苗間23街区9画地	(1998.10.23~10.27)	354	個人住宅	ピット1、近世の溝1、道1	町Ⅶ
48		1991.9~10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡、土坑3	調査6	112	大井苗間23街区9画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町Ⅶ
49		1991.12~1992.1		区画道路	縄文中期住居跡12、集石土坑1、土坑8	調査6	113	大井苗間57・58街区	(1999.4.5~12.14) 2000.1.6~3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、中期住居跡6、炉穴2、土坑、ピット、近世溝	町Ⅷ
50		1991.11~12		区画道路	縄文中期住居跡15、屋外埋藏1、土坑3	調査6	114	西ノ原194-1	(1999.8.4~8.12)	676	駐車場	落とし穴1、ピット2	町Ⅷ
51	苗間153-2	1991.2.4~2.12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡2、掘立柱跡、土坑2、ピット5	町Ⅰ	115	大井苗間52街区3画地	(1999.9.27~9.29)	135	事務所	遺構遺物なし	町Ⅷ
52	苗間122	1991.2.10~2.20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡14、集石土坑7、土坑5、野外炉1、ピット19	調査5	116	大井苗間59街区11画地	(1999.12.2・3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅷ
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅			117	大井苗間199-2	(1999.12.2~12.4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町Ⅷ
54		1992.5~7		区画道路	集石土坑1、土坑1	調査6	118	大井苗間59街区45画地	(2000.4.3~4.12)	548	店舗住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町Ⅷ
55	西ノ原135-5他	1992.5.21~6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡2、炉穴5、土坑1	調査5	119	大井苗間18街区4画地	2000.11.15~12.6	221	倉庫	縄文中期住居跡3、土坑1、近世溝1	町Ⅷ
56	西ノ原133-2	1992.6.23~6.26	261	分譲住宅	集石土坑1、土坑3、ピット6、溝1	町Ⅱ	120	大井苗間24街区4画地	(2001.5.7~5.15)	1,120	共同住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町Ⅷ
57	西ノ原143-3・4	1992.7.6~9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑1	町Ⅱ	121	旭1-15	2002.2.7~3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑2、ピット35、近世溝4	町Ⅷ
58	西ノ原137-1	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器若干	町Ⅱ	122	大井苗間14街区8画地	(2002.3.9~3.19) 2002.6.21~7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡4、溝3	町Ⅷ
59	西ノ原135-1	1992.10.6~11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡3、炉穴11、屋外埋藏1、土坑1、ピット12	町Ⅱ	123	大井苗間19街区10画地	(2002.9.3~9.9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町Ⅷ
60	西ノ原136-2	1992.12.10~12.25	253	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴4、土坑1、ピット34、落とし穴1	町Ⅱ	124	苗間137-2	(2002.10.2~10.6) 2002.10.8~10.11	524	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑2、溝2	町Ⅷ
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構1、落とし穴3、土坑2、炉穴	調査6	125	旭1-8-2	(2003.2.14~2.19)	182	個人住宅	ピット5	町Ⅷ
62							126	旭1-13-6・7	(2004.2.23~2.25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅷ
63	西ノ原162-3、169	1993.4.13~4.22	147	共同住宅	中(近世)ピット群、遺物なし	町Ⅲ	127	旭1-13-4・19	(2004.5.24・25)	327	個人住宅	土坑1	町Ⅷ
64	西ノ原94-1	1993.4.27・28	327	共同住宅	近世・近代溝、前期土器	町Ⅲ	128	旭1-16-9・10	(2004.6.14~7.15) 2004.7.16~9.29	614	店舗	縄文中期住居跡17、集石5、土坑10、ピット17	町Ⅷ

Table with columns: 地点, 所在地, 調査期間, 面積, 調査原因, 確認された遺構と遺物, 所収報告書. Rows 129-149 and 150-151.

Table with columns: 地点, 所在地, 調査期間, 面積, 調査原因, 確認された遺構と遺物, 所収報告書. Rows 151-173.

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史料編1、調査：大井町遺跡調査会報告書、市：ふじ野市市内遺跡群

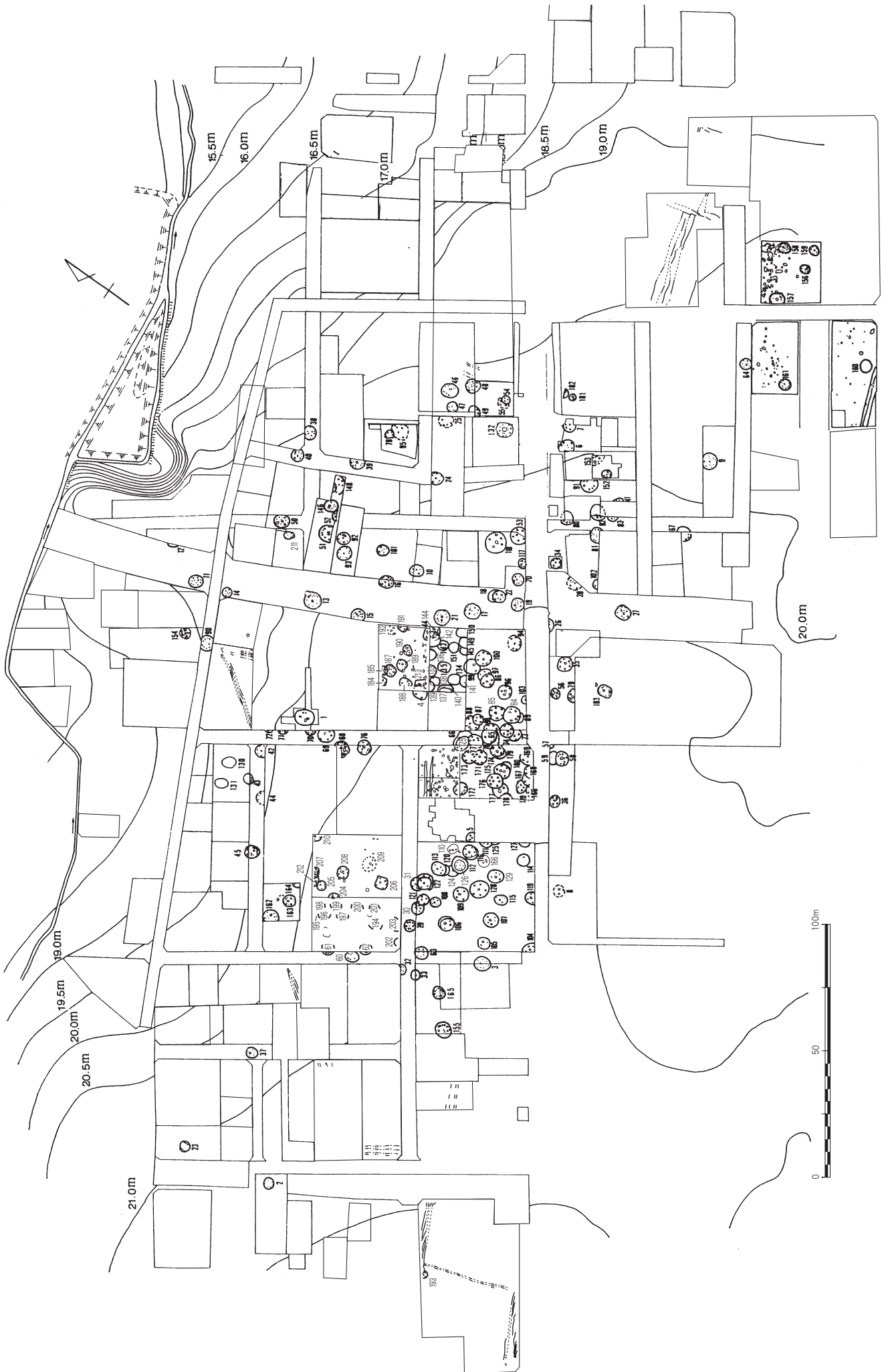
第22表 西ノ原遺跡住居跡一覧表

Detailed table of residence remains with columns: 住居番号, 調査率, 平面形, 規模, 基壇, 埋張, 柱張, 壁溝, 備考, 時期, 文献. Rows 1-39.

Detailed table of residence remains with columns: 住居番号, 調査率, 平面形, 規模, 基壇, 埋張, 柱張, 壁溝, 備考, 時期, 文献. Rows 40-76.

住居番号	調査率	平面形( )は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
77	80%	楕円形	(550)×(550)	○			○		○	石棒・石皿・75号と複合	E I 新中	調6集
78	完掘	楕円形	402×352	○							勝Ⅲ	町Ⅵ
79	55%	南半未掘	?×570	○	△			3回拡張	○	炉上土器	勝Ⅲ新	調6集
80	80%	東半未掘	422×460	○					有		E II 新	調6集
81	65%	円形	588×未掘	○						曾利系	E II	調6集
82	70%	楕円形	(560~570)	○					○		E II 中	調6集
83	45%	円形	364×?			未掘					E II	調6集
84	完掘	隅丸方形	732×674	○			○	有	○	複合・小形磨製石斧	E I 新中	調5集
85	完掘	楕円形	620×598	○	△		○			84号と複合	E II 新	調5集
86	完掘	隅丸方形	520×490	○				有	○	97号と複合	E I 新新	調5集
87	完掘	円形	354×374	○						88号と複合	E II	調5集
88	85%	隅丸方形	640×559	○	○	○	○	有	○	複合・復原31個体	E I 古	調5集
89	完掘	円形?	420×(390)	○						85号と複合	E I 新	調5集
90	70%	楕円形	?×560	○							勝Ⅲ新	調6集
91	80%	隅丸方形	746×?	○	○			有	○		勝Ⅲ新	町Ⅱ
92	完掘	楕円形	508×422	○	○			有	○		勝Ⅲ	調5集
93	完掘	楕円形	580×490	○			○	建替			E II	調5集
94	70%	円形	不明	○	○		○			床覆乱	E II	調5集
95	完掘	(円形)	(600×500)	○							E II	町Ⅵ
96	完掘	楕円形	(560×580)	○		○				小形磨製石斧	E II	調5集
97	完掘	楕円形	602×505	○						86号と複合	E II 古	調5集
98	60%	楕円形	472×(234)	○	○					74号と複合	勝Ⅲ古	調5集
99	完掘	不明	?×402	○						100号と複合	E II 新	調5・13集
100	完掘	隅丸方形	614×644		○	○	○	伏	有	小形磨製石斧・99号と複合	E II 新	調5集
101	完掘	円形	414×420	○	○				有		E I 新中	町Ⅱ
102	40%	円形	?×376								E II	町Ⅱ
103	55%	楕円形	?×380	○	○						阿Ⅰ b 古	調5集
104	90%	(楕円形)	(524×449)	○	○			有	○		勝Ⅲ	調13集
105	完掘	円形	405×420	○				有			E I 新	調13集
106	完掘	円形	560×520	②			○	有	○		E I 新中	調13集
107	完掘	円形	520×510	②	○			有			勝Ⅲ 新	調13集
108	完掘	円形	385×340	○	○				○		勝Ⅲ新	調13集
109	完掘	楕円形	560×494	○	○				○		E I 新	調13集
110	完掘	不整形円形	418×370	○							E II 新	調13集
111	30%	楕円形	不明			未掘				5・125号と複合	E	
112	完掘	隅丸方形	600×574	○	○		○	有	○	124・126号と複合	E I 新中	調13集
113	完掘	隅丸方形	520×496	○	○		○			120号と複合	E I 新古	調13集
114	完掘	円形	480×480	○	○			有	○		勝Ⅲ古	調13集
115	完掘	隅丸方形	460×340	○	○						勝Ⅲ	調13集
116	完掘	楕円形	540×498		○	○			○	添石埋裏炉	E I 古(中峠)	調13集
117	70%	隅丸方形	?×440	○	○						勝Ⅲ新	調6集
118	完掘	楕円形	520×374	○	○			建替			E II 新	調6集
119	90%	楕円形	580×480	○				有	○		E II・曾	調13集
120	完掘	円形	392×400	○						113・124号と複合	E I 新古	調13集
121	完掘	(円形)	380×390	○	○					30号と複合	E II	調13集
122	完掘	隅丸方形		②			○	有	○	31号と複合	E II	調13集
123												
124	完掘	円形?	418×420	○	○					112・120・126号と複合	勝Ⅲ新	調13集
125	10%	不明	不明			未掘			○	111号と複合	E	調13集
126	完掘	不明	550×565		○	○		有	○	112・124号と複合	E I 新	調13集
127	10%	不明	645×?			未掘					E	調13集
128	完掘	楕円形	(610×580)	○						削平著しい	E	調13集
129	完掘	不明	618×?	○							E	調13集
130	完掘	円形	542×465	○	○						勝Ⅲ古	町Ⅳ
131	完掘	楕円形	560×442	○	○				○		勝Ⅲ新	町Ⅳ
132	完掘	楕円形	590×580	②			○	有			E III	調13集
133	60%	楕円形	?×460	○				有	○	138号と複合	E III	調13集
134	完掘	隅丸方形	630×530	②				有		141号と複合	E I 新	調13集
135	完掘	隅丸方形	540×460	○	○				○		勝Ⅲ	調13集
136	70%	楕円形	?×610	②				有				調13集
137	20%	不明	×?	○				有	○	138・140号と複合	E	調13集
138	完掘	隅丸方形	450×360	○				有		133・139・140号と複合	勝Ⅲ	調13集
139	55%	不明	(546)×不明	○		○				138号と複合、4・213号と重複		調13集
140	40%	楕円形	(762)×不明	○						137・138号と複合		調13集
141	55%	不明	528×不明	○						134号と複合		調13集
142	50%	不明	不明	○						143・144号と複合		調13集
143	完掘	楕円形	479×421				○	建替	○	142・151号と複合		調13集
144	90%	(隅丸長方形)	595×430×40	○	○			有		142号と複合	勝Ⅲ新	調13・市14
145	60%	不明	不明×325	○						149・151号と複合		調13集

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市内遺跡群



第36図 西ノ原遺跡遺構分布図 (1/2,000)

について」がふじみ野市教育委員会に提出された。

試掘調査は原因者が表土層の削平を行った後、幅約 1～1.8 m のトレンチ 5 を設定し、人力による表土除去を行った。土坑 1 基及び表土層から縄文土器が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構と遺物

### ①土坑

平面形態は円形を呈する。規模は、確認面径 115×97 cm、底径 83×80 cm、深さ 29.8 cm である。覆土層の観察から縄文時代と考えられる。覆土中から縄文土器片 1 点出土した。

### ②遺物 (第 37 図 1～12)

1 は土坑覆土中、2～12 は表土中出土である。1 は刻目のある隆帯脇に沈線を施す。2 は無文の口縁部。3 は無文口縁部に口唇部は「く」の字状に屈曲し隆帯を貼付ける。4 は沈線文を施す。5 は隆起帯に半截竹管状工具の内側で連続爪形文と交互刺突を施す区画内に横位沈線文を施す。6 は半截竹管の内側で平行沈線を施し、その上に大きな刺突の刻目を施す。7 は地文 L r 燃糸文に隆帯の区画文を施す。8 は地文 L r 燃糸文に沈線文を施す。9 は地文 L r 燃糸文に横位隆帯と隆帯の蛇行懸垂文を貼付する。10 は頸部無文帯と 2 本組の横位隆帯から隆帯の懸垂文を貼付し区画内に沈線文を施す。11 は無節 r の側面圧痕を施す。12 は底部で無文である。1、3～6 は勝坂Ⅲ式、2 は勝坂式、7～10 は加曾利 E I 式である。2 と 12 は中期とみられる。

## III 西ノ原遺跡第 161 地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 5 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請地の一部は、1990 (平成 2) 年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で、第 50 号住居跡の一部が調査されている。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 6 月 17 日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。試掘調査の結果、第 50 号住居跡とみられる遺構の他、

新たに住居跡 1 軒が確認された。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm であり、遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は 2014 年 6 月 18 日～23 日まで、調査区中央部の住居跡が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。

## (2) 遺構と遺物

### ①第 50 号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。

1990 (平成 2) 年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で住居跡全体の約 80% が調査済である。縄文時代の土坑 2 基と重複し、住居跡の南西隅は近世以降の溝に切られる。

【形状・規模】前回の調査では平面形態は楕円形と推定されていたが隅丸長方形に近い。規模は、長軸 572 cm、短軸 490 cm、深さ 18 cm である。周溝はない。

【炉】炉は住居跡中央部やや南寄りに位置する、石囲炉である。礫 14 点が残存するが、東北部の礫は欠損する。炉の規模は長軸 68 cm、短軸 (53) cm、深さ 11 cm である。

【柱穴】柱穴は 3 本検出し、主柱穴である。各ピットの詳細は第 23 表のとおりである。

【遺物出土状況】今回の調査は北西隅の一部を検出したため、新たに出土した遺物のみ 6 点を掲載した。全て覆土層と住居跡の埋め土から出土したものである。大部分の遺物は前回の調査で出土しており、大井町遺跡調査会報告第 6 集『西ノ原遺跡』に掲載されたものを参照されたい。前回の調査では覆土層から打製石斧 1 点、石鏃 1 点、土器片 107 点出土した。土器は勝坂式末 30%、加曾利 E I 式 40%、加曾利 E II 式 10%、加曾利 E III 式 20% である。

### 【出土遺物】(第 40 図 1～6)

1 は波状口縁の波頭部で外面に沈線を施し、内面は無文である。2 は浅鉢の口縁部か。3 は外面無文で内面は僅かに括れる。4 は R 1 の燃糸文。5 は沈線の懸垂文と地文 R L 縄文を施す。6 は須恵器坏片である。1、3、5 は加曾利 E II～III 式。2、4 は勝坂式から加曾利 E 式。

### ②第 211 号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。北東約 140cm 離れて第 50 号住居跡が位置する。

【形状・規模】平面形態は南北に長い楕円形で、規模

は長軸 425 cm、短軸 273 cm、深さ 16 cm である。周溝はない。

【炉】 炉は住居跡中央部やや北寄りに位置する。耕作により半分が破壊される。炉は底部を欠損する縄文土器を正位に設置した埋甕炉で、残存規模は長軸 42 cm、短軸 (16) cm、深さ 22 cm である。

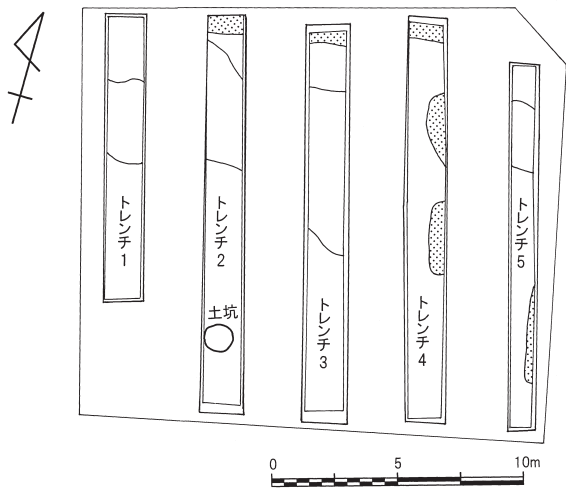
【柱穴】 柱穴は 5 本検出し、支柱穴は P1 ~ 4 である。各ピットの詳細は第 23 表のとおりである。

【遺物出土状況】 遺物は住居跡床面から覆土層にかけて僅かに出土した。

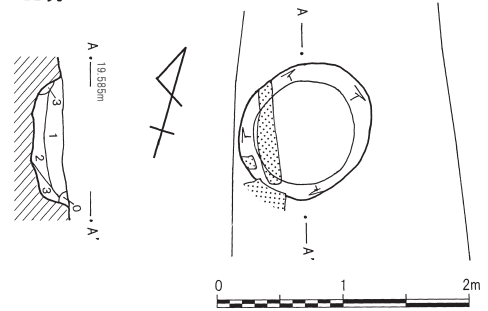
【出土遺物】 (第 40 図 7 ~ 15)

7 は炉体土器、口縁と胴部下半を欠損。内外面に被熱によるはがれが認められる。地文は横位の RL 縄文。勝坂Ⅲ式か。8 は 4 単位波状口縁の深鉢口縁部、刻みを持つ隆帯により三角や半円形に区画。区画内には沈線による玉抱き三叉文や縦位文。勝坂Ⅲ式末。9 は深

第 160 地点



土坑

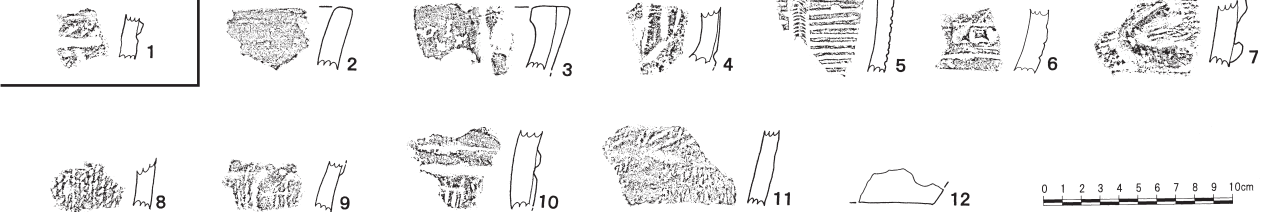


0. 攪乱

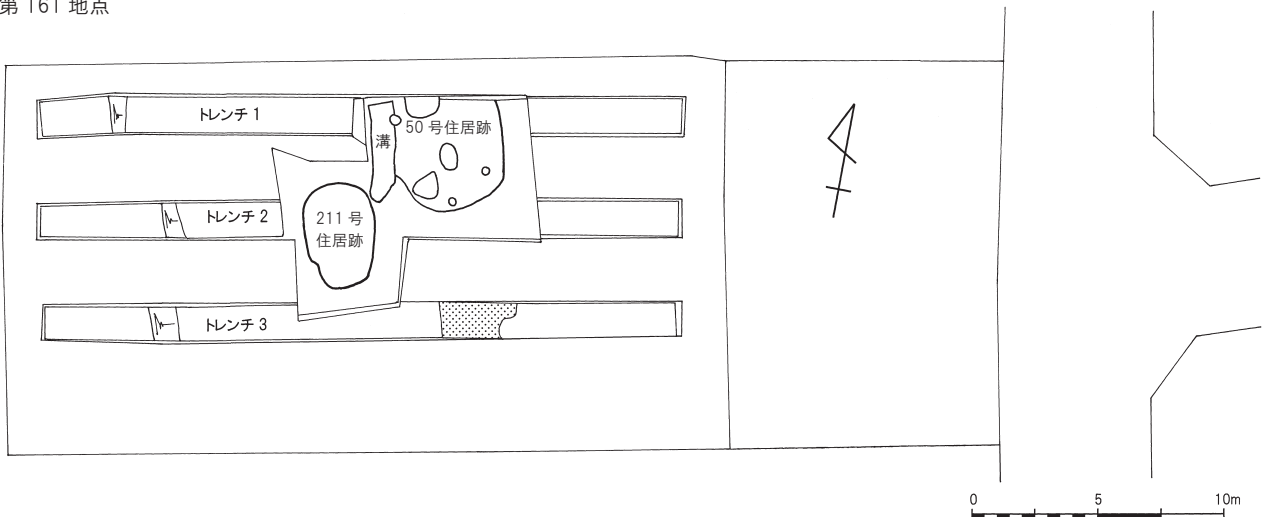
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒極少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、同焼土粒極少し含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム崩落土

土坑

遺構外



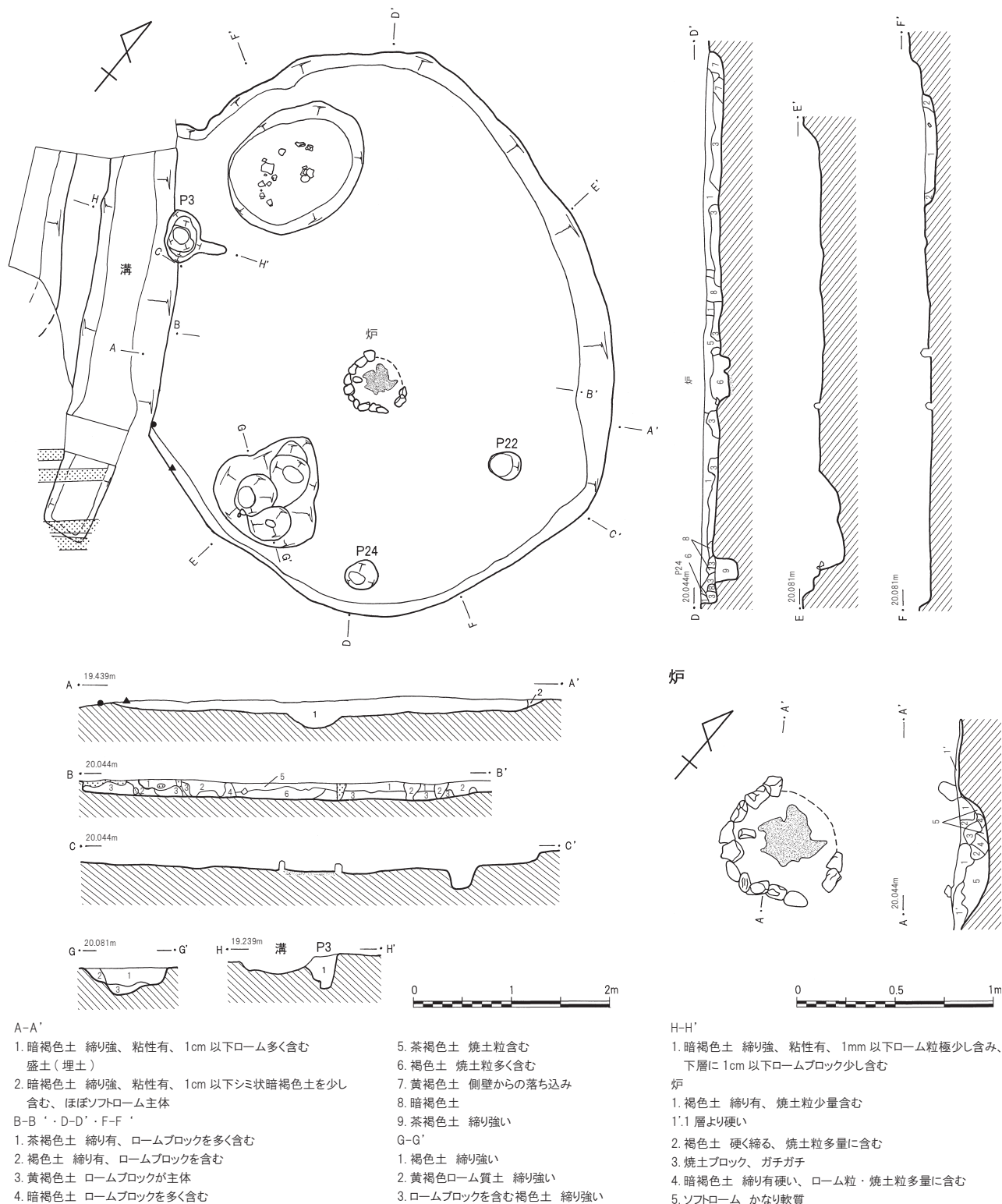
第 161 地点



第 37 図 西ノ原遺跡第 160・161 地点 遺構配置図 (1/300)、第 160 地点土坑 (1/60)、出土遺物 (1/4)

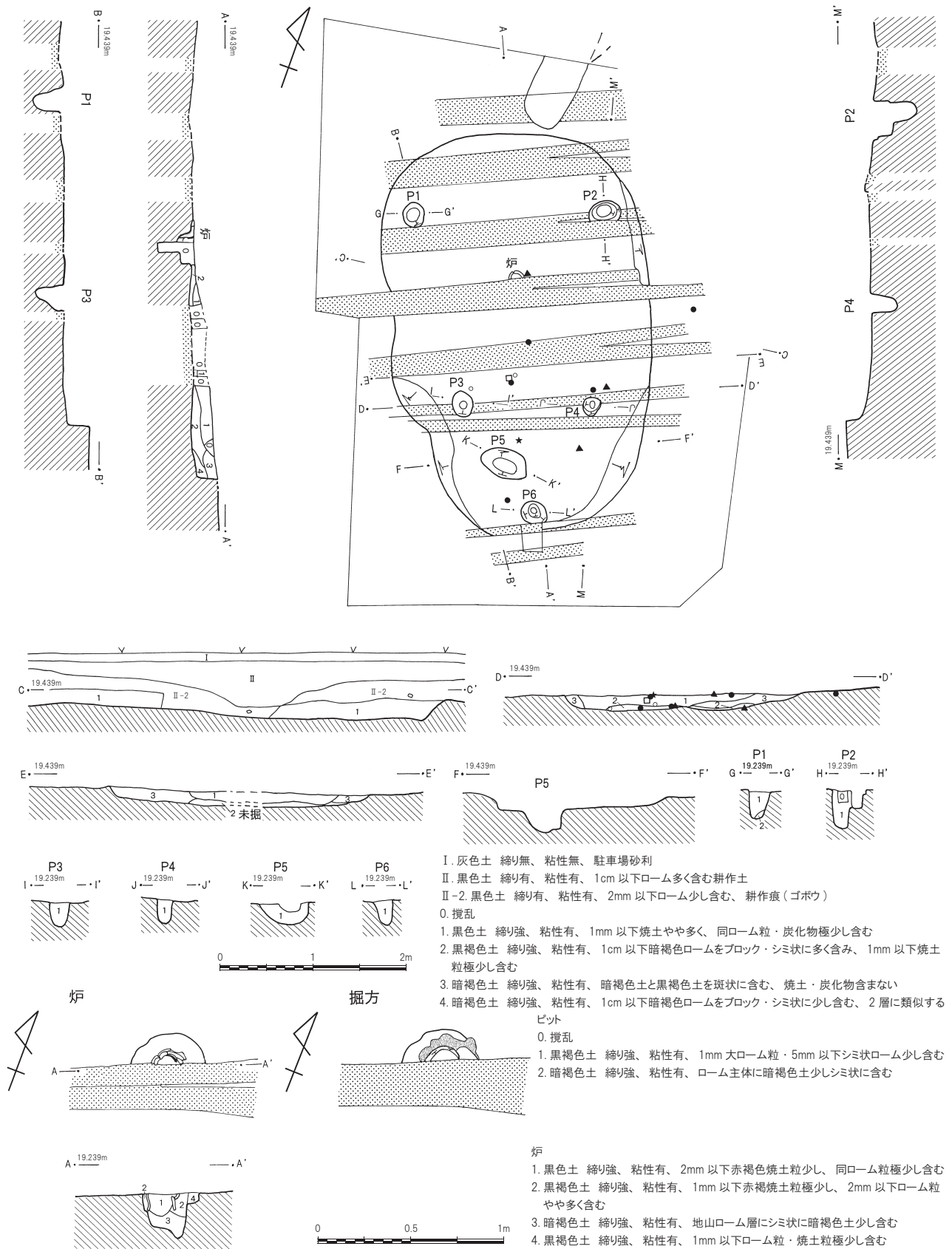
第 23 表 西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考		No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
50号 住居跡	3	不整形	61×52	17×15	38.9		211号 住居跡	1	円形	27×22	15×12	31.8	
	22	方形	32×29	20×15	19.2			2	不明	36×(26)	16×11	46.2	
	24	方形	34×29	20×17	23.1			3	円形	27×22	7×7	30.9	
						4		円形	20×18	8×5	27.2		
						5		楕円形	55×30	28×12	24.1		
						6		(円形)	30×25	8×8	32.9		



第 38 図 西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡 (1/60)、炉 (1/30)





第39図 西ノ原遺跡第161地点211号住居跡(1/60)、炉・掘方(1/30)

鉢口縁部、隆帯と沈線による楕円形の区画。隆帯上、沈線間に刻み。胎土に結晶片岩を含む。10・11は刻みを持つ隆帯と沈線による区画。9～11は勝坂Ⅲ式。12は隆帯上にLr燃糸。13は地文横位RL縄文。15は打製石斧、凝灰岩製。長さ8.6cm、幅4.2cm、厚さ1.5cm。刃部に摩滅が見られる。

【遺構外出土遺物】(第40図16～21)

16は深鉢胴部、隆帯を垂下、沈線により渦巻き文。勝坂Ⅲ式。17は深鉢胴部、地文縦位RL縄文。隆起線による懸垂文。加曾利EⅡ式。18は深鉢胴部、沈線による逆U字の区画か。加曾利EⅡ～Ⅲ式。19は深鉢胴部、櫛歯状工具による縦位の波状文。加曾利EⅡ式併行。20、21は無文の底部。20は浅鉢か。

Ⅳ 西ノ原遺跡第 162 地点

(1) 調査の概要

調査は葬祭場建設に伴うもので、原因者より2014年7月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年8月29日～9月4日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmで、調査区北東に攪乱がみられる。

試掘調査の結果、中近世以降の溝1条を確認、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構と遺物は次のとおりである。

(2) 遺構と遺物

①溝

調査区西側に位置し、南北方向に走行する。規模は上幅60cm、下幅32cm、深さ22cm、溝の断面形状は浅い「U」字状を呈する。出土遺物なし。

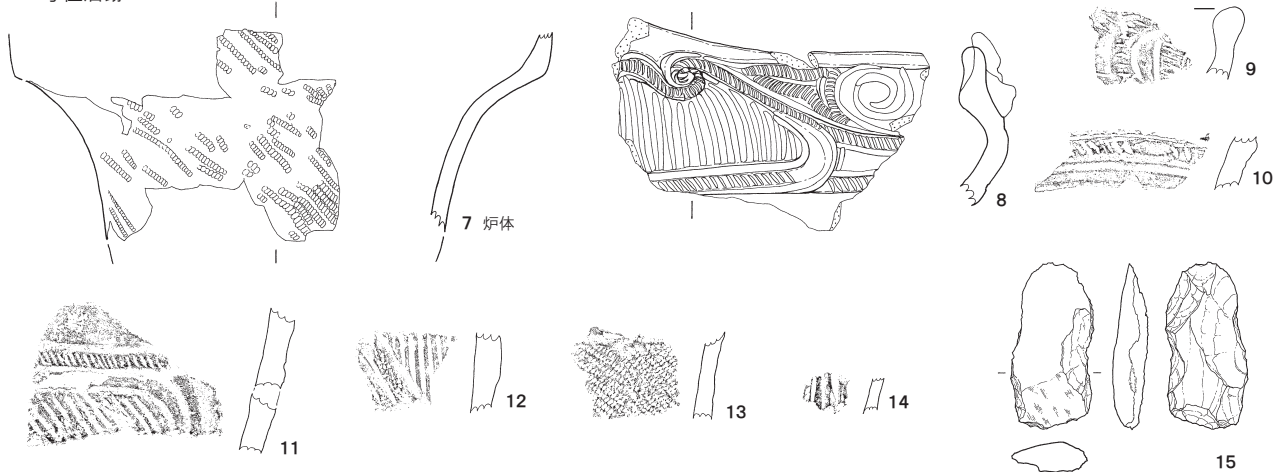
②遺構外出土遺物(第41図1～10)

今回の調査で、表土中から縄文土器片が出土した。1は深鉢胴部、縦位LR縄文と沈線による懸垂文。2、3は深鉢胴部、縦位RLと沈線による懸垂文。1～3は加曾利EⅡ式。4は沈線による渦巻き。5は深鉢口縁部、横位や弧状の沈線が見られる。薄手で丁寧に磨かれる。6は有孔鏝付土器の鏝部。鏝部に上から穿孔している。鏝から隆帯を弧状に垂下し区画、区画内に

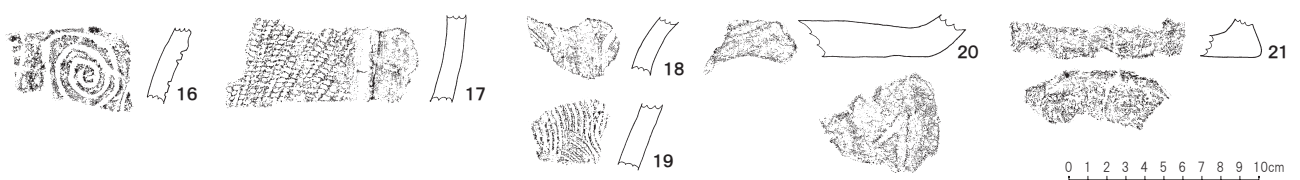
50号住居跡



211号住居跡

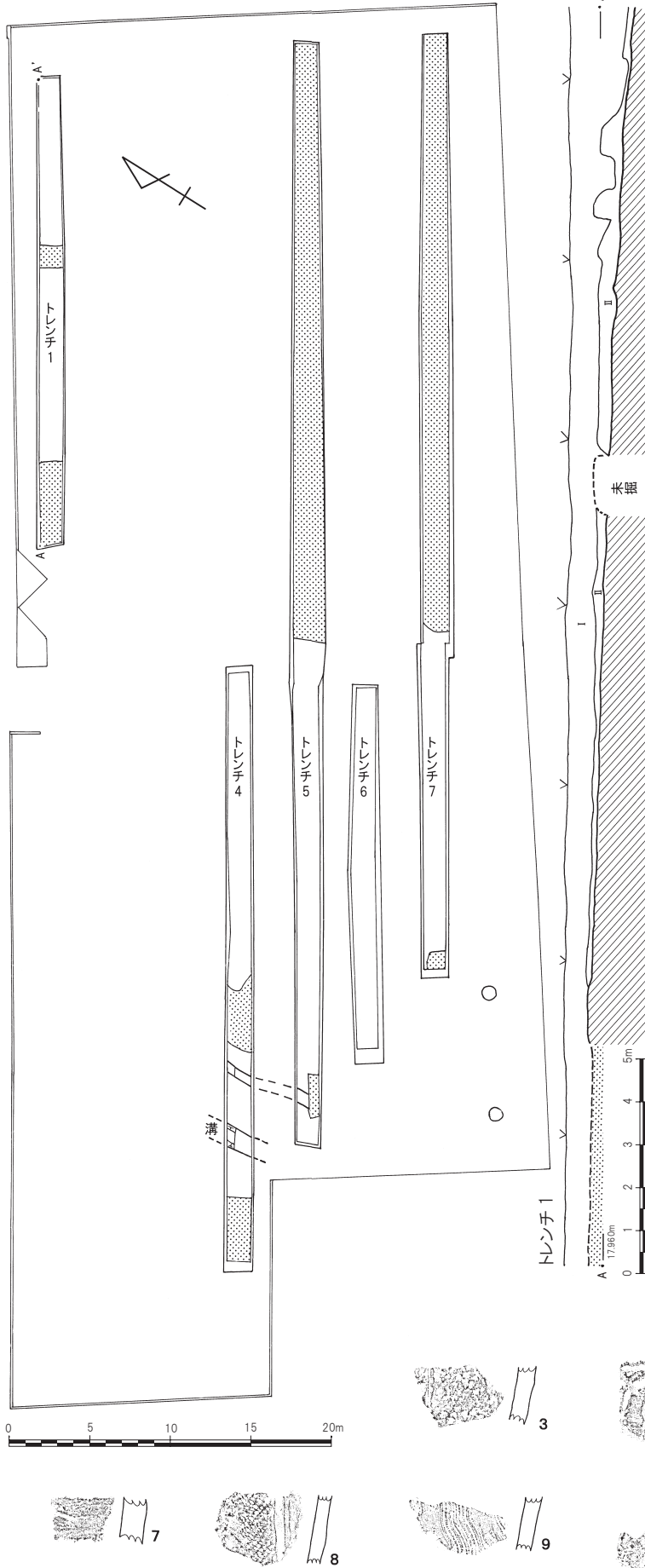


遺構外

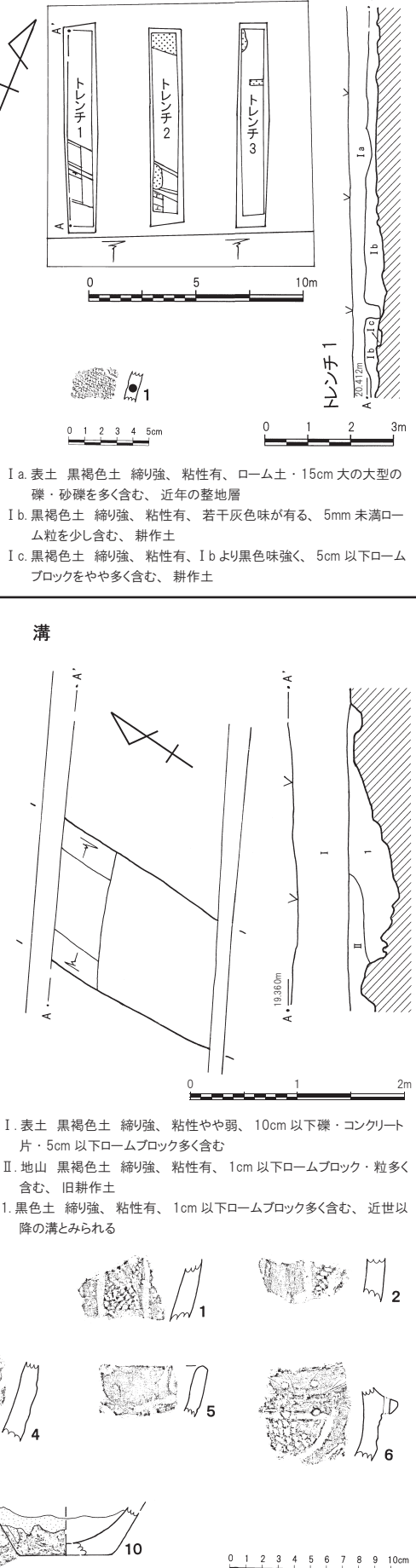


第40図 西ノ原遺跡第 161 地点出土遺物 (1/4)

第162地点



第163地点



- I a. 表土 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土・15cm大の大型の礫・砂礫を多く含む、近年の整地層
- I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、若干灰色味が有る、5mm未満ローム粒を少し含む、耕作土
- I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、I bより黒色味強く、5cm以下ロームブロックをやや多く含む、耕作土

- I. 表土 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、10cm以下礫・コンクリート片・5cm以下ロームブロック多く含む
  - II. 地山 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒多く含む、旧耕作土
1. 黒色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック多く含む、近世以降の溝とみられる

第41図 西ノ原遺跡第162地点遺構配置図(1/400)、第163地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、溝(1/60)、出土遺物(1/4)

刺突文を充填。加曾利 E II 式併行か。7 は浅鉢口縁部。8 は薄手の深鉢胴部、縦位の RL 縄文、沈線による懸垂文。9 は深鉢胴部、櫛歯状工具による波状文。8、9 は加曾利 E II 式。10 は無文の底部。

## V 西ノ原遺跡第 163 地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 12 月 9 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 2 月 2 日・3 日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ～ 70 cm である。試掘調査の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

表土中より縄文土器片が 1 点出土（第 41 図）。深鉢胴部。横位 RL 縄文と弧状の沈線。胎土に雲母がやや多い。加曾利 E I ～ II 式。

## 第13章 神明後遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は1987年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2017年3月末現在54ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

### II 神明後遺跡第52地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より

2014年12月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年1月28日に試掘調査を実施した。試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約60～70cmの深さで地山ローム層を確認した。トレンチ3で時期不明のピット1基を検出した。ピットは平面形態がほぼ円形で、確認面径28×30cm、底径20×17cm、深さ30cmである。また表土中から縄文土器片1点が出土した。縄文時代早期の土器で、胎土に繊維を含み外面に条痕文を施す。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

### III 神明後遺跡第53地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年1月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年3月19日に試掘調査を実施した。試掘調査は、幅約1mのトレンチ3本を設定し、



第42図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

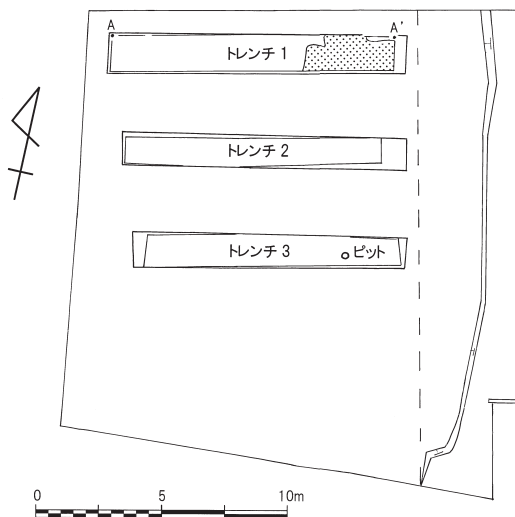
第 24 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構なし、平安時代須恵器片、陶器片	町Ⅲ
2	苗間 295-2、299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688	道路築造	落とし穴 1、平安住居跡 1(H1 号)、縄文土坑 1、中・近世掘立柱建物跡、地下式竈 1、井戸、堀	町Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡 1(2号)、伏裏 2、埋裏 1、土坑 2、ピット 34 他	町Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡 1(3号)、土坑 5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭土器	町Ⅵ
6	苗間 255、227-2	(1997.9.29・30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1・2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1、	町Ⅶ
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	縄文土器片	町Ⅶ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ピット 33	町Ⅶ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑 17、ピット 7	町Ⅸ
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ピット	町Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世掘立柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ピット 38	町Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12・13	163	個人住宅	集石土坑 1 (阿玉台期)	町ⅩⅠ
16	苗間 309-14	(2001.7.23・24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋裏 4、土坑 13、溝 2、地下式竈 1、地下室 1、竪穴状遺構 1、ピット 38	町ⅩⅠ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町ⅩⅠ
18	苗間 304-1、303-6	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡 5(8 ~ 12号)、土坑、古代・中世堀跡	町ⅩⅡ
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝 4	町ⅩⅡ
20	苗間 293-11	(2003.1.14・15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ピット 2	町ⅩⅡ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土地造成	ピット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町ⅩⅡ
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ピット 38、江戸後期陶磁器	町ⅩⅡ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、銭貨	町ⅩⅡ
24	苗間神明後 293-4・10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構遺物なし	町ⅩⅡ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町ⅩⅡ
26	苗間神明後 301、303-3 ~ 5・7、 304-1	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡 1(13号)、中世地下式竈、近世土坑 5、溝	調査 18 集
27	苗間 248-2、249-1	(2005.7.20 ~ 25) 2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡 1(14号)	調査 18 集
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡 11(15 ~ 25号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、炉穴 3、ピット、溝 4、古代・中世堀跡 1	市 3
29	苗間神明後 303-21・24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	136	個人住宅	ピット 1、古代・中世堀跡 1	市 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ピット 12	市 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	市 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代攪乱	市 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ピット 16	市 6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市 6
34	苗間字神明後 283-1、284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡 1(26号)、落とし穴 1、集石 3、ピット	市 5
35	苗間字神明後 293-6・20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット 1	市 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡 1	市 8
38	苗間字神明後 293-1、292-13	(2009.7.6・7) 2009.7.8 ~ 16	265	個人住宅	中近世溝 1	市 8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝 2、ピット 28、落とし穴 1	市 7
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑 1、中世地下式竈 2、井戸 1、竪穴状遺構 1、土坑 9	市 8
41	苗間字神明後 298-1、299-1 の一部	(2010.5.25 ~ 6.7) 2010.6.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑 1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構 16、溝 7、木炭窯 2、ピット 214	市 9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1・2)	312	宅地造成	遺構遺物なし (隣接地)	市 10
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ピット 7、本調査	市 10
44	苗間神明後 367-1、368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11 ~ 13	1,536	個人住宅	落とし穴 1、土器・陶器片	市 14
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	市 14
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9・10)	233	個人住宅	縄文土坑 1、土器片	市 15
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25 ~ 5.10	340	個人住宅	縄文時代集石 3、ピット 4、縄文土器片	市 15
48	苗間神明後 315-1 の一部	(2012.5.7) 2012.5.8 ~ 14	171	個人住宅	井戸 2、溝 3、土坑 8、ピット、板碑、カワラケ、近世陶磁器、石臼片	市 15
49	苗間神明後 367-1、368-6	(2013.1.30)	28	個人住宅	遺構遺物なし	市 15
50	苗間 375	(2013.12.11)	531	薬師堂	遺構遺物なし	市 18
51	神明後 295-1、297-1・2 の一部、 298-1、299-1	(2014.11.5 ~ 13) 2014.11.20 ~ 25	487	共同住宅	縄文時代土坑 2、中近世溝 2、縄文土器	市 16
52	苗間字神明後 231-1	(2015.1.28)	379	個人住宅	遺構なし、土器片	市 20
53	苗間字神明後 298-1	(2015.3.19)	495	個人住宅	遺構遺物なし	市 20
54	苗間字神明後 293-7・9	(2015.12.3)	342	共同住宅	遺構遺物なし	未報告

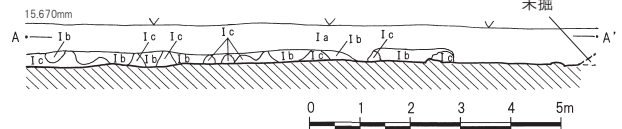
※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

人力による表土除去、表面精査を行った。その結果、現地表面から約20～50cmの深さで地山ローム層を確認した。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

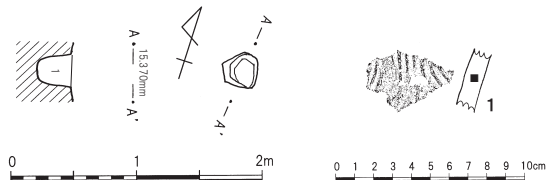
第52地点



トレンチ1

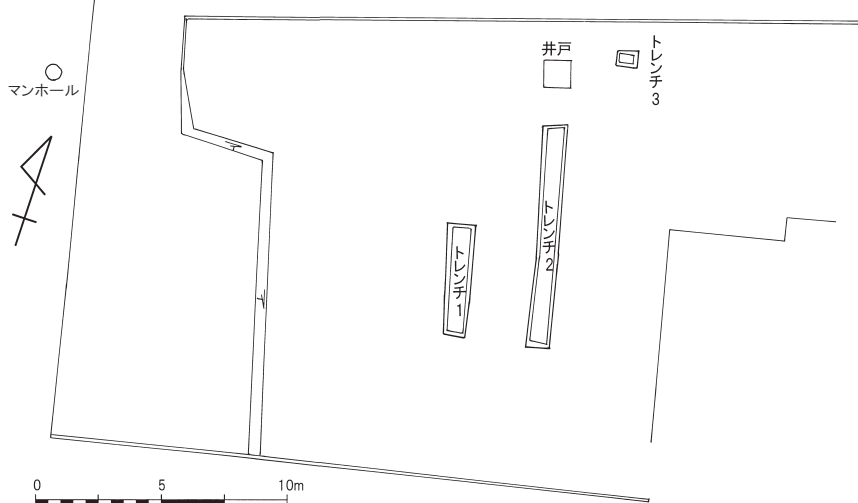


ピット



- I a. 表土 黒褐色土 締り有、粘性有、全体に5mm未満ローム粒少し、西の攪乱部分には5～30mmロームブロックやや多く含む、盛土層
  - I b. 黒褐色土 締り有、粘性有、I aより黒色味強い黒褐色土に、5cm以下ロームブロックやや多く含む、耕作土
  - I c. 黄褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム土主体で暗灰黄色土や黒褐色土のブロックが混ざる
- ピット  
1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、5mm大ローム粒やや多く含む、中近世のピット

第53地点



第43図 神明後遺跡第52地点遺構配置図・第53地点調査区域図(1/300)、第52地点土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

## 第 14 章 小田久保遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 1.3km、砂川堀の左岸、標高 23～28 m に位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990 年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003 年と 2004 年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2017 年 3 月末現在、12ヶ所で調査を行っている。

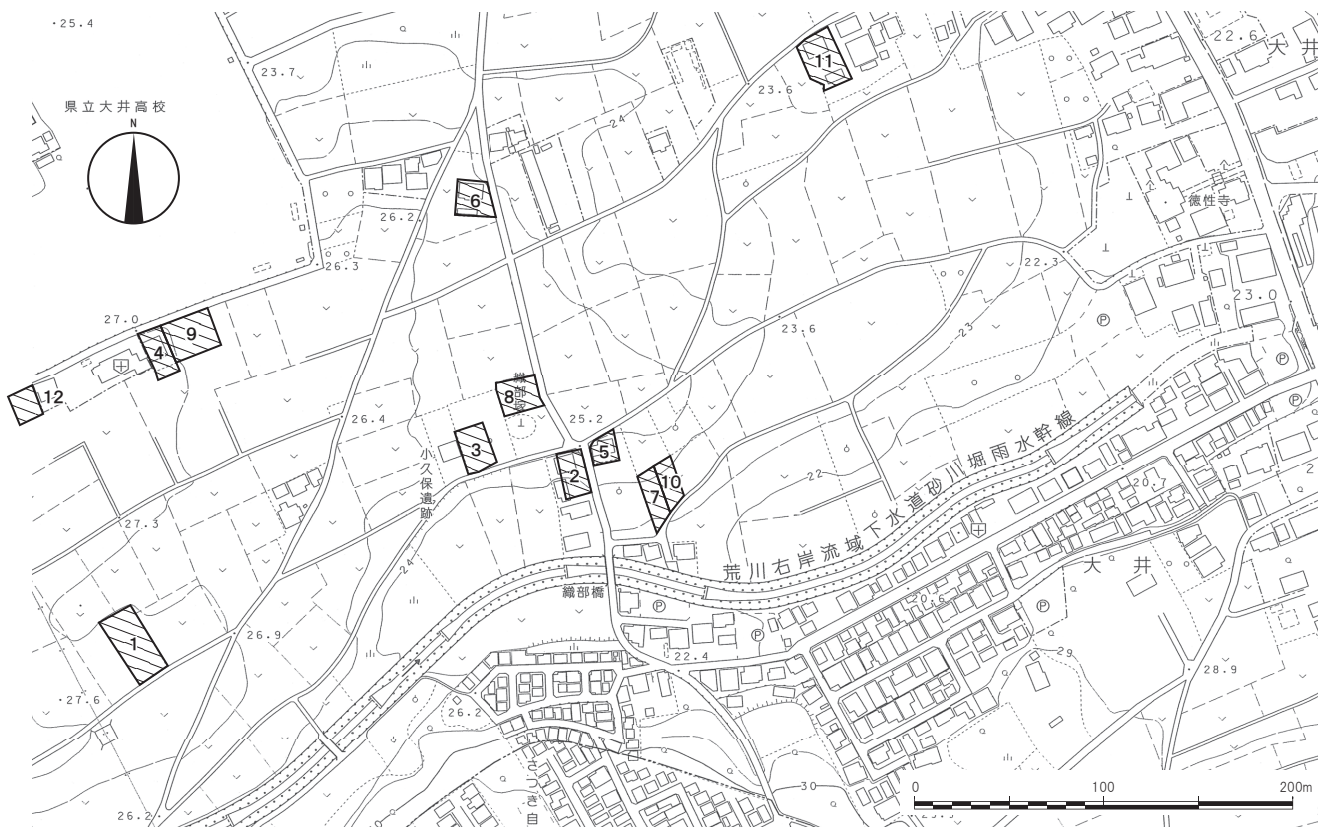
### II 小田久保遺跡第 10 地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 9 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部南寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2014 年 10 月 7 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1～1.5m のトレンチを 4 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から 40～70cm の深さで地山ローム層を確認した。トレンチ 1 で縄文時代の土坑 1 基を検出した。開発による影響がないため写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

検出した土坑は、平面形態は円形で、規模は確認面径 130 × 118 cm、底径 120 × 102 cm、深さ 30.2 cm である。覆土中から縄文土器片 2 点が出土した。また、表土中から縄文土器片 3 点が出土している。(第 45 図 1～5) 1、2 は土坑出土遺物である。1 は浅鉢の



第 44 図 小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



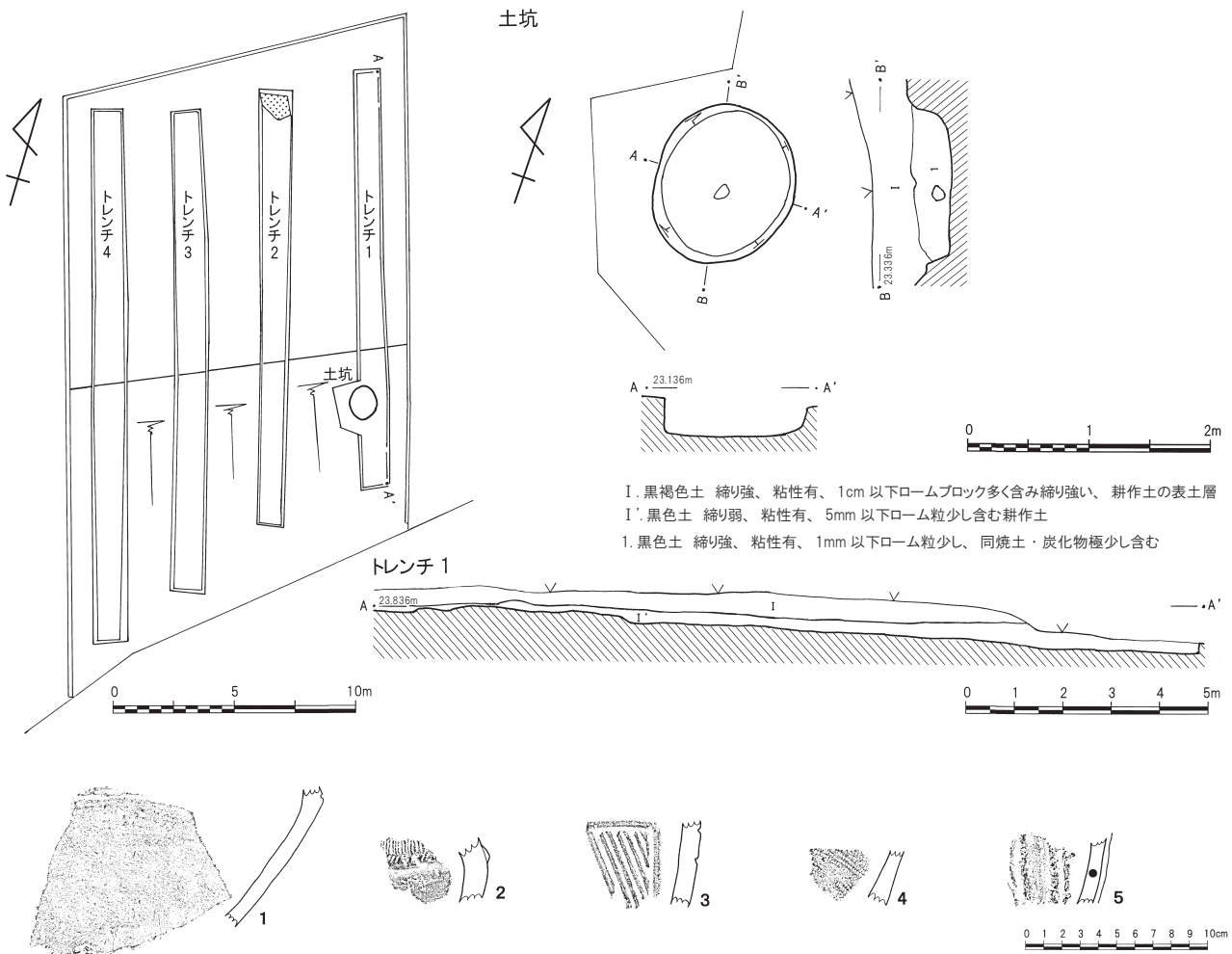
体部で、上部に沈線が施される。内外面に横位ヘラミガキを丁寧に施す。2は隆帯にキザミ、脇に押引文を施文する。勝坂Ⅱ式。3～5は調査区表土中より出土した遺物である。3は区画内に縦位の沈線を施す。勝

坂Ⅱ式。4はLR縄文を施す。時期不明。5は縦方向の隆帯を2本貼付け、脇に押引文を施文。胎土に多量の金雲母を含む。阿玉台式土器。

第 25 表 小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.12~18) H3.1月末~継続調査予定	694	資材置場	遺構なし、縄文中期土器片	東X I
2	大井1249-1	(1993.9.21~10.1)	498	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内Ⅲ
3	大井1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内Ⅳ
4	大井1185-5	(1997.6.24~26)	271	分譲住宅	土坑1	町内Ⅶ
5	大井字西原1023	(2003.8.18.19) 2003.8.20~9.2	165	個人住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器・石器	町内XⅡ
6	大井字小田久保1207-5	(2004.10.26~10.27) 2004.10.28~11.13	306	個人住宅	縄文中期住居跡1、集石土坑1、土坑2、ピット8、縄文土器・石器	町内XⅡ
7	大井字西原1023-9.8	(2008.5.19~21)	333	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3~9)	421	個人住宅	縄文時代土坑5、ピット8、近世以降根切り溝9、縄文土器・石器、泥面子	市内8
9	大井字小田久保1185-1	(2010.3.9)	536	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
10	大井字西原1023-3	(2014.10.7)	317	個人住宅	縄文時代土坑1、縄文土器	市内20
11	大井985-4	(2015.5.14)	330	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
12	小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	(2015.8.18)	536	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



第 45 図 小田久保遺跡第 10 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、土坑 (1/60)、出土遺物 (1/4)

## 第15章 大井氏館跡遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会)によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸(北側)の舌状に張り出した微高地上、標高21~22mに立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差5mの崖になる。

遺跡の時期はAT降灰前の立川ローム層第IV層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

### II 大井氏館跡遺跡第24地点

#### (1) 調査の概要

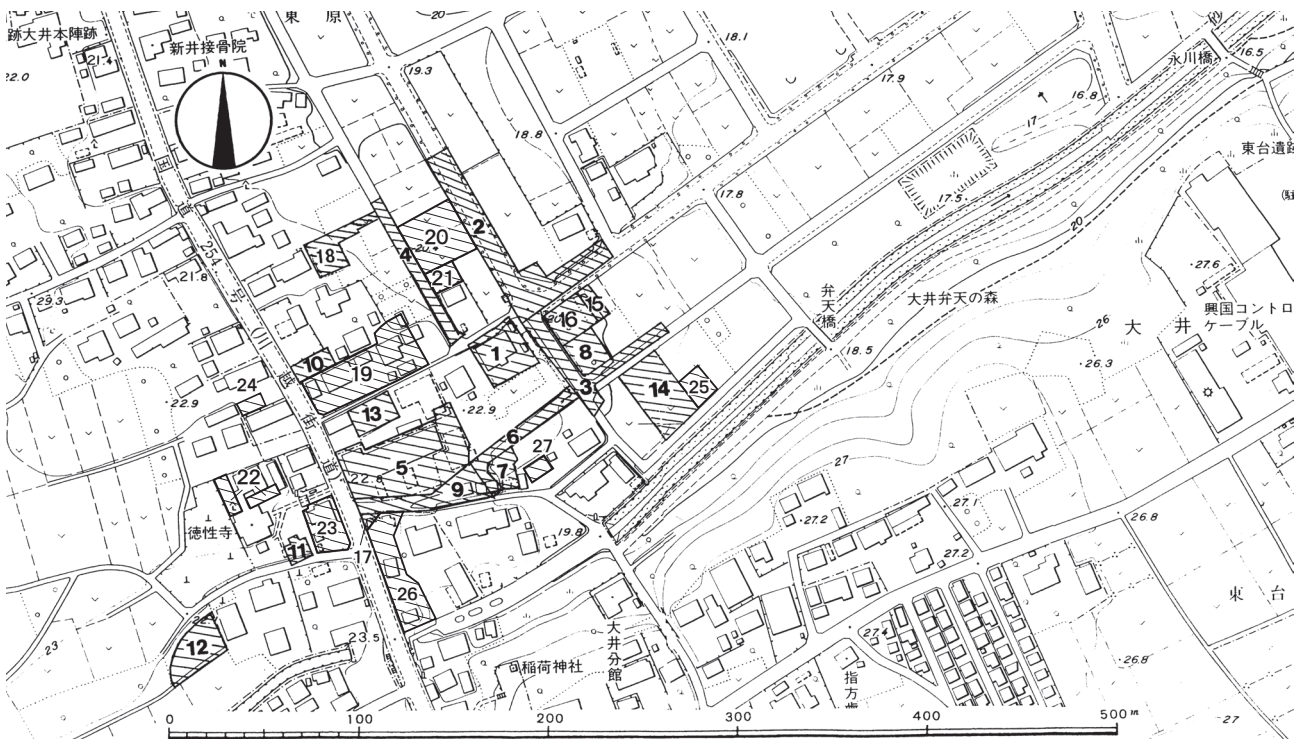
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年6月6日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部西寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2014年6月23日に試掘調査を行った。試掘調査は幅約1.5mのトレンチ1本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約50cmである。

試掘調査の結果、土坑1基を確認した。申請者と

第26表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

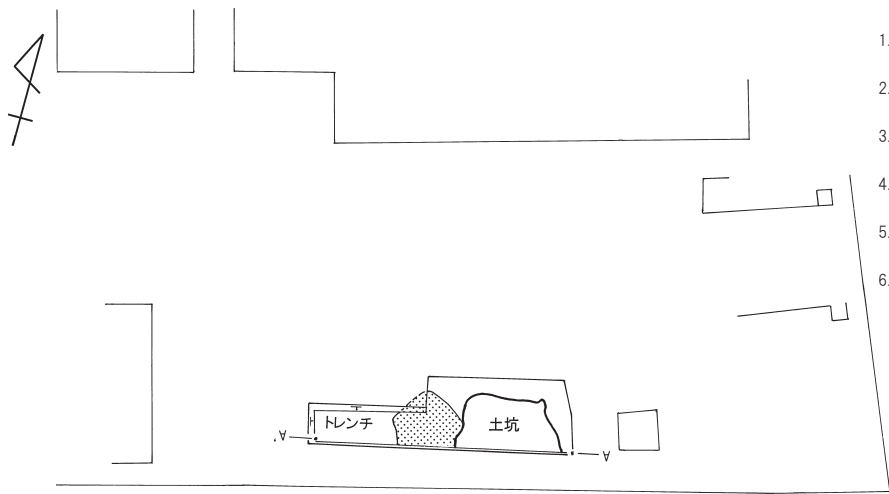
地区地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1						
2 3 6 8 9	大井212地	1988.6.24~1993.10.26	4,800	大井・苗間第一土地区画整理事業	旧石器時代-石器集中6、縄群14-石器、縄文時代-集石土坑1、土坑4-石器・土器、中近世・近世-地下式坑12、井戸2、土坑28、溝5、近世土坑14-国産陶器、舶載磁器、土師質土器、瓦質雑器類、石製品、板碑、金属製品、銭貨	調査会7
4		(1990.3.14~3.15)				-
5	大井	(1991.6.11~17)1991.6.18~1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期住居跡1、獨立建物跡、溝、前期中葉黒浜式土器、石器、陶磁器、砥石、銅銭、金属器、土製品	調査会5・町内I
7	大井241-1	(1992.6.2~17)	157	個人住宅	堀1、溝1、道路遺構1、縄文土器、砥石、陶器	町内II
10	大井208-1, 209-1, 210-4	(1998.8.22)1998.9.19~10.2	1,153	ガソリンスタンド	縄文時代落とし穴1、近世の近代土坑、近世近代獨立柱建物跡1、井戸1、溝1、ビット24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス製品	町内VI・調査会12集
11	大井182	(1998.11.9~17)		個人住宅	近世~近代の土坑6、溝5、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製品、土製品、銭貨	町内VII
12	大井952	(1999.5.28~6.4)1999.6.2~4	690	駐車場	溝5、陶磁器、銭貨、石器、鉄、瓦質土器、土師器	町内IX
13	大井1-8-1	(2000.11.21~24)	76	事務所	遺構遺物なし	町内X
14	大井苗間129街区2画地	(2002.5.22~6.6)2002.6.20~8.9	984	共同住宅	中世の溝9、井戸1、獨立柱建物跡、地下式坑1、茶毘跡6、土坑24、ビット	町内XI
15	大井苗間126街区1画地	(2002.7.24~8.2)	135	個人住宅	溝1、ビット4	町内XI
16	大井2-242-1	(2002.8.5~8.22)2002.8.23~9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石4、土坑1、ビット14	町内XI
17	大井1-11-9	2002.11.19~12.2	50	道路	近世~近代の土坑14、ビット13、砥石、銭貨	町内XI
18	大井・苗間80-6-9	(2003.1.17~22)	476	個人住宅	溝2、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内XI
19	大井1-6-13	(2005.6.7~8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
20	大井1-7-7	(2006.3.2~14)	773	共同住宅	時期不明の溝12、ビット21、縄文土器、陶器	市内2
21	大井1-7-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
22	大井字西原954-1	(2007.11.27~12.1)	1,962	寺院裏建設	礎石3、土坑4、ビット25、近代陶磁器、石製品	市内4
23	大井字西原955-1、956-1	(2012.11.7~9)2012.11.12~14	503	専用住宅	近世~近代の土坑10、近世~近代の陶磁器、土器、ガラス製品、石製品、銭貨、木製品等	市内15
24	大井字西原959、960	(2014.6.23)2014.6.24~25	69	個人住宅	土坑(ごみ穴)1、近世陶磁器、瓦他	市内20
25	大井2-14-13の一部	(2014.12.15)	414	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
26	大井1-11-1~2他	(2015.6.1)	994	宅地	遺構なし、砥石3	未報告
27	大井1-9-5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市内：ふじみ野市市内遺跡群

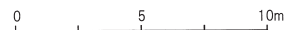


第46図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

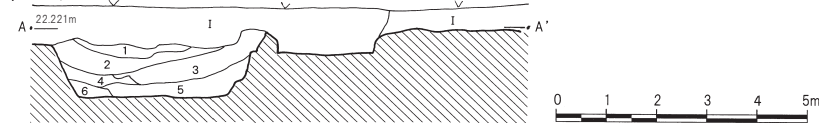
第 24 地点



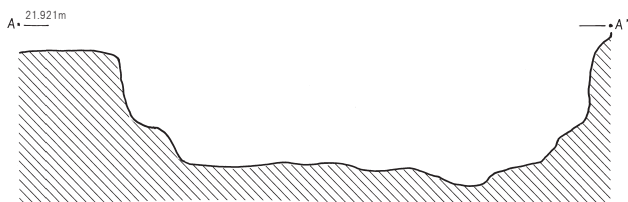
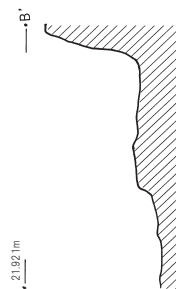
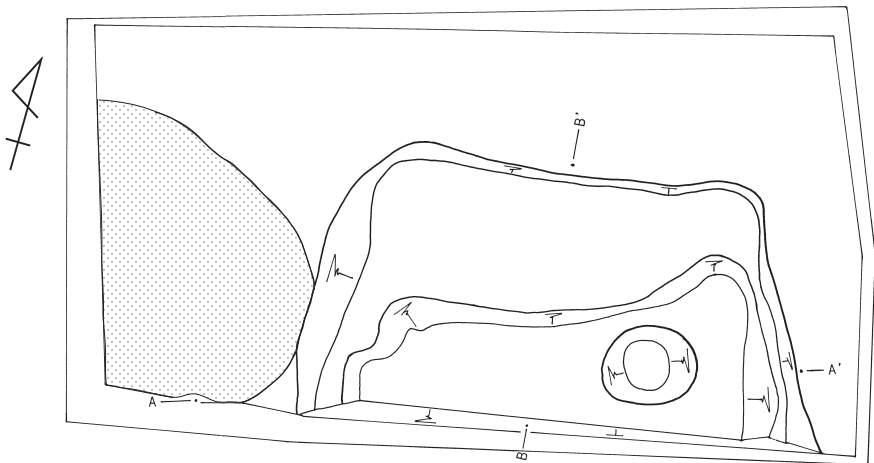
- I. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、木の根・礫多く含む、5mm 以下ローム・焼土・炭化物多く含む
- 1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、2cm 大ロームブロック・5mm 以下炭化物少し含む、焼土ほとんど含まない
- 2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、1cm 以下ローム・炭化物多く、焼けた礫・陶磁器やや多く含む
- 3. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2cm 以下焼土・炭化物・陶磁器等遺物多量に含む
- 4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、1cm 以下ローム多く、同炭化物少し含む、焼土ほとんど含まない
- 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、5cm 以下ロームブロック多く、1cm 以下炭化物少し含む、焼土極少し含む
- 6. 暗褐色土 締り弱、粘性有、3cm 以下ロームブロックやや多く、1cm 以下炭化物少し含む、焼土極少し含む、5 層よりやや暗い



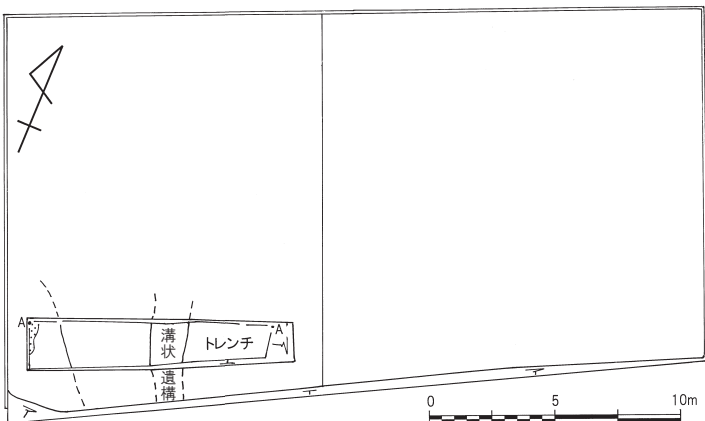
トレンチ



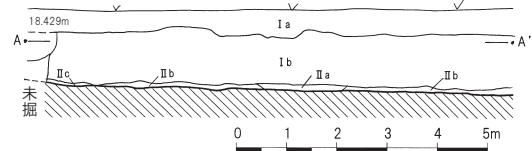
土坑



第 25 地点



トレンチ



- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、3cm 以下ロームブロック・粒少し含む
- I b. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体の盛土
- II a. 黒褐色土 締り強、粘性有、II b 層より灰色味が有り、砂礫を含まない、浅い溝状
- II b. 黒褐色土 締り強、粘性有、平均 3cm 以下の円礫を多く含む、本層上面を遺構確認面とした
- II c. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む

第 47 図 大井氏館跡遺跡第 24・25 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、土坑 (1/60)



第 48 図 大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物① (1/4)

協議の結果、遺跡への影響が避けられないため本調査を行った。

本調査は試掘調査に引き続き6月24・25日に行った。土坑が確認された部分を重機で一部拡張した。

## (2) 遺構と遺物

### ①土坑

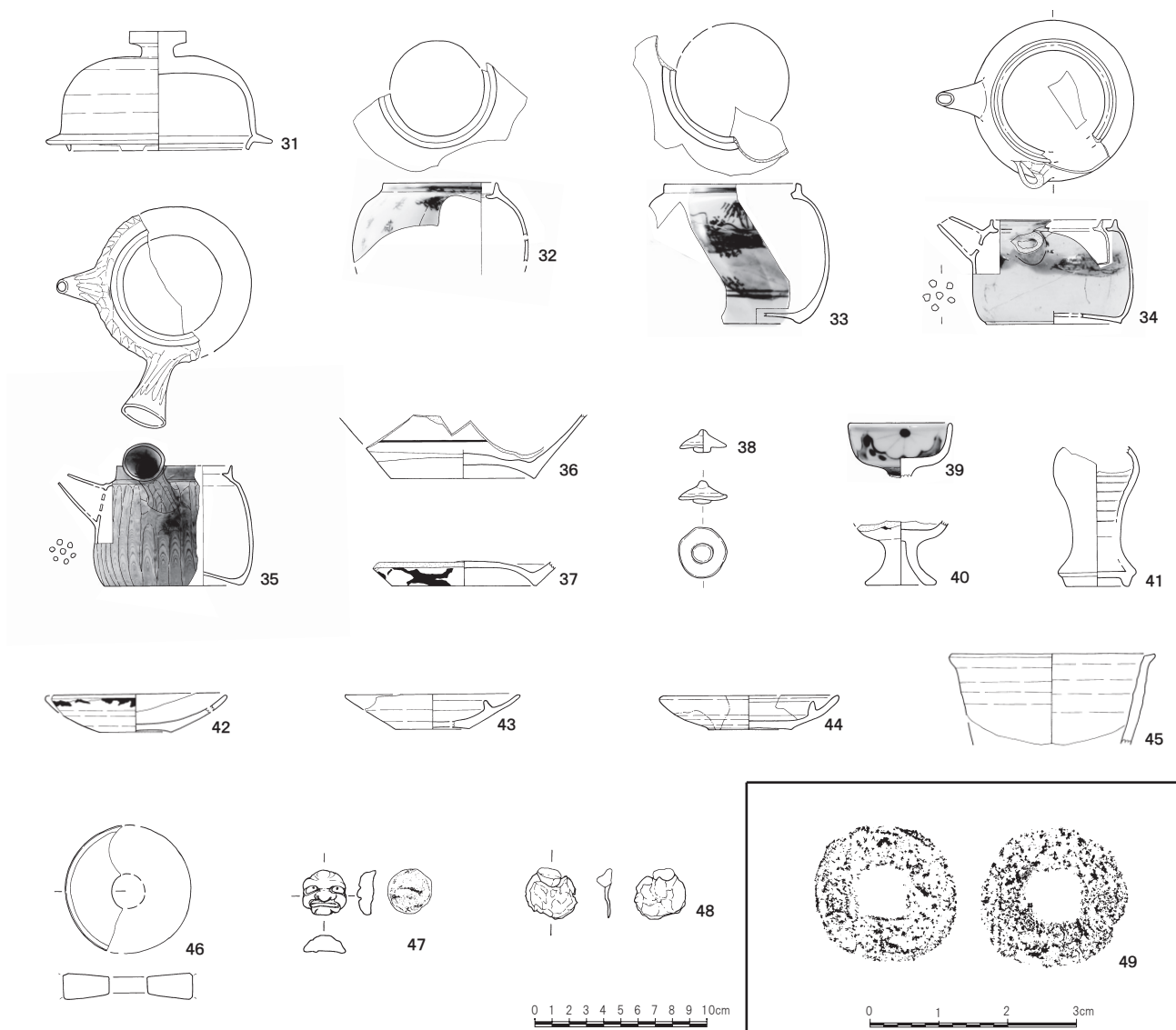
検出された土坑は近代のごみ穴で、調査区南側に位置する。調査区外へ広がるため全容は不明である。今回の調査で検出した遺構の規模は、確認面径392×(205)cm、底径270×(74)cm、深さ112.6cmである。出土遺物については第27表参照。

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は埋蔵文化財包蔵地に該当しないが大井氏館跡遺跡に隣接地のため、申請者と協議の結果、遺跡の広がりを確認するために2014年12月15日に試掘調査を行った。試掘調査は幅約1.5～2mのトレンチ1本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、地表面から約150cmの深さまで盛土されており、遺構・遺物は確認できなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

## Ⅲ 大井氏館跡遺跡第25地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」



第49図 大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物② (1/4・1/1)

第 27 表 大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物観察表 (単位 cm)

図 No.	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑	磁器 / 丸碗	7.8	3.6	4.3	轆轤成形 / 染付、七宝文、畳付無軸 / 波佐見手	肥前	1800 ~ 1860
2	土坑	磁器 / 丸碗	9.9	3.8	5.2	轆轤成形 / 染付、稲・田植え、見込み「寿」、畳付無軸 / 波佐見手	肥前	1800 ~ 1860
3	土坑	磁器 / 丸碗	9.8	3.7	5	轆轤成形 / コバルト染付、よろけ筋文、見込み「寿」、畳付無軸	瀬戸・美濃	1870 ~
4	土坑	磁器 / 丸碗	11	4	5.5	轆轤成形 / 染付、草花文、内面口縁部連鎖文、見込み「寿」、畳付無軸	瀬戸・美濃	1800 ~ 1860
5	土坑	磁器 / 丸碗	10.9	4	5.5	轆轤成形 / 染付、草花文、内面口縁部連鎖文、見込み「寿」、畳付無軸	瀬戸・美濃	1800 ~ 1860
6	土坑	磁器 / 端反碗	10.8	4.3	6.5	轆轤成形 / 染付素描、草花・碗・宝文・連弁文、内面口縁部雷文、見込み松竹梅円文、畳付無軸 / 焼継跡有	肥前	1800 ~ 1860
7	土坑	磁器 / 端反碗	11	4	5.8	轆轤成形 / 染付、草花文、内面口縁部連鎖文、見込み「寿」、畳付無軸	肥前	1800 ~ 1860
8	土坑	磁器 / 端反碗	11	3.4	5.6	轆轤成形 / 染付、草花文、内面口縁部連鎖文、見込み「寿」、畳付無軸	肥前	1800 ~ 1860
9	土坑	磁器 / 端反碗	10.4	3	5.9	轆轤成形 / 染付、草花文、内面口縁部連鎖文、見込み「寿」、畳付無軸 / 被熱	肥前	1800 ~ 1860
10	土坑	磁器 / 端反碗	11.2	3.6	6.0	轆轤成形 / コバルト染付、網・草文、見込み「寿」、畳付無軸	肥前	1870 ~
11	土坑	磁器 / 端反碗	10.6	3.9	5.6	轆轤成形 / コバルト染付、草花文・宝文、内面口縁部点文? 見込み漢文、畳付無軸 / 被熱	肥前	1870 ~
12	土坑	磁器 / 端反碗	-	4.9	(6.1)	轆轤成形 / 染付、見込み魚文?、畳付無軸 / 焼継跡有	肥前	1800 ~ 1860
13	土坑	磁器 / 小杯	6.9	3	4.5	轆轤成形 / 染付、山水・宝文、畳付無軸	瀬戸・美濃	1800 ~ 1860
14	土坑	磁器 / 小杯	6.7	3	4.7	轆轤成形 / コバルト染付、草花文、高台内「道八」、畳付無軸	瀬戸・美濃	1870 ~
15	土坑	磁器 / 小杯	6.5	2.7	4.6	轆轤成形 / コバルト染付、草花文、畳付無軸	瀬戸・美濃	1870 ~
16	土坑	磁器 / 小杯	6.7	2.9	4.3	轆轤成形 / 銅板絵付、ネズミ・宝文、畳付無軸	瀬戸・美濃	1890 ~ 1920
17	土坑	磁器 / 湯のみ碗	7.2	3.6	6.4	轆轤成形 / 染付、魚文?、畳付無軸 / 被熱	肥前	1820 ~ 1860
18	土坑	磁器 / 湯飲み碗	6	3.4	6.1	轆轤成形 / 上絵付 (緑・銀?)、草花文、畳付無軸 / 被熱	瀬戸・美濃	1820 ~ 1860
19	土坑	磁器 / 端反碗	8.5	4.3	5.3	轆轤成形 / 染付、唐草文、内面口縁部四方禪文、見込み松竹梅円文、高台内「高貴長春」、畳付無軸	肥前	1800 ~ 1860
20	土坑	磁器 / 半筒形碗	-	4.6	(4.8)	轆轤成形 / 染付、唐草文・連弁文、畳付無軸	肥前	18c 後半 ~ 19c
21	土坑	磁器 / 蕎麦猪口	8	6.1	6.1	轆轤成形 / 染付、柘榴文、内面口縁部四方禪、蛇ノ目凹み形高台	肥前	1780 ~ 1860
22	土坑	磁器 / 小杯	6.8	2.4	2.4	轆轤成形 / 染付、畳付無軸	肥前	1800 ~ 1860
23	土坑	磁器 / 小皿	9.5	4.6	1.8	轆轤型打ち成形 / 白磁、見込み寿文印刻、畳付無軸	瀬戸・美濃	1800 ~ 1860
24	土坑	磁器 / 輪花小皿	10.3	6.5	2.4	轆轤型打ち成形 / 緑錆、染付、山水樓閣文、畳付無軸	肥前	1800 ~ 1860
25	土坑	磁器 / 輪花皿	14.2	7.2	3.9	轆轤型打ち成形 / 緑錆、コバルト染付、岩文、畳付無軸、蛇ノ目凹み形高台	肥前	1870 ~
26	土坑	磁器 / 輪花皿	14.9	8.3	4.2	轆轤型打ち成形 / 緑錆、染付、山水文、畳付無軸、蛇ノ目凹み形高台	肥前	1800 ~ 1860
27	土坑	磁器 / 皿	15.8	5.6	5.9	轆轤成形 / コバルト染付、柳・鶯文、畳付無軸	瀬戸・美濃	1870 ~
28	土坑	陶器 / 小杯	4.6	3	3.1	轆轤成形 / 灰釉、外面腰~高台部無軸	瀬戸・美濃	18c 後半 ~ 19c
29	土坑	陶器 / 鉢	-	9.1	(4.3)	轆轤成形 / 鉄絵有、内外面透明釉、高台部無軸、胎土：赤褐色	-	18c 後半 ~ 19c
30	土坑	陶器 / 鉢類	-	11.2	(5.4)	轆轤成形 / 内外面灰釉、高台部無軸、見込みに目跡	瀬戸・美濃	18c 後半 ~ 19c
31	土坑	磁器 / 蓋付き鉢蓋	13.2	3.3	6.9	轆轤成形 / 口唇部無軸	肥前	18c 後半 ~ 19c
32	土坑	磁器 / 急須	6.7	(4.6)	-	轆轤成形 / コバルト染付け、人物、漢詩文、内面口縁部無軸	瀬戸・美濃	1870 ~
33	土坑	磁器 / 急須	8	(7.7)	8.2	轆轤成形 / コバルト染付け、風景文、内面口縁部、底部無軸	肥前	1870 ~
34	土坑	陶器 / 急須	7.4	7.8	6.1	轆轤成形 / 葉掛け	常滑	19c
35	土坑	陶器 / 急須	6.7	7.8	7	轆轤成形 / 練り込み	常滑	19c
36	土坑	陶器 / 土瓶	-	8.3	(3.7)	轆轤成形 / 外面白化粧土に透明釉、腰部に緑色の圈線、内面まばらに透明釉、底部無軸、胎土：赤褐色	益子	19c 後半
37	土坑	陶器 / 土瓶	-	8.4	(1.4)	轆轤成形 / 外面灰釉、内面まばらに灰釉、底部無軸・煤付着	瀬戸・美濃?	19c
38	土坑	土製品 / 蓋	1.3	-	2.8	手づくね / 上面に白化粧土	-	-
39	土坑	磁器 / 仏飯具	6	-	(3.2)	轆轤成形 / コバルト染付、半菊文	肥前	1870 ~
40	土坑	磁器 / 仏飯具	-	4	(3.7)	轆轤成形 / 染付、台座めぐり込み	瀬戸・美濃	19c 後半 ~
41	土坑	磁器 / 神酒主徳利	-	3.5	(8.1)	轆轤成形 / 瑠璃釉、内面・畳付無軸、輪高台 / 被熱	肥前	19c
42	土坑	陶器 / 灯明皿	10.6	4	2.2	轆轤成形 / 内面灰釉 / 口縁部被熱、外面にタール付着	信楽	19c 後半
43	土坑	陶器 / 灯明受け皿	10.1	4.2	2	轆轤成形 / 内面灰釉	信楽	19c 後半
44	土坑	陶器 / 灯明受け皿	10.4	4.7	1.9	轆轤成形 / 内外面鉄釉、外面腰~底部無軸、胎土：灰色 / 切り込み 1ヶ所有	志戸呂?	19c 後半
45	土坑	瓦質土器 / 植木鉢	12	-	(6.4)	轆轤成形	在地?	19c 後半
46	土坑	磁製品 / 戸車	7.4	-	1.1	型押し成形 / 滑車部透明釉・摩滅有、側面無軸・砂付着 / 被熱	肥前	1860 ~
47	土坑	土製品 / 泥面子	2.6	2.5	1.0	芥子面 (面形)、モチーフ：達磨? / 裏面に指頭痕	在地系	1790 ~ 1890
48	土坑	銅製品 / 不明	-	-	-	被熱により変形、小石付着	-	-
49	土坑	銅貨 / 寛永通寶	(1.9)	(1.9)	-	鑄造 / 中央穴：一辺 0.8cm / 状態悪く詳細不明	-	1636 ~

### 第16章 本村遺跡の調査

#### I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみる事が出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることが出来る。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2017年4月現在133地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式墳・茶毘跡などを多数検出している。



第50図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第28表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
1	市沢2-10、市沢3-1・2(弁天後1)	1985.8.27~30	2,000	農地転用	遺構遺物なし	なし
2	大井280-1他(弁天後2)	1987.9.1~12.4	2,500	土地区画整理	旧石器、縄文：集石、落とし穴、土坑	大調7
3	大井111、113-1・2、114-1、115-1、282(弁天後3)	1988.9.5~1989.1.13	3,600	土地区画整理	縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡、地下式坑	大調7
	大井2-20(東原1)	1978.7.27~8.5	40	町史編纂事業	遺構遺物なし	大史12
	大井2-20(東原2)	1979.4.29~5.6	80	町史編纂事業	地下式坑、ビット、土坑	大史12
	大井2-20(東原3)	1980.12.25~1981.1.5	130	町史編纂事業	地下式坑、ビット、土坑	大史12
4	大井189、190、191、192(東原4)	1987.12.8~1988.1.29	1,872	土地区画整理	縄文：落とし穴、中世井戸、第六天	大調7
5	大井143、144-2(東原5)	1989.1.13~2.3	1,600	土地区画整理	中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡	大調7
6	大井149、160、164-1(東原6)	1989.5.15~6.15	1,565	土地区画整理	旧石器礫群、縄文：落とし穴、中世：土坑、溝	大調7
7	大井134の一部(東原7)	1989.8.2~31	500	土地区画整理	縄文C式土器、堀之内式土器	大調7
8	大井134	(1989.9.11~13)1989.9.30~1991.7.11	13,161	小学校グラウンド	縄文：落とし穴、中世：土坑、溝、掘立柱建物跡	大調4・東部X
9	大井138	(1989.12.4)	200	ゲートボール場	盛土保存	東部X
10	大井172-1	1989.2.21~28	500	範囲確認調査	縄文：落とし穴	東部X
11	大井82-3	(1990.2.7~22)	370	範囲確認調査	旧河道の北側落ち込み	東部X
12	大井240、241-4	1990.5.8~9	340	個人住宅	土坑、常滑片	東部XI
13	大井180	1990.7.25・26	428	個人住宅	土坑	東部XI
14	大井151、152、154~157	1990.9.17~10.31	2,160	土地区画整理	井戸2、土坑36、溝4	大調7
15	大井100、106~109、344	1990.10.1~11.30	2,820	土地区画整理	井戸13、土坑26、溝6、掘立柱建物跡1	大調7
16	大井110-2	(1990.11.6~13)	230	学童保育所	井戸1、溝2	東部XI
17	大井146、149	1991.1.7~3.7	1,270	事務所	旧石器：礫群、ブロック6、縄文：炉穴4、土坑2、中世：櫛列、溝2、地下式坑1、段切	大調3
18	大井110	1991.4.1~6.11	252	フェンス工事	旧石器：礫群2、中世：井戸6、溝4、地下式坑5、土坑15	大調3
19	大井110-2	1991.4.1~6.11	1,420	土地区画整理	旧石器：礫群2、中世：井戸6、溝4、地下式坑5、土坑16	大調7
20	大井253-1	1991.5.21~6.14	1,150	個人住宅	井戸2、土坑3、溝1	町内I
21	大井81-3、364	1991.6.17~8.31	1,772	土地区画整理	井戸1、溝6、地下式坑2、土坑6、柱穴列	大調7
22	大井108、109	1991.7.15~31	110	個人住宅	縄文土器、石器、陶器、磁器、ガラス、瓦、板碑、針金	町内I
23	大井169	1991.8.29・30	268	個人住宅	溝1	町内I
24	大井110-2	1992.2.28~7.31	4,646	土地区画整理	旧石器：礫群、中世：井戸24、地下式坑10、掘立柱建物跡、溝6、土坑40	大調7
25	大井107	(1992.5.21)	370	倉庫建設	ビット	町内II
26	大井348、369、370の一部	(1992.10.4~7)	576	個人住宅	遺構遺物なし	町内II
27	大井145	(1992.10.27)	1,101	個人住宅	遺構遺物なし	町内II
28	大井21-2、137、143、150、156、159、373-1	1992.12.1~1993.2.28	4,358	土地区画整理	縄文：土坑、中世：段切2、井戸3、地下式坑7、掘立柱建物跡、土坑3、近世：土坑墓6	大調7
29	大井159	1993.5.20~6.4	330	土地区画整理	縄文：土坑3、ビット、土坑	大調7
30	大井155	(1994.7.28~8.30)8.6~25)	411	個人住宅	溝1、土坑1、ビット25	町内III
31	大井154、155	1994.8.4・5	484	共同住宅	井戸2、地下式坑2、溝1、土坑14	大調7
32	大井351	1994.11.9~25	14,310	共同住宅	縄文：落とし穴	町内III
33	大井107、427-1	1994.11.11	337	駐車場造成	段切状遺構、土坑	町内III
34	大井533-5	1994.12.2~3	1,013	共同住宅	遺構遺物なし	町内III
35	大井357-1	(1994.4.4~12)	452	共同住宅	遺構遺物なし	町内IV
36	大井101-9-10	(1994.7.28~8.4)1994.9.2~10.31	890	共同住宅	旧石器：礫群2、縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸2、溝3、土坑16、櫛列、ビット	大調12
37	大井251	(1994.8.31~9.2)	596	事務所	遺構遺物なし	町内IV
38	大井253	(1994.8.30~9.7)	264	個人住宅	中世~近世の溝1	町内IV
39	大井124-1	(1994.11.9~16)	805	共同住宅	遺構遺物なし	町内IV
40	大井321-1	(1994.11.22)	131	宅地分譲	遺構遺物なし	町内IV
41	大井325	(1994.11.15~11.22)1994.11.29~12.7	614	宅地分譲	近代のゴミ穴	大調12
42	大井326	(1994.11.15~11.22)1994.11.29~12.7		宅地分譲	近代のゴミ穴	大調12
43	大井153-2・3	(1995.1.12~19)1995.2.23~3.29	704	宅地開発	縄文：土坑、中世：井戸1、土坑3、溝1、水路跡	大調12
44	大井287-1	(1995.2.17~28)1995.4.10~5.25	1,198	共同住宅	縄文：落とし穴1、土坑3、中世：井戸1、溝1、土坑1、櫛列、ビット34	大調12
45	大井253他	(1995.6.18~7.17)	324	個人住宅	縄文：落とし穴1、中世：溝5、土坑14、ビット23	町内V
46	大井126	1995.6.1~7.28	744	共同住宅	中世：土坑15、ビット7、南側旧河床	大調12
47	大井253、255	(1995.7.18~28)	608	宅地分譲	土坑2	町内V
48	大井140	(1995.9.18~19)1995.9.30~11.20	1,122	宅地分譲	中世：井戸11、掘立柱建物跡7、溝2、地下式坑3、土坑14、櫛列4、水路	大調12
49	大井333	(1996.1.10・11)1996.1.16~2.3	280	個人住宅	溝1、土坑5、ビット51、北側埋没河川	町内V
50	大井106	(1996.2.20~24)	571	個人住宅	遺構遺物なし	町内V
51	大井350、360他	(1996.3.21~27)1996.4.3~5.30	2,412	共同住宅	旧石器、縄文：落とし穴6、集石土坑2、中世：井戸2、土坑1、櫛列	大調12・町内V
52	大井328	(1997.4.10~25)	140	倉庫	地下式坑3、掘立柱建物跡1、土坑6、ビット24	町内VI
53	大井243-2、244-1、289-1	(1997.4.17~6.25)	275	個人・分譲住宅	礫群1、土坑4、近世：溝4	町内VI
54	大井3491-2	(1997.4.11~17)	207	個人住宅	溝	町内VI
55	大井125-1、38-2	(1996.5.23~30)1996.6.25~7.31	936	共同住宅	旧石器：石器群2、礫群5、中世：溝1、土坑26、櫛列、焼土跡、ビット21	大調12・町内VI
56	大井302-1	(1996.7.18・19)1996.7.24~8.7	243	個人住宅	地下式坑1(21地点で確認の地下式坑)	大調12・町内VI
57	大井331	(1996.8.28~29)	300	共同住宅	遺構遺物なし	町内VI
58	大井279、282	(1996.12.24~1997.1.9)	284	店舗併用住宅	土坑1	町内VI
59	大井365-2	(1997.2.12)	331	共同住宅	遺構遺物なし	町内VI
60	大井129	(1997.6.2~14)	320	分譲住宅	礫集中5・ビット3	町内VI
61	大井76	(1997.6.4~14)	134	個人住宅	井戸1	町内VI
62	大井342	(1997.6.30~7.18) 1997.10.21~1998.1.20	391	共同住宅	旧石器：礫群1、縄文：落とし穴、中世：井戸5、溝16、土坑98、櫛列2、ビット、地下式坑2、掘立柱建物跡、壁穴状遺構	大調12・町内VI
63	大井380	(1998.10.31~11.1)	154	個人住宅	遺構遺物なし	町内VII
64	市沢2-8-2	(1998.10.13~18)	134	個人住宅	ビット1	町内VII
65	大井110-2	(1998.3.6~13)1998.4.16~5.21	391	学校増築	旧石器：礫群5、中世：溝1、土坑2、ビット13	大調12
66	大井2-8-8・9	(1999.2.7~16)	179	駐車場造成	近世以降：溝、ビット	町内VII
67	市沢2-1-4	(1999.3.25~26)	140	個人住宅	遺構遺物なし	町内VII
68	大井182	(1999.4.17~21)	302	個人住宅	落とし穴1	町内VII
69	大井1-4-5	(1999.8.24)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町内VII
70	大井2-12-7	(1999.9.4)	354	個人住宅	縄文：ビット1	町内VII
71	大井2-7-3	(1999.10.12)	116	個人住宅	ビット	町内VII
72	市沢2-12-12	(1999.11.12)	210	アスファルト駐車場	ビット	町内VII
73	市沢2-14-1	(1999.11.12)	156	個人住宅	遺構遺物なし	町内VII
74	大井108-2・3・6・7	(1999.1.11~19)2.8~17	1,495	共同住宅	中世：溝4、土坑2、ビット18、櫛列1	町内VII
75	市沢2-1-2	(1999.1.18)	224	個人住宅	遺構遺物なし(地山は水成堆積した黒色土)	町内VII
76	大井1-4-6	(1999.5.15~18)	118	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
77	市沢2-6-18・19	(1999.7.27~8.2)	538	駐車場造成	ビット1	町内IX
78	市沢2-6-6	(1999.9.20)	158	個人住宅	ビット1	町内IX
79	大井2-19-9	(1999.10.22~30)	642	個人住宅	集石土坑1、ビット2	町内IX
80	大井2-11-2	(1999.10.26~30)	204	個人住宅	縄文：土坑2、ビット1	町内IX
81	大井2-7-3	(1999.12.8~10)	117	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
82	市沢2-6-11	(1999.12.9~10)	171	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
83	市沢2-8-4	1999.12.9~13	181	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
84	市沢2-7-6	1999.12.24~2000.1.31)2000.2.2~3.6	1,310	共同住宅	縄文：落とし穴1、中世：段切、井戸2、茶臼跡1、掘立柱建物跡10、土坑26、溝2、櫛列2	大調15
85	大井2-7-2	(2000.1.6)	409	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
86	大井2-19-1~4・14	(2000.4.19~5.11) 2000.5.15~6.29	5,745	公衆浴場	古代：木炭窯1、中世：掘立柱建物跡1、段切1、地下式坑5、井戸6、溝13、茶臼跡3、土坑墓57、櫛列2、ビット531	大調15 町内IX
87	大井2-12-2	(2000.5.31~6.3)	165	個人住宅	旧河川流域路・ビット3	町内IX
88	大井2-17-6	(2000.6.27~7.3)	154	個人住宅	用水路	町内IX
89	市沢2-11-1・2	(2000.7.19~8.1)	326	分譲住宅	縄文：落とし穴1、イモビット	町内IX
90	大井2-7-4・5	(2000.8.31~9.22)	540	店舗	縄文：集石1、近世溝	町内IX
91	大井2-12-2	(2000.9.25~27)	37	個人住宅	旧河川流域路	町内IX
92	大井2-14-11	(2000.10.10)	25	個人住宅	旧河川流域路	町内IX



地点	所在地	調査期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
93	大井2-20-9	(2001.2.16~21)	283	社員寮	ピット	町内文
94	大井2-18-6	(2001.2.17~19)2001.2.20~3.6	87	個人住宅	中世：溝6、土坑1、ピット7、近世：溝4	町内文
95	大井2-7-10	(2001.3.6~9)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内文
96	市沢2-8-5	(2001.7.10~13)	99	個人住宅	遺構遺物なし	町内文
97	大井1-7-11	(2001.7.11~12)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内文
98	大井2-9-3	(2001.12.17~19)	17	学童保育所	溝2	町内文
99	市沢2-1	(2002.6.19~21)7.1~31	300	共同住宅	旧石器：礫群4、石器集中1、中世：土坑4、欄列1	大調15・町内文
100	大井2-20-7	(2002.8.20~26)	463	分譲住宅	遺構遺物なし	町内文
101	大井2-11-3	(2002.9.30~10.4)	217	店舗併用住宅	溝	町内文
102	市沢2-8	(2002.11.11~15)2002.12.11~2003.2.10	1,264	共同住宅	縄文：落とし穴6、古代以降：井戸7、柱穴8、溝4、土坑11、道路状遺構	大調15
103	大井143	(2003.2.13~18)	237	個人住宅	土坑1、ピット1	町内文
104	市沢3-4-1	(2003.5.14~30)	804	共同住宅	縄文：炉穴4、中世：段切遺構、地下式坑2、溝3、土坑4、ピット36	町内文
105	大井2-12-4	(2003.6.4~6)	131	個人住宅	土坑1	町内文
106	大井2-11-11	(2003.7.2~8)	135	分譲住宅	遺構遺物なし	町内文
107	大井2-12-4	(2003.7.3~5)	130	個人住宅	溝1、土坑1、ピット1	町内文
108	市沢2-6-25	(2003.7.17~23)	109	個人住宅	ピット5	町内文
109	市沢2-6-26	(2003.7.17~23)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内文
110	市沢2-6-27	(2003.10.16~18)	101	個人住宅	遺構遺物なし	町内文
111	大井2-16-2	2003.11.21~12.11	1,033	分譲住宅	縄文：炉穴1、風倒木痕2、中世：溝1、地下式坑2、土坑1、木炭窯1、不明遺構1、ピット10	大調21
112	市沢1-17-16	(2004.7.27)	289	共同住宅	遺構遺物なし	町内文
113	大井2-4-8	2002.8.22	1,051	駐車場造成	遺構遺物なし	町内文
113-b	市沢2-2-3	(2005.5.9・10)	27	個人住宅	欄列の一部	市内2
114	市沢3-2-1・12	(2005.10.21~28)	129	分譲住宅	遺構遺物なし	市内2
115	市沢2-10-6	(2005.11.21~29)2005.12.19~2006.1.31	170	分譲住宅	中世竊建建物跡、井戸、土坑、ピット、溝	市内2
116	市沢2-10-4の一部	(2006.1.17)	9	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
117	大井2-11-4・6	(2006.3.22~4.14)	1,487	店舗	溝、土坑、欄列	市内2
118	市沢2-12-13	(2006.5.24~25)5.25	80	個人住宅	縄文：落とし穴1	市内3
119	市沢3-4-24	(2008.5.27~6.4)6.4~25	559	共同住宅	中世：地下式坑2、土坑16、ピット58	市内5・6
120	市沢2-2-2	(2008.12.18)	141	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
121	市沢2-11-9	(2009.4.22)	150	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
122	市沢2-11-9・26・27	(2009.5.27~6.3)	301	宅地造成	中世：地下式坑	市内8
123	市沢2-7-2	(2010.7.5~9)	620	宅地造成(4区画)	遺構遺物なし	市内10
124	市沢2-6-1	(2010.7.8~12)2010.7.12	428	宅地造成(3区画)	中世：土坑1	市内10
125	大井2-12-17	(2010.9.6)	143	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
126	大井2-12-2	(2010.10.4~6)	611	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
127	大井2-12-5・16・18	(2010.11.4~8)	417	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
128	大井2-18-1	(2014.11.17~27)	327	分譲住宅	中近世溝2、井戸1、ピット9、土器片	市内20
129	市沢1-1-8	(2014.8.28)	262	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
129	大井2-20-4	(2015.11.5~16)	1,254	宅地造成	遺構遺物なし	未報告
130	大井2-16-17	(2015.11.16~20)	776	分譲住宅	縄文時代落とし穴1、ピット3	未報告
131	市沢2-8-2	(2016.3.4~8)	135	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
132	大井2-17-9	(2016.8.4・5)	212	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
133	大井2-7-6	(2016.10.11)	108	専用住宅	ピット3、遺物なし	未報告

大調 = 大井町遺跡調査会、大史 = 大井町史料、東部 = 東部遺跡群、町内 = 町内遺跡群、市内 = 市内遺跡群

## II 本村遺跡第 128 地点

### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置する。申請者との協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 11 月 17～27 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、中近世以降の井戸 1 基、ピット 9 基、溝 2 本、用水路跡を確認した。出土遺物はない。現地表面から地山ロームまでの深さは約 70～100cm で、30cm の保護層が確保できることから工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の調査は行っていない。

### (2) 遺構と遺物

#### ①井戸

井戸は調査区南部、トレンチ 3 で確認された。トレンチ内での確認のため平面形態は不明。確認面径は 332 × (134) cm である。

#### ②ピット

ピット 1・2 は調査区北東部トレンチ 4 で、ピット 3～6 は調査区中央部西寄りトレンチ 2 で、ピット 7～9 は調査区中央部東寄りトレンチ 3 でそれぞれ確認した。規模は第 29 表参照。

#### ③溝

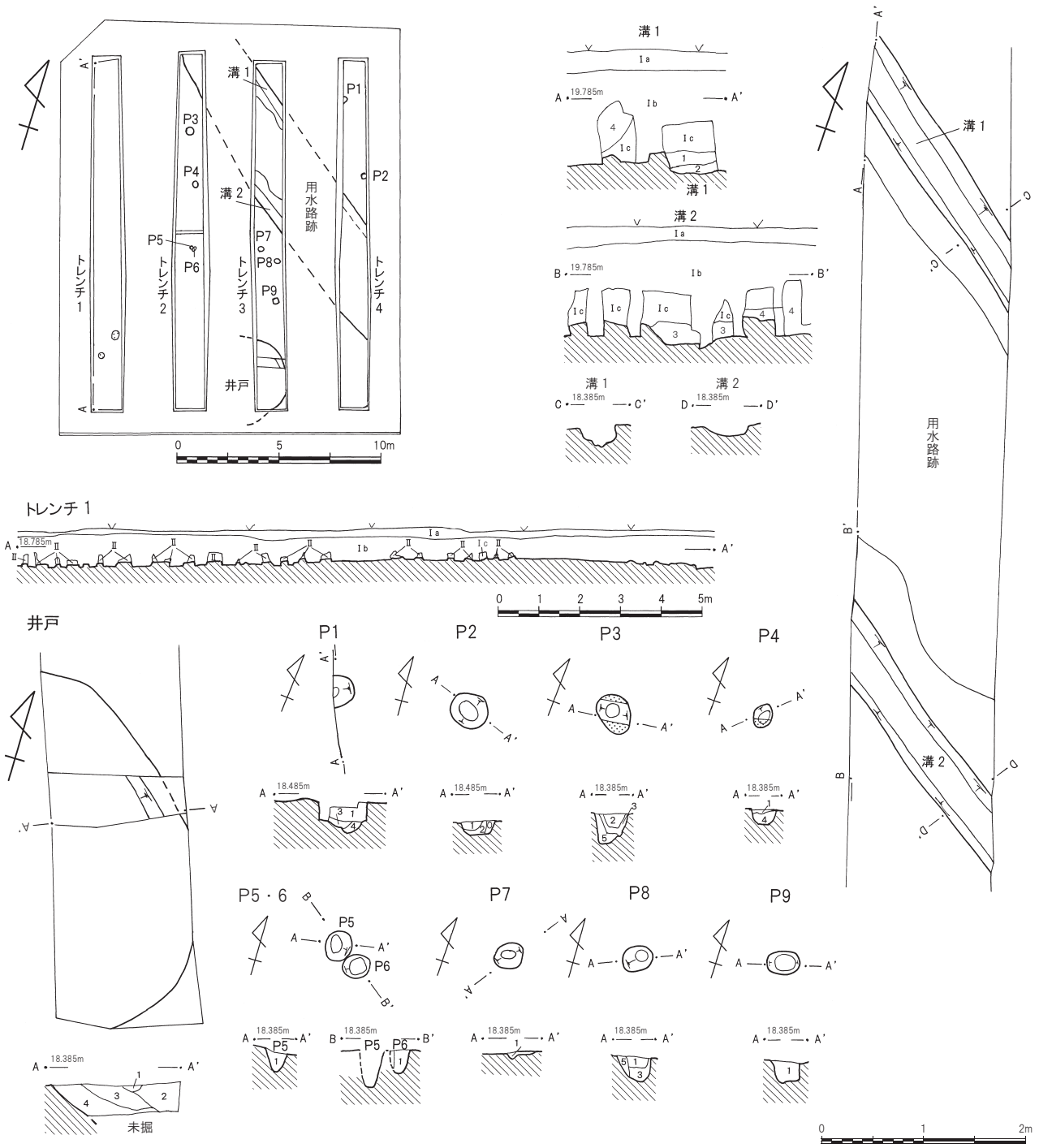
溝 1 は調査区北東部のトレンチ 3 からトレンチ 4 にかけて、溝 2 は調査区中央部トレンチ 2～4 にかけてそれぞれ確認した。いずれも用水路跡を挟むようにして北側に溝 1 が、南側に溝 2 が並行するように走行する。それぞれの規模は、溝 1 が上幅 40～47cm、下幅 19～22cm、深さ 21.3cm、溝 2 は上幅 45～46cm、下幅 27～28cm、深さ 5.1cm である。

第 29 表 本村遺跡第 128 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	(30) × (21)	7 × (5)	12.6	
2	円形	37 × 32	20 × 14	15	
3	円形	35 × 33	12 × 11	29.4	
4	方形	20 × 19	15 × 11	15.6	
5	円形	27 × 25	13 × 11	37.7	
6	円形	27 × 25	16 × 15	22.8	
7	方形	30 × 25	11 × 9	9.4	
8	円形	29 × 25	12 × 10	30.9	
9	楕円形	30 × 23	23 × 16	22.3	



第51図 本村遺跡遺構分布図 (1/3,000)



表土

- I a. 灰色・白色砕石 締り強、粘性弱、現駐車場の整地層
- I b. 暗灰褐色土 締り強、粘性有、5～20mm ロームブロック少し含む、旧耕作土
- I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調灰色味が有る、15mm 礫・5～20mm ロームブロック僅かに含む
- II. 黒褐色土 締り強、粘性有、赤褐色味が有る、2mm 以下ローム粒僅かに含む、自然堆積層
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、灰色味が有る、10～15mm ロームブロック少し含む、5mm 以下赤褐色酸化土シミ状にやや目立つ
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3cm 以下円礫多く、5mm ローム粒ブロックやや多く含む、5mm 以下酸化土もやや目立つ
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調灰色味が有る、5mm 未満茶褐色ローム粒少し含む
- 4. 水路跡 黄褐色土 黄灰色土主体で、8cm 以下ロームブロック多く含む、よく締っている井戸
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、硬く締る、2mm 以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、7cm 以下円礫多く、5mm 未満茶褐色ローム粒少し含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調は2・4層に比べ褐色味が有り明るめ、2mm 以下ローム粒少し含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調は2・3層に比べ黒色味強く、5mm 未満ローム粒少し含む、掘削深度より下には6～14cmの大型の円礫が、やや多くみえる

P1・3・4・8

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mm 黄白色土・3mm 以下焼土少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 未満ローム粒少し含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、硬く締る、シミ状に茶褐色ロームブロックをやや多く含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、硬く締る、3～20mm 黄白色土少し含む、1cm 以下茶褐色ロームブロック・粒多く含む
- 5. 茶褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、地山と比べ暗色で硬く締る
- P2
- 0. 攪乱
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に3～10mm 茶褐色ロームブロック・粒やや多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに3cm 以下ロームブロック主体
- P5～7・9
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 未満ローム粒多く含む

第52図 本村遺跡第128地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸・ピット・溝(1/60)

## 第17章 西台遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

西台遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.5km、砂川堀の右岸で標高26～30mの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約7～8mで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西340m、南北110m、遺跡面積約50,000㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に縄文時代の遺跡である小田久保遺跡、同一崖線上の下流へ向かって大井戸上遺跡、東台遺跡と続く。

本遺跡は1992年の初調査以来、2017年4月現在9地点で試掘調査が行われている。1994年に行った第2地点の試掘調査では旧石器時代の礫群と石器群を広範囲に確認した。また、第3地点では木炭窯を検出し、東台遺跡との関連が注目される。

### II 西台遺跡第9地点

#### (1) 調査の概要

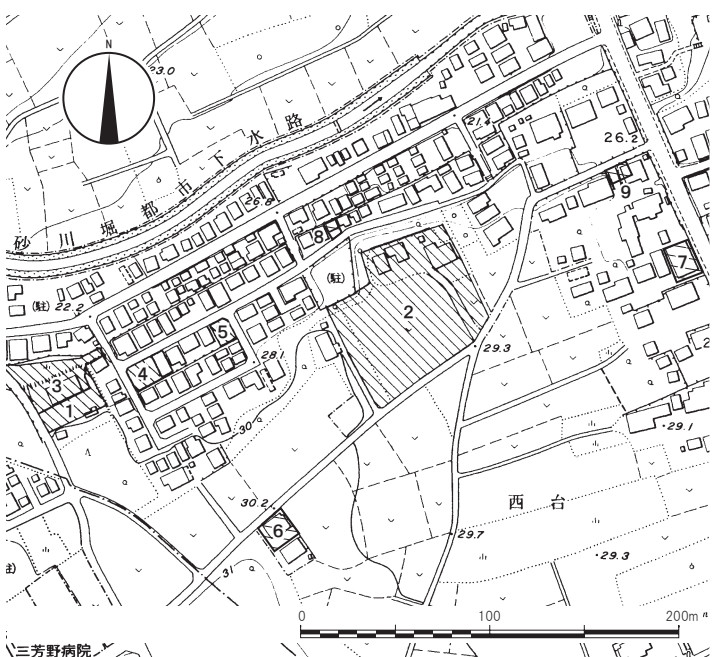
調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より2014年9月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年10月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。遺構・遺物が確認できなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

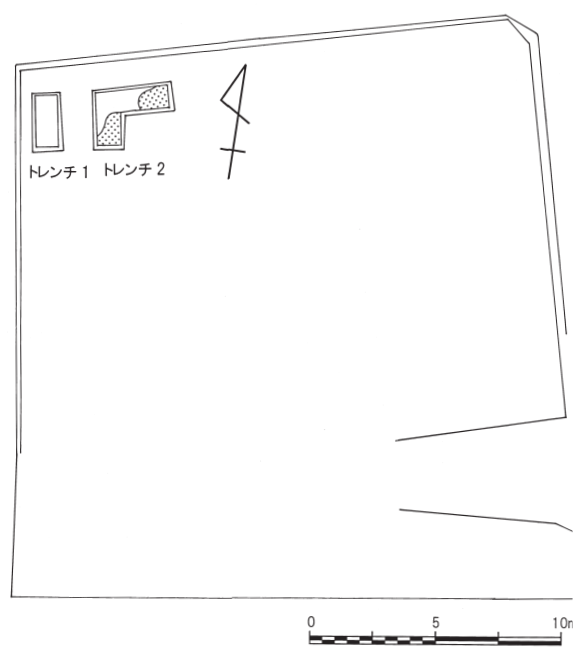
第30表 西台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間( )は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井894-2	(1991.7.24～25)	1600	資材置場	遺構遺物なし	町I
2	大井897-1・2	(1994.4.4～12)	6,149	遊技場建設	旧石器時代礫群、縄文時代集石土坑	町IV
3	大井字西台925-1	(2003.6.16～30)	137	個人住宅	木炭窯1、ビット他	町XII
	大井字西台925-2・9		144	個人住宅	遺構遺物なし	
	大井字西台925-10・13		141	個人住宅	遺構遺物なし	
4	大井字西台894-14、911-56	(2004.1.15～16)	164	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
5	大井字西台911-51	(2004.6.17)	139	個人住宅	ビット状の遺構確認	町XII
6	大井字西台891-5	(2005.6.24～28)	68(283)	分譲住宅	遺構遺物なし	市2
7	大井字西台854-1の一部	(2009.3.5)	7(246.2)	個人住宅兼店舗	遺構遺物なし	市8
8	大井字西台909-5	(2012.5.31)	65.3	個人住宅	遺構遺物なし	市14
9	大井字西台856-4	(2014.10.10)	46	道路拡張	遺構遺物なし	市20

※町：大井町町内遺跡群、市：ふじみ野市市内遺跡群



第53図 西台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第54図 西台遺跡第9地点調査区域図 (1/300)

## 第 18 章 東台遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約 1 km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 24 ~ 26 m で砂川堀との比高差は約 5 m で急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

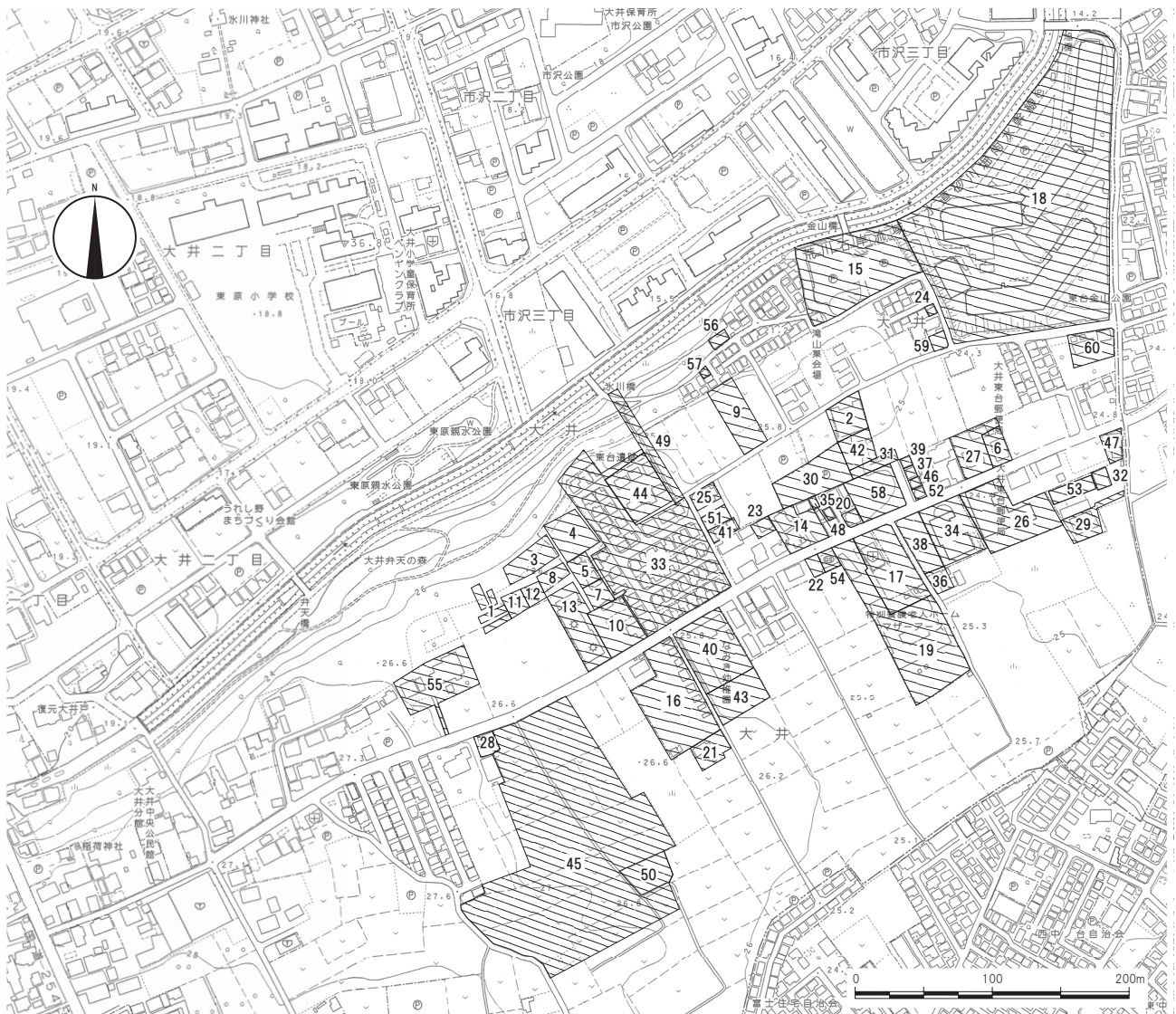
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西 700 m、南北 250 m、遺跡面積約 170,000 m<sup>2</sup>、市内で最大規模の遺跡であり、約 17% の 30,000 m<sup>2</sup> を調査している。

旧石器時代の調査では、第 18 地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第 15・18 地点で 8 世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約 50 m に大井戸上遺跡、西約 300 m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第 55 図 東台遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第31表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂	遺構なし、縄文中期土器	
2	大井東台640-4	1981.12.14～1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡12、旧石器時代石器	東Ⅲ
3	大井東台672	1982.5.19～6.15	666	宅地造成	炉穴7、土坑2、柱穴群	東Ⅳ
4	大井東台671	1982.6.17～11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡3、後期住居跡1、集石4、土坑14、溝	東Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25～8.9	195	町史編纂	縄文中期住居跡2、土坑1	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9～1.12		宅地造成	縄文中期住居跡1	
7	大井東台670-2	1984.5.15～6.13		共同住宅	縄文中期住居跡4、後期住居跡1	
8	大井東台672	1984.8.18～9.21	345	町史編纂	縄文中期住居跡1、炉穴2、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25～1985.2.15	1,000	駐車場	旧石器礫群、縄文中期住居跡22、後期住居跡1、炉穴、ピット群	町資Ⅰ
10	大井東台670-1	1985.10.1～11.25	896	住宅	縄文中期住居跡5、土坑5	東Ⅵ
11	大井東台673	1986.1.14～3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡2、集石土坑3、土坑1、ピット	東Ⅵ
12	大井東台673	1987.5.6～6.26	330	転地返し	縄文早期住居跡1、土坑18、平安時代住居跡2、溝1	東Ⅶ
13	大井東台670-6	1988.1.14～2.27	971	倉庫	縄文中期住居跡9、集石1、土坑9、ピット20	東Ⅶ
14	大井東台649-16他	1988.1.27～2.24	735	住宅	縄文中期住居跡12、屋外埋裏1、集石土坑1、土坑8、ピット38	東Ⅸ
15	大井市沢577-1他	(1989.10.17～11.10) 1989.11.17～1990.8.1	700	住宅	落とし穴1、木炭窯1、粘土探掘坑2、奈良-平安土器	東Ⅹ
16	大井713-4・5	(1990.8.1～4)	3,048	資材置場	縄文中期住居跡1、土坑1	東ⅩⅠ
17	大井621-1	(1990.9.5～12) 1990.10.9～12.27	1,470	診療所	縄文中期住居跡8、土坑30、ピット94、櫛列	東ⅩⅠ
18	大井529-1、588	(1991.3.11～5.20)1992.2.24～1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中17、落とし穴1、整形製鉄炉7、木炭窯9、探掘坑4、土坑9、溝、櫛列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井621	(1992.5.31～6.7)	4,489	特養新設	縄文中期住居跡8	町Ⅰ
20	大井649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡1	町Ⅲ
21	大井713-11・12	1992.3.7～11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町Ⅲ
22	大井651-6	(1994.5.10・11) 1994.5.30～7.30	146	店舗	縄文中期住居跡6、土坑1	調13集
23	大井649-12・13	(1995.6.23～27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡2	町Ⅳ
24	大井634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町Ⅳ
25	大井648-13・14	1995.10.22～12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡5、後期住居跡1、袋状土坑1、土坑10、ピット6	町Ⅳ
26	大井東台601-1・4・5	(1996.11.6～18) 1997.1.14～3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、落とし穴1、ピット24	調13集
27	大井600-1	(1997.2.19) 1997.2.19～3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1、土坑1、落とし穴1、ピット44	町Ⅵ
28	大井東台710-4	(1997.3.17～19)	231	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅵ
29	大井東台606-3	(1998.2.27～3.3) 1998.3.4・5	500	個人住宅	縄文早期炉穴9、ピット2	町Ⅶ
30	大井640-1	(1998.11.4～12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡1、屋外炉、ピット	町Ⅶ
31	大井630-3、640-8	(1999.5.7～21)	186	道路築造	縄文中期住居跡2	町Ⅸ
32	大井603-1	(2000.8.4～9)	92	製茶工場	ピット3	町Ⅹ
33	大井662-1	(2000.8.4～8) 2000.8.10～2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群4、礫群4、縄文中期住居跡30、後期住居跡4、掘立柱建物跡1、炉穴14、集石土坑4、他	町Ⅹ
34	大井東台624-2	(2002.3.12～25) 2002.3.26～5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡5、土坑11、ピット16	町ⅩⅠ
35	大井東台649-31	(2001.9.6～8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡1	町ⅩⅠ
36	大井東台614	(2001.10.15～11.2)	272	倉庫	ピット5、土器片	町ⅩⅠ
37	大井東台626-12	2001.10.12～11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、ピット1	町ⅩⅠ
38	大井東台614-3	(2002.1.28～2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡1、竪穴状遺構1、集石土坑2、土坑2、ピット2	町ⅩⅠ
39	大井626-8	(2002.6.3～20)	100	個人住宅	ピット3、縄文土器片、石屑	町ⅩⅡ
40	大井661	(2003.10.6～11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ピット10、櫛列	町ⅩⅡ
41	大井東台648-4	(2004.5.11～14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡3、集石1、土坑1、屋外ピット1	町ⅩⅡ
42	大井640-7	(2004.9.7～17)	515	教会	縄文中期住居跡2、落とし穴1、土坑3、ピット20	町ⅩⅡ
43	大井東台661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット4	町ⅩⅡ
44	大井東台664-15	2005.12.8～28	200	個人住宅	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット9	市2
45	大井東台710-1、711-1、717-1・2	(2006.5.31～9.1) 2006.9.8～2007.3.7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット10	市3
46	大井東台626-11	(2006.9.4～6) 2006.9.15～28	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石2、土坑1	市3
47	大井東台602-4・5	(2006.9.19・20)	320	個人住宅	遺構遺物なし	市3
48	大井東台649-21	(2007.1.16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡3	市3
49	大井東台646、647-1、665	(2008.1.28～30、2.4～19) 2008.1.31～2.1	174	東台小学校通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡1検出・5軒を確認、屋外埋裏1、粘土探掘坑1、土坑1、ピット1、溝6	市4
50	大井東台716-1の一部	2008.7.14～22	646	東台小学校プール	遺構遺物なし	市6
51	大井東台648-2	(2009.3.10～18) 2009.3.18～5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡6、土坑4、ピット14、縄文土器、石器	市6
52	大井東台626-8・14	2009.5.12～19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡2確認	市8
53	大井東台603-1	(2011.8.8～18)	1,251	工場	井戸1、縄文土器	市14
54	大井東台651-6・13・14	(2011.9.5～12)	309.3	店舗	縄文時代住居跡1、縄文土器	市14
55	大井東台694-2・3	(2011.9.20～22)	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	市14
56	大井東台字市沢296-4	(2012.1.11)	59.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
57	大井東台644-9の一部	(2013.4.5～10)	31	個人住宅	遺構遺物なし	市18
58	大井東台625-1	(2014.7.1～8.4)	1,175.47	店舗	縄文時代住居跡15、土坑3、縄文土器、石器	市20
59	大井東台633-6	(2014.7.15)	146	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
60	大井597	(2015.7.7)	688	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査会報告：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



第 56 図 東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第32表 東台遺跡住居跡一覧表

住居番号	調査率	平面形 (○は推定)	規模	炉			埋蔵	拡張	壁溝	備考	時期	文献	住居番号	調査率	平面形 (○は推定)	規模	炉			埋蔵	拡張	壁溝	備考	時期	文献				
				地床	埋設	石囲											地床	埋設	石囲										
1	80%	(円形)	(550×?)			○		有	○	曾利系多い	E I 新	東Ⅲ	87	完掘	楕圓形	415×552			○		②				E II 新, EM	調17集			
2	完掘	(円形)	(400)							床まで削平	E I 古	東Ⅲ	88	完掘	不明	(465×380)			○	○				床削平	E III	調17集			
3	80%	隅丸方形	(?×510)	○	○	○			○	大木系有り	E I 新古相	東Ⅲ	89	完掘	不明	(335×315)			○	○						阿 II 古	調17集		
4	完掘	隅丸方形	700×750	②					○	拡張	E II	東Ⅲ	90	30%	不明	(190×60×10)							未掘			町X II			
5	完掘	円形	460×470						○	床まで削平	E II	東Ⅲ	91	25%	(円形)	(200×170)			○				○	竈まで削平され、92住に5号の		町X II			
6	完掘	円形	420×430						○	床削平	E II	東Ⅲ	92	25%	(円形)	(330×260×20)										勝末	町X II		
7	完掘	円形	510×525×25	②					○	曾利、連弧多い	E II 古	東Ⅲ	93		不明	(700)			○				○	床面まで削平される		町X II			
8	完掘	隅丸方形	530×(465)25					有	○	7号に切られる	E I 新	東Ⅲ	94	33%	隅丸方形	(370×180×10)											町X II		
9	50%	円形	約500						○	床削られる	E II	東Ⅲ	95	50%	(円形)	(504×423)									96・97住と複合	市2			
10	完掘	円形	410×400		○					掘乱	E I 新	東Ⅲ	96		円形	(560×555)									95・97住と複合	市2			
11	完掘	円形	410×420								E II	東Ⅲ	97		不明	不明									95・96住と複合	市2			
12	20%	円形									E II	東Ⅲ	98	80%	(隅丸方形)	(670×630)×35			○		△	有	②		覆土内に集石	E II 新	市3・8		
13	完掘	円形	300×270								E III	資	99	10%	(楕圓形)	(?)×18							未掘	○	170住より新、100住より古	E II	市3		
14	完掘	円形突出	430×418					○	○		E I 新	資	100	25%	(楕圓形)	(?)×12							未掘		99・170住を埋める	E II	市3		
15	完掘	円形	514×520							連弧文多い	E II 古	資	101		完掘	円形	695×600									E I 新	東IV		
16	完掘	長円形	525×424							15号を切り、17号に切られる	E II	資	102	完掘	円形	480×460			○							堀 I	東IV		
17	完掘	長円形、円形	478×422					○	○	曾利系多い	E II 新	資	103	完掘	隅丸台形	700×615	②								有孔遺物土器多い	E I 新	東IV		
18	90%	円形	523	②				有		19号を切る	E I 新	資	104	50%	円形	500×500			○							E I 新古相	東IV		
19	完掘	隅丸台	517					有		曾利系多い	E I 古	資	105	完掘	楕圓形	460×430			○	○					曾利系多い	E I 新	史30集		
20	完掘	長円形	658×583							21号を切る	E I 中	資	106	完掘	円形	450×410							○			E II 古	史30集		
21	完掘	隅丸台形	482×462					○			E I 新	資	107	完掘	楕圓形	380×390	②									E II 新	資		
22	55%	円形?	切×292					有	○	23号を切る	E II	資	108	完掘	長円形	395×325										E IV	資		
23	80%	長円形	622×約470					有	○	曾利系多い	勝Ⅲ未	資	109		楕圓形														
24		長円形	東は区域外								E II 新	資	110	完掘	円形	406×406									北関東系有り	E I 新	資		
25	完掘	長円形?	西南掘乱							24号に切られる	E II	資	111	完掘	隅丸長方形	486×437	②										E I 新	資	
26											勝	資	112	完掘	円形	約420×408			○								E II	資	
27		長円形	部分発掘								時期不明	資	113	完掘	隅丸台形	450×460			○	○	○				曾利系多い	E II 新	東台 II		
28	完掘	長円形	473×450								E II 新	資	114	完掘	長円形	510×450			○							勝末	東VI		
29	完掘	?	切×563		②			有		28号に切られる	E I 新	資	115	完掘	長円形	545×495										勝末~E I	東VI		
30	完掘	長円形?	切×532						○	31号に切られる	E II	資	116	完掘	長円形	575×520			○							E I 末	東VI		
31	完掘	長円形	618×472						○	曾利系多い	勝Ⅲ新	資	117	完掘	楕圓形?	(640)×590							有	○	入口有り	E IV	東VI		
32	完掘	長円形	573×525							34号と複合	E II	資	118	80%	隅丸方形	450×410~420										E I	東VI、VII		
33	完掘	楕圓形	?×520					③	○	32号に切られる	称古	資	119	完掘	円形	770×750								120号住居と重複		E II	東VI、VII		
34	完掘	隅丸方形	720×628						○	32号と複合	E I	資	120	完掘	楕圓形	390×(750)							②	有	○	竈、埋設3	E IV	東VI、VII	
35	90%	長円形	510×540								E II 古	資	121	完掘	長方形	530×430							有	○	北カマド・東カマド	平安	東VII		
36	35%	円形	西半部不明							楕圓形?	E IV	資	122	完掘	方形	400×370									有	○	北カマド、西カマド 新築	平安	東VII
37	完掘	長円形	530×420×15					有		入口部に段	勝Ⅱ古	東IX	123	完掘	円形	365×350								有		茅山下	東VII		
38	40%	隅丸方形	南半部未掘						○	39号を切る	E I 新	東IX	124	完掘	正円形	465×455×7			○							E II	東VII		
39	15%	隅丸方形	大部分未掘								E II	東IX	125	完掘	楕圓形	420×370			○							阿 II	東VII		
40	35%	隅丸方形	南半部未掘								E I 新	東IX	126	完掘	楕圓形	465×420											E I 新	東VII	
41	完掘	楕圓形	480×390×20							44号に切られる	勝Ⅲ新	東IX	127	完掘	長楕圓形	565×485×10	②						有	○			E I 新	東VII	
42	45%	不明	南部・東部未掘								E I 新	東IX	128	完掘	隅丸方形	510×480			○	○			有	○	129住に切られる	E I 新	東VII		
43	60%	長円形	650×600×60	②							E II	東IX	129	完掘	隅丸方形	560×530										128住を切る	E II	東VII	
44	完掘	隅丸方形	550×(500)×20					有	○	41・47号を切る	E I 新	東IX	130	70%	楕圓形	540×510×20							有	○			E I 新	東VII	
45	完掘	長楕圓形	740×600×25	③					○	2回以上拡張	E II	東IX	131	完掘	不整形	600×580											E I	東VII	
46	完掘	楕圓形	400×380×10							45号に切られる	E	東IX	132	完掘	隅丸方形	494×(480)							有	○	複合著しい	E I 新	調17集		
47	30%	円形	300×未掘×25							44号に切られる	阿 II	東IX	133	完掘	隅丸方形	580×520			○						有	○	円盤、耳栓	E I 新古相	調17集
48	20%	隅丸方形	南大部分未掘								E I 新	東IX	134	70%	隅丸方形	(434×344)							有	○			E I 古	調17集	
49	完掘	円形	560×550×30								E II	東X I	135	完掘	長円形	532×452											E II	調17集	
50	完掘	長円形	420×380×30								阿 II	東X I	136	完掘	楕圓形	460×396									有	○		E I 新	調17集
51	完掘	円形	330×310×30							柱穴なし	阿 II	東X I	137	完掘	不整形	(836×820)			○				有				称古	調17集	
52	完掘	円形	495×490×50								勝 II	東X I	138	完掘	不明	470×490			○				有		139住と複合	勝 II 新	調17集		
53	完掘	円形	340×310×30							8号土坑で壊れる	勝 II	東X I	139	完掘	楕圓形	556×566			○				○			138住と複合、土製品	E IV	調17集	
54	40%	円形	?×460×65					有	○		E I 古	東X I	140	完掘	隅丸方形	372×340			○								勝Ⅲ末	調17集	
55	70%	(円形)	半掘550					有			阿 II	東X I	141	完掘	(楕圓形)	(536×512)			○							西部155住と複合	猪沢	調17集	
56	60%	(円形)	(480)×半掘								E III	東X I	142	完掘	楕圓形	414×396			○	○							E II 古	調17集	
57	完掘	円形	600×600					②			E II		143	完掘	楕圓形	446×340			○	○			有	○			E I	調17集	
58	完掘	楕圓形	520×420								勝Ⅲ末		144	完掘	隅丸方形	520×556			○	○	○		2回	有	○	複合か	E I 新古相	調17集	
59	50%	(楕圓形)	560×半掘								E I 新		145	完掘	楕圓形	536×448							2回	有	○	炉内(北関東加曾)	E I 新古相	調17集	
60	完掘	円形	520×510					有			E I 新		146	完掘	(隅丸方形)	(526×454)			○				有				E I 新古相	調17集	
61	50%	(円形)	1/2調査								E II		147	95%	楕圓形	564×560			②				3回	有	○		E I 新古相	調17集	
62	25%	(楕圓形)	1/4調査							北大部分未発掘	E I 古		148	35%	不明	436×?							未掘		有	○		E I 新古相	調17集
63	45%		一部調査					未掘		②	有	○	149	完掘	楕圓形	388×410												E II	調17集
64	70%	(楕圓形)	453×(408)×22								E III	調13集	150	65%	(楕圓形)	532×?			○				有	○	151住と複合、竈、線刻	E II 新相	調17集		
65	55%	(楕圓形)	502×不明×22					有	○	64住と複合、東半未発掘	E I 古	調13集	151	40%	(隅丸方形)	(608×?)			○	○							E I 新古相	調17集	
66	完掘	(楕圓形)	(668×560)×48						△		E I 新古相	調13集	152	完掘	(楕圓形)	556×500			○	②	○		有	○		炉内土器	E II 古	調17集	
67	完掘	隅丸方形	667×590×72					有	○	拡張、64住と																			



住居番号	調査率	平面形( )は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
173	トレンチ	不明	不明	未検出						172住より古い。未調査、保存	不明	市4
174	トレンチ	不明	(630)	未検出						173住より新しい。未調査、保存	不明	市4
175	トレンチ	不明	(690)	未検出						未調査、保存	不明	市4
176	トレンチ	不明	(460)	未検出						未調査、保存	不明	市4
177		(楕円形)	(330)×405×27		○					部分発掘、保存。182住より旧	勝未	市6
178	50%	(円形)	430×(235)×49			○				181住より新	加 E II	市6
179	60%	(円形)	(315)×(225)×31			○					加 E II	市6
180	完掘	楕円形	482×440×42	○					○		勝未	市6
181	50%	不明	不明						○	178住より旧	加 E II	市6
182	トレンチ	円形	410×362×23	○						部分発掘、保存。177住より新	勝皿	市6
183	トレンチ	不明	(330×120×-)	未検出						未調査、保存	不明	市8
184												欠
185		不明	(400×150)	未検出							不明	市20
186		不明	475×(150)	未検出							不明	市20

住居番号	調査率	平面形( )は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
187		不明	(380×120)	未検出							不明	市20
188		不明	(250×110)	未検出							不明	市20
189		不明	(305×140)	未検出							不明	市20
190		(円形)	(510×430)	未検出							不明	市20
191		不明	(330×480)	未検出							不明	市20
192		不明	395×(320)	未検出							不明	市20
193		不明	不明	未検出							不明	市20
194		不明	(360×130)	未検出							不明	市20
195		不明	(440×140)	未検出							不明	市20
196		不明	(570×555)	未検出							不明	市20
197		不明	(560×110)	未検出							不明	市20
198		不明	(500×130)	未検出							不明	市20
199		不明	395×(155)	未検出							不明	市20
200		不明	不明			○				が跡と厨溝の一部を検出		市14

II 東台遺跡第 58 地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より 2014 年 5 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部東寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 7 月 1 日～8 月 4 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1m のトレンチ 11 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

試掘調査の結果、縄文時代の住居跡 15 軒と土坑 3 基を確認した。遺構確認面までの深さは 100～120cm で、30 cm 以上の保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代の住居跡と土坑のプランのみを確認し、その際に出土した遺物を第 59～61 図及び観察表を第 33 表に掲載した。

①住居跡

住居跡は少なくとも 15 軒以上が存在するとみられる。検出は行っていない。プランの規模を第 32 表に掲載する。

②土坑

今回確認した土坑 3 基も検出は行っていない。

【土坑 1】トレンチ 3 南側で確認した。平面形態は不明。プランの規模は 158 × (108) cm である。

【土坑 2】調査区北西端、トレンチ 8 北側で確認した。平面形態は不明。プランの規模は 130 × (124) cm である。

【土坑 3】調査区北西端、トレンチ 9 で確認した。平面形態は円形で、プランの規模は 98 × 96cm である。

III 東台遺跡第 59 地点

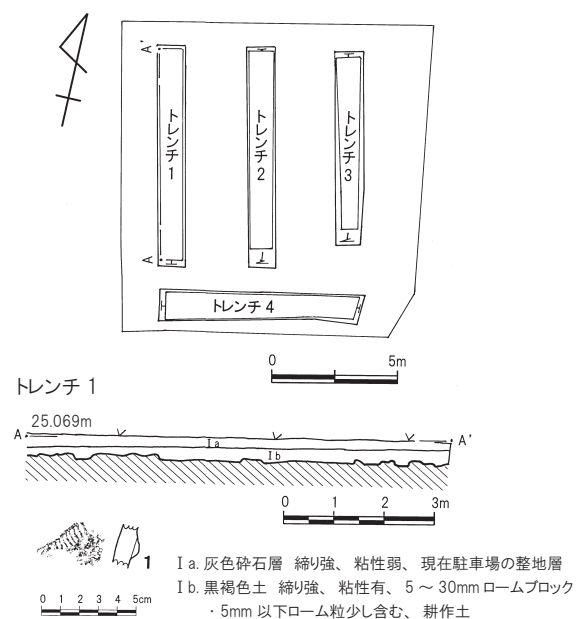
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、2014 年 6 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。

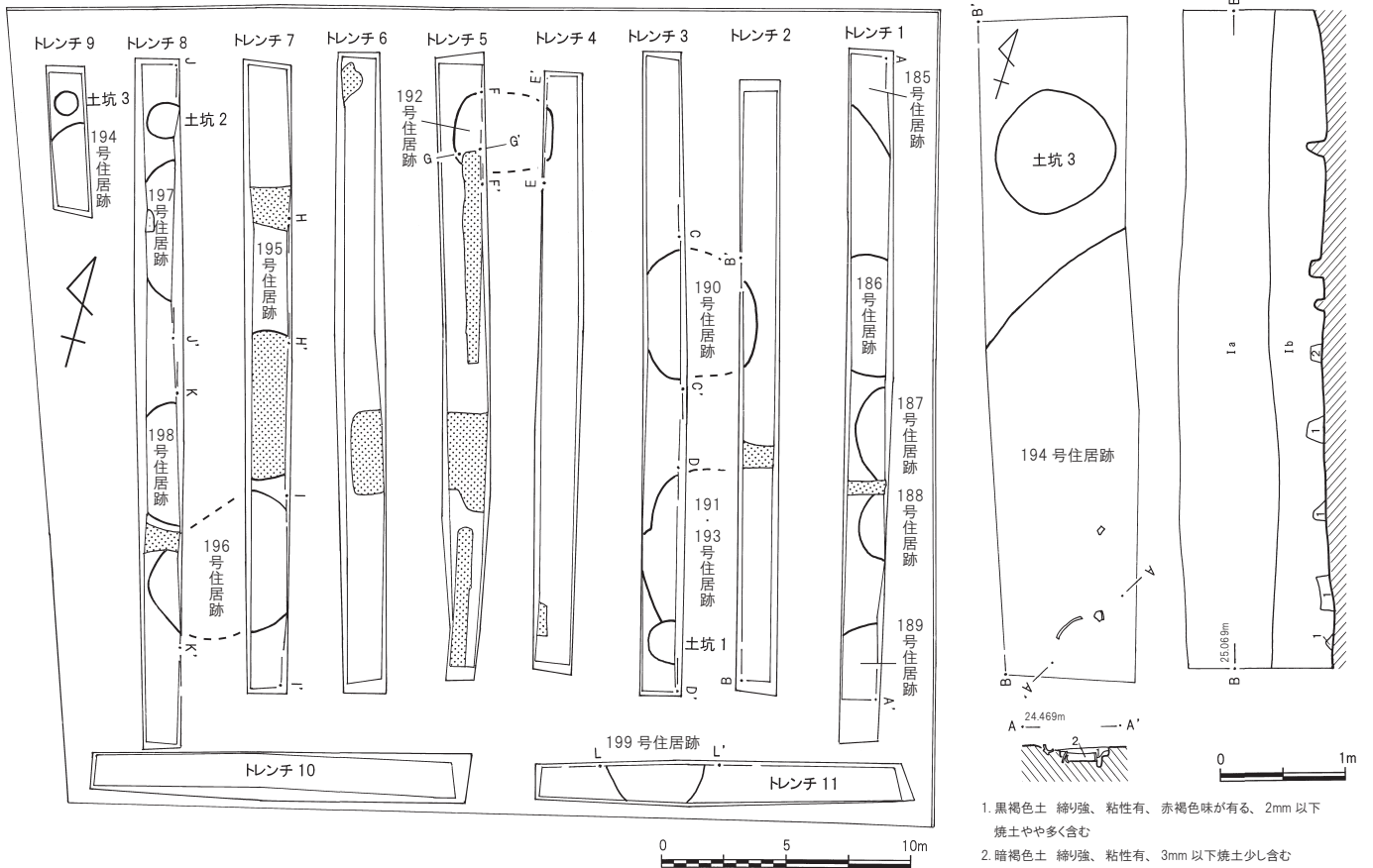
申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 7 月 15 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1m のトレンチを 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは 40～50 cm である。

試掘の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の調査は行っていない。

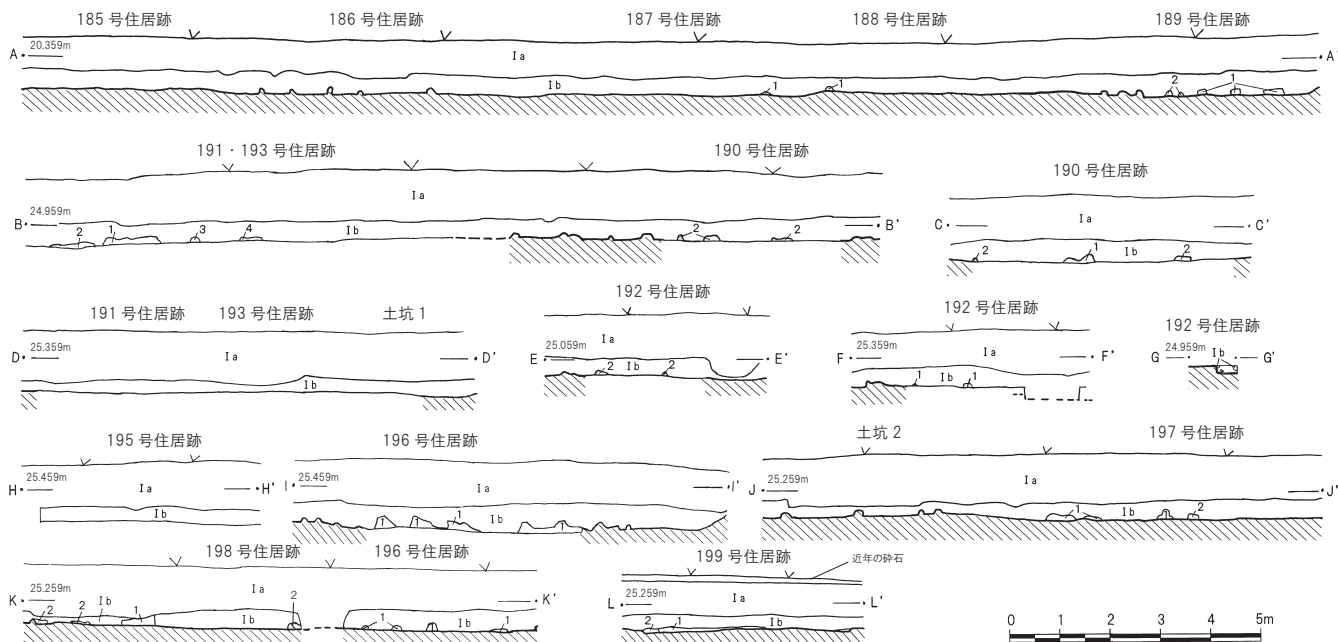
表土中より縄文土器片が 1 点出土した。隆帯脇に押し引文を施す。勝坂 II 式。



第 57 図 東台遺跡第 59 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)



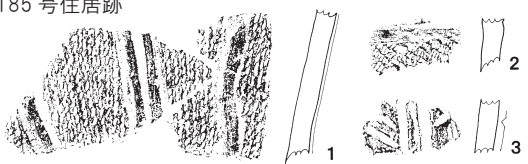
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、赤褐色味が有る、2mm 以下焼土やや多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土少し含む



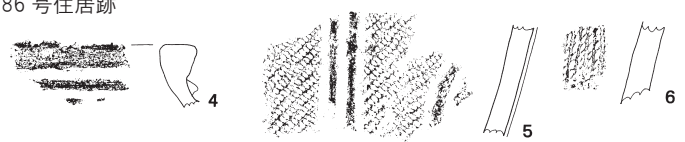
- I a. 近年の整地層・盛土 表層 (20cm 厚) は灰色や白色の砕石層、それ以下はローム土を多く含む暗黄褐色土・礫・瓦礫をやや多く含む
- I b. 旧耕作土 やや黄灰色味がある黒褐色土、締り強い、5cm 以下ロームブロック・5mm 以下ローム粒・焼土やや多く、1cm 以下炭化物少し含む
- A-A'
- 187 号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下焼土・3mm 以下炭化物少し含む
- 189 号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒・焼土少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む
- B-B'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、2mm 以下ローム粒・焼土やや多く、2mm 以下炭化物少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調暗め、3mm 以下ローム粒・焼土やや多く、2mm 以下炭化物少し含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調暗め、3mm 以下ローム粒・焼土 2 層よりは少ない、2mm 以下炭化物少し含む
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調暗め、2 層に似る、3mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下炭化物少し含む
- C-C'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土やや多く、2mm 以下炭化物少し含む、土器片多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、1mm 以下炭化物少し含む
- E-E'・F-F'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒・2mm 以下炭化物やや多く含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む
- I-I'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、2mm 以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む
- J-J'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・焼土やや多く、3mm 以下炭化物少し、土器片多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下炭化物少し含む
- K-K'
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、2mm 以下炭化物少し、遺物比較的多く含む
- 198 号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に 1cm 以下暗褐色土、5mm 以下焼土・3mm 以下炭化物やや多く、土器片も比較的多く含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 層よりやや明るい、2mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下炭化物・1mm 以下焼土少し含む
- L-L'
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調褐色味が有り明るめ、2mm 以下ローム粒少し、1mm 以下焼土・3mm 以下炭化物僅かに含む、フラン土 10cm 大焼礫伴う
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、1 層より褐色味が有り、色調明るめ

第 58 図 東台遺跡第 58 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、194 号住居跡遺物出土状況・土坑 (1/60)

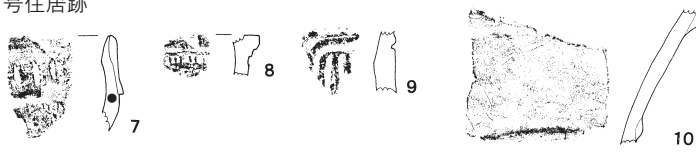
185 号住居跡



186 号住居跡



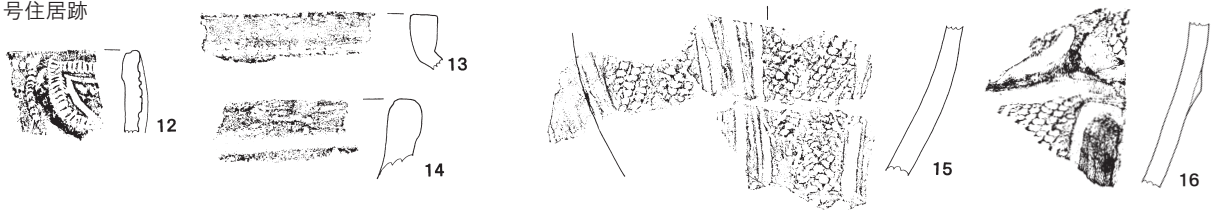
187 号住居跡



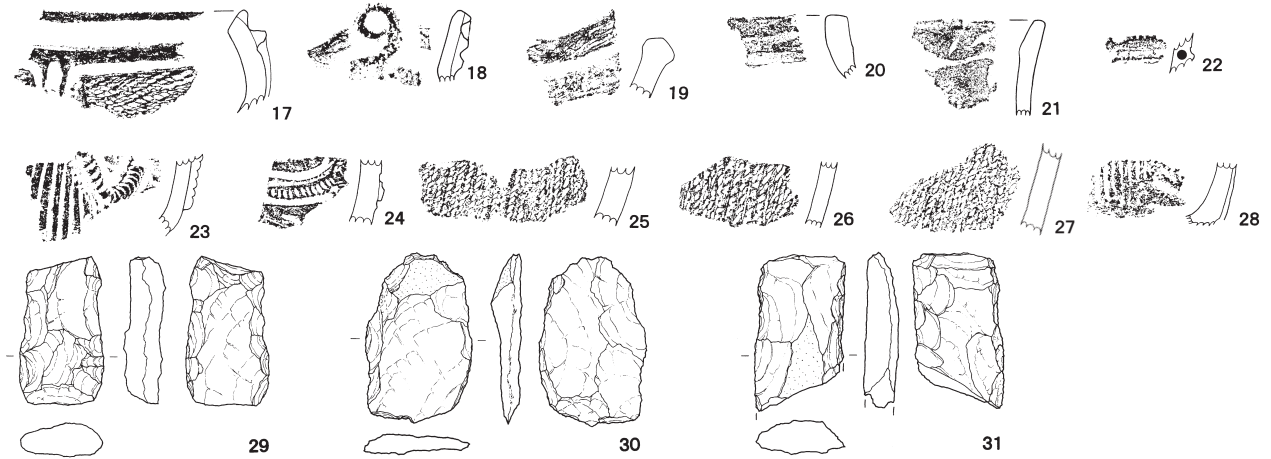
188 号住居跡



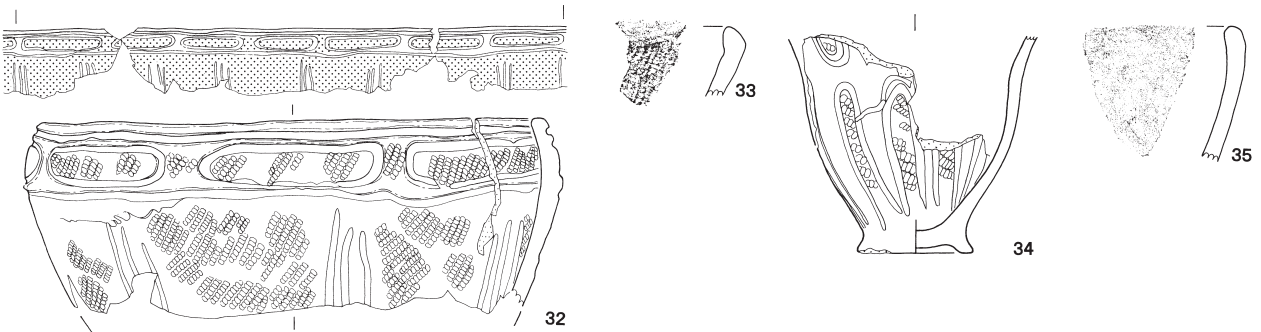
189 号住居跡



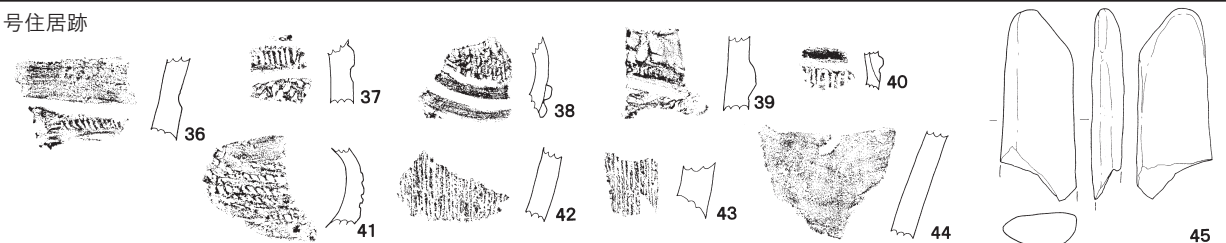
190 号住居跡



194 号住居跡



195 号住居跡

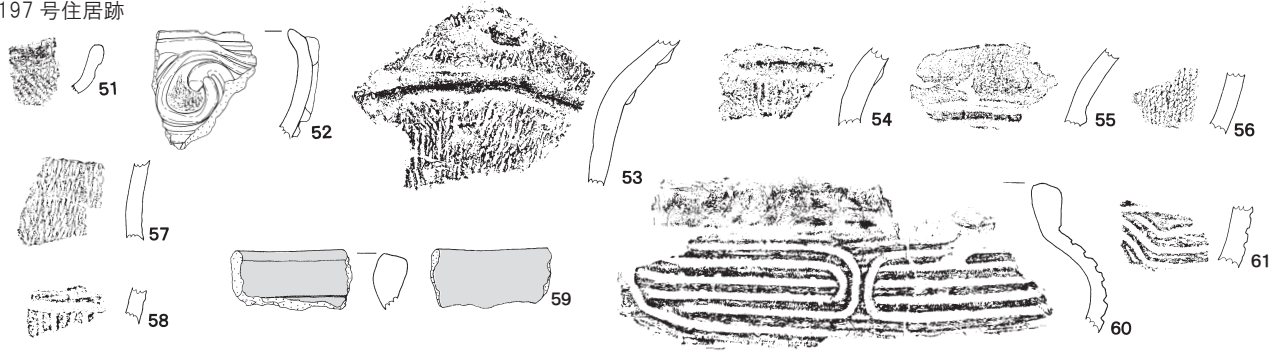


196 号住居跡

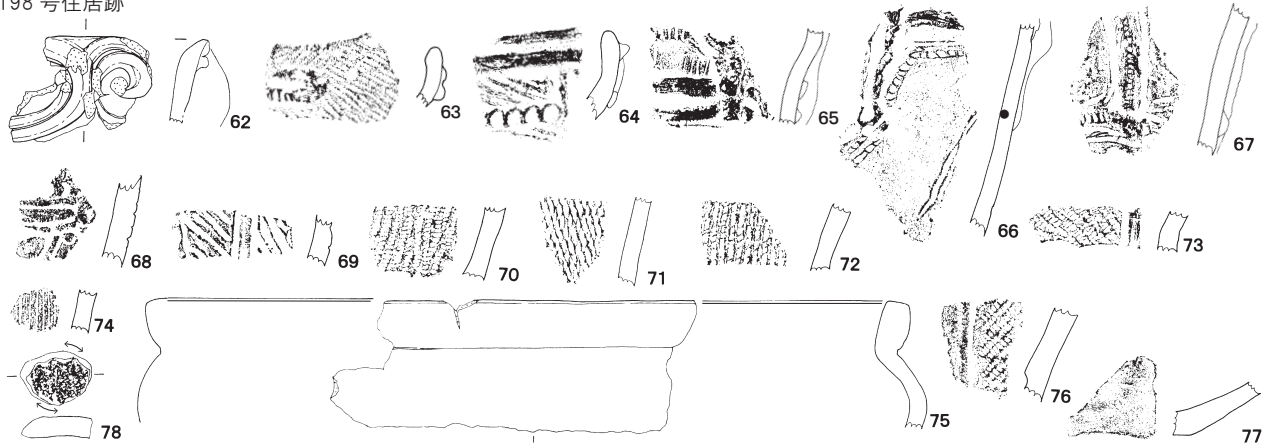


第 59 図 東台遺跡第 58 地点出土遺物① (1/4)

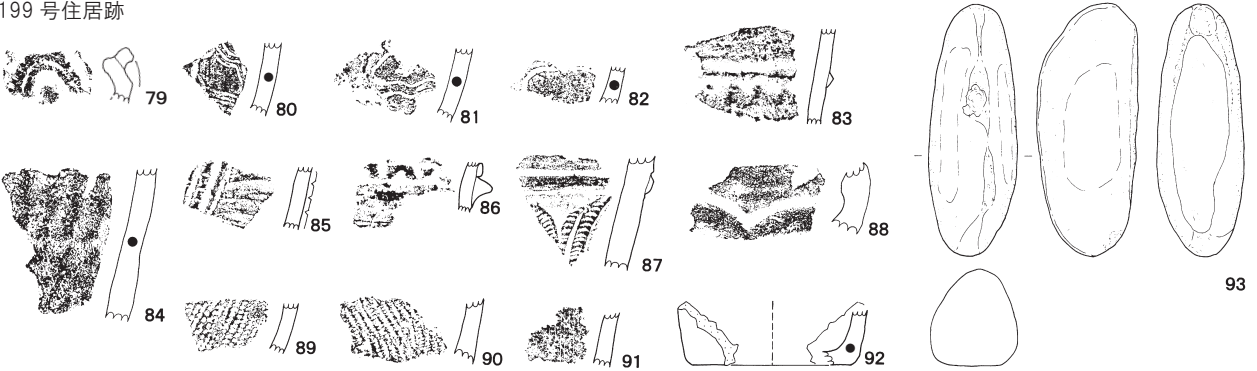
197号住居跡



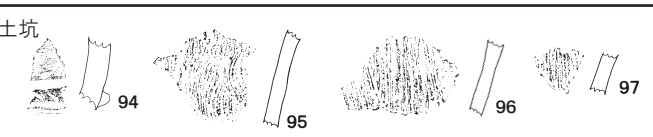
198号住居跡



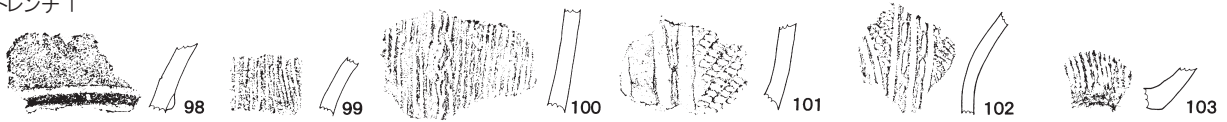
199号住居跡



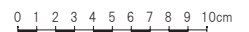
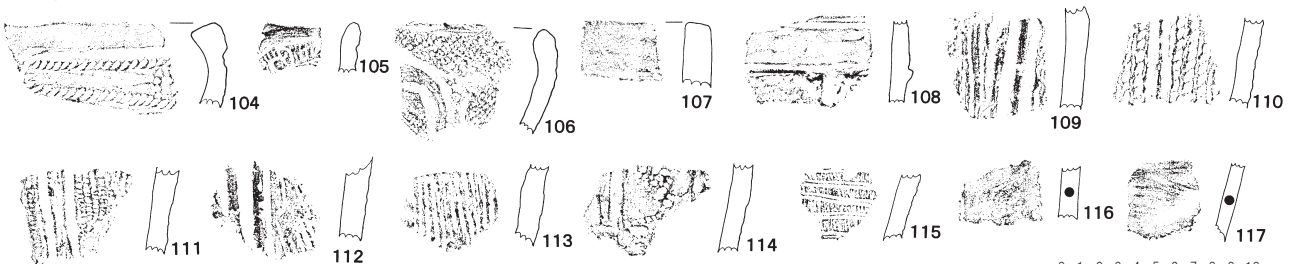
土坑



トレンチ 1

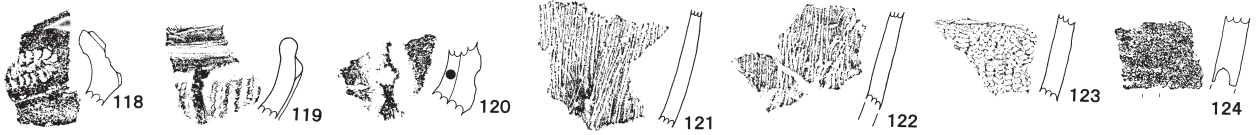


トレンチ 2



第60図 東台遺跡第58地点出土遺物② (1/4)

トレンチ 3



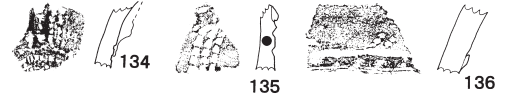
トレンチ 4



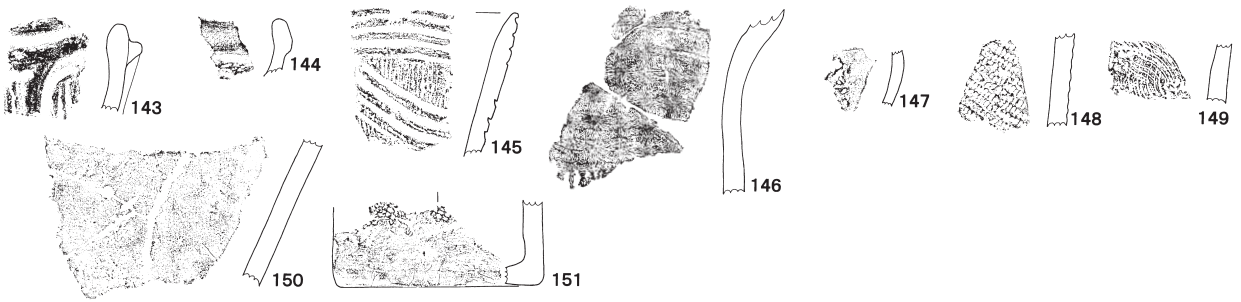
トレンチ 5



トレンチ 6



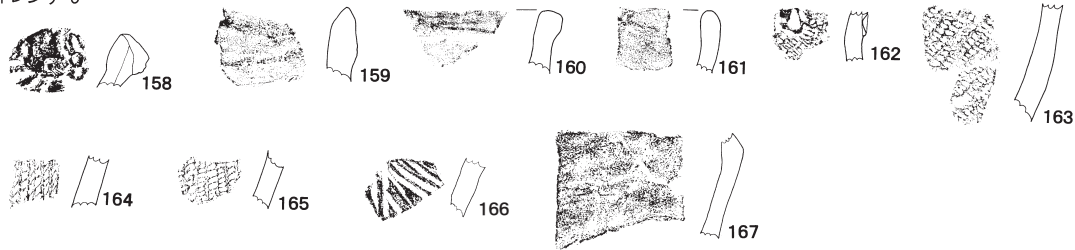
トレンチ 7



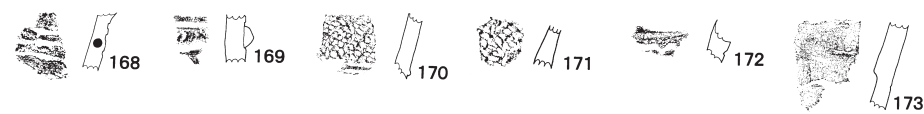
トレンチ 8



トレンチ 9



トレンチ 10



遺構外



第 61 図 東台遺跡第 58 地点出土遺物③ (1/4)

第 33 表 東台遺跡第 58 地点出土遺物観察表 (単位 cm.g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第59図-1	185号住居跡	深鉢/胴部	縦位摺系Lr/低い隆帯による懸垂文	中期/加曾利E I
第59図-2		深鉢/胴部	横位RL	中期
第59図-3		深鉢/胴部	隆帯・沈線による区画、隆帯上に刻み	中期/勝坂Ⅲ
第59図-4	186号住居跡	深鉢/口縁部	無文/屈曲部に断面三角形の隆帯を貼り付ける	中期/勝坂Ⅲ
第59図-5		深鉢/胴部	縦位RL/隆帯による懸垂文	中期/加曾利E I
第59図-6		深鉢/胴部	横位摺系Lr	中期/加曾利E I
第59図-7	187号住居跡	深鉢/口縁部	爪形文、細隆帯/口縁内に陵線/胎土に石英粒、雲母細粒	中期/勝坂Ⅱ
第59図-8		深鉢/口縁部	屈折部に連続押し引き文	中期/勝坂Ⅱ
第59図-9		深鉢/胴部	隆帯による楕円区画、区画内に沈線	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ
第59図-10		深鉢/頸部	無文/上下を隆帯により区画、外面ミガキ丁寧	中期/加曾利E I
第59図-11	188号住居跡	浅鉢?	無文/内外面丁寧にミガキ	中期
第59図-12	189号住居跡	深鉢/口縁部	隆帯による半円形区画、隆帯脇に角押文、区画内に波状沈線/口縁内に陵線/胎土に雲母少量	中期/勝坂Ⅱ
第59図-13		浅鉢/口縁部	無文/内外面ミガキ丁寧	中期/勝坂Ⅲ～加曾利E I
第59図-14		深鉢/口縁部	無文/わずかに内湾する	中期
第59図-15		深鉢/胴部	縦位RL/3本1組の沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅢ
第59図-16		深鉢/頸～胴部	縦位RL/隆帯と沈線による楕円区画、胴部沈線間磨り消し/内面ミガキ丁寧	中期/加曾利EⅢ
第59図-17		深鉢/口縁部	横位摺系Lr/横位の隆帯から2本の隆帯を垂下	中期/加曾利E I
第59図-18		深鉢/口縁部	波頂部から渦巻状隆帯を垂下、横位の隆帯に接続	中期中～後葉
第59図-19	190号住居跡	浅鉢/口縁部	波頂部/口縁外反する浅鉢か/内面ミガキ丁寧	中期中～後葉
第59図-20		浅鉢/口縁部	無文	中期中～後葉
第59図-21		深鉢/口縁部	無文/口縁内に陵線	中期中～後葉
第59図-22		深鉢/胴部	低い隆帯の脇に連続押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台
第59図-23		深鉢/胴部	V字の隆帯上に連続爪形文、脇に連続押し引き文	中期/勝坂Ⅱ
第59図-24		深鉢/胴部	刻みを持つ隆帯、沈線による区画	中期/勝坂Ⅲ
第59図-25		深鉢/胴部	縦位摺系Lr	中期
第59図-26		深鉢/胴部	縦位摺系Lr	中期
第59図-27		深鉢/胴部	縦位摺系Lr	中期
第59図-28		深鉢/底部	縦位摺系Lr	中期
第59図-29		打製石斧	ホルンフェルス/長:7.4、幅:4.4、厚さ:1.9、重量:92.11g	—
第59図-30	打製石斧	頁岩/長:9.0、幅:5.6、厚さ:1.6、重量:74.98g	—	
第59図-31	打製石斧	ホルンフェルス/長:(8.1)、幅:(4.7)、厚さ:1.6、重量:(88.17)g	—	
第59図-32	194号住居跡	深鉢/口～胴部	横位LR/口縁部は横位の沈線間に7単位の楕円区画、胴部は3本1組の沈線により8区画/口径:26.5	中期/加曾利EⅢ
第59図-33		深鉢/口縁部	横位LR	中期/加曾利EⅢ～Ⅳ
第59図-34		深鉢/胴部下半	沈線によるU字文、区画内に縦位Lr充填、器面ミガキ/器高:(11.7)、上げ底:径6.1	中期/加曾利EⅢ
第59図-35		鉢/口縁部	無文	中期/加曾利EⅢ～Ⅳ
第59図-36	195号住居跡	深鉢/頸部	低い隆帯上に刻み	中期/勝坂Ⅲ
第59図-37		深鉢/胴部	横位RL/隆帯上に刻み	中期/勝坂Ⅲ
第59図-38		深鉢/胴部	摺系Lr/弧状に隆帯を2本貼り付け/内面ミガキ	中期/加曾利E I
第59図-39		深鉢/胴部	幅広の隆帯	中期/勝坂Ⅲ
第59図-40		深鉢/頸部	摺系Lr/区画隆帯	中期/加曾利E I
第59図-41		深鉢/口縁部	横位摺系Lr/隆帯の跡有	中期/加曾利E I
第59図-42		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期/曾利
第59図-43		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期/曾利
第59図-44		深鉢/胴部	無文	中期
第59図-45		石製品	細粒砂岩/長:(10.2)、幅:(3.9)、厚さ:1.6、重量:(99.6)g/片側面摩擦	—
第59図-46		196号住居跡	深鉢/口縁部	波頂部/隆帯と半藁竹管による平行沈線で楕円区画、区画内は縦位の沈線/胎土に雲母多い
第59図-47	深鉢/胴部		両脇に幅広の連続爪形文を施した隆帯による区画、区画内に波状沈線	中期/勝坂Ⅱ
第59図-48	深鉢/胴部		櫛歯状の沈線/弧状の沈線	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ
第59図-49	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文	中期/曾利
第59図-50	深鉢/胴部		縦位に3本の沈線	中期/加曾利EⅡ～Ⅲ
第60図-51	197号住居跡	深鉢/口縁部	横位Lr/波状口縁	中期中葉
第60図-52		深鉢/口縁部	摺系か/S字状隆帯	中期/加曾利E I
第60図-53		深鉢/頸部	摺系Lr/頸部に弧状に隆帯、胴部との区画隆帯	中期/加曾利E I
第60図-54		深鉢/胴部	摺系Lr/胴部との区画隆帯	中期/加曾利E I
第60図-55		深鉢/頸部	頸部無文帯、区画隆帯	中期/加曾利E I～Ⅱ
第60図-56		深鉢/胴部	摺系Lr	中期/勝坂～加曾利E I
第60図-57		深鉢/胴部	摺系Lr	中期/勝坂～加曾利E I
第60図-58		深鉢/胴部	横位沈線、縦位の連続押し引き文?	中期
第60図-59		浅鉢/口縁部	内外面赤彩	中期/加曾利E I
第60図-60		浅鉢/口縁部	横位の沈線施文後に楕円区画を施文	中期/勝坂Ⅲ～加曾利E I
第60図-61		浅鉢?/口縁部	横位沈線	中期
第60図-62		深鉢/口縁部	2重の隆帯を楕円あるいは渦巻き状に貼り付ける/波頂部か	中期/勝坂併行
第60図-63		深鉢/口縁部	横位RL/刻みのある隆帯を幅の狭い楕円状に貼り付け	中期/勝坂併行
第60図-64		深鉢/口縁部	斜行摺系Lr/横位隆帯から細い2本の隆帯を垂下し、押圧を施した横位隆帯が接続する	中期/加曾利E I併行
第60図-65		深鉢/胴部	縦位摺系RL/横位楕円状に隆帯、その接点に縦位隆帯を貼り付け	中期/加曾利E I併行
第60図-66		深鉢/胴部	隆帯懸垂文、隆帯の片側に2列の押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅱ
第60図-67		深鉢/胴部	隆帯による区画、隆帯上には弱い刻み/胎土に結晶片岩	中期/勝坂Ⅲ
第60図-68		深鉢/胴部	竹管状工具による平行沈線、刺突	中期/勝坂
第60図-69	深鉢/胴部	縦位沈線による区画、区画内に斜行沈線	中期/勝坂	
第60図-70	198号住居跡	深鉢/胴部	縦位RL	中期
第60図-71		深鉢/胴部	縦位摺系Lr	中期
第60図-72		深鉢/胴部	縦位摺系Lr	中期
第60図-73		深鉢/胴部	縦位LR/縦位沈線	中期/加曾利E I～Ⅱ
第60図-74		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期
第60図-75		浅鉢/口縁部	無文/口径:(40.8)	中期/加曾利E I
第60図-76		深鉢/胴部	縦位RL/縦位沈線区画	中期/加曾利E I～Ⅱ
第60図-77		浅鉢/底部	無文/胎土に白色粒子多い	中期
第60図-78		土製円盤	割れ口摩擦	中期
第60図-79		浅鉢?/口縁部	逆U字状の隆帯、隆帯上に押し引き文?	中期中～後葉
第60図-80	199号住居跡	深鉢/胴部	平行沈線による波状文/胎土に雲母多い	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ併行
第60図-81		深鉢/胴部	平行沈線による波状文/胎土に雲母多い	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ併行
第60図-82		深鉢/胴部	沈線/胎土に雲母多い	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ併行
第60図-83		深鉢/胴部	断面三角形の隆帯、ヒダ状圧痕	中期/阿玉台Ⅰ～Ⅱ
第60図-84		深鉢/胴部	ヒダ状圧痕	中期/阿玉台Ⅰ～Ⅱ
第60図-85		深鉢/胴部	刻みを持つ細い隆帯、その両脇に2列の連続押し引き文	中期/阿玉台Ⅱ
第60図-86		深鉢/胴部	棒状工具による交互刺突を持つ隆帯、断面三角形の隆帯	中期
第60図-87		深鉢/胴部	横位区画隆帯、沈線とナデにより浮き上がった部分に爪形文を充填	中期/勝坂
第60図-88		浅鉢/口縁部	幅広い隆帯による弧状文	中期中葉

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第60図-89	199号住居跡	深鉢/胴部	縦位RL/内面ミガキ丁寧	中期/加曾利E
第60図-90		深鉢/胴部	横位RL	中期
第60図-91		深鉢/胴部	細線文?/胎土に結晶片岩	中期前半
第60図-92		深鉢/底部	無文/底面に網代痕/底径:(7)/胎土に雲母多い	中期
第60図-93		敷き石・磨り石	中粒砂岩/長:13.4、幅:4.7、厚さ:5.2、重量:477.97g/隆線を利用、側面・底部に平滑面	—
第60図-94	土坑	深鉢/頸部	横位区画隆帯上刻み	中期/勝坂Ⅲ
第60図-95		深鉢/胴部	櫛歯状工具による縦位の波状文	中期/曾利
第60図-96		深鉢/胴部	櫛歯状工具文	中期/曾利
第60図-97		深鉢/胴部	櫛歯状工具文	中期/曾利
第60図-98	遺構外・1Tr	深鉢/頸部	頸部無文帯/隆帯による区画	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第60図-99		深鉢/胴部	縦位燃系Lr	中期
第60図-100		深鉢/胴部	縦位燃系Lr/沈線による波状懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第60図-101		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による懸垂文、沈線間ミガキ	中期/加曾利EⅢ
第60図-102		深鉢/胴部	横位RLか/縦位沈線間に刺突	中期/加曾利EⅢ
第60図-103		深鉢/底部	縦位燃系Lr	中期/勝坂～加曾利EⅠ
第60図-104		浅鉢/口縁部	沈線と凹形文による椀口区画、区画内に縦位の押し引き文	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ
第60図-105		深鉢/口縁部	沈線による渦巻き文、沈線間に刻み/波頂部	中期中葉
第60図-106		浅鉢/口縁部	横位LR・RL羽状/渦巻き状?の沈線	中期/加曾利EⅢ～Ⅳ
第60図-107		浅鉢/口縁部	無文	中期/加曾利E
第60図-108	遺構外・2Tr	深鉢/胴部	縄文か/横位の隆帯から隆起線を垂下	中期中葉
第60図-109		深鉢/胴部	縦位燃系Lr/隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第60図-110		深鉢/胴部	縦位燃系Lr/隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第60図-111		深鉢/胴部	斜位RL/沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第60図-112		深鉢/胴部	縦位燃系Lr/隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第60図-113		深鉢/胴部	縦位燃系RL	中期/勝坂～加曾利EⅠ
第60図-114		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第60図-115		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文/横位平行沈線	中期/曾利
第60図-116		深鉢/胴部	無文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台
第60図-117		深鉢/胴部	無文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台
第61図-118	遺構外・3Tr	浅鉢/口縁部	押し引き文による椀口区画、区画内に横位押し引き文	中期/勝坂Ⅱ
第61図-119		深鉢/口縁部	縦位燃系RL/横位隆帯から隆帯を垂下	中期/加曾利EⅠ
第61図-120		深鉢/口縁部	波頂部から垂下される隆帯、隆帯上に押圧、横位に2列の押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅰ～Ⅱ
第61図-121		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期/曾利
第61図-122		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期/曾利
第61図-123		深鉢/胴部	横～斜位RL	中期
第61図-124		浅鉢/胴部	無文	中期
第61図-125		深鉢/底部	無文/底径:(14)	中期
第61図-126		深鉢/口縁部	弧状の沈線	中期
第61図-127		深鉢/胴部	横位隆帯を2条、下側は刻みを持つ、隆帯間に横位の沈線/胎土に結晶片岩	中期/勝坂Ⅲ
第61図-128	遺構外・4Tr	深鉢/胴部	縦位RL	中期
第61図-129		深鉢/底部	無文/底径:(6)	中期
第61図-130		深鉢/胴部	縦位に3本の沈線2列の押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台
第61図-131		深鉢/胴部	縦位燃系Lr	中期
第61図-132	遺構外・5Tr	深鉢/胴下部	斜位RL/屈折底	中期/勝坂
第61図-133		深鉢/底部	無文/底径:(4.7)	中期
第61図-134		深鉢/口縁部	垂下隆帯、隆帯上に刻み、2列の押し引き文	中期/阿玉台Ⅱ～Ⅲ
第61図-135	遺構外・6Tr	深鉢/口縁部	押し引き文を横位に1列、弧状に3列/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅱ～Ⅲ
第61図-136		深鉢/頸部	頸部無文帯	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第61図-137		深鉢/頸部	頸部無文帯	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第61図-138		深鉢/胴部	縦位RL/隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第61図-139		深鉢/胴部	縦位LR/沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第61図-140		深鉢/口縁部	押し引き文、側縁に刻み/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅰ～Ⅱ
第61図-141	遺構外・7Tr	深鉢/口縁部	口唇部に被さるように粘土帯、棒状工具による押圧/小波状口縁	中期/勝坂Ⅱ～Ⅲ併行
第61図-142		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線とそれに沿う刺突	中期/勝坂Ⅲ
第61図-143		深鉢/口縁部	隆帯による区画、区画内縦位沈線	中期/勝坂Ⅲ
第61図-144		深鉢/口縁部	無文/波状口縁	中期
第61図-145		深鉢/口縁部	縦位櫛歯状工具文/横位、弧状の沈線	中期/連弧文
第61図-146		深鉢/頸部	燃系?/頸部無文帯、ミガキ丁寧	中期/加曾利EⅠ～Ⅱ
第61図-147		深鉢/胴部	縄文/ミガキ丁寧	中期
第61図-148		深鉢/胴部	縦位LR/沈線	中期/加曾利E
第61図-149		深鉢/胴部	波状櫛歯状工具文	中期/曾利
第61図-150		浅鉢/胴部	無文	中期
第61図-151	遺構外・8Tr	深鉢/底部	縦位RL/底径:(11)	中期
第61図-152		深鉢/胴部	隆起線による区画、隆起線間に幅位の押し引き文、縦位の押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅱ
第61図-153		深鉢/胴部	隆帯脇押し引き文、沈線	中期/勝坂Ⅲ・E6Ⅱ・E156
第61図-154		深鉢/胴部	燃系Lr	中期中～後葉
第61図-155		深鉢/胴部	燃系Lr	中期中～後葉
第61図-156		深鉢/胴部	縦位LR?/沈線	中期中～後葉
第61図-157		深鉢/胴部	燃系	中期中～後葉
第61図-158		深鉢/口縁部	隆帯と沈線	中期中～後葉
第61図-159	遺構外・9Tr	浅鉢/口縁部	波状口縁	中期中～後葉
第61図-160		浅鉢/口縁部	無文	中期中～後葉
第61図-161		浅鉢/口縁部	無文	中期中～後葉
第61図-162		深鉢/胴部	縦位RL/刺突	中期中～後葉
第61図-163		深鉢/胴部	縦位RL	中期中～後葉
第61図-164		深鉢/胴部	燃系Lr	中期中～後葉
第61図-165		深鉢/胴部	縦位LR	中期中～後葉
第61図-166		深鉢/胴部	沈線	中期中～後葉
第61図-167		浅鉢/胴上部	無文	中期中～後葉
第61図-168		深鉢/胴部	3列の押し引き文/胎土に雲母多い	中期/阿玉台Ⅱ
第61図-169	遺構外・10Tr	深鉢/胴部	隆帯上に縦位RL	中期中～後葉
第61図-170		深鉢/胴部	縦位RL	中期中～後葉
第61図-171		深鉢/胴部	縦位RL	中期中～後葉
第61図-172		深鉢/胴部	縦位RL/横位、波状沈線	中期中～後葉
第61図-173	遺構外・表土	浅鉢/口縁部	無文	中期中～後葉
第61図-174		深鉢/口縁部	縦位沈線	中期/勝坂
第61図-175		深鉢/胴部	燃系Lr	中期中～後葉
第61図-176		深鉢/胴部	沈線	中期中～後葉
第61図-177		深鉢/胴部	縦位櫛歯状工具文	中期/曾利

## 第19章 まとめ

2014（平成26）年度は試掘調査が46件、うち本調査となったものが12件であった。その内ハケ遺跡第16地点以外の6件は既に『市内遺跡群16』として報告済みであり、ハケ遺跡第16地点は『市内遺跡群21』の中で報告予定であるため割愛する。よって今回は上記以外の地点について時代ごとに概観する。

### 【縄文時代】

縄文時代の遺構としてはまず北野遺跡第28地点が挙げられる。今回の調査では集石土坑1基を検出した。溝に壊されているため全容は把握できないが、集石土坑中から出土した縄文土器片には前期の諸磯式が含まれるため、おおよそ中期以降と推定できよう。同じ北野遺跡では、第28地点より西に約250mの第18地点では縄文時代中期後半の竪穴住居跡、さらに西へ150m程行った第33地点では集石土坑5基を検出している。集石土坑内出土の炭化物で年代測定を行ったところ、縄文時代中期前半を示す結果が出ている。これらの遺跡はいずれも藤間江川に面する台地の縁辺に展開する。これまでの調査では明らかにならなかった当時の人々の痕跡が、ここ数年で少しずつではあるが発見されている。今後の調査での資料増加に期待したい。

また西ノ原遺跡第160、161地点では土坑1基と縄文時代中期の住居跡2軒を検出した。第161地点で調査した第50号住居跡は、1992（平成2）年の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う調査で大部分が調査済みであったが、今回の調査で住居跡の全容を把握することとなった。また、新たに第211号住居跡を検出した。確認面から床面までが16cmと非常に浅く残存状況は決して良くないが、埋甕炉が僅かながら残存していた。炉体土器は勝坂Ⅲ式と考えられ、他の出土遺物を踏まえると第211号住居は中期後半に位置付けられよう。西ノ原遺跡でも最盛期直前の住居跡と考えられる。今回の調査では2軒の住居跡と土坑1基を検出したが、西ノ原遺跡における縄文時代中期の大集落解明の一助となろう。

その他に長宮遺跡第49地点では炉穴跡5基、東台遺跡第58地点では縄文時代住居跡を少なくとも15軒確認した。東台遺跡も西ノ原遺跡と同様縄文時代中期の大集落であるが、さらに広がる可能性を示唆して

いる。

### 【古代】

古代の遺跡としては滝遺跡第24地点がある。土坑2基とピット1基のみの検出だが、土坑1の覆土中から須恵器坏、土師器坏、羽口の破片が出土した。須恵器坏はいずれも底部回転糸切り後、回転ヘラ削りで調整を施す点で共通する。口径が15cm前後のものとは13cm前後のものに分けられる。いずれも胎土に海绵状骨針を含んでおり、南比企産と推定される。土師器は2点出土しており、1点は内面と外面口縁部に赤彩を施す。須恵器、土師器ともに8世紀前半～中葉に属するものと思われる。羽口はどちらも小鍛冶用の体部と先端部の破片である。先端部は内外面ともに発泡し、被熱している。今回の調査地点より約40m北側の第21地点では、H31B号住居跡で鍛冶炉を確認している。出土土器から8世紀中葉頃と考えられ、今回の土坑1出土遺物の時期と概ね一致する。今回出土した羽口片は第21地点の鍛冶炉に関連するものと想定できる。ふじみ野市内における古代の製鉄遺跡は滝遺跡第21地点の他に、8世紀後半の松山遺跡第49地点H36号住居跡、8世紀後半から9世紀初頭にかけての大規模製鉄遺跡である東台製鉄遺跡、9世紀代の川崎遺跡、権現山遺跡で確認されている。東台製鉄遺跡以外は滝遺跡第21地点も含めていずれも一般の住居内における小鍛冶の痕跡が認められるものである。今後の調査事例の増加によって、古代製鉄関連遺跡がより明らかになることに期待する。

### 【近世・近代】

大井氏館跡遺跡第24地点では土坑1から多量の陶磁器片が出土した。時期は概ね19世紀後半に中心があり、川越街道大井宿の最盛期に合致する。同様の土坑は大井氏館跡遺跡第10、11、23地点や隣接する大井宿遺跡第9、11地点等で確認されている。今回遺物が出土した土層は、焼土と炭化物が多く含まれており、大井氏館跡遺跡第23地点土坑10、大井宿遺跡第9地点土坑8、9と共通する。いずれも明治期に大井宿で起きた3度の大火の後片づけで生じたゴミを捨てた廃棄土坑と指摘されている。今回の調査で検出した土坑も同様であると考えられる。



ハケ遺跡第 17 地点でも大井氏館跡遺跡第 24 地点同様にゴミ穴を検出した。時期は概ね 1900 年台前半を中心とする近代のゴミ穴であるが、一部近世に属するものも含まれる。掲載遺物の中ではガラス製品が大半を占める。染料・食品・化粧品等いずれも一般家庭で使用されていた日用品の類であるが、中には旧川越製造所（旧火工廠）に関連するものも出土している。特に第 11 図 7～11 は旧火工廠の会食所（食堂）で使用されていた食器類である。これらは終戦時に払下品として譲り受けたものを最終的に廃棄したものであろう。火工廠跡に関しては近年、隣接するハケ遺跡内の開発増加もあって周辺遺跡の調査により、今後明らかになっていく可能性も考えられよう。

#### 〈参考文献〉

- ・上福岡市教育委員会 1998 『市史調査報告書第 15 集 旧陸軍造兵廠福岡工場（川越製造所）』
- ・上福岡市教育委員会、上福岡市史編纂委員会 1999 『上福岡市史 資料編第 1 巻 自然史・考古』
- ・大井町教育委員会、大井町遺跡調査会 2005 『東台製鉄遺跡 ―東台遺跡Ⅳ（第 15・18 地点）―』
- ・大井町遺跡調査会 2009 『中沢前遺跡Ⅰ・本村遺跡Ⅴ・大井宿遺跡Ⅰ』



北野遺跡第 27 地点調査風景



北野遺跡第 27 地点トレンチ 2



北野遺跡第 28 地点調査風景



北野遺跡第 28 地点トレンチ 3 溝



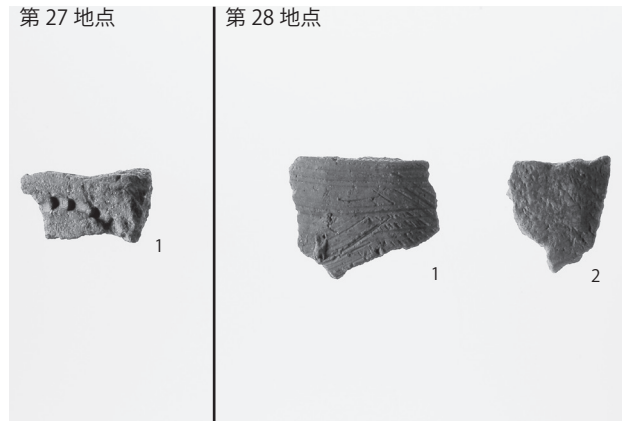
北野遺跡第 28 地点トレンチ 3 溝



北野遺跡第 28 地点集石土坑礫出土状況



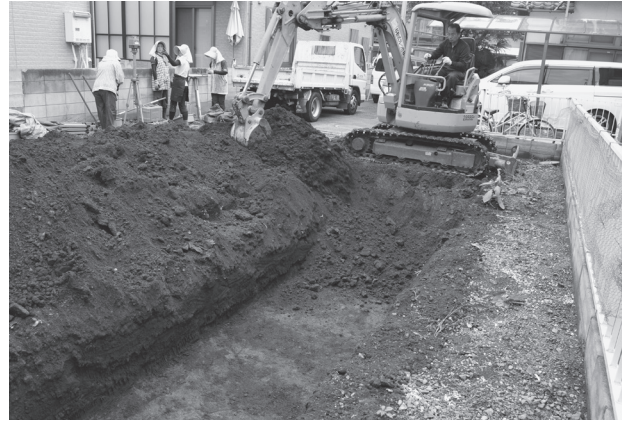
北野遺跡第 28 地点集石土坑完掘



北野遺跡第 27・28 地点出土遺物



北野遺跡第 29 地点調査風景



北野遺跡第 29 地点調査風景



北野遺跡第 29 地点トレンチ 2



北野遺跡第 29 地点土坑



北野遺跡第 30 地点調査風景



北野遺跡第 30 地点溝



北野遺跡第 30 地点溝土層



北野遺跡第 30 地点調査風景



川崎遺跡第 41 地点調査風景



川崎遺跡第 41 地点トレンチ 1



ハケ遺跡第 15 地点調査風景



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点出土遺物



ハケ遺跡第 17 地点調査風景



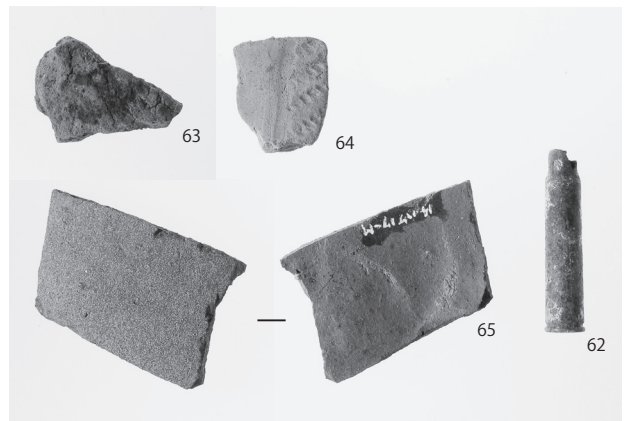
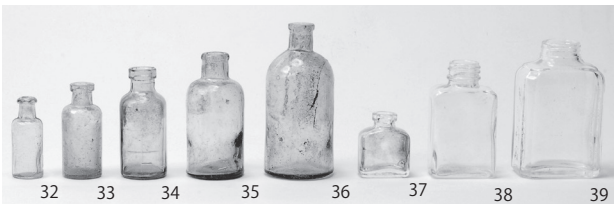
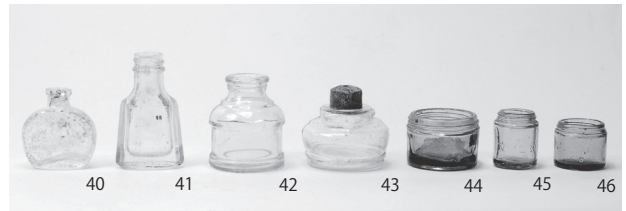
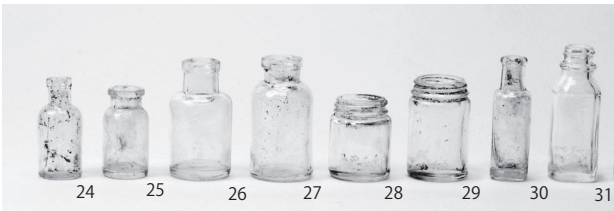
ハケ遺跡第 17 地点トレンチ 2



ハケ遺跡第 17 地点ゴミ穴



ハケ遺跡第 17 地点溝



ハケ遺跡第 17 地点出土遺物



滝遺跡第 24 地点調査風景



滝遺跡第 24 地点土坑 1 遺物出土状況



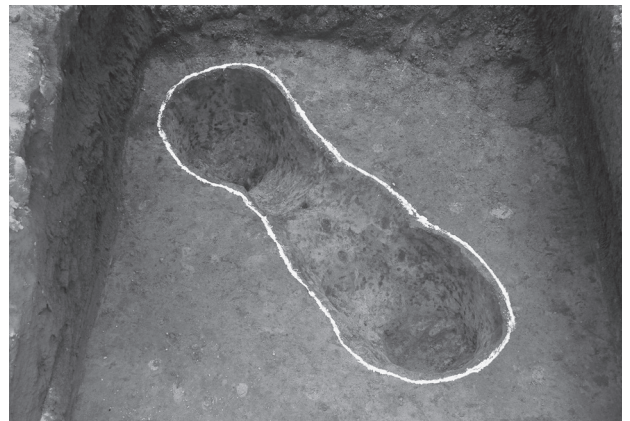
滝遺跡第 24 地点土坑 1 遺物出土状況



滝遺跡第 24 地点土坑 1



滝遺跡第 24 地点土坑 2

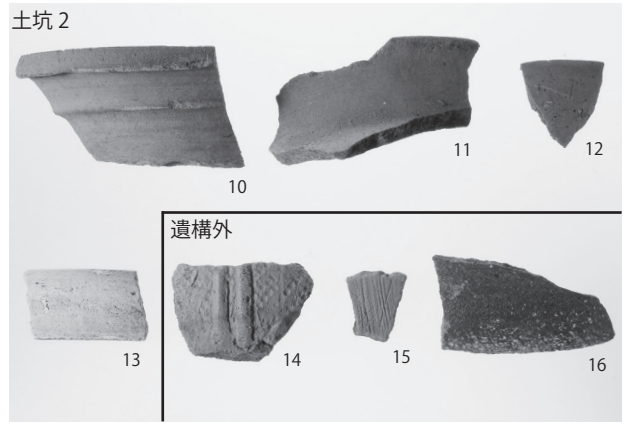
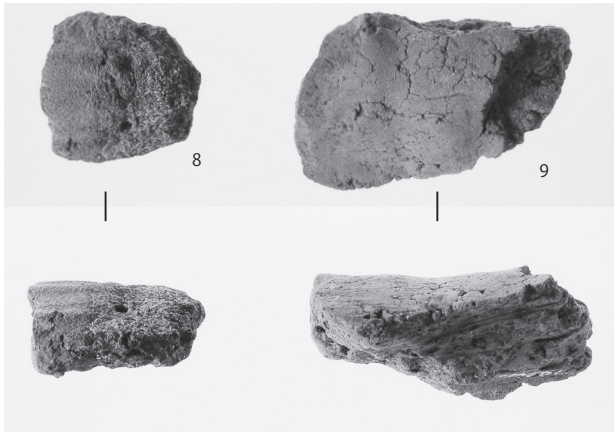
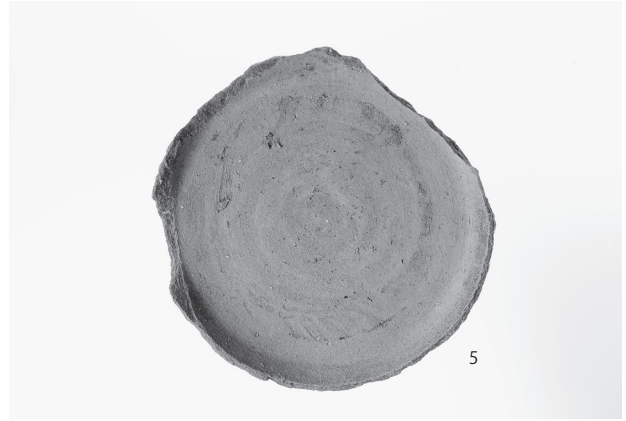


滝遺跡第 24 地点ピット 1・2



滝遺跡第 24 地点出土遺物

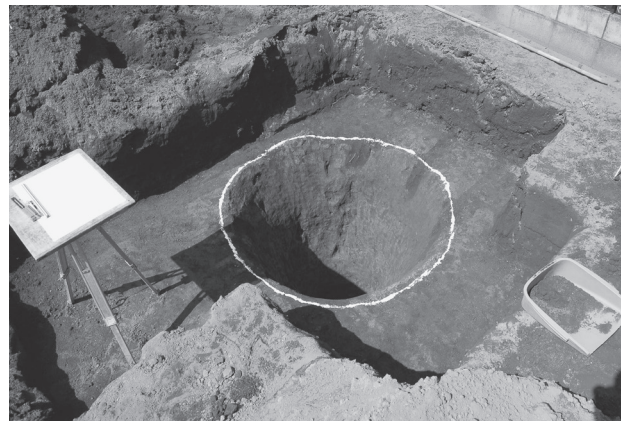
土坑 1



滝遺跡第 24 地点出土遺物



長宮遺跡第 48 地点調査風景



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 4 溝



長宮遺跡第 49 地点調査風景



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1 ~ 3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1 ~ 3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4・5



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4・5





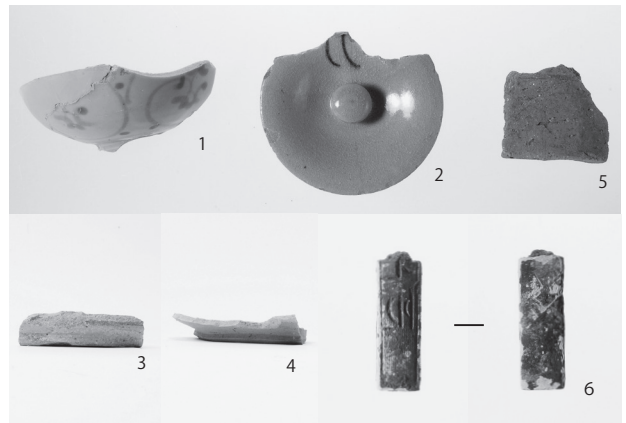
長宮遺跡第 50 地点調査前全景



長宮遺跡第 50 地点トレンチ 4



長宮遺跡第 50 地点調査風景



長宮遺跡第 50 地点出土遺物



亀居遺跡第 73 地点調査風景



亀居遺跡第 73 地点トレンチ 1



亀居遺跡第 73 地点トレンチ 2



亀居遺跡第 73 地点調査風景



亀居遺跡第 74 地点調査風景



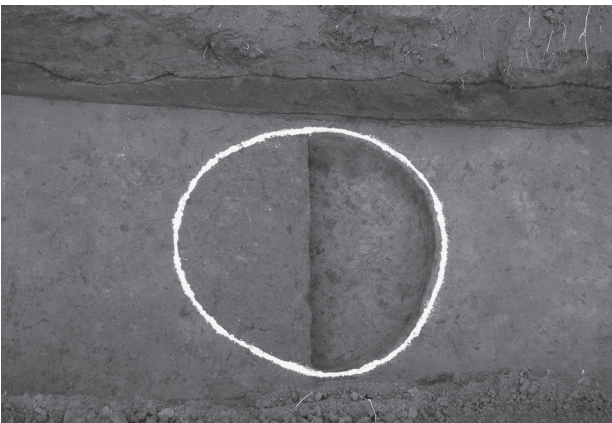
亀居遺跡第 74 地点トレンチ 1



亀居遺跡第 74 地点トレンチ 3



亀居遺跡第 74 地点トレンチ 4



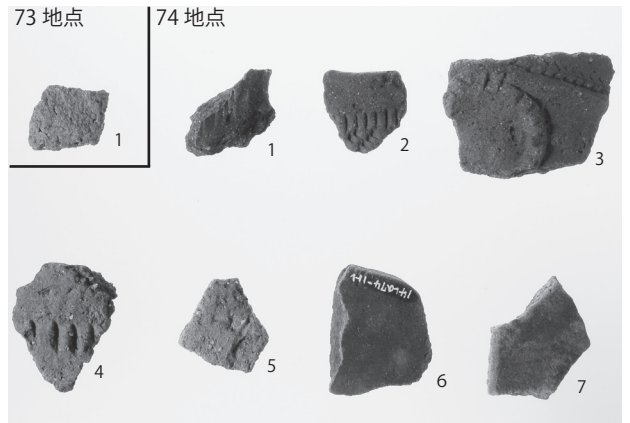
亀居遺跡第 74 地点土坑



亀居遺跡第 74 地点調査風景



亀居遺跡第 74 地点調査風景



亀居遺跡第 73 ・ 74 地点出土遺物



鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第 22 地点トレンチ 2



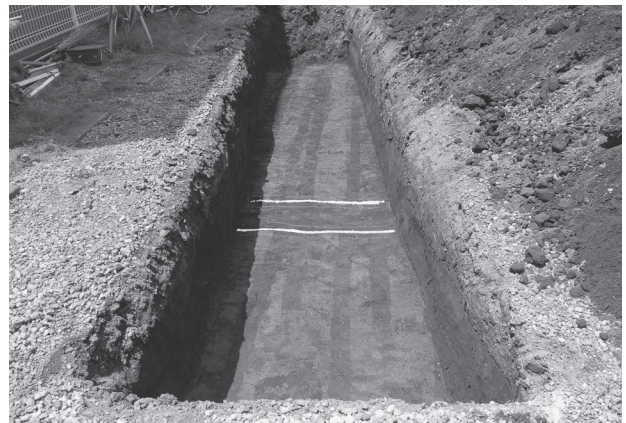
鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査風景



松山遺跡第 78 地点調査風景



松山遺跡第 78 地点トレンチ 1



松山遺跡第 78 地点トレンチ 3



松山遺跡第 79 地点調査風景



松山遺跡第 79 地点トレンチ 1



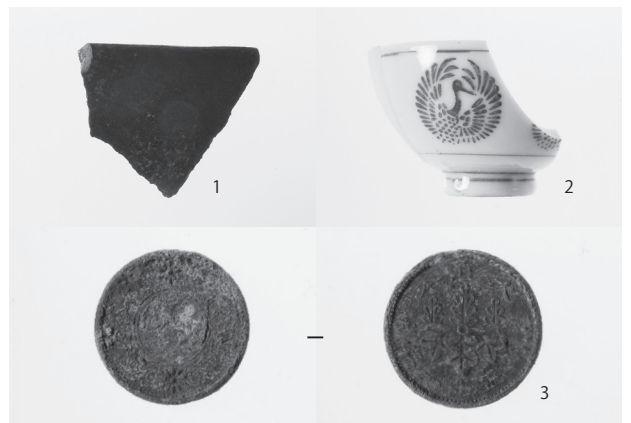
松山遺跡第 80 地点調査風景



松山遺跡第 80 地点トレンチ 2



松山遺跡第 80 地点トレンチ 3



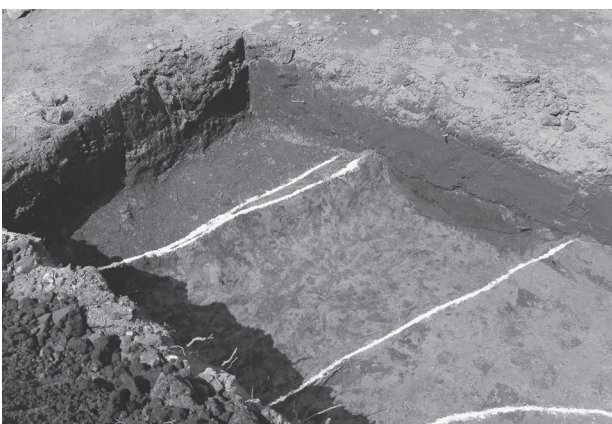
松山遺跡第 80 地点出土遺物



松山遺跡第 81 地点調査風景



松山遺跡第 81 地点トレンチ 1



松山遺跡第 80 地点トレンチ 1 溝



松山遺跡第 80 地点トレンチ 3



江川東遺跡第 22 地点調査風景



江川東遺跡第 22 地点トレンチ 2



江川東遺跡第 23 地点調査風景



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 1



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 2



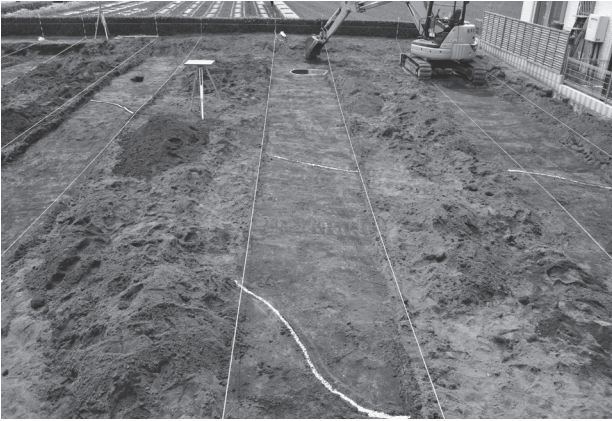
江川東遺跡第 23 地点出土遺物



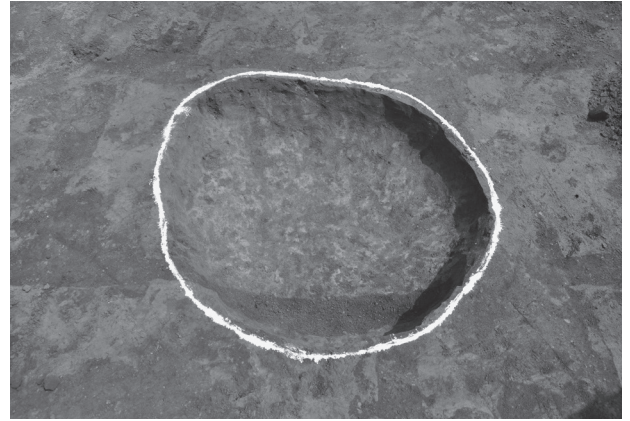
東中学校西遺跡第 35 地点調査風景



東中学校西遺跡第 35 地点トレンチ 1



西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点土坑



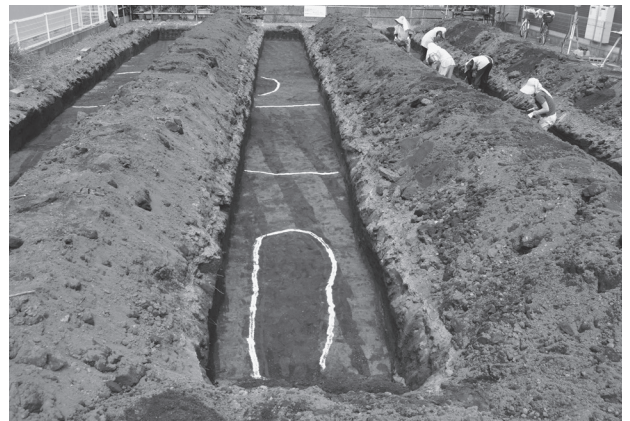
西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点出土遺物



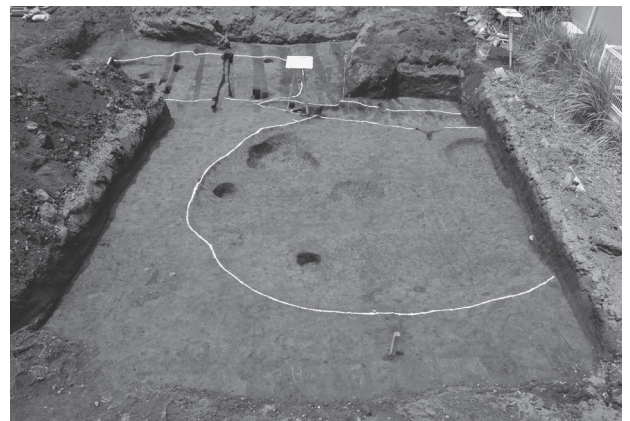
西ノ原遺跡第 161 地点調査風景



西ノ原遺跡第 161 地点トレンチ 2



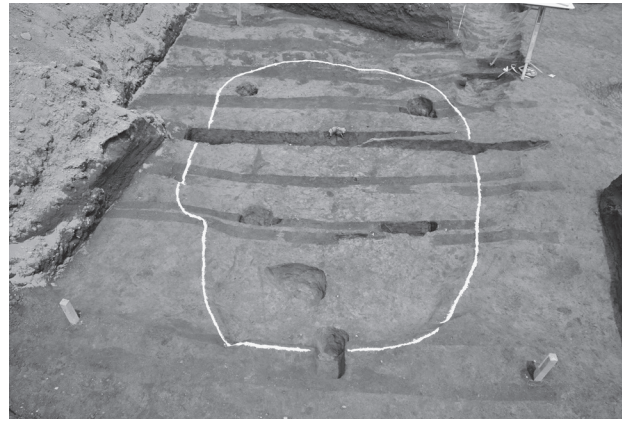
西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡



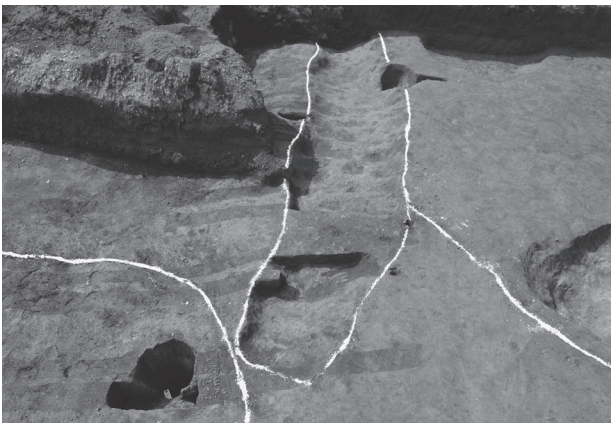
西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



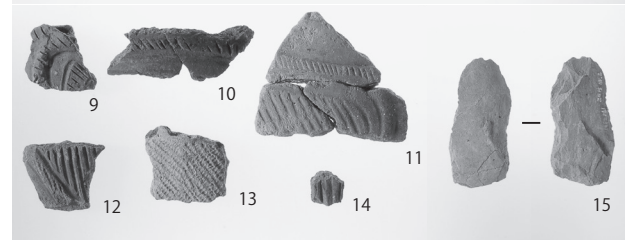
西ノ原遺跡第 161 地点 211 号炉体



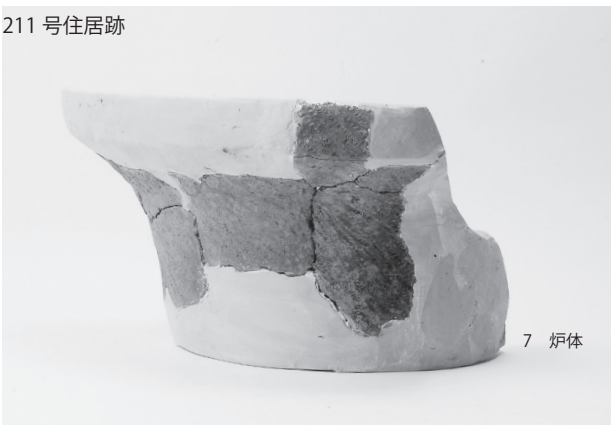
西ノ原遺跡第 161 地点溝



50 号住居跡



211 号住居跡



7 炉体



遺構外



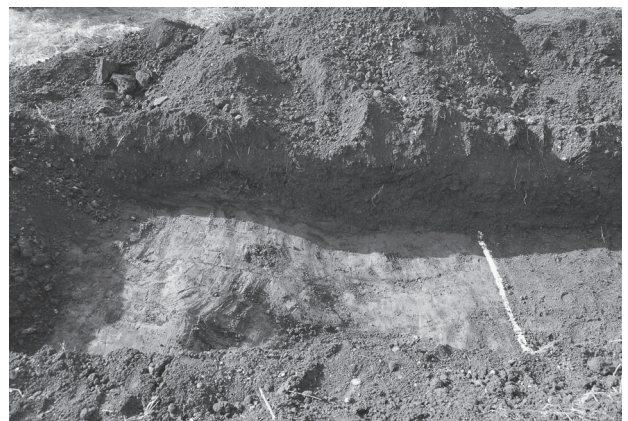
西ノ原遺跡第 162 地点調査風景



西ノ原遺跡第 162 地点トレンチ 4



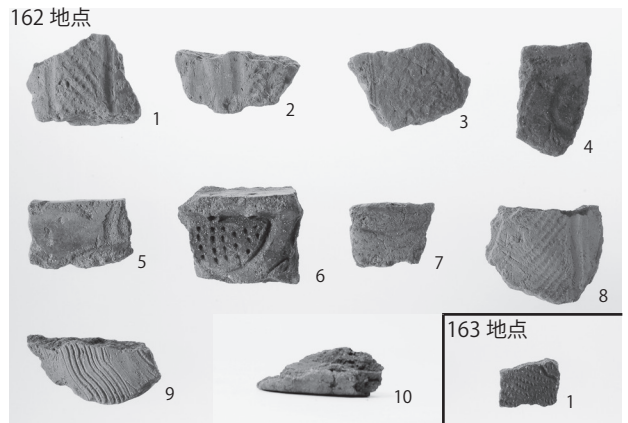
西ノ原遺跡第 162 地点トレンチ 5



西ノ原遺跡第 162 地点溝



西ノ原遺跡第 162 地点調査前全景



西ノ原遺跡第 162・163 地点出土遺物

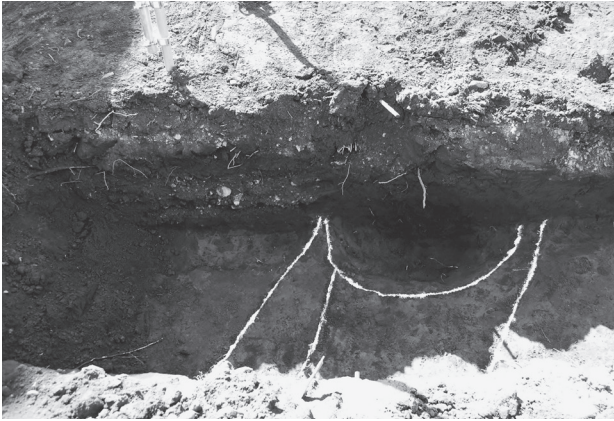


西ノ原遺跡第 163 地点調査風景



西ノ原遺跡第 163 地点トレンチ 1





西ノ原遺跡第 163 地点トレンチ



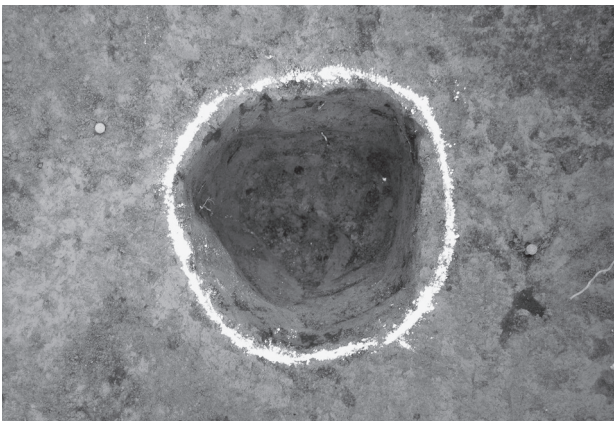
西ノ原遺跡第 163 地点



神明後遺跡第 52 地点調査風景



神明後遺跡第 52 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 52 地点ピット



神明後遺跡第 52 地点出土遺物



神明後遺跡第 53 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 53 地点調査風景



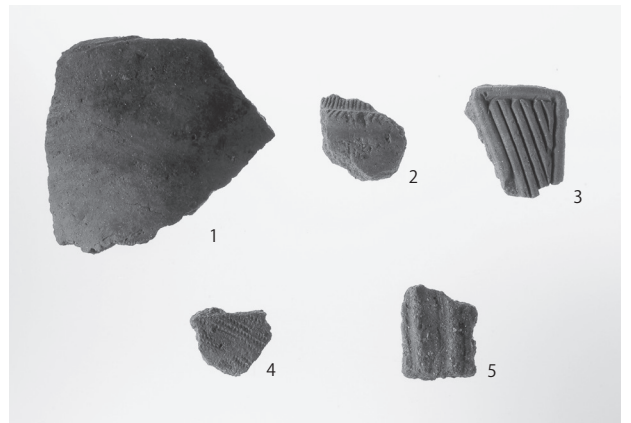
小田久保遺跡第 10 地点調査風景



小田久保遺跡第 10 地点土坑



小田久保遺跡第 10 地点調査風景



小田久保遺跡第 10 地点出土遺物



大井氏館跡遺跡第 24 地点調査風景



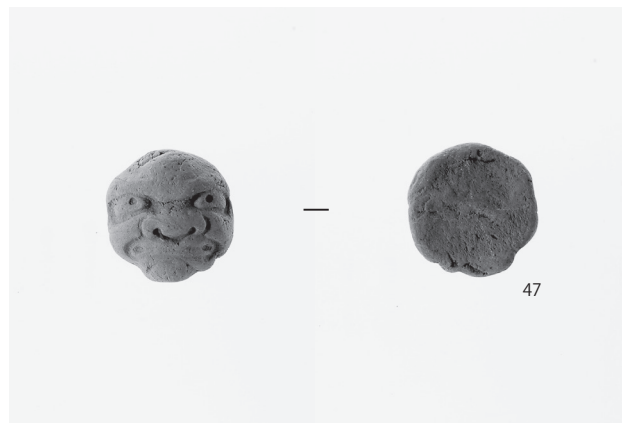
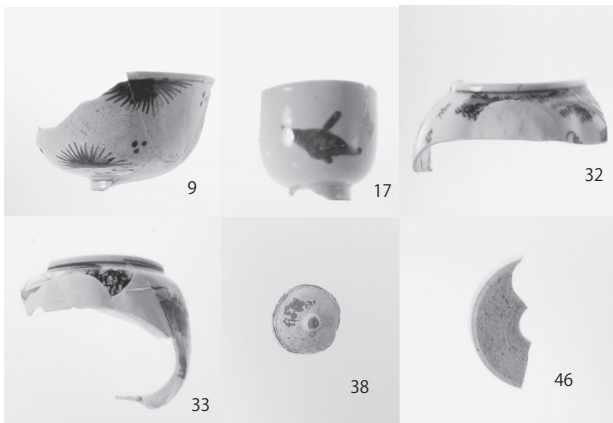
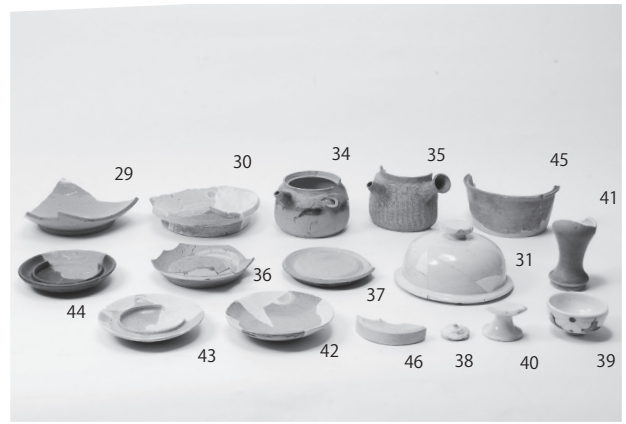
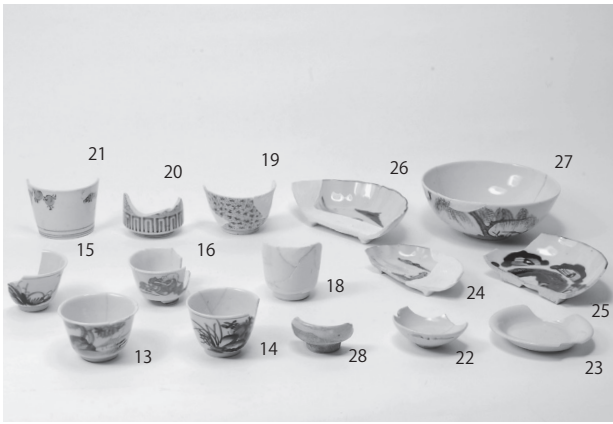
大井氏館跡遺跡第 24 地点土坑



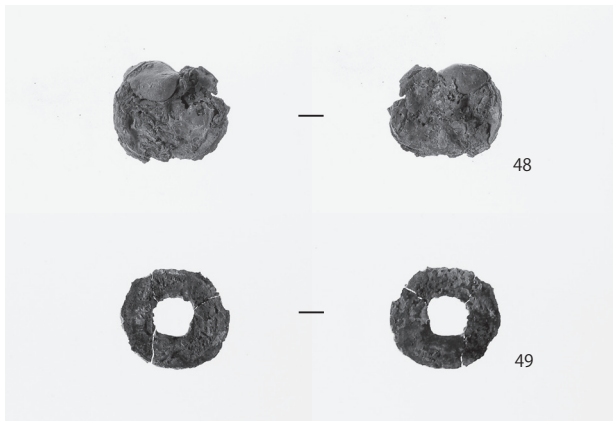
大井氏館跡遺跡第 24 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物



大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物



大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物

大井氏館跡遺跡第 25 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 25 地点トレンチ

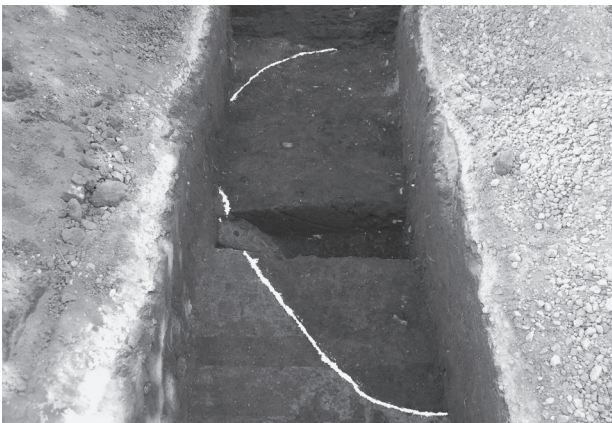
大井氏館跡遺跡第 25 地点調査風景



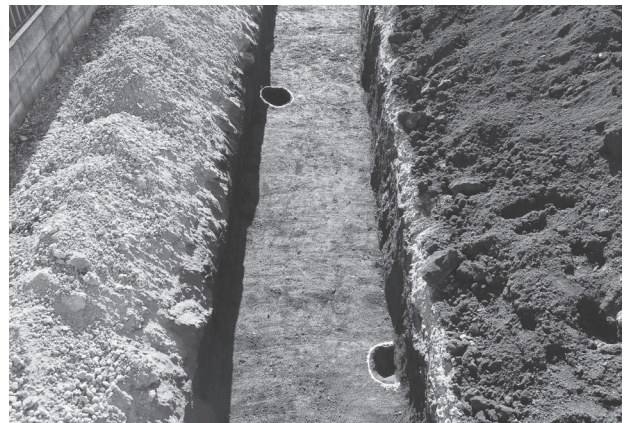
本村遺跡第 128 地点調査風景



本村遺跡第 128 地点トレンチ 3



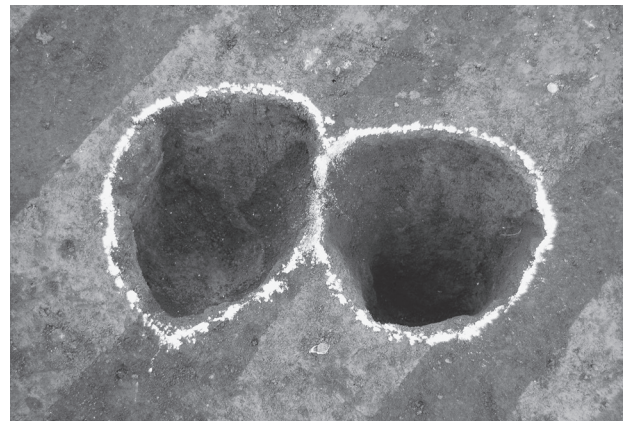
本村遺跡第 128 地点井戸



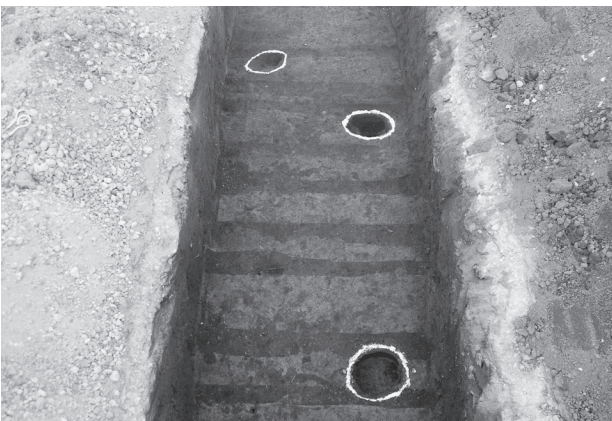
本村遺跡第 128 地点ピット 1・2



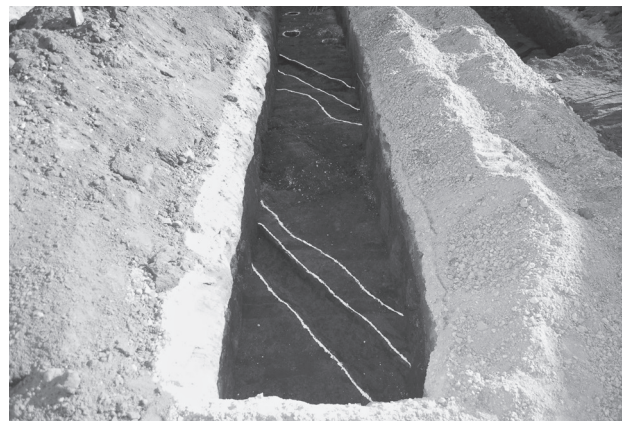
本村遺跡第 128 地点ピット 3・4



本村遺跡第 128 地点ピット 5・6



本村遺跡第 128 地点ピット 7～9



本村遺跡第 128 地点溝



西台遺跡第 9 地点調査風景



西台遺跡第 9 地点トレンチ 2



東台遺跡第 58 地点調査風景



東台遺跡第 58 地点トレンチ 1



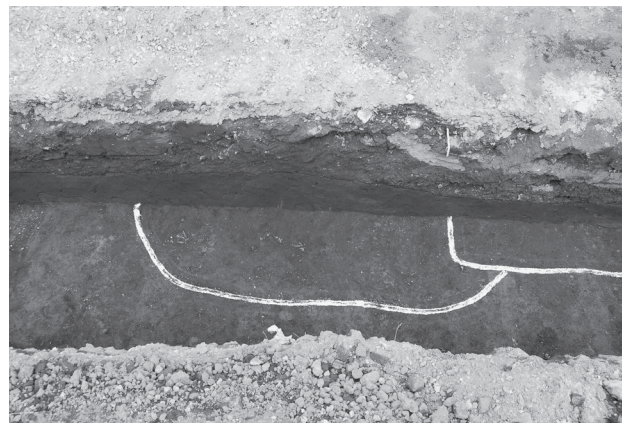
東台遺跡第 58 地点トレンチ 1



東台遺跡第 58 地点トレンチ 3



東台遺跡第 58 地点トレンチ 4



東台遺跡第 58 地点トレンチ 5



東台遺跡第 58 地点トレンチ 6



東台遺跡第 58 地点トレンチ 7



東台遺跡第 58 地点トレンチ 8



東台遺跡第 58 地点トレンチ 8



東台遺跡第 58 地点トレンチ 9



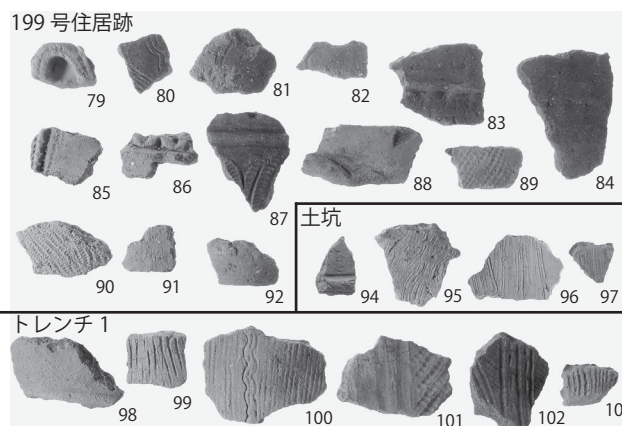
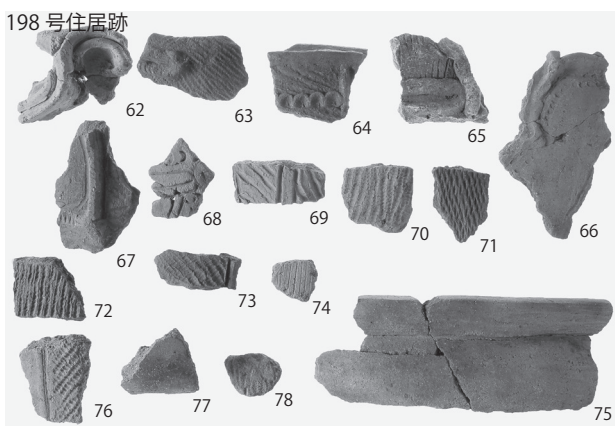
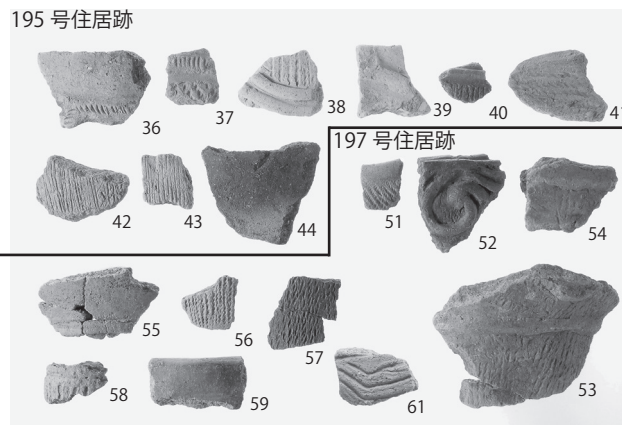
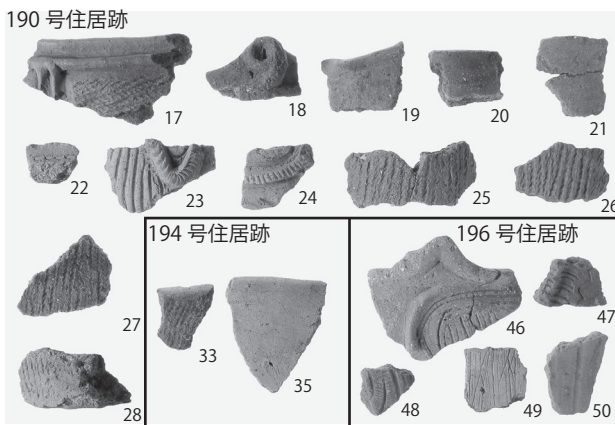
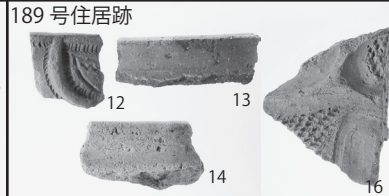
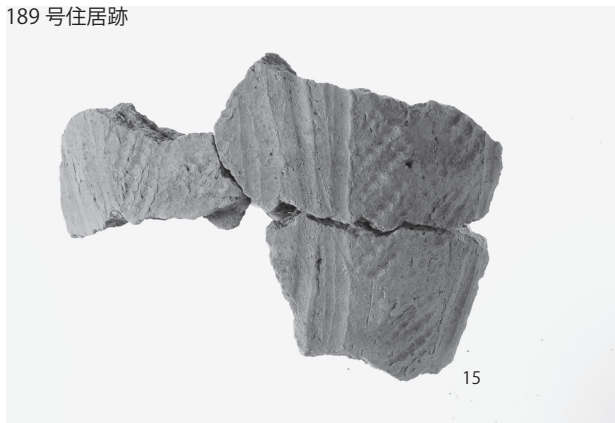
東台遺跡第 58 地点トレンチ 11

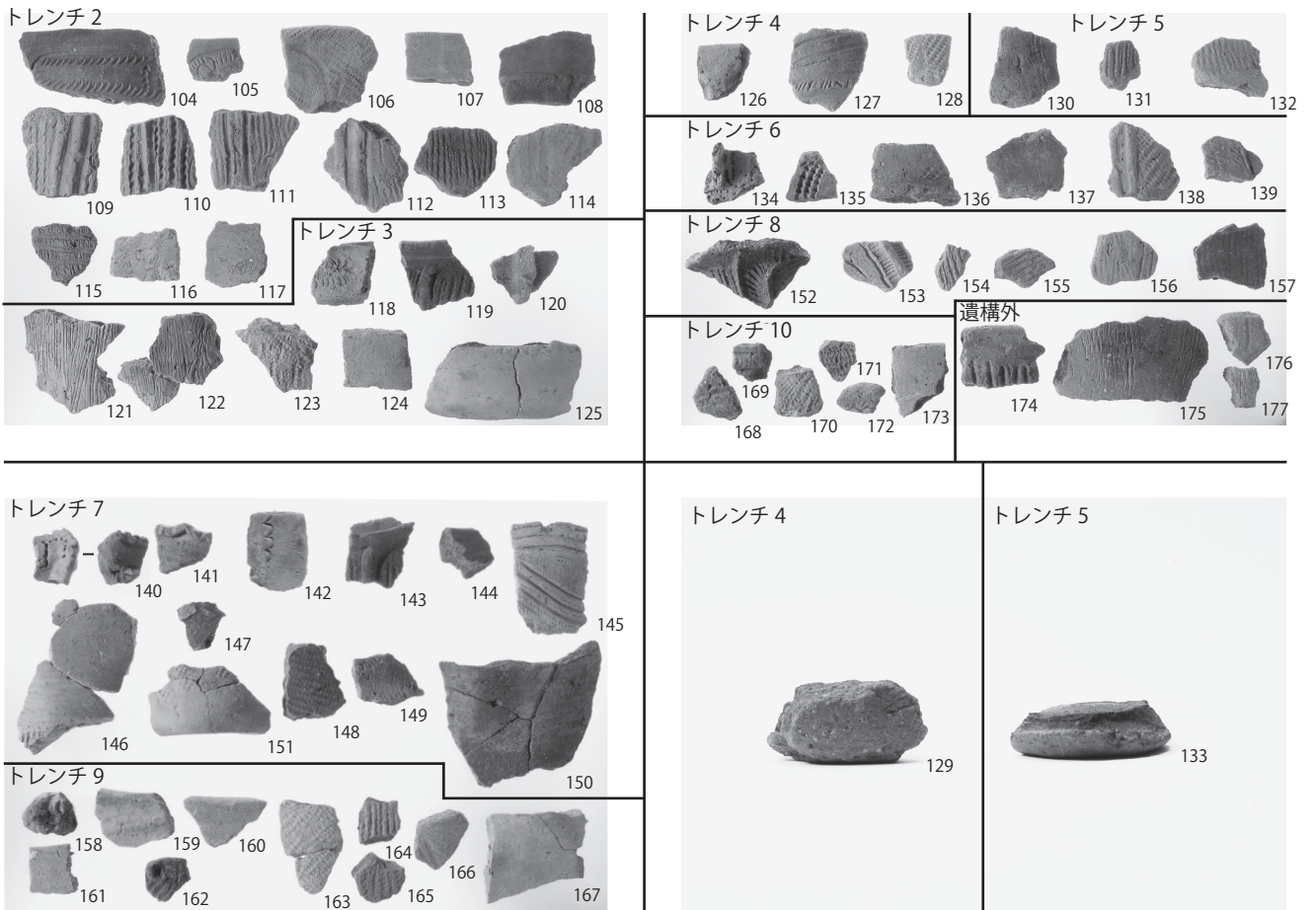


東台遺跡第 58 地点 195 号住居跡

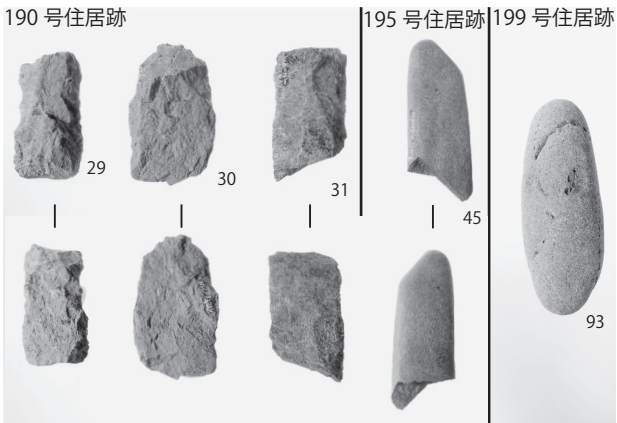


東台遺跡第 58 地点 194 号住居跡





東台遺跡第 58 地点出土遺物



東台遺跡第 58 地点出土遺物



東台遺跡第 59 地点調査風景



東台遺跡第 59 地点調査風景



東台遺跡第 59 地点出土遺物



## 報告書抄録

書名	市内遺跡群20		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第21集		
編集者	鍋島直久・岡崎裕子		著者	鍋島直久、岡崎裕子、鎌田翔		
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒356-8501ふじみ野市福岡一丁目1番1号 TEL049 (261)2611		
発行日	2017年(平成29年)3月20日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
	種別/主な時代/主な遺構/主な遺物	遺跡コード	東経	調査終了	m	調査担当者
特記事項						
北野遺跡第28地点	埼玉県ふじみ野市北野二丁目2110-8	112453	35° 52' 47"	20140527	14	個人住宅
		25-002	139° 30' 50"	20140528		鍋島直久・越村篤
集落跡/縄文時代/集石土坑1基/縄文土器片						
集石土坑は縄文時代集落の広がりを知る上で貴重である。						
北野遺跡第28地点	埼玉県ふじみ野市北野二丁目2110-9	112453	35° 52' 47"	20140527	17.3	分譲住宅
		25-002	139° 30' 50"	20140528		鍋島直久・越村篤
集落跡/縄文時代/集石土坑1基/縄文土器片						
集石土坑は縄文時代集落の広がりを知る上で貴重である。						
ハケ遺跡第17地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目1219-1・2	112453	35° 52' 59"	20140926	50.4	分譲住宅
		25-005	139° 31' 29"	20140930		鍋島直久
集落跡/近世・近現代/近世以降の溝2本、近現代ゴミ穴1基/縄文土器片・陶磁器・ガラス製品・金属製品						
火工廠関連の遺物は、火工廠とその周辺地域の関係性を知る上で貴重である。						
滝遺跡第24地点	埼玉県ふじみ野市滝一丁目1-8の一部	112453	35° 52' 40"	20140716	85	分譲住宅
		25-008	139° 31' 37"	20140718		越村篤
集落跡/奈良平安時代/土坑2基・古代以降のピット2基/縄文土器片・須臾器・土師器・羽口						
出土した羽口片は古代の集落内製鉄を考えると貴重である。						
長宮遺跡第48地点	埼玉県ふじみ野市上ノ原三丁目6-1	112453	35° 52' 36"	20140402	188.4	分譲住宅
		25-009	139° 31' 37"	20140408		越村篤
集落跡/中近世/井戸1基・溝1本/遺物なし						
遺跡範囲の東部にあたり、検出した井戸や溝は中近世の土地利用を考えると貴重である。						
長宮遺跡第49地点	埼玉県ふじみ野市中丸二丁目2-4	112453	35° 5' 41"	20141023	61.8	共同住宅
		25-009	139° 31' 50"	20141030		鍋島直久・越村篤
集落跡/縄文時代/炉穴5基・溝1本/遺物なし						
検出した炉穴群は本遺跡における縄文時代集落の広がりを考えると貴重である。						
松山遺跡第80地点	埼玉県ふじみ野市池上372	112453	35° 52' 17"	20150312	90.0	個人住宅
		25-010	139° 31' 56"	20150312		鍋島直久
集落跡/中近世/遺構なし/焙烙・磁器・桐一銭青銅銭貨						
本遺跡における中近世以降の土地利用を考えると貴重である。						
西ノ原遺跡第160地点	埼玉県ふじみ野市旭一丁目14-2	112453	35° 51' 26"	20140415	106.9	駐車場
		30-001	139° 31' 10"	20140416		鍋島直久
集落跡/縄文時代/縄文土坑1基/縄文土器片						
縄文時代中期環状集落の北東部にあたり、集落の範囲を見極める上で貴重である。						
西ノ原遺跡第161地点	埼玉県ふじみ野市苗間一丁目18-8	112453	35° 51' 26"	20140617	114.75	個人住宅
		30-001	139° 31' 12"	20140623		鍋島直久
集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡2軒/縄文土器片						
縄文時代中期環状集落の北東部にあたり、住居の分布が薄い地域である。集落の範囲を見極める上で貴重である。						
小田久保遺跡第10地点	埼玉県ふじみ野市大井字西原1023-3	112453	35° 50' 52"	20141007	94.4	個人住宅
		30-040	139° 30' 54"	20141007		鍋島直久
集落跡/縄文時代/縄文時代土坑1基/縄文土器片						
遺跡範囲の縁辺にあたり、検出した土坑は遺跡の広がりを知る上で貴重である。						
大井氏館跡遺跡第24地点	埼玉県ふじみ野市大井字西原959・960	112453	35° 50' 59"	20140623	15.8	個人住宅
		30-037	139° 31' 4"	20140625		鍋島直久
集落跡/近世・近代/土坑1基/陶磁器・土製品・瓦質土器・銅製品・銅貨						
明治時代の大火による遺構・遺物は、近世～近代の宿場状況を知る上で貴重である。						
本村遺跡第128地点	埼玉県ふじみ野市大井二丁目18-1	112453	35° 51' 5"	20141117	103.5	分譲住宅
		30-034	139° 31' 9"	20141127		鍋島直久・越村篤
集落跡/中近世/中近世以降の井戸1基・ピット9基・溝2本・用水路/遺物なし						
検出した井戸や溝は中近世以降の集落の広がりを知る上で貴重である。						
東台遺跡第58地点	埼玉県ふじみ野市大井字東台625-1	112453	35° 51' 2"	20140701	399	店舗
		30-024	139° 31' 33"	20140804		鍋島直久・越村篤
集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡15軒・土坑3基/縄文土器・石器						
確認された縄文時代住居跡は、当地域の縄文時代の集落規模を知る上で貴重である。						



---

---

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

## 埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群 20

2018年3月20日印刷

2018年3月25日発行

発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番1号

TEL 049-261-2611

FAX 049-266-6271

印刷 関東図書株式会社

---

---